

精神ガアル、ドチラニモ就カナイ、サウ云フコトガ生ジテ
 來ルコトニナル、大臣ハ能ク資本家カラモ褒メラレナイ
 シ、労働者カラモ褒メラレナイノガ本案ノ公正ナ所デア
 ト言ハレマシタ、公正ナ所デハナイ、大矛盾ノアル所デ
 アル、大矛盾ノアル所ガ、即チ最モ不正ナ所デアツテ、斯
 ウ云フモノガ實行サレマスナラバ、恐ラク労働者ヲ保護ス
 ルコトモ出來ナイ、殊ニ健全ナル労働運動ノ誤解ヲ解クコ
 トモ出來ナイ、此點ハ私ハ労働者ニ對シテ、致命的ナ損害
 ダト考ヘマス、本當ニ労働者ノ結社ヲ御認メニナルト云フ
 ナラ、資本家ノ誤解ヲ解クト云フコトニ付テ、モツト御考
 ニナツタラ宜カラウ、之ヲ胡麻化サウトサレルカラ其指導
 精神ハ附則ニ於テハ全然失ハレテ居ル、玄關ニハ資本家ノ
 喜ビマスヤウナ齒ノ拔ケテ居ル穩ヤカナ犬ヲ出シテ居ルガ
 附則ノ所ニ行クト資本家ニ敢然トシテ嚙付クヤウナ「ブル
 ドツグ」ヲ出ス、斯ウ云フコトニナルカラ、其指導精神ガ
 何處ニアルカ分ラナクナル、ドチラカラモ喜バレヌト云フ
 コトニナル、此點ニ付テハ此間モ同僚諸君カラ隨分御意見
 ガ出テ居ツタヤウデアリマス、其點ニ付テ、大臣ハ何等支
 障ガナイト考ヘテ居ラレマスカ、此點ハ本法施行ニ付テ最
 モ重大ナコト、思ヒマスカラ、他ノ方モ質問ガアルデアリ
 マセウガ、其點ニ付テ明確ナ御答辯ヲ伺ツテ置キマス

○安達國務大臣 其點ハ度々御話ヲシテ、趣旨ハ分ツテ居
 ルト考ヘマスガ、吾々ハ今後ノ組合ナルモノハ、産業別、
 職業別デ、第一條ニアルヤウニシナケレバナラヌト云フコ
 トヲ此處ニキメテアル、併ナガラ今日ノ状態ニアル所ノ組
 合ニ於キマシテハ、是ハ現在ノ儘ニ於テ認メテヤツテ、サ
 ウシテ急激ナ變化ヲ與ヘザルヤウニシテ經過的ニ認ムル、
 尤モ團體ノ規約ナドニ於キマシテ、ソレガ法令ニ違反シタ
 コトガアルトカ公益ヲ害スルヤウナコトガ、アレバ、ソレ
 ハ其規約等ニ付テ變更ヲ命ズルト云フコトデ、其組合ハ穩
 當ナルモノニナル積リデアリマス

○守屋委員 是ハ大臣ガ誤解シテ居ラレルデアラウト思フ
 ノデアリマス、一般ニ之ヲ公認シテ其後デ是正ノ途ヲ講ゼ
 ラレル、其規定ヲ此間私ハ大臣ニ示シテ御答辯ヲ承ツタノ
 デアリマス、第十五條、第十六條、第十七條、第十八條ト、
 斯ウ言ヒマシタ、ソレハ大臣ニモ御分リニナツテ居ルデセ
 ウネ

○安達國務大臣 サウデス、十七條デス、ソレカラ十六條
 モ……

○守屋委員 十八條モサウデセウ

○安達國務大臣 サウデス

○守屋委員 其大臣ノ示サレマシタ第十七條ニハ「労働組

合ノ規約法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ行政官廳ハ
 其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得」トアリマス、法令ニ違反スル
 ト云フモノニハ、先ヅ該當致シマセヌ、後カラドンナ法令
 ヲ出サレルカ知りマセヌガ、現行法令ニハ違反シテ居ナイ
 カラ、ソレデ行クコトハ出來ルモノデハナイ、公益ヲ害ス
 ルナラ、初メカラ認メナイノガ當リ前デアツテ、公益ヲ害
 スルト認メナイカラコノ労働組合法ヲ施行スル時ニソレヲ
 御認メニナツテ居ル、第十七條ノ規定シ之ヲ用キテ一旦公
 認サレタ組合ヲ拘束シテ行カウト云フヤウナコトハ私ハ不
 可能ダト考ヘル、變更ヲ命ゼラレテモ、其變更ヲ聽カナカ
 ツタ時ニハ、大臣ハドウサレル積リデアリマスカ

○安達國務大臣 ソレハ行政執行等ノ法規ニ依ツテサウ云
 フ場合ハ處分スル外ナイト考ヘマス

○守屋委員 行政執行法ニ依ツテ、ドウ云フヤウニ此目的
 ヲ達シマスカ、政府委員ノ御話ハ、此間聽キマシタ、政府
 委員ノ意見ハ分ツテ居リマスガ、大臣ハドウ考ヘテ居ラレ
 マスカ

○安達國務大臣 政府委員ノ意見ハ分ツテ居ル、大臣ハド
 ウ考ヘルカト仰シヤルガ、ソレハ政府委員ノ意見ガ即チ大
 臣ノ意見デアリマス

○守屋委員 ソレナラバ申上ゲマス、是ハ行政執行法ニ依

リ僅ニ科料ノ制裁シカナイノデアル、其規約變更ヲ命ジテ
 モ、向フガ聽カナカツタナラバ、行政執行法ニ依リ二十五
 圓ノ科料ノ制裁ヲ受ケルコトシカ規定サレテ居ナイ、コチ
 ラノ命令ヲ徹底サセル手段方法ト云フモノハ、現ニ缺ケテ
 居ル、規約ノ變更ヲ命ゼラレテ、ソレニ反抗シタ場合ニハ
 唯僅ニ科料ヲ納メレバ宜イノデアル、ソレニ依ツテ此精神
 ヲ徹底出來ルナド、大臣ガ仰シヤルコトガ矛盾デス、アナ
 タハ能ク取締ヲヤルトカ、適當ニヤツテ行クトカ仰シヤル
 ガ、適當ニヤツテ行クトハ出來ナイ、既ニ組合ハ公認シ
 テシマツテ居ル、公認シテシマツテカラ、此十七條ノ規定
 ヲ用ヒテ公益ニ反スルカラ規約ノ變更ヲ命ズル、科料ヲ納
 メサヘスレバ變更ヲ聽カナイデモ宜イ、斯ノ如ク科料ヲ命
 ズルト云フコトハ、所謂適當ニ始末ヲ付ケルト云フコトデ
 ハナイ、其點ヲ如何ニ考ヘマスカ

○安達國務大臣 ソレハ極端ナ話デアツテ、ソレヲ聽カナ
 イ場合ニハ科料ヲ納ムレバ宜イトカ、牢ニ入レバ宜イト
 カ、サウ云フコトハ制裁ガアレバ私ハ取締ハ十分出來ルト
 考ヘマス

○守屋委員 ソレハ驚人ツタ答辯ダト私ハ思フノデアリマ
 ス、一條ニ於テハ將來起ル所ノ組合ノ結成ノ方法ヲ制限シ
 テ、其標準ヲ與ヘテ置イテ、附則ニ來ルトソレヲ輕々シク

抛ダ棄テル、總テノ一般労働組合及ビ聯合ト云フモノハ認
メル、斯ウ仰シヤル、ソレハ非常ナ矛盾デア、公認シテ
カラ後、適當ナ方法ヲ講ズルト仰シヤラレテモ、適當ナ手
段方法ハナイ、此第十八條ニ依ツテ規約ヲ直サナカツタ時
ニハ、解散ヲ命ズルコトガ、出來マスカ内務大臣ハドウ考
ヘマスカ

○安達國務大臣 ソレハ安寧秩序ヲ紊ルト云フ場合ニハ、
解散ヲ命ズルコトヲ辭シマセヌ

○守屋委員 労働組合ノ行爲デスヨ、規約トハ書イテナ
イ、此處ニハチヤント行爲ト書イテアル、「労働組合ノ行
爲安寧秩序ヲ紊ルトキハ」ト書イテアル、サウ云フ規約ノ
上ニ於テ不穩當ナコトガアツテ、ソレニ内務大臣ガ取消ヲ
命ジ、ソレヲ聽カナカツタ、ソレガドウシテ此第十八條ノ適
用ニナリマスカ、私ハサウ解釋スルコトガ出來ナイ、ヤハ
リ内務大臣ハ其說ヲ固執サレノデスカ

○吉田政府委員 私カラ補足シテ申上ゲタイト思ヒマスガ
第十八條ハ「労働組合ノ行爲安寧ノ秩序ヲ紊ルトキハ主務
大臣ハ労働組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得」正ニ御話ノ通り
労働組合ノ行爲デアリマス、第十七條ノ違反ガ直ニ第十八
條ノ労働組合ノ行爲安寧秩序ヲ紊ルトキハ主務大臣ハ労働
組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得ト云フモノニ直グ悉ク該當ス

合ノ形態ヲ認メヤウト云フノデアリマス、其處ニ私ハ本當
ノ内務大臣ノ精神ガアルチヤナイカ、所謂労働者ノ味方ト
シテ考ヘル、労働者ノ結社權ヲ作ル、或ル意味ニ於テハ勞
働者ノ憲章トモ言フベキ労働組合法ヲ作ルト云フ御考ノ内
務大臣デアラレルナラ、附則ノ精神ト云フモノヲ徹底ス
ル、ソレガ本當デアルト考フルノデアリマス、其決心ヲ以
テ労働組合法ニ臨ムト云フコトガ、從來カラノ濱口内閣ノ
精神デアツタ、社會政策審議會ニ於ケル答申ヲ採用シテ、
世ノ中ニ發表シタモノ其精神デア、天下ノ人ガ濱口内閣
ノ労働組合法ニ期待ヲ繋ゲタノモ其精神デア、労働組合
法ト云フモノハ、憲法ノ認メテ居ル結社ノ自由以外ニ、勞
働者ノ求メテ居ル自由ヲ確認シテ呉レルト云フ意味デ労働
者諸君ハ歡迎シテ居ツタノデア、其附則ノ精神ヲ、第一
條ニ於テハ完全ニ拋棄シテ居ラレル、而モソレハ資本家ノ
誤解ニ基クノデア、法文ノ字義問題デハナイ、現在ノ不
景氣現在ノ労働爭議ノ状態ト云フモノガ「バック」トナツ
テ生ジテ來タ、コトデア、此社會的事情ニ拘泥シテ本當
ノ労働組合法ノ精神ヲ失ツタト云フコトハ、何ト言ツテモ
労働組合法ノ重大ナル缺陷デア、其精神ヲ徹底サレル御
考ガナケレバ、私ハ此労働組合法ト云フモノハ値打ノナイ
モノダ、ト考ヘルノデア、此點ニ付テハ私ノ意見デアリ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十一回

ルト云フ意味デ準用サレテ居ルノデハナイト考ヘルノデア
リマス、此第十七條ノ違反、或ハ第十六條ノ違反、ソレ等
ノコトガ原因ニナツテ、或ハ労働組合ノ行爲安寧秩序ヲ紊
ルト云フ場合ガアルカモ知レマセヌ、労働組合ノ行爲安寧
秩序ヲ紊ルニ至ラバ、解散ヲ命ジ得ル、紊ラナカツタ者ニ
對シテハ、無論解散ハ命ジ得ナイ、第十七條ニ對スル違反
ニ付テハ單ニ行政罰ガ付イテ居ルダケダカラ、之ニ對シテ
強制力ガナイチヤナイカト言ハレマスガ、是ハ事柄ノ性質
上、或ル作爲ヲ以テマシテ、ソレガ他人ガ代ツテスルコト
ノ出來ナイ仕事ノ性質デアリマスカラ、是ハ事柄自體サウ
云フ罰ヲ附シテ強制スルコト云フ以外ニ方法ガナイコトナ
デアリマシテ、ソレハ此規定ガ不備ナノデモ何デモアリマ
セヌ、事柄自體左様ナ種類ノ加害行爲ト云フモノハ、ソレ
ハ罰ヲ以テ強制スル以外ニ途ガナイノデアリマス、現在ノ
行政執行ノ罰ガ重イカ、輕イカト云フヤウナコトヲ、行政
執行法ノ問題トシテ論議サレルナラバ、異議ノアルコトカ
モ知レマセヌガ、サウデナイ以上ハ、只今ノ行政執行法ヲ
以テ之ヲ強制スルニ十分ナリト考ヘルコトハ少シモ不當デ
ハナイト思フノデアリマス

○守屋委員 附則ヲ認メル精神ハ、是ハ、労働者保護ノ精
神デア、即チ現ニ存在スル所ノ一般労働組合ノ一切ノ結

マスカラ、大臣ガ御答辯ナラヌカモ知レマセヌガ、併シテ
ナタノ御考ガ第一條ト附則ニ於テスツカリ違ツテ居ル、此
労働組合法ガ鶴の労働組合法、頭ト尾ガ違ツテ居ルト云フ
點ニ於テハ、能ク鶴ニ似テ居ル、鶴の労働組合法、サウ云
フ風ニ世間デモ申シテ居リマスシ、私モサウ考ヘル、ソレ
デモ内務大臣ハ少シモ差支ナイト考ヘマスカ

○安達國務大臣 ソレハアナタノ御見様次第デアリマス
ガ、私ハ此第一條ニ依ツテ労働組合法ハ頗ル反省シタト考
ヘテ居リマス、而シテ現狀ノ組合ヲ、ソレハ又第一條ニ依
テ律スルコトガナクシテ、茲ニ刑罰的ノ規定ヲ設ケテ行ク
ト云フコトガ、是ガ私ハ現在ニ即シテ宜シイコト、考ヘテ
居リマスカラ、其行爲ガ公益ヲ害スルトカ、行爲ガ安寧秩
序ヲ紊ルト云フ場ニハ、之ハ取締ルノガ當然ナ話デ、ソレ
ニ對シテハ私ハ當然ナル處置ト思ツテ居ル、現在ノ組合ヲ
認メタカラ、ソレデレ第一條ハ鶴ニナリハシナイカ、私ハ決
シテ鶴ニナルト思ツテ居ナイ、第一條ハ將來ニ進ムベキ途
ヲ茲ニ明ニシ、ソレデ附則ニ於テハ現在ニ即シテ組合ヲ認
メルコトハ當然ナコト、考ヘマス

○田子委員 私モ此間附則ニ關聯事項デ、順番ガ來ナイ場
合ニ發言ノ御許シヲ得マシタガ、其時ニ開議ニ内務大臣ガ
御出デニナツテ、甚ダ徹底セヌデ終リマシタ、甚ダ残念ニ

思ツテ居リマス、吾々ノザツトシタ附則ノ書方ヲ申シ上ゲ
マスレバ、此組合法ガ發布セラレテ施行期ニナリマシタ時
ニ、本法ニ依テ組合タラントスルモノハ二月以内ニ第二條
ニ掲ゲテアル條項ヲ備ヘテ届出デヨ、斯ウ書ケバ極メテ簡
單ニ濟ムト思フノデアリマスガ、無理ニ法ノ力デ現在ノ組
合ラシイモノヲ此法ニ依ル組合ト見做ス、斯ウ御書キニナ
ル、御認メニナル、内務大臣ノ根本ノ御考ハドウ云フモノ
デアリマスカ、ソレヲ承ツテカラ、段々繰返シテ御尋ネシ
タイト思ヒマス

○安達國務大臣 附則ニ於キマシテハ、斯ル規定ヲ致シマ
シタト云フモノハ、其組合ガ希望スルトカ、否トニ拘ラズ
茲ニ色々ナ規約ガアリマシテモ、其規約バカリニ依テ、之
ヲドウスルコトモ出来マセヌ、是等ノ團體ガ其事實上ノ活
動ニ於テ、労働條件ノ維持改善ヲヤリ、又組合員ノ共同利
益ノ保護増進モ目的トスル、労働者ノ團體デ、聯合團體若
クハ聯合團體デアル時ハ、ソレヲ労働組合ト見做ス、而シ
テ法規ニ於テ適合シナイヤウナコトガアル時ハ、先ニ申し
マシクヤウナコトニ依テ法令ニ違反シ、公益ヲ害スル者ニ
於テハ十七條ニ依テ變更ヲ命ズルコトハ勿論デアル、斯ウ
云フ意味デ其附則ヲ作ツタ所以デアリマス

○田子委員 私ノ趣旨ハ、届出主義ニ依ラズニ、無理ニ法

デ本法ニ依リ労働組合ト見做スト云フ御趣意ハ何故ニ出
テ來タノデアリマスカ、之ヲ御尋ネスル、届出主義ニ依ラ
ズニ、法ノ力デ御認メニナラナケレバナラヌ、其根據ヲ承
リタイ

○安達國務大臣 ソレハ希望シタカラスルトカ、希望シナ
イカラシナイト云フヤウナ譯デナク、一條ニ於キマシテモ
附則ニ於キマシテモ、組合ヲ直ニ之ニ認メテ此法ヲ適用シ
ヨウト云フ考デアアルノデアリマス

○田子委員 之ニ依テ見做サレマス組合ハ、元來ハ本法勞
働組合デヤナイ、所謂放任組合中ニ屬スベキモノナンデア
ル、ソレヲ無理ニ法デ御認メニナル、見做サレル根據ハド
ウモ明瞭ヲ缺イテ居ルヤウニ思ヒマスカモウ一度御話ヲ願
ヒマス

○安達國務大臣 ソレハ段々ニ申しマシタガ、現状ニ即
シ、現状ニ基イテ、ソレニ労働組合ノ基準ヲ與ヘヨウト云
フ考カラ、サウ云フコトニ取扱ツタ次第デアリマス

○田子委員 ドウモアタト問答ヲシテ居ルト、私ハ興奮
シテ、ドウモ卑シイ言葉ヲ時々用ヒマスガ、成べく慎ンデ
ヤリタイト思ヒマス、本會議デ此附則ノ御説明ニ斯ウ仰シ
ヤイマシタ、サウシテソレカラ現在ノ組合ハ非常ニ困ル、
迷惑セラレルト云フ考カラ現在ノ労働組合法ハ經過規定ニ

於テ是ハ同一ノ労働組合ト看做ス云々ト仰シヤイマシタ
ガ、何カ斯ウ認メナケレバ現在本法ニ依リ難キ組合ハ非常
ニ困ルトカ迷惑ヲ感ズルト云フヤウナコトヲ内務大臣カラ
御話ニナツテ居リマスガ、内輪ニ何カサウ云フ迷惑ダラウ
トカ、困ルダラウトカ御推察ヲナサル御考ガアルカドウ
カ

○安達國務大臣 ソレハ今此處デ實際ヤツテ居ル労働組合
ハ、本法ニ依ツテ急激ナ變化ヲ與ヘルコトニナリマスカ
ラ、非常ニ迷惑ヲ感ズルト考ヘマス、ソレデ私ハ經過規定
ニアレヲ認メテヤルコトガ最モ穩當ナリト考ヘタノデアリ
マス

○田子委員 ソレハ内務大臣ガ間違ツテ居ラレルト思ハレ
ルノハ、本法ニ依ツテ組合ト看做サレマシテ、ソレガ假ニ
法人トナツタサウ致シマスルト免責規定ハ此條文ニハゴザ
イマセヌ、サウシテ民法ノ第四十四條ノ適用ヲ受ケマシ
テ、例ヘバ總同盟ノヤウナ組合ガ爭議ニ立嵌ツテ、サウシ
テ工場主、傭主ニ損害ヲ與ヘ時ニ免責規定ガナイカラ、今
總同盟ニ財産ガアルカドウカ知リマセヌケレドモ、假ニ財
産ガアルトシマスレバ、損害賠償ノ責ニ任ジナケレバナラ
ヌ、損害賠償ノ責ニ任ジナケレバナラヌトスレバ、殆ド
「ストライキ」ニ手モ足モ出セナイト云フ形デ、今マデ我

ガ日本ノ爲ニ働イテ來タ者ガ、此法律デ全然抑ヘラレテシ
マフ、ソレヲ迷惑ダラウト仰シヤイマスガ、迷惑ドロコデ
ナイ、キメラレナイ方ガ非常ニ宜イノデアアル、認メラレル
コトガ非常ニ迷惑ナンデス、ソコデ轉倒シテ考ヘテ居ルト
思ヒマスガ、明快ナル御答辯ヲ願ヒマス

○安達國務大臣 私ハヤハリ御話ノヤウナ團體モ認メラレ
ルコトヲ希望シテ居ルト確信致シテ居リマス、其法人ニナ
ルトカナラナイトカハ、何條カニアルヤウニ、組合ノ自由
デアルコトハ勿論デアリマス

○田子委員 ソレデハ進ンデ御尋致シマスガ、假ニ一番大
キイノヲ例ニ取りマシテ、日本労働總同盟ニ付テ申シマス
ガ、此綱領ノ解釋ヲスレバ、内務省ノ指導精神ト全然違フ
ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、若シ規約ニ於テ、本法ノ精
神ニ違背スレバ、所謂法令ニ違反スル場合ハ、取消又ハ變
更ヲ命ズル、之ニ應ジナイ場合ハ行政執行法第五條第二項
ヲ執行致シマシテ、何遍モスル、斯ウ云フ常識ノナイヤウ
ノ御答辯デアリマスルガ、サウナサルトスレバ、ソレモ結
構デアリマセウ、然ラバ此間費用ノ問題ニ於キマシテ、第
十二條ニ關係致シマシテ、組合ハ政治運動ヲ爲シ得ルヤ否
ヤ、社會局長官ハ爲シ得ラレルヤウナ、得ラレナイヤウ
ナ、不得要領デアリマシタガ、内務大臣ハ明瞭ニ本會議ニ

於キマシテモ、此委員會デモ、政治運動ハ宜シクナイト、斯ウ言ハレマシタ、然ラバ日本労働總同盟規約第十條ニ依リマスルト、「本總同盟會員ニシテ男子滿二十五歳以上ノ者ハ社會民衆黨員タルコトヲ原則トス、ト斯ウ書イテアル、即チ經濟團體デアルガ如ク、又政治團體ト密接ナル交渉ヲ持ツタモノデアリマス、組合員ノ資格ニ、社會民衆黨員デアルト言ツテ居リマス、内務大臣ハ之ヲ此組合法ニ依ル組合ト御覽ニナリマシテ、此條項ニ付テハドウ御取扱ヒニナリマスカ

○安達國務大臣 労働組合ガ政治運動ヲ爲スト云フコトニ付キマシテハ、先日モ申シマシタヤウニ、繼續的ニ政黨ト同ジヤウナ行動ヲ爲スト云フコトハ、是ハ認メナイ、ソレハ組合存立ノ目的ニ反スルカラ認メナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ、サリナガラ第一條ノ條文ニアリマス通り、労働條件ノ維持改善、又ハ共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ設定スル手段トシテ、一時的ニ選舉ノ時ニ労働者ニ同情ノアル候補者ニ應援スル、其程度ガ十二條ノ選舉費ヲ出スト云フコトニ違反シナイデ、又ハ労働立法ノ促進ヲ非常ニ主張スル、候補者ニ應援スルト云フヤウナ、一時的ノコトハ、ソレハ差支ナイ、併シ政黨の團體トシテ行動スルト云フコトハ、ソレハ宜シクナイ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リ

マス、今御明示ニナリマシタヤウナ其規約、條文ハドウスルト云フヤウナコトヲ、此處デ御答スルコトハ頗ル早計ト考ヘマス

○田子委員 サウスルト此間、組合ニ於テ政治運動ハ出来ナイト御答辯ニナリマシタノハ御取消シニナリマシテ、第一條ノ目的ノ範圍デアル、政治運動ハ之ヲ許ス、斯ウ解釋シテ宜シイノデスカ

○安達國務大臣 政治運動ヲ繼續的ニヤルノハ、ソレハ宜シクナイ、絶エズ政治團體トシテ行動スルコトハ、宜シクナイ、ソレハ許サナイ、先刻申上ゲタコト、同ジデアリマス

○田子委員 ドウモ大臣ノ御答辯ハ、明瞭デナイノデアリマス、此労働組合ハ、産業團體デアル、經濟團體デアル、爭議ノ場合ニハ、經濟爭議デアル、是ハ御説明ヲ待タヌデモ明瞭ト思ヒマスガ、隨テ此組合ナルモノハ、政治團體デアリコトハ明瞭デアリマス、唯労働組合ハ、政治運動ヲ爲シ得ルヤ否ヤト云フ質問ニ對シテ、内務大臣ガ先日御答ニナツタコトハ、今日ノ御答辯デハ稍々緩和サレタヤウダガ是ハ私ハ後ノ討論スル時分ノ材料デアリマスカラ、ドチラデモ争フト云フコトデナイノデアリマスカラ、明瞭ニシテ戴キタイト思ヒマス

○安達國務大臣

政治團體ト同ジヤウニ、繼續的ニ政治運動ヲ爲スコトハ出来ナイト斯ウ考ヘテ居リマス、唯第一條ノ條件ニアル通り、或ル場合ニ一時的ノ目的トシテ決議ヲスルトカ云フコトハ、即チ第十二條ニ違反セヌ範圍ニ於テハ、ソレヲ認メナイノハ餘リニ酷ダ、併シ政治的團體トシテノ行動ハ、許サレナイ、明瞭デアリマス、無論政治行動ヲ組合其モノガ労働團體トシテ行動スルコトハ宜シクナイ

○田子委員

私ノ問ヒ方ガ悪イカモ知レマセヌガ、此間日本労働總同盟ノ綱領ヲ讀ム所ガ、是ハ認ムルトハツキリ仰シヤイマシタカラ、而シテ一面ニハ政治行動ハイケナイト仰シヤルガ、第十條ヲ讀ンデ見ルト、總同盟ノ會員デ、滿二十五歳以上ノ男子ハ社會民衆黨員デアル、是ガ原則ト決メラレテ居ルノデスカラ、此總同盟ノ労働組合ト云フモノ、性質ノ中ニハ、社會民衆黨ノ黨員デアルト云フノデ、政治的行動ト結付イテ居ル、サウ云フコトヲ御覽ニナツテ、是ハイカヌ、是ハ迷惑ヲ蒙ルカラ労働組合ヲ認ムルノダト仰シヤルコトハ、此重要問題ヲ扱フ場合ニ、餘程輕率ノ御考ト云フコトハ悪イカ知レマセヌガ、餘程御考ニナラナイ言ヒ方デハナイカト思フノデスカラ、本法ヲ施行ナサルニハ重要ナコトデアリマスカラ、此處ヲハツキリシテ

置キタイト思ヒマス

○安達國務大臣 大體ハ今御話ノ通りデアリマス、又労働總同盟ノ規約ノ第何條ガドウ斯ウト云フコトハ、ソレハ後日ニ於テ、此法案ヲ施行スル時ニ考慮スルコトモ遅クナイト思ヒマシテ、私ハ茲ニ假定的ニドウ斯ウト云フコトハ、早計ト思ヒマス、要スルニ政治運動ヲ繼續シテヤルト云フコトハ、是ハ労働組合ニ絕對ニ許スベキモノデハナイト考ヘテ居リマス

○田子委員 私ハ左様ニシマスルコトガ、労働總同盟ニ付テ非常ナ困難ナコトデアルト思ヒマス、社會局長官ハ、規約ヲ改メナケレバ、行政執行法五條ヲ適用シテ二十五圓……

○安達國務大臣 貴族院デ豫算總會ヲ開イテ居リマスガ、今一人モ大臣ガ居ラナイカラ、直ニ大臣ニ出席スルヤウ求メテ來マシタカラ——是ハ出又譯ニ行キマセヌカラ……

○田子委員 私ハ發言中デアリマシテ、二十五圓ト云フ所マデ申上ゲテ居リマシタガ、二十五圓ノ科料ニ處スル、之ヲ何度モヤレルト云フ亂暴ナ御答デアル、組合ヲ認メテ、本法ノ精神ニ合ハナケレバ變更ヲ命ジ、ソレニ應ジナケレバ、何遍モ二十五圓ヲ取ツテ打突ケル、ソレガ安寧秩序ヲ紊ルヤウナ場合ニハ、解散ヲモ命ズルト云フヤウナコト

ハ、日本ノ労働運動史上ニ一大汚點ヲ貽スモノト思ヒマス、私達ハ今マデ審議ヲ進メテ來マシテ、大臣ト質問應答シテ、アナタノ所謂「レール」ニ乗ツテ、來テ油モ熱モ加ハレバ、ボント逃ゲラレル、此間ノ晩モ、與黨ノ諸君ト大臣ノ會合ガアルトカ、翌日ハ閣議ガアルトカ言ツテ退席サレタガ、今亦貴族院ニ御イデニナルト云フ、全體労働組合法ハ労働憲法デアル、日本ト致シマシテハ、過去ノ大正七年カラ大議論ガアリマシタガ、是ハ中々重大ナ法律案デアリマスカラ、サウアツチコツチノ御座敷ニ、コチラカスツボカシテ逃ゲラレルヤウナ態度ヲ執ラズニ、モウ少シ親切ニヤツテ戴クコトハ出來マセヌカ、此間ノ地方制度ノ委員會ノ時ニハ、内務大臣ハ大變御熱心ニ出席サレマシテ——吾々ノ修正案ハ潰レマシタケレドモ、兎ニ角十分「デイスカツション」ガ出來タノデアリマス、此委員會ヲ中座サレト云フコトハ遺憾デアリマスカラ、委員長ニ於テモ、本質ニ入ツテ、討論ニ油ガ乗ツテ來タノデアリマスカラ、此氣分ガ散レナイヤウニ願ヒマス

○安達國務大臣 私モ御希望ノ通りニ致シタイト思ヒマス、只今ノコトハ何度モ答ヘマシタカラ、前ニ御答致シタ通りト御諒解ヲ願ヒマス、而シテ私モ労働組合法案ニ付キマシテハ重大法案ト信ジテ居リマスカラ、無理ヲシテ出席

シテ居リマス、併ナガラ貴族院ノ方デ、今日分科會ヲ午前午後ニ掛ケテ開キマシテ、各分科會モ濟ミマシテ、豫算總會ヲ開イテ、各主査ノ報告ガアル、ソレデ各大臣ガ一人モ居ラナイト云フノデ、各大臣ニ出席セヨト云フコトデアリマス、是ハ當然ナ請求デアルト考ヘマス、ソレデ暫クノ間失禮ヲ致シマス、ソレデ十分御意見ハ拜聴致シマス、同ジコトヲ何度モ繰返スコトハ決シテ迷惑トハ認メマセヌ、今行キマシテ——豫算委員長ニ斷リマシテ、成ルベク許シテ得テ直グ來マスカラ……

○守屋委員 此間カラ本法ノ二十七條「陸海軍軍人軍屬ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ労働組合法ノ組合員ト爲ルコトヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得」ト云フ條文ニ付キマシテ、勅令案ガ纏ツテ居ルナラバ御示シテ願ヒタイ、纏ラナイ際ニハ、各省ノ意見ヲ御纏メテ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、アレハ如何ニナリマシタカ

○吉田政府委員 其點ニ付キマシテハ、大體陸海軍並ニ内務省ノ三省ノ間ノ協議ガ纏マリマシタノデアリマス、大體纏マリマシタ結果ヲ御報告申上ゲタイト思ヒマス、第二十七條ニ於テ、労働組合法ノ組合員ト爲ルコトヲ禁止セラレル軍人軍屬ノ範圍ハ、大體現役中ノ陸海軍人、現役デアリマシテモ、マダ入營シナイ者ト、歸休中ノ者ハ除ク、是ガ

主要ナルモノデアリマス、ソレト同様ノ事情ニアル者トシテ、戰時事變ニ際シテ召集中ノ者及ビ兵役法第五十五條第二項ニ依ツテ、警備其ノ他ノ必要ニ因リ召集セラレタル者、第三ハ志願ニ依ツテ國民軍ニ編入セラレタル者、ソレカラ其次ハ、兵籍ニアル陸海軍學生生徒、是モ現役ニ準ズル者ト致シマスソレカラ在職中ノ、陸海軍軍職ニアリマス軍屬ハ、陸海軍ノ文官並ニ文官待遇者及ビ宣誓ニ依ツテ軍屬トセラレル者、大體此範圍ニ致サウト云フコトニ、三省ノ間ノ打合せガ纏ツテ居リマス

○守屋委員 ソレハ範圍ダケヲ御決メニナツタダゲデアリマス、所謂軍人軍屬ノ範圍ダケヲ御決メニナツテ、其禁止制限ニハ何等規定ヲ御設ケニナリマセヌカ

○吉田政府委員 只今申上ゲマシタノハ、二十七條ニ依リマシテ、労働組合員タルコトヲ禁止制限セントスル者ノ範圍デアリマス、制限ニ付キマシテハ、平時召集中ノ者ニ付テ何等カノ制限ヲ加ヘル必要ガアルカドウカト云フコトヲ、陸海軍當局デ目下考究中デアリマスガ、是ハ廣イ問題デモアリマスカラ、其點ハマダ決ツテ居リマセヌ、或ハ何等制限ナシニ、此禁止ダケデ行カウカ或ハ何等カノ制限ヲ加ヘヨウカト云フコトモ、マダ決ツテ居リマセヌ、主トシテ平時召集中ノ軍人ニ付テノ問題デアリマス

○守屋委員 今承リマスト、制限スルコトハ止メルカモ知レヌト云フヤウナ御話デアリマシタガ、サウスルト此法規ヲ作ルニハ、禁止制限ヲ廣ク規定シテ置ケバ宜シイト云フコトデアツテ、制限スルト云フ必要ハ、其當時御認メニナラナカツタヤウニ見エルノデスガ、サウ云フヤウニ考ヘテ宜シイデスカ

○吉田政府委員 當初カラ加入ノ禁止ガ主ニ問題ニナルダラウト云フコトハ豫想セラレテ居ツタノデアリマスガ、申スマデモナク禁止ヨリハ、ズツト輕イ制限ノ如クナルノデアリマスルガ、制限ハシナイ積リダケレドモ、茲ニ入レテ置イタト云フノデアリマセズシテ、禁止ト云フモノデナクシテ、制限ト云フ意味ノコトモ問題ニナシ得ルト考ヘテ入ツテ居ルノデアリマス、普通ニ禁止制限ト並ベテ置キマス場合ニ於キマシテハ、只今申上ゲマスル通り加入ノ禁止或ハ加入シテ居ルモノ、制限、或ハ加入ノ制限ト云フヤウナコトモ想像シ得ルモノト思フノデアリマスルガ、禁止制限ト別々ニ、別ノ觀念トシテ、マルデ違ツタ制限方法トシテ書クト云フ意味デナシニ、禁止制限ト云フ一ツノ術語トシテ、初メカラ入ツテ居ルノデアリマス、即チ斯ウノ云フ軍人軍屬ハ、労働組合ノ組合員トナルコトガ出來ナイト云フコトハ禁止デアリマスケレドモ、禁止制限ト云フ一

ツノ觀念デアル、斯ウ云フコトニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○守屋委員 只今政府委員が御讀ミニナツタゲデスカ、協議ノ纏ツタモノハ其外ニ尙ホ考究ヲスル點ガアリマセヌカ

○吉田政府委員 今ノ範圍ダケデアリマス
○守屋委員 ソレヲ恐縮デスガ刷ツデ頂戴致シタイト思ヒマス

○吉田政府委員 承知致シマシタ
○添田委員長 大臣ハ今貴族院ニ参リマシタカラ、其間約一時間、五時マデ休憩致シマス
午後三時五十三分休憩

午後四時開議

○添田委員長 先刻内務大臣が貴族院ニ行カレタニ付キマシテ、一時間ノ休憩ヲ宣告致シマシタガ、内務大臣ハ貴族院ノ方ニ能ク話ヲシテ、直ダニ又來ラレマシタカラ、是カラ繼續シテ會議ヲ開クコトニ致シマス、田子君先刻ノ續ヲ一應御願ヒ致シマス

○加藤委員 田子君ノ質問ニ關聯シテ二三點内務大臣ニ御尋致シタイ

六〇〇

○添田委員長 田子君宜シウゴザイマスカ
○田子委員 讓リマス

○加藤委員 内務大臣ハ、労働組合ガ政治運動ヲ爲スコトニ付テ、原則トシテ之ヲ御認メニナル積リデアリマスカ、如何デアリマスカ

○安達國務大臣 政治運動ヲ繼續的ニ爲スコトデアツタナラバ、ソレハ宜シクナイ

○加藤委員 私共ハ内務大臣ニ建テ前ヲ御伺ヒ致シテ居ルノデアリマシテ、立案ノ趣旨ガ、政治運動ヲ爲スコトヲ禁ズル意味デアリマスカ、或ハ爲スコトヲ原則トシテ、已ムヲ得ナイ時ニハ之ヲ、禁止スル意味デアリマスカ、内務大臣ハ繼續的ニヤレバイケナイノダ、ソレデハ質問ト答辯ト繋ギガ取レマセヌカラ、重ネテ御伺ヒ致シマス

○安達國務大臣 労働組合ハ、産業團體、經濟團體トシテアルノデアリマス、政治的團體デハナイノデアリマス、ソレガ政治ノ基本團體トシテヤルト云フコトハ、ソレハ認メナイ、一時的ノ先程御話ノヤウナコトハ、ソレハ差支ハナイ、併シ政治團體トシテ繼續シテヤルト云フコトハ、ソレハ認メナイ、明白ニ私ハ御答ヘ致シテ居リマス

○加藤委員 定ニ明白デアツタノデアリマスガ、私ニハ諒解致シ兼ネマス、政治行動其モノヲ目的ニスレバイケナイ

ト、再三御繰返ニナルノデアリマスガ、政治團體ト云フコトハ、政黨ノ意味デアリマスカ、私ノ諒解スル所ニ依リマス

ト、内務大臣ハ政治行動其モノヲ目的トシテハイケナイト仰シヤツタヤウニ思ヒマスガ、ソレナラバ其意味ガハツキリ分ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ内務大臣ニ承リタイノデハナイ、内務大臣ハ労働組合ガ政治運動ヲスルコト及ビ所謂産業團體トシテノ或種ノ行動ヲスル、産業團體トシテノ行動ヲスルト云フコトヲ御認メニナツテ居リマスガ、政治行動ヲ始メレバ、直グ不穩當デアル、政治闘争、ソレカラ經濟運動、即チ經濟闘争、之ヲハツキリ御區別ニナルコトガ出來マスカ承リマス

○安達國務大臣 私ハ大體ニ於テ、政治運動トカ、闘争トカ、政治問題トカ云フコトハ區別シ得ラレト考ヘマス、要スルニ政治團體トシテ、經濟的ノ運動ヲスレバ宜シクナイ、是ハ認メナイ、是ハ私ハ明瞭ニ分ツテ居ルト思フ、一時的ノ婦人團體ガ、婦人參政權ノ運動ヲスルコトハ、政治團體トハ認メマセヌ、サウ云フコトヲ社會デハ一般ニ認メテ居ル、ソレト同シコトデ、労働組合ガ労働條件ノ維持改善ノ爲ニ何カ一時的ニ動イタ、ソレヲ直ニ政黨ダト云フヤウニ見ルコトハ慘酷ダト思ヒマス

○加藤委員 内務大臣ノ政治團體トシテト云フ御言葉
衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十一回

ハ、政治上ノ結社デアリマスカ、承ツテ置キマス

○安達國務大臣 無論サウデアリマス

○加藤委員 政治上ノ結社デナケレバ、政治運動ヲシテモ宜シイト云フ御趣意デアリマスカ

○安達國務大臣 政治結社デナケレバ運動シテモ——ドウ云フ意味デスカ

○加藤委員 アナタノ團體ト仰シヤルノハ、例ヘバ社會民衆ヲドウトカ、其政治上ノ結社デヤルノハイカヌト仰シヤルノデアリマスガ、組合其モノガ政治運動ヲヤツテモ宜シウゴザイマスカト云フノデアリマス

○安達國務大臣 労働組合ガ、ソレガ政治行動ヲ爲スコトハ宜シクナイ、組合員個人ガ政治團體ニ入ツテ運動スルコトハ少シモ差支アリマセヌガ、併ナガラ労働組合トシテ繼續的ニヤルコトハイケナイ、斯ウ云フノデアリマス

○加藤委員 労働組合トシテ政治的行動ヲスルノガイケナイイト云フ意味デアリマスカラ、内務大臣ニ改メテ伺ヒタイノハ、労働組合ノ爲ス行動ニシテ、所謂言葉ハ不穩當デアリマスクレドモ、經濟闘争ト政治闘争ト、内務大臣ハドウ云フ標準ニ區別ニナリ、サウシテソレヲ御取締ニナルノデアリマスカ

○安達國務大臣 ドウ云フ標準ト云フト政治的ノ事ヲ連續

六〇一

的ニヤルコトハ宜シクナイ、私ハ政治的ノ行動ヲ繼續的ニヤルコトガイケナイ、是ハ明確デ、何度繰返シテモ同ジコトデアリマス

○加藤委員 内務大臣ハ物ヲ無難作ニ御取扱ニナツテ居ルガ、サウ云フニツニ分ケルヤウナ御答辯ヲ爲サルト吾々諒解シ兼ネマス、ソレデハ少シ方面ヲ變ヘマシテ承リマスガ、附則ニ依ツテ現在アル労働組合ガ、所謂本法ニ依ル労働組合ト看做サレルコトニナルト、御認メニナルノデアリマスカ、サウナリマスト從來アリマシタ既存ノ組合ガ、所謂綱領トシ或ハ何ト云ヒマスカ、方針トシテ今マデ運動ヲシテ参リマシタ事柄ニ付テ、私ハ例ヲ舉ゲテ申上ゲマスガ、之ニ付テアナタハ、本法ガ通過後適用スル時ニナツタラ考慮スルノデアルカラ、サウ云フ將來ノ事ヲ今答辯スル限リデナイトオ逃ゲニナル、私ノ申シテ居リマスノハ、今茲ニ讀ミタイト思フガ、丁度全國労働組合同盟ノ運動方法ニ付テ集メタ記事ノ拔萃ヲ申上ゲマス、大衆黨系ノ團體デアリマス、此組合ノ主張スル所ニ依リマスト、政治運動ト所謂經濟運動トハ、全然分離出來ナイト云フ旗印ヲ掲ゲテ、サウシテ個々ノ方針ヲ明カニ示シテ居ル、社會局ニモ當然オアリカト思ヒマスガ、斯ウ云フ言葉ヲ申シテ居リマス、「益々激化シ行ク不安動搖ノ裡ニ投出サレテ急速ニ戰

闘化シツ、アル労働大衆ニ對スル日常闘争ノ激發、就中主要闘争點(主要産業大工場鑛山等ノ如シ)ニ對スル計畫的闘争ノ遂行ニ依ル無組織大衆ノ獲得」斯ウ云フ見出シヲ掲ゲテ、又之ヲ註釋シテ「政治闘争ト經濟闘争トノ交互的結合ニ依ル大衆ノ獲得」斯ウ云フ文句ガアリマス、「即チ政治的煽動ニ依ツテ闘争ニ動員セラレタル労働大衆ヲ絶エズ職業別ニ編成シ労働組合ニ訓練ヲ與ヘルコト」其次ニハ「團體協約權、工場委員會、其他共済施設ノ積極的利用、我國ノ労働組合運動ハ今ヤ労働組合法ノ制定ヲ契機トシテソノ大衆的基礎ヲ急速ニ擴大スベキ見透シヲ有スル、カ、ル見透シハ同時ニ資本定階級ヲシテ御用組合乃至協調組合ノ保護獎勵ニヨリ未組織大衆ノ戰闘的進出ヲ阻止セントスル計畫ヲ豫想セシメル、カ、ル時我等ハ工場、鑛山、職場ニ於ケル資本家階級ノ策動基本トナルベキ團體協約權、工場委員會其ノ他共済施設ニ對シテ、階級的立場ヨリ割出サレタル一定ノ方策ヲ以テ積極的利用ノ態度ヲトルコトヲ絶對ニ必要トスル」ソレカラ労働争議ヲ所謂闘争ト云フ言葉ヲ吾々ハ用ヒマセヌガ「争議闘争ノ方針」ト云フ言葉ヲ用ヒテ居リマス「現段階ニ於ケル労働争議ハ資本家ノ産業合理化ニヨリ解雇、賃銀値下げ其他ノ労働條件ノ改悪ニ對抗シテ起ツ労働者ノ受動的争議ヲ以テソノ主要ナル特徴トス

ル失業ト労働不安ヲ背景トスル労働大衆ガ、産業合理化ヲ反撥セントスル争議ハ今ヤ未曾有ノ數的激増ト質的深刻化ヲ示シテ居ル、ダガ從來カ、ル労働大衆ニ對シテ殆ド何等ノ激發方針ガトレナカツタタメニ、争議ハ多クハ、アワタマシキ受動的結果ニ終ツタ、我等ハ今後常ニ産業ト各工場ニ於ケル争議ノ波ヲ正確ニ豫見シ、大衆ノ闘争ヲ激發シナケレバナラナイ」ト言ツテ居ル、ソレカラ少シ抜キマシテ「政治運動ノ方針」ト云フ題デ「凡テノ經濟闘争ハ究極スル所政治闘争デアアル」ト云フ見出ヲ掲ゲテ「今ヤ帝國主義時代ニ於ケル階級闘争ハ政治闘争ニヨツテ綜合統一セラレル過程ヲ急速ニ歩ミツ、アル、今日労働組合運動ガ政治闘争ヘ進出スル過程ハソノ一ツデアアル、コノ過程ハ我國ニ於テハ、労働組合ノ政治的職能ノ分化ト労働者農民小市民ノ政治的進出ニヨル共同戦線黨ノ確立ノ過程ト合流シテ進出シタ、ダガ共同戦線黨タル大衆的政黨ガ労働階級ノ政治的利害ヲ代表スル日常闘争體トシテ確立シタコトハ、労働組合ガ政治闘争ヲナスコトカラ脱脚スルコトハ斷ジテナイ、否反對ニ益々労働組合ノ政治闘争ニ對スル明確ナル積極的方針ノ確立ヲ必要トスル、而シテコノ重ナル點ハ左ノ如クデアアル」以下略シマス、斯ウ云フ事ガ現在ノ組合ニ於テ、之ヲ從來カラ其方針トシ主義トシ「スローガン」トシテ掲

ゲテ行動シテ參ツタノデアリマス、内務大臣ハ斯ウ云フモノニ對シテ、ドウ云フ御考デ取締ヲナサルノデアルカ此儘御認メニナリマスカ、是デモ政治闘争、經濟闘争ト云フコトヲハツキリ分離シテ御考ニナルコトガ出來マスカ承リタ

○安達國務大臣 今御讀上ゲニナツタノハ、其團體ノ意見デアリマスガ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、此附則ニ於テ、現在ノモノヲ認メル、併ナガラ此法案ヲ實施スル場合ニ當リマシテ、其處ガ政治ノ働キト思ヒマス、法律的ニ取締ヲスル前ニ於テモ、色々ノ手段ガ講ゼラレルト思ヒマス、ソレデ私ハ何處カラ見テモ不穩當ト思フヤウナ意見書ヤ規約ノヤウナモノハ、其箇所ヲ修正サセルコトヲ第一ト致シタイ、ソレデモ餘程話ハ纏マルト思フ、必ズシモ法律ヲ適用シテ罰シナクテモ、其前ニ政治ノ働キデ、穩健中正ニ修正スルコトハ出來得ルト思ヒマス、勿論ソレヲ聽入レザルモノニハ、ソレコソ先刻來繰返シタ行政執行法ノ處分モアラウシ、ソレデモ尙ホ肯カナイ時ニハ、其時ト場合ニ依ツテ考慮シナケレバナラヌデセウガ、十八條ノ適用モ出來ル、十六條ノ適用モ出來ルノデアリマスカラ、其前ニ於テヤルコトガ政治家ノ活ケル仕事デアルト考ヘマスカラ、豫メ此處デドウスルトカ、斯ウスルトカ云フヤウナコトヲ確定的

ニ申上ゲナクテモ、若シ法規ニ違反シ又穩カナラザルコト
ガアツタラ、今御話スルヤウナ手段方法ヲ執ツテモ、之ヲ
軌道ニ載セルコトガ出來ル、故ニ本案ガ通過シタ曉ニ於テ
モ已ムヲ得ザル時ハ此法文ニ依リマスガ、先ヅ法規ニ依ル
前ニ、吾々ノ働キ、吾々ノ努力デ今マデノ團體ノ頗ル不穩
ナ文字等ヲ用ヒルモノモ、餘程是正スルコトガ出來ヤウト
私ハ信ジテ居リマス

○加藤委員 内務大臣ハ、何カ行政處分デモナサルコト、
法律ノ適用トヲ御間違ニナツテハイケマセヌ、アナタガイ
ツ迄モ内務大臣デ居ラツシヤルトハ思ヒマセヌガ、法律ハ
將來生キテ行クノデアリマシテ、法律ノ精神ト、法文ノ文
理解釋——理論解釋トニ依ツテ、法律ハ適用サレルノデア
リマスカラ、私ハ公平ニヤリマス、私ハ勉強シテヤリマス
ト云フコトデハ、説明ニハナラヌト思ヒマス、併シソレハ
内務大臣ハ意見ノ相違ダト仰シヤルデセウガ、ソレデハ重
ネテ伺ヒマスガ、労働組合ニ對スル取締法規ハ、私ガ申ス
マデモナク總テ、九ツノ法律デアラウト思ヒマスガ、即チ
治安維持法、治安警察法、行政執行法、本法ニ依ル取締、
ソレト警察犯處罰令、労働争議調停法、ソレカラ出版法、
銃砲火藥類取締法、刑法、是ダケダト思ヒマスガ、ソレデ
取締ツテ參リマシタ、其中ニ於テ今ノ労働組合ガ、兎ニモ

角ニモ今日マデ存在シテ居ツタノデアリマスガ、是ハ差支
ナイトシテ、御認ニナツタノデアリマスガ、如何デアリマ
スカ

○吉田政府委員 大體今御示シニナツタモノデ、労働運動
ニ對シテ適用スル法律命令ヲ御網羅ニナツタヤウニ考ヘマ
ス、マダ外ニモアルカモ知レマセヌガ、大體ソレ位ニ存
ジテ居ルノデアリマスガ、今日マデ労働組合ノ運動、或ハ
規約等ニ對シテ、例ヘバ治安警察法ヲ適用セラレテ、或種
ノ結社ガ禁止サレタト云フヤウナ事例ハアツタノデアリマ
スルガ、今御讀上ゲニナリマシタノハ、兎ニ角警察ノ方面
ニ於キマシテ、何等取締ヲ受ケテ居リマセヌコトデアリマ
スルガ、警察當局ノ見ル所、之ヲ以テ治安ニ害アリ、或ハ
刑法ノドレカノ條項ニ觸レルト云フ認定ヲ致サナカツタコ
トハ事實デアリマス、併ナカラ是マデノ規定ノアリマスル
モノ、外ニ、今回ノ労働組合法トシテハ、組合ノ規約中、
或ハ決議或ハ行為等ガ、或ハ公益ヲ害スル、或ハ法令ニ直
チニ反クト云フヤウナ場合ニ關スル處置ヲ、警察方面カラ
ノミデナク、労働組合トシテ豫想致シマシテ、ソレ等ニ對
ルス處置ヲ定メテ居ルノデアリマスルカラ、今マデノ規定
ニ依ツテ取締ヲ受ケナカツタモノニ於キマシテモ、組合法
ノ見地カラハ組合法ノ規定シテ居リマスル取締法ノ適用ヲ

受ケルモノガアリ得ルコト、考ヘテ居リマス、只今マデア
リマスルモノデ、放任セラレテ居マスルモノハ、是ハ此地
方官憲ナリ、或ハ警察官憲ナリニ於キマシテ、法ニ悖ル所
ナントシテ、マア今日マデ參ツテ居ルト言フ外ハナカラウ
ト思ヒマス

○加藤委員 内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒマスルガ、内務大臣
ハ、労働運動ヲシテ穩健中正ナラシムル一定ノ基準ヲ與ヘ
ル、洵ニ結構ナ御方針デアリマスガ、サウ致シマスルト將
來取締ノ方針ニ付テ、嚴重ニナルノデアリマスガ、或ハ
比較的緩慢ニナルノデアリマスガ、御方針ヲ伺ツテ置キ
マス

○安達國務大臣 緩慢ニナルトカ、嚴重ニナルトカ云フコ
トハアリマセヌ、軌道ヲ逸シタヤウナコトガアツタナラ
バ、公正ニ取締リマス(加藤委員「格別嚴重ニナリマセヌ
カ」ト呼フ)軌道ヲ逸スル行為ガアツタラ、公正ニ取締リ
マス、カラソレハ見様次第ハ嚴重ト云フコトニナルカモ
知レマセヌ、是ハ組合運動ノ性質次第デアリマス、ソレカ
ラ今日デモ組合運動ガ非常ニ惡化シテ、イツカモ御話シタ
カト思ヒマスガ、組合運動デナクシテ、一種ノ極端ナル共
産思想ミタイノコトハ、是ハ組合運動ヲ背景ニシテ、組合
員ヲ煽動シテ、サウシテ組合員ヲ惡化セシムル、斯ウ云フ

コトハ思想取締ノ方カラモ、サウ云フ運動ハ嚴重ニ取締ツ
テ居リマス、ソレヲ労働者側ノ方カラハ、内務大臣ガ彈壓
スルナド、言ハレテ居リマスケレドモ、私ハ彈壓デモ何デ
モナイ、ドンナ非難ヲ受ケテモ、サウ云フ性質ノ惡イモノ
ハ嚴重ニ取締リタイト思ヒマス

○加藤委員 私ハ取締ガ寛大ニナルコトヲ希望スルトカ、
或ハ嚴重ニナルトカ云フコトヲ嫌フト云フノデアリマセ
ヌ、内務大臣ノ方針ヲ承ツテ居ルノデアリマスカラ、左様
ナ御答辯デハ私洵ニ諒解致シ兼ねマス、從來只今讀上ゲタ
モノガ組合トシテ存在シテ居ツタノデアアルガ、内務大臣ノ
御答辯ニ依リマスルト云フト、本法ニ該當スルコトアラバ
之ヲ取締ルコトアルベシト、斯ウ仰シヤルノデアリマス
ガ、サウスルト從來ヨリモ取締ガ嚴重ニナルト云フコトダ
ケハ、御認メニナリマスガ

○安達國務大臣 此組合法ガ制定セラレタ曉ニ於テハ、私
ハ非常ニ正シクナルト思ヒマス(加藤委員「ソナコトヲ
聽イテハ居リマセヌ、嚴重カ否カト云フ問題、外ノコトヲ
私聽イテ居ルノデアリマセヌヨ」ト呼フ)ソレデ、嚴シ
クスト云フコトデモナイノデス、此法規ニ依ツテ行キマ
スカラ、ソレデ組合運動ノ行為ガ亂暴ニナルトカ云フコト
ニ對シテハ、相當ノ處置ヲスルコトガ此十六條十七條十八

條ニ明瞭デアリマス、此組合法が出来タカラ、殊更ニ嚴重ト云フ意味ガ分リマセヌガ、正シクヤハリ組合法トシテ取締ツテ行クト云フコトニナリマス、手心トカ何トカ少シモアリマセヌ、ソレデ或ル意味ニ於テハ、組合ガ經濟爭議的ニ正シク事ヲシサヘスレバ、非常ニ安心シテ經濟爭議ヲ爲シテ宜シイ、併ナガラ其正シカラザルコトヲスル時ニハ、此法規ニ依ツテモ取締ルシ、其他ノアナタノ列舉サレタ所ノ法規ニ依ツテモ取締ラザルヲ得ヌデアリマス

○加藤委員 話ハ少シ戻リマスガ、内務大臣ハ、サウスルト此經濟的行動ト政治的行動ノ區別ハ、出来テ見ナケレバ分ラヌ、理論ヨリモ、サウ云フ色々ナ實例ヲ見セケラレナケレバ分ラヌ、斯ウ承ツテ宜シウゴザイマスガ、本法適用後ニ定メサヘスレバ宜シイノデ、内務大臣ノ意見デハ、サウ云フコトハ豫メ假令抽象的デアツテモ申サナイト云フノデスカ、私ハ實在ノ組合ノ規約ヲ讀ムゲルコトハ、アナタニ御迷惑デアラウト思ヒマスカラ、抽象的ニデモト思ツタノデスカ、サウ云フコトハ私ハ區別ハ出来マセヌト内務大臣ハ御答ヘニナルノデアリマスガ、是ハ念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○安達國務大臣 私ハ經濟的運動デアツタナラバ宜シイシ、政治的ノ行動ハ宜シクナイト云フコトハ、抽象的ニ明

瞭ニ言ツテ居リマス(加藤委員「サウ云フ風ニ分ケル譯ニ行カナイ」ト呼フ)ソレハ私ハ經濟的ノ行動ト云フモノガ産業的、經濟的ノモノデアラナラバ、此労働法ヲ適用スル、政治的行動ヲ繼續シテヤルコトハ、ソレハ宜シクナイ、ソレデ區別シテ行カウト云フコトデアリマス

○加藤委員 ソレデハ是マデノ組合モ、本法ニ依ツテ見做サレル、從來例ヘバ労働爭議ニ付テノ所謂其運動ガ過激デ、アナタノ言葉ヲ拜借シテ言ヘバ、是ハ過激デアツタカモ知レマセヌガ、例ヘバ今此處デ讀ムゲマスルガ、東電「ストライキ」ノ時ニ、所謂緊急指令ト云フモノガ日本總同盟カラ頒布サレテ居リマスルガ、此中ニ書イテアル文句ヲアナタハ御讀ニナツタコトガアリマスルカ「赤色自衛團ヲ各車庫ニ確立シロ」或ハ「革命的ストライキ委員會ヲ車庫カラ公選シロ」或ハ「産業合理化ニヨル職首賃金低下絶對反對」「日本共產黨萬歳」「眞ノ労働者ノ新聞」斯ウ云フヤウナ指令ヲ出シテ居リマスルガ、斯ウ云フ行動ヲシテ居ル組合ハ差支ナイト御認メニナリマスガ

○安達國務大臣 ソレハ皆抑ヘテ禁止シテ居ルノデアリマス
○加藤委員 抑ヘルコトハ宜シイ、私ハ之ヲ頒布シタコトヲ、内務大臣ハ御認メニナリマスガ、斯ウ云フ行動ヲシテ

居ル組合ノアルコトヲ御承知デアリマスカト云フコトヲ聽イテ居ル、ソナナ警保局ノ圖書課ノヤウナ話デハナイ……

○安達國務大臣 ソレハ警保局ノ——警視廳ノ方ノ關係デハアリマセヌガ、其行爲ガ安寧秩序ヲ紊ス時ハ、ソレハ直チニ相當ノ處分ヲスルコトヲ考ヘマス、尙ホ御讀ミニナツタモノハ、ソレハ、愈々頒布ヲスルト云フ時ニ差押ヘタモノニ違ナイト云フコトデス

○加藤委員 内務大臣ハ横ヲ向イテ居ラレルカラ困ル、聽イテ下サイ斯ウ云フ印刷物ヲ——内務大臣能ク聽イテ下サイ、斯ウ云フ印刷物ヲ頒布シタコトヲ御取締ナサイマシタカト云フコトヲ聽イタノデハナイ、斯ウ云フ印刷物ヲ頒布スル、其所謂労働運動ヲスル——内務大臣、聽イテ下サイ、其労働運動ヲスル組合ハ、本法施行後ヤハリ御認メニナル、斯ウ云フ御考デアリマスカドウカ、之ヲ承リタイノデアリマス

○安達國務大臣 ソレハ斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレハ總同盟ナドノ配ツタモノデハサイサウデス、ソレハ全國協議會デ配ツタモノダサウデアリマス、其團體ハ認メテ居ラヌノデアリマス

○加藤委員 サウ仰シヤルナラ讀ミマスガ、日本労働總同盟東京電氣従業員組合ト書イテアルノハ、是ハドウ云フ譯

デスカ、ソレデモ違フト仰シヤイマスガ、違ヒマスガ

○安達國務大臣 ソレハ何カ間違ツテ居ルデアラウト思ヒマス、前ニモ御話シタ通りニ、組合以外ノ人ガ色々ナコトヲシテ印刷物ナドヲ、組合ノ名ヲ以テ配付スルト云フコトモアリマスカラ、一概ニソレヲ以テ、其團體ノ行爲ト斷定スルコトモ出来マセヌカラ能ク調ベテ置キマス

○加藤委員 ドウモ何デモ御否定ニナレバ仕方アリマセヌ、書留郵便デヤツテモ御受取ニナラナケレバ仕方ガナイ、私ハ此事ガアツタカナカツタカト云フノデハナイ、斯フ云フコトヲ労働運動ノ手段ニ供スル労働組合ハ、果シテ本法ニ依ツテ無條件ニ御認メニナリマスカドウカト云フコトヲ承リタイ、ソナナ枝葉末節ノコトヲ聞イテ居ルノデハナイ

○安達國務大臣 ソレハ其行動ガ安寧秩序ヲ紊スト認メタ如キ時ハ、十八條ニ依ツテ解放ヲ命ズルコトモアリマス、果シテ今ノ「ピラ」ヲ總同盟ガ出シタカドウカト云フコトヲ斷言スルコトモ出来マセヌカラ、ソレハ調ベテ御答致シマス

○加藤委員 内務大臣ハ十八條ニ依ツテ解散ヲ命ズルト言ハレマスガ、是ハ労働組合トシテ、今後設ケラレタルモノニ付テ、本法ニ依ツテ労働組合ト看做サレタモノガ斯様ナ

事ヲスレバ、是ハ十八條ノ適用スルコトハ當然デアリマスガ、從前斯様ナ團體デアツタモノヲ、本法ノ附則ニ依ツテ労働組合ト看做サレマスカドウカ、今後ソナ事ヲスレバ十八條デ取締ルト云フコトハ、ソレハ當リ前ノ事デアリマス、事後ト事前トノ違ヒマスカラ御取違ヒノナイヤウニ願ヒマス

○吉田政府委員 少シ話ガ紛糾シテ居ルヤウデスガ、當然安寧秩序ヲ紊ス種類ノ組合ト云フモノハ、ソレハ寧ろ組合法ノ適用セラレル前ニ於テ治安警察法ノ方デ、安寧秩序ヲ紊亂スル結社ハ禁止セラレル建前ニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ結社ハ存在シ得ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、今日迄結社トシテ存在シ得テ居ルモノデアツテ、第一條ノ目的タル労働條件ノ維持改善、其他ノ事ヲヤツテ居リマスモノハ、當然附則デ組合トシテ認めラレルノデアリマス、若シ御例示ニナツタサウ云フ労働條件ノ維持改善、其他ノ事ヲ目的トシテ居ツテモ、安寧秩序ヲ紊亂スルコト云フヤウナモノニ對シマシテハ、是ハ現在ニ於キマシテモ、治安警察法ノ働キニ依ツテ結社ノ禁止ヲ命ジ得ルノデアリマス、又事實ソレニ該當スルモノハ解散ヲ命ズラレテ居ル筈デアリマス、今例ニ舉ゲラレマシタ全協系ノ組合ノ如キハ、警察關係ニ於テ認めラレテ居リマセヌヤウニ承ツ

テ居リマス

○加藤委員 私共ハ左様ナ労働組合ヲ、如何ニシテ取締ツタカト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマセヌ、斯様ナ労働運動ヲシテ居ル労働組合ヲ、無條件テ看做サレルモノカドウカト云フコトヲ聞イテ居ル、御取締リニナツタカドウカト云フノデハナイ、取締ルノハ當リ前デアリマス、役所ノ飯ヲ食ツテ居ルノデアルカラ……斯ウ云フノ無條件テ看做サレルカドウカト云フノデス

○吉田政府委員 労働組合トシテ認めラレルヤ否ヤト云フコトハ、第一條ノ適用アリヤ否ヤト云フコトニナルノデアリマス、併ナガラ只今御話ニナツタ如キモノハ、表向キドウ書イテアリマシテモ、第一條ノ労働條件ノ維持改善及ビ組合員ノ共済修養、其ノ他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスルト云フコトニ當ラナイモノガ無論アリマセウ、ソレ等ノ當ラナイモノハ、認めラレナイシ、當ルモノハ認めラレルノデアリマス

○加藤委員 ソレデ能ク分リマシタ、ソレナラ斯ウ云フノハ直グニ——彈壓ト云フコトハ不穩當デアリマセウガ解散ヲ御命ジニナルノデアリマスカ、印刷聯合會ノ如キハ、規約ノ中ニ「資本家ト労働者トノ間ニ共通ノ利害ナルモノノ絶對ニ存在セズ、唯兩者間ノ絶エザル利害ノ衝突アルノミ、

此意識ノ下ニ政治的團結ヲ爲ス」云々ト書イテアリマス外ニ色々アルガ、第一條ノ如キ文句ハ、十分ノ一モアリマセヌ、斯ウ云フノハドウ云フコトニナリマスカ

○吉田政府委員 其組合ヲ認めル、認めナイト云フ具體的ノ例ヲ只今申上ゲルコトハ時機デナイト考ヘマスガ、只今御舉ゲニナリマシタモノニ於キマシテモ、第一條ノ目的ニ事實合致シテ居ル組合デアルト認めマスレバ、只今マデノ綱領ヲ直サセルト云フ問題ニナツテ來ルト思ヒマスガ、只書イテアル所ダケデ、此組合ハ労働組合デナイトカ労働組合デアルトカ云フコトハ定メ得ナイノデアリマス、全體ヲ見マシテ、是ハ労働條件ノ維持改善其他ノ事モシテ居ルノダト云フ認定ノ付キマスモノハ、皆附則ノ第二項ニ依ツテ認めラレルノデアリマス、認めラレルモノニ付キマシテハ其中ノドノ條項ヲドウ云フ風ニ直スト云フコトガ問題ニナツテ來ル譯ナノデアリマス、又認めラレナイ労働組合モアリマスカラ、ソレニ付テハドウ云フ風ニ合法的ニ修正シテ行クカト云フコトガ問題ニナツテ來マス

○加藤委員 初メカラ認めラレナイモノヲ看做スト云フノハ、ドウ云フ意味デスカ、ハツキリシテ居ルモノニ訂正ヲ命ズルト云フコトハ有り得ナイノデアリマス、觀念的ニドウシテモ左様ナコトハ有り得ナイコトデアリマス、斯ウ云

フモノヲ附則ニ依ツテ看做スト云フコトハドウ云フ譯デアリマスカ

○吉田政府委員 其組合ノ目的及ビ事業ガ第一條ニ該當致シマスレバ、其間ニ或ル文句ヲ修正スルト云フ問題ガ起ルダケデアリマス、目的ニ該當シナイ場合ハ、初メカラ看做サレマセヌ、目的ニ該當スル場合ニハ、修正スルト云フ問題ガ起リマス、今御舉ゲニナリマシタ組合ニ對シテ其目的ニ該當スルヤ否ヤト云フコトハ、必ズシモソコニ書イテアリマスモノノミニ依ツテ判断スベキモノデアリマセヌ、全體ヲ見テ判断スベキデアリマス、ソレヲ看做ス、看做サヌ、適用ヲ受ケル受ケヌト云フ問題ニ付キマシテハ、具體的ニ申上ゲルコトハ、其時期デナイト考ヘマス

○加藤委員 ソレハソレトシテ、現在ノ労働組合ノ全部ノ規約ヲ此處デ讀メバ長クナリマスカラ止メテ置キマスガ、アナタ方ノ御要求ニナルヤウナ、第一條ニ該當スル組合ハ見當リマセヌガ、皆本組合法ヲ適用シテ訂正ヲ命ジ、ソレニ對シテ應ジナケレバ、行政執行デ二十五圓ノ過料ヲ取ツテ、ドンドン訂正ヲ御命ジニナル積リデアリマスカ

○吉田政府委員 ソレハアナタノ御見解、御意見デアルト考ヘマス、政府ニ於テ、此組合法ヲ適用シマス上ニ付テハ、政府ニ於テ一々今ノ組合ノ内容ニ當ツテ見タコトハ當

ツテ見タノデアリマスガ、一ツモ該當スルモノガナイトハ考ヘマセヌ、該當スルモノガ多カラウト思ヒマス
○加藤委員 一ツモ第一條ニ例示サレタ目的ニ合致スルモノガナイト云ツタトスレバ、訂正シテ置キマスガ、内務大臣ハ此労働組合法制定ノ理由ニ取締ヲ嚴重ニスルノデハナイト言ハレテ居ルガ、本法制定後ニ、既設ノ労働組合ヲ御取締ニナルニ於テ、吾々ノ見ル所デハ保護或ハ助長スルト云フコトヨリモ、寧ロ取締法規ノ方が多イヤウニ思ハレマスガ、左様ニ御感ジニナリマセヌカ

○安達國務大臣 左様ニ感ジマセヌ

○加藤委員 アリマストカアリマセヌトカ言ツテ、禪問答ノヤウデスガ、内務大臣ハ何ヲ聽イテモサウ信ジマセヌ、アリマセヌト仰シヤル、社會局デ御調べニナツテ、労働組合ノ規約ガ第一條ニ該當シナイモノハ訂正ヲ御命ジニナルコトハ當リ前ノ事デアアル、ソレヲ聽カナカツタ時ニハ、行政執行法デ二十五圓ノ過料ニ處ス、何過デモ繰返ス、所謂盟廻シヤル、斯ウ言ハレルノデアリマスガ、ソレデモ別ニ取締ガ強クナツタ譯デハナイ、ソレハ労働組合法ト云フモノヲ制定シテヤルト、所謂法律ヲ認メラレルノデ、皆喜ンデ居ル、斯ウ云フ御話デアアルガ、サウ仰シヤルアナタト問答シテモ致方アリマセヌガ、御所見如何デスカ

○安達國務大臣 サウ云フ極端ナルコトヲ例示シテ論及セラレルト云フコトハ、私ハ無理ダト思ヒマス、此組合法ニ付テ私ハ度々説明シ社會局長官モ説明致シタ通り、之ニ依テ相當ノ利益保護ヲ受ケルノデアリマス、今御話ノヤウナ極端ナ例示ヲサレルト云フコトハ、頗ル穩當ナラザルコト、考ヘマス、是ダケデ十分労働者ニ對スル同情モ現ハレテ居ル、又取締モ相當致シテ居リマス、更ニ組合法ヲ出シテ嚴重ニスルノデモ何デモナイ

○加藤委員 訂正ヲ命ゼラレルトカ、或ハ其他取締規定ニ該當スル事柄ニ付テ、其煩瑣ナコトヲ厭ウテ、サウシテ新シイ組合ヲ設立スルトカ、或ハ所謂本法適用後ニ、一般組合ガ出來マシテ、サウシテ横斷的ニモ縦斷的ニモ本法適用外ノ組合ガ出來テ來タ時ニ、労働者諸君ノ方デハ、ソレノ方が宜イ、面倒デナイカラト言フノデ、結社ノ自由ニ依テ、憲法ノ保障ニ依テ、一般的組合ヲ設立シテ、其ノ方デ労働運動ヲヤリ出シタ時ニ、本法ノ適用ヲ認メナイデ、先刻申上ゲマシタ治安維持法、ソレダケデ以テ十分デアアルカ、ドウカ、其他ニ取締ノ規定ヲ設クル必要ガアルカドウカヲ承ハリタイ

○安達國務大臣 訂正、訂正、サウ云フコトヲ命ズラレルノハ煩瑣デアルト云フヤウナコトハ、唯質問ヲ無理ニスル

話デアツテ、サウ云フコトハ無カラウ、アリト假定致シテモ、澤山アルモノデナイ、ソレカラ今列記シタマケデ、取締ハ完備シテ居ルカラ、別ニ取締法ヲ制定スル必要ハナイト云フコトヲ明白ニ御答シテ置キマス

○加藤委員 内務大臣ハ、特ニ取締法ヲ制定スル必要ハナイト明言サレタノデアリマスガ、本法ニ依ル労働組合タルヲ希望シナイ労働組合ガ今後設立サレルコトヲ私ハ豫想サレルカラ、左様ナ質問ヲ致シタノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テ、唯自由ニ労働運動ヲスルト云フコトニ御考デアリマスレバ、アナタノ仰シヤル労働運動ニ基準ヲ與ヘ、而シテ之ヲ保護シ、軌道ニ乗セルト云フコトハ、一番初ニ守屋君ガ御聽ニナツタヤウニ、一般組合ト適用組合トノ間ニ、ドウシテ區別ヲ置クデアルカ、私ノ考デハ、今新シイ取締法ヲ御制定ニナラナケレバ、私ハ假ニ労働者デアリマスナラバ、サウ云フ面倒ハアナタハ非常ニ有難イ法律ダト仰シヤイマセウケレドモ、十三條或ハ十二條ノ規定アル位ノ有難イダケノ規定デ、サウ云フヤウナ面倒ナ取扱規定ノ支配ヲ受ケルヨリモ、自由ニ設立スル、職業別ニモ自由ニ設立スルコトガ出來ルノデアルカラ、サウ云フ方面ヲ、現行法律デ取締ルト云フコトデアリマシタナラバ、警察ノ力デ取締ルノデアリマスガ、或ハ彈壓ト云フ言葉ハ用ヒタク

ナイガ、世間ノ使フ言葉ノ彈壓デ取締ルノデアリマスガ、御所見ヲ承ハリタイ

○安達國務大臣 私ハ御質問ノヤウナ、此組合法ガ出來タノヲ應用シテ、組合法ニ當嵌ラヌヤウナ團體ガ出來ヤウトモ考ヘマセヌ、ソレカラサウ云フモノ、行動ニ付テドウ云フ取締ヲスルカ、所謂彈壓ヲスルカドウカ、ソレハ行動ノ取締ハ今日デモ同ジコトデアリマス、曩ニ御學ニナツタ所ノ法規ニ違反シタル行爲ガアレバ、ソレハ嚴重ニ取締ル外ハアリマセヌ

○猪野毛委員 一寸加藤君ノ御答ニ對シテ關聯ヲ致シテ居リマスカラ、簡單ニ御質問ヲ申上ゲテ御答辯ヲ内務大臣カラ願ヒタイト思フノデアリマス、只今社會局長官ノ答ヘラレタ、即チ一口ニ申セバ無産黨ノ宣言行動ガ今日マデ治安警察法其他ノ八九ノ澤山ノ法律ニ何等關ラズシテ、今日現存シテ居ルト云フコトハ御認ニナツタヤウナ、御言葉デアウツタノデアリマス、ソコデ政府カラ配布サレタ参考書類ノ中ニモ現存シテ居ル、此一例ヲ舉ゲレバ、日本労働總同盟ノ綱領ノ如キモノニ付テ、極ク一部ダケヲ御尋致シタイト思ツテ居リマス、此中ニ「我等ハ組合ノ實力ヲ以テ労働階級ノ完全ナル解放ト自由平等ノ新社會ノ建設ヲ期ス」トアル、政府ニ於テハ労働者ノ完全ナル解放ト云フコト、ソレ

カラ自由平等ノ新社會ノ建設、ソレカラ組合ノ實力、斯ウ云フコトヲドウ云フ風ノ解釋ヲ以テ御出デニナラレルノデアリマスカ、先ニ申シマシタ法律上カラ考ヘテ、一向是ハ差支ナイモノト今日デモ尙且ツ御思ニナツテ居リマスカ、之ヲ内務大臣ニ御尋シタイ

○安達國務大臣 先刻モ申シマシタヤウニ、サウ云フ組合ノ規約等ハ、法案通過ノ後ニ於キマシテ、私ハ政治的ニサウ云フモノハ訂正シ得ラル、ト思フ、今御話ノ條項ヲ悉ク訂正スルトハ申シマセヌガ、此組合法ニ照シテ釋カナラザルモノト認メ、此一條ノ趣旨ニ適合セヌヤウナコトガアツテ、訂正ヲ要スルト認メタ場合ハ、私ハソレヲ先ヅ訂正スルコトニ最善ノ手段、方法ヲ講ジタイ、ソレデモ尙肯カヌ場合ハ、ソレハ已ムヲ得ズ十七條ヲ適用スルト云フコトモアリマセウ、ソレデ今御讀上ニナツタ文句ニ付テ、ソレハドウスルスルト云フコトヲ、此處デ御答スルコトハ頗ル早計ト思ヒマスカラ、ソレハ御答致シマセヌ、大體論トシテ、此法規ニ當嵌ラヌ、目的ニ適セナイヤウナコトガアツテ、サウシテ公益ヲ害スルヤウナコトガアツタ場合ハ、ソレハ先ヅ政治的ニサウ云フモノヲ訂正セシメル、ソレモ行ハレナイ時ハ、凡ユル手段ヲ講ズル、或ハ其時ニハ本法ヲ適用スルヨリ外ハナイ、現在ノ私ノ考デハ、全部トハ申シ

マセヌガ、労働組合ノ方ニ於キマシテモ、大分吾々カラ言ツタナラバ目覺メテ來テ、公正ナル運動ヲシヨウト云フ考ヲ起シテ來タ人々ガ、大分殖エテ居ルト思ヒマスカラ、私ハ前途ニ對シテ惡化スルトハ思ツテ居リマセヌ、是ハモウ少シ當局者ノ努力ニ依ツテハ、餘程日本ノ労働組合モ、労働運動ヲ保護シテ、公正ナラシメ得ルト云フ考ガアレバコソ、此法案ヲ通過セシメテ實行シタイト考ヘマス、今列舉シマシタ條文ヲドウスルスルト云フコトハ、御答シナイ方ガ宜シイト思ヒマス

○猪野毛委員 洵ニ辻褃ノ合ハヌ御答デアルト思ヒマス、是ハ架空的ノコトデナイ、現在右翼ト稱セラレテ居ル所ノ日本労働總同盟ナノデアリマスガ、此右翼ト言ハレテ居ルモノサヘ、資本家トカ工業組合アタリカラ申セバ非常ナ問題ニナツテ居ル内容ノデアリマスガ、是ハ今日マデ内務省ハ、何等公安ニモ治安ニモ其他差支ナシト大體看做シテ來タヤウナ口調デアアルノデアリマス、吉田長官ノ先ノ御言葉カラ考ヘテ見、又私共ノ考ト、内務大臣ノ話ヲ、是ト照合セテ見ルト非常ニ違フコトガアリマス、打突カラナケレバナラヌコトガアルノデアリマス、何トナレバアナタハ勞資協調主義トカ、温情主義トカ穩ヤカナコトヲ言ハレマスケレドモ、此組合ノ實力ヲ以テ云々トシテアル、斯ウ言

フ組合ノ實力ト云フモノハ抑々何デアルカ、組合ト云フモノハ、資本家ノ如キ金ノ力トカ、官憲ヲコソソリ利用スルトカ、斯ウ云フモノヲ實力トハ言ハヌ、組合ノ實力ト云フモノハ即チ「ストライキ」ヲヤルトカ、或ハ團結スルトカ又進ンデハ暴力行爲ニ出ルトカ、之ヨリ外ニ是等ノ武器ト云フモノハナイ（「此奴等トハ何ダ」ト呼ブ者アリ）此奴等トハ言ハナイ、是等ト言ツタ、是等ノ武器ト云フモノハ、是ヨリ外ニナイ、何ト言ツテモ是等ノ唯一ノ武器ハソレデアル、サウシテ労働階級ノ完全ナル解放、労働階級ノ完全ナル解放ト云フコトハ、是ハ中々容易ナラヌ言葉デアルト考ヘル、内務省ノ方デハ、此労働者ノ完全ナル解放ト云フコトヲドウ云フ風ニ解釋ナスツテ居ラレルカ、内務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 ドウモ猪野毛サンハ組合ノ決議トカ規約トカヲ基礎ニシテ批評セヨト云フコトデアリマスガ、今御話ノ實力ヲ以テト云フコトハ、解釋次第ニ依ツテハアナタノヤウニ恐ガラナクテモ宜イ、暴力ハイカヌ、併シ爭議ハ認メル、アナタハ「ストライキ」モ惡イ、團結モ惡イ、悉クサウ云フコトヲ否認サフタナラバ、労働組合ヲ全部否認シナケレバナラヌ、其處ノ境ガムツカシイ、暴力ニ亙ツテハイケナイ、ソレハ吾々ハ制裁スル、併ナガラ堂々タル

ストライキ」ハ一向差支ナイ、労働者ガ團結シテ「ストライキ」ヲスルコトハ差支ナイ、ソレヲアナタハイカヌト言ハレルガ、大分ソレハ根本ノ觀念ニ於テ違ツテ居ル、完全ナル解放ト云フコトヲ内務省デハドウ解釋スルカト云フ御質問デアリマスガ、サウ云フ文字ノ解釋ヲ内務省ガドウスルカト云フコトハ、此處デ御答スル必要ハナイト考ヘマス

○猪野毛委員 私ハ「ストライキ」ガ惡イトカ、團結權ヲ行使スルコトガ惡イトカ云フコトハ言ハナイノデス、私共ハ勿論労働者ガ惡化セヌヤウニ暴動化セヌヤウニ、「ストライキ」或ハ團結權ノ行使ト云フコトハ安全辨トシテ是ハ結構ナコトデアルト思ウテ居ル、所ガ法文ノ内容ヲ見ルト「ストライキ」ヲ内務省ノ方ニ於テ差支ナイト言ウテ居ルカト思フト、其「ストライキ」ニ依ル所ノ損害ヲ取ラレテモ仕方ガナイヤウナ内容ニナツテ居ル、是デハ本當ノ「ストライキ」ノ認容デハナイデハナイカ、「ストライキ」ヲヤツテ、其損害ヲ組合カラ取ル、是ハ丁度吾々ガ選舉ノ時ニ軍資金ヲ檢事局ニ押ヘラレルト同ジヤウナモノデ、働キガ出來ヌコトニナル、是ハ大變後ロノ方デ御怒リニナツタケレドモ、何トシテモ労働者ニハ他ニ大シタ實力ハナカラウト思フ、ヤハリ資本家トハ違ツテ、「ストライキ」トカ團

結トカ暴力トカ、是ヨリ以外ニ組合ニ何處ニ力ガアリマス
カ、理窟ハ別トシテ、之ガ彼等ノ唯一ノ武器ナノデス、唯
一ノ武器デアルカラコソ、資本家モ恐レルシ、警察ノ方モ
神經過敏ニナル、此彼等ノ唯一ノ所謂力ヲ以テサウシテ勞
働者階級ノ完全ナル解散ヲ期スト、斯ウ云フコトニナツテ
來レバ、是ハ直接行動ヲ許スト云フ結論ニナルノデス、ソ
レカラ自由平等ノ新社會ノ建設ト云フコト、是ハドウ云フ
風ニ御考ニナツテ居ルノデスカ、是ハ餘程重大ナ問題ダラ
ウト思フ、アナタハ綱領ノ文字トカ、一箇條一箇條ドウノ
斯ウノト言フケレドモ、現ニ存在シテ居ルナラバ、如何ニ
部分的ナモノデアツテモ、是ハ内務省ノ方ニ於テ、之ニ對
スル意見ヲ吾々ニ聞カシテ下サラナケレバナラヌ、自由平
等ノ新社會ノ建設ヲ期ス、斯ウ云フコトハ最近マデ日本ノ
言葉ニハ現ハレナカツタノデス、大體是ハ露西亞邊カラ來
タ惡思想ノ言葉ノ中ニ斯ウ云フ種類ノモノガ多ク之ヲ眞似
テヤツタカ、自然ニ斯ウ云フモノガ頭ノ中ニ浮ンデ來タノ
カ知ラヌケレドモ、兎ニ角露西亞「ソヴィエト」ノ勞働
無産階級ノ新政府ト云フモノ、綱領ノ中ニハ、斯ウ云フコ
トガヤハリ言ウテアル、アナタハ勞働者ト資本主トノ協調
ノ經濟組織ニシナケレバナラヌ、政治ニシナケレバナラヌ
ト云フ御意見デアルケレドモ、是ハ勞働萬能ノ詰リ勞働專

制ノ新社會ノ建設ニナルノデス、資本萬能モイケナケレ
バ、勞働萬能モ政治トシテハ危險デナクチヤナラヌト思ヒ
マス、資本ト云フモノニ全然對抗シテ、サウシテ争鬭ヲシ
テ、解放ヲシテ、自由平等ノ新社會ノ建設ヲ期ス、斯ウ云
フ思切ツタ宣言デアル、之ヲアナタガ平々坦々ト思ウテオ
イデニナルカ、裝ウテ居ルノカ知リマセヌケレドモ、味ウ
テ見レバ千萬無量ノ味ガアルベキモノデアアル、尙且ツアナ
タハ此文句ヲ冷々淡淡ト之ヲ水ニ流スヤウナ御考デ見テオ
イデニナルノカ、御答ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 承リマス、サウ云フモノハ大部分古
イ、大正十年頃ニ出來タモノデアリマスガ、自由平等ノ新
社會ノ建設ヲ期ス、私ハサウ書イテアツテモ、ソレガ露國
「ソヴィエト」政府、露國ノ共產主義ノ思想カラ來タモ
ノトハ思ヒマセヌ、サウ云フ御批評ハ餘リ殘酷ナ批評ダト
思フ、ソナハ風ニハ認メテ居リマセヌ、ソレヲドウ内務省
ガ認ムルカ、私ハ此處デ新社會ノ建設ヲ期ストカ云フヤウ
ナコトヲ認メルカ認メヌトカ云フヤウナコトヲ御答スル必
要ハナイト思ヒマス

○猪野毛委員 洵ニドウモ御樂觀ノ御答辯デアリマスガ、
露西亞ノ詰リ「ソヴィエト」ノ無産勞働者ノ政府ヲ造ル
時ニ、是ト同一ノモノガアル、勞働組合ト、ソレカラ勞働

團體ト、是ダケデ政治ヲ組織スル、斯ウ云フ規約ヲ設ケテ
宣言シテ居ル、是ト偶然カ何カ知ラヌケレドモ、兎ニ角共
通シテ居ル、サウシテ日本ノ資本家ノ一番憂フル點ハ、ヤ
ハリ何ト云ツテモ露西亞カラ來ル所ノ惡思想デアアル、ソレ
ハ此場限り胡麻化シテ行クベキモノデハナイ、今日日本ノ一
番憂ヘル點ハ、即チ露西亞カラ來ル所ノ赤化ノ思想デア
ル、此思想ハドウ手ヲ傳ウテ來テ居ルトカト申シマス、
申スマデモナク一ツハマダ思慮ノ定マラヌ學生ノ中ニ注入
シ、今一ツハ勞働團體ノ中ニ侵入シテ來テ、無産者ヲ襲
ヒ、或ハ金ヲ與ヘルカ、或ハ性ノ自由ヲ叫ブトカ、兎モ角
口ニ當嵌ルヤウナコトヲ言フテ、サウシテ勞働者ト學生ヲ
手ニ入レテ、彼等ハ日本ヲ赤化シヨウトシテ居ル、内務大
臣ノ仰シヤル如ク、サウ之ヲ聞キ流シニスベキ性質ノモノ
デハナイト思フ、是ハ私ハ非常ニ重大ナ問題デアリマスガ
ラ、モウ少シ御研究ヲ下スツテ、即座デナクテモ宜イカ
ラ、警保局ノ御方トモ御相談ナスツテ、サウシテハツキリ
御答辯ヲ願ツテ置キタイ、現ニ是ハ今存シテ居ル、之ヲ揭
ゲ、旗印ニシテ居ルノデス、ソレヲ日本ノ國民モ一向氣ニ
掛ケズ、政府當局モマサ一宜カラウト等、斯ウ思フテオ
イデニナルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ餘程翫味スベキ
モノデアルト思フ、是ハ後カラ困ツタト云フヤウナコトヲ

言ウテモ、御取返シガ付カヌ、昨日モアナタノ御留守ノ時
ニ申シタノデアリマスケレドモ、モウ少シ之ニ對シテ明確
ナル、シツカリシタ答辯ヲ吾々ニ聞カシテ下サラナケレバ
ナラヌ、吾々ハ内務當局ノ信念、斯ウ云フモノヲ參考ニシ
テ、此法案ヲ何處マデ突込ンデ、ドウ程度ニ之ヲ通過サセ
テ行クガ宜イカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、ドウカ此點
ニ付テハ重ネテ内務大臣モ考慮ヲシテ戴キタイト考ヘマ
ス

○安達國務大臣 御話ノ通り翫味シテ大ニ考慮致シマス

○添田委員長 一寸、今五時ニナリマシタカラ、六時マデ
休憩致シマス、六時カラ續行致シマス

午後五時一分休憩

午後五時十分開議

○添田委員長 ソレデハ開會致シマス

○田子委員 私附則ノ所デマダ殘ツテ居リマスガ、今日ノ
ヤリ方ニ付テ私ハ甚ダ不滿ニ思ヒマスカラ、二三分此附則
ニ入ル前ニ發言サシテ戴キタイト思フノデス、此勞働組合
法案ナルモノハ法案ト云フ名前デ出テ、吾々ニ審議ヲ求メ
ラレテ居リマスガ、私ハ此組合法ナルモノ、實質ハ、何等
組合ノ實質ヲ與ヘテ居ラヌ、免責規定モ削除サレ團體交渉

權モ認メナイ……

○添田委員長 一寸申上ゲマスガ、内務大臣ハ今國立公園ノ方ヘ一寸二三十分間行カケレバナラヌサウデアリマスカラ、其間政府委員ノ方デ御願ヒシマス

○田子委員 私ハ附則ノ所ヲ大臣ニ確メテ居ツタガ、此間カラノ説ガ大分宜クナツテ來タヤウナ點モアリマシ、考ヘ直シタヤウナ點モアリマスカラ、私ハ或ル意味ニ於テ突放サウカト思フノデ、此際言明ヲ求メテ、一應話サウカト思ヒマス

○西尾委員 先日カラ各委員ノ質問ニ對スル政府ノ答辯ヲ拜聽シテ見マスルト、勞働組合法ヲ色々批判シ、或ハ恰モ泥靴ヲ蹴ルヤウナヤリ方ヲシテ居ルト云フコトニ付テハ、吾々何等ノ異議ガナイノデアリマスケレドモ、ソレニ關聯シマシテ、現存スル勞働組合法モ同時ニ泥靴ヲ蹴ルヤウナ言辭ガ屢々起サレマシタコトニ付テ、吾々ハ甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル、之ニ對シテ又當局モ是認シテ居ルガ如キ、少クモサウ云フ言辭ヲ否定スル言葉ガ發セラレナイコトヲ、甚ダ現存勞働組合ノ名譽ノ爲ニ私ハ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ政府ノ意見ヲ質シタイノデアリマス、言ウマデモナク勞働組合運動ト云フモノハ、其國ノ資本主義ノ發達ニ伴ツテ發達スル、即チ其國ノ資本主義ノ形ガ直ニ勞働

組合運動ノ上ニ影ノ如ク現レルノデアル、資本主義ノ發達ガ上昇期ニ向ツテ、相當勞働組合ノ待遇ヲ改善シ得ル、言換ヘマスレバ勞働組合ノ要求ガ相當ニ貫徹シ得ル所デハ、比較的穩健ナ組合ガ發達スル、資本主義ノ發達ガ下降期ニナツテ、資本主義自體ノ維持ノ爲ニ、資本家ノ利益ヲ擁護スル爲ニ、其生産費ヲ低下スル手段トシテ勞働者ニ對スル待遇ガ改惡サレテ來レバ、更ニ言ヒ換ヘマスレバ、勞働者ノ要求スル所ガ實際ニ貫徹シナイト云フヤウナ所ニ於テハ、其處ニ於ケレ勞働組合ガ戰鬪的ニナルト云フコトハ、是ハ當然デアリマス、然ルニ從來吾々ハ日本ノ勞働組合ガ戰鬪的デアツタト云フ事實モ認メマス、其點ガ資本家階級ノ御氣ニ入ラス點デアルト云フコトモ分ツテ居リマス、從來ノ勞働爭議ガ、兎モスレバ暴力化スルト云フ説モ、吾々ハ眞直ニ認メマス、併シナゼ勞働組合ガ戰鬪的デアツタカ、或時ハ革命的デアツタカ、又勞働爭議ガナゼニ暴動化スルコトニナツタカト云フコトハ、今日ノ資本家ノ態度ト併セテ、是ハ論議シナケレバナラヌ問題デアリマス、資本家、殊ニ猪野毛君ノ説ヲ拜聽シテ居ルマス、資本家ガ斯ウ言ツテ居ル、資本家ガ斯ウ言ツテ居ルト云ツテ、資本家ノ考、又資本家ノ意見ヲ何等批判スル所ナク之ヲ肯定シタ上ニ立ツテ、而シテ勞働組合ノ問題ヲ批判サレテ居ルト云フ

コトハ甚ダ其當ヲ得ナイコト、思フノデアリマス、私ハ此目前ノ委員會デゴザイマシタカ、今日勞働爭議ガナゼ惡化シテ居ルカト云フコトニ付テハ、社會局カラ發表サレマシタ資料ニ依リマシテモ、亦私共實際自分ノヤツタ爭議ニ依ツテモ、統計ヲ取ツタ事實ニ於キマシテモ、今日ノ爭議ハ資本家ノ攻勢ニ依ツテ爭議ガ行レテ居ル、賃金ヲ引下ゲル、首ヲ減ル、勞働者ニ少シモ相談スルコトナク、悉ク命令的ニ突如トシテ賃金ノ値下ガ發表サレ、誠首ガ發表サレ、サウ云フ命令的ナ專制的ナ、資本家ノ暴舉ニ對シテ、勞働組合ガ敢然ト立ツテ自分ノ賃金ヲ擁護シヨウ、自分ノ失業ヲ防止シタイト云フコトノ爲ニ、換言スレバ自分ノ生活擁護ノ爲ニ、最後ノ生命ノ第一線ニ踏止マツテ居ルト云フノガ、今日ノ勞働爭議ノ實情デアル、勞働爭議ノ原因ヲ見マシテモ、大正十五年カラ今日マデノ統計ヲ見マシテモ、勞働者ノ收益ニナル所ノ賃金値下反對、誠首反對ト云フ、防衛的ノコトガ爭議ノ原因ニナツテ居ツタノガ、今日ニ於テハ七〇「パーセント」ヲ占メテ居ル、斯ウ云フ事實ニ見マシテモ、今日ノ勞働爭議ガ資本家ノ攻勢ノ爲ニ行ハレテ居ル、勞働者側カラ言ヘバ、最後ノ生活戰ノ第一線ニ踏止マツテ居ルト云フコトハ否定出來ナイ、而モ其勞働爭議ガ、兎モスレバ暴舉化スル、重役ノ家ニ撲リ込

ム、硫酸ヲ打掛ケル、斯ウ云フコトハ何ニ依ツテ起ルカ、事實ニ依ツテ私ハ説明スルコトハ出來ナイ、又全體ニ付テ仔細ニ説明スルコトハ出來マセヌケレドモ、大勢的ニ説明致シマスナラバ、勞働爭議ガ起ツタル場合ニ、今日ノ状態ニ於テハ、勞働者側ニ持久力ガ無イ、サナキダニ其日ノ生活ノ糧ヲ得ラレナイ状態デアル、其持久力ノ無イ勞働者ニ對スル資本家ノ方デハ、二箇月デモ、三箇月デモ、持久力ガアル、而モ好景氣ノ時分ニハ、少々ハ讓歩シテモ、早く仕事ヲスルヤウニシテ、其犠牲ヲ補ヒタイト云フ考ヲ持ツノデアリマスルケレドモ、今日ノ状態ニ於テハ、寧ロ二箇月三箇月休ンデモ大シテ苦痛ヲ感ジナイ、斯ウ状態ト相應ジマシテ、今日資本家ガ勞働爭議ニ對シテ持久戰ヲ行ク、面會ニ行ツテモ會ハナイ、委ヲ晦マス、サウ云フコトヲ致シマス、或者ハ暴力ヲ振フカラダト言ヒマスケレドモ、警察官ノ立合ノ下デ、或ハ場合ニ依ツテハ机ヲ二ツモ三ツモ距テ、暴力ヲ防止スルコトガ出來ルニモ拘ラズ、サウ云フコトヲセンデ、ヤツテ居ル事實カラ見マシテモ、爭議團ヲ潰サセヤウトスル所ノ持久戰ヲ張ラレテ居ルコトモ否定スルコトハ出來ナイ事實デアリマス、持久戰ト云フコトハ、利ナレバ、勞働者側ノ負ニナル、負ニナルト云フコトハ、利益ヲ得ラレナイト云フ問題デハナクシテ、自己ノ生命ニ關

係スル問題デアリマスカラ、其中ノ少數ノ者ガ、犠牲的ニ重役ノ家ニ撲リ込ム、硫酸ヲ打掛ケル、是ハ成ベクハシタナクナイノデアリマスケレドモ、ヤラザルヲ得ナイ状態ニナルノデアリマス、此資本家ノ態度ニ付テハ、何等ノ非難ヲ加ヘテ居ナイ、又何等ノ批判ノ聲ヲ聞カナカッタ、斯ウ云フ近代ノ労働爭議ノ傾向ト云フコトニ對シテ、當局ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ明確ナル答辯ヲ願ヒマス

○猪野毛委員 今西尾君ガ、私ガ資本家ガア、言ツタ斯ウ言ツタト言ツテ、資本家ノ味方ヲシテ、労働階級ニ理解無サ、ウナ御言葉ヲ拜聴致シマシタガ、私ノ意思表示ガ上手ニ行カヌガ爲ニ、或ハサウ云フ風ニ御解釋ニナツタカモ知レマセヌケレドモ、私ノ思想ハ決シテ労働者ニモ偏セズ、資本家ニモ偏セズ吾々ハ公正ナル、中庸ノ道ヲ通ツテ開達ヒ無イ政ヲ運用シテ行キタイト云フ考ヘデス、資本家ノコトヲ例ニ取ツタノハ、此法案ガ出來ル時ニ當ツテ、労働者ノ聲ヨリハ、資本家ノ聲ノ方ガ強クテ、改善ト言ハウカ、改悪ト言ハウカ、兎モ角社會局案或ハ審議會ノ案ニ變更ヲ加ヘラレテ居ルノデアアルノダカラ、工業俱樂部ナドヲ例ニ取ツタノデアリマシテ、決シテ今日ノ學者ガ、一ニモ亞米利加、二ニモ獨逸ト言フテ居ルヤウニ、資本家ニカブレテ

言ウタノデアアリマセヌカラ、此點ヲ御諒承ヲ願ヒタイ、私ハ全ク公正中庸ノ道ヲ歩イテ、サウシテ資本家ガ金ノ力ヲ萬能ヲ信ジテ、或ハ官憲ヲ利用シ、或ハ労働者ニ理解ヲ持タズシテ、労働ヲ一種ノ商品ト看做シ、人格ヲ無視スル、サウシテ利益分配ヲ公平ニヤラヌ、此惡性ノ根性ニ對シテハ、深ク私共反對ノ意見ヲ持ツノデス、ソレト同時ニ今日ノ労働組合ノ中ニ、露西亞ナドカラ惡イ思想ヲ持ツテ來テ、サウシテ労働者ヲ赤化サセントカ、或ハ日本ノ忠君愛國ノ思想ヲ傷クル、無宗教ノコトヲ宣傳スルトカ、資本家ト云フ者ハ撲滅シテシマハナケレバナラヌトカ、硫酸ヲ打ツ掛ケル、斯ウ云フコトハ私共ハ其方共ニイカヌト思フ、併ナガラ資本家ノ此唯一ノ武器、金ノ力ニ對抗スルノニハ、ドウシテモ労働者ノ方ハ腕ヅクデ行クト云フコトハ已ムヲ得ナイ成行ダラウト思フ、認メル譯デアアリマセヌケレドモ、是ヨリ外ニ武器ハ無イノデス、私ノ言ヒマシタ意味ハ、外ノ方法デハ對抗ガ出來ヌ、「ストライキ」ヲヤルトカ、或ハ暴動ハ宜シクナイケレドモ、詰リ暴力行爲ニナルト云フノハ彼等ニ武器ガ無イカラ、已ムヲ得ズ是デ行クノデス、吾々ガ選舉ヲヤル時ニ金ガ無ケレバ言論デ飛ンデ歩クヤウナモノデス、此點ドウゾ無産黨ノ諸君モ誤解ノ無イヤウニ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデス、一言辯明ヲ致

シテ置キマス

○吉田政府委員 事業者、雇傭主ト申シマスカ、資本家ト申シマスカ、其方面カラ爭議ノ原因ガ與ヘラレルトカ云フコトヲ當局ハ考ヘテ居ラナイデスカ、此頃ノ勞資ノ問題或ハ爭議上ノ責ヲ何處ニ歸スルカト云フヤウナ御尋デアツタト思ヒマスガ、近來ノ爭議ハ表ニシテ差上ゲデアリマス通り、多ク近年ノ財界ノ不況ガ影響ヲ致シマシテ、労働條件ノ低下、或ハ労働者ノ解雇、サウ云フモノ解雇サウ云フモノノ原因ニスルモノガ非常ニ多イト存ジマス、是ハ勿論事業ノ管理經營宜シキヲ得ナイト云フコトハ、事業家ノ責任ニ歸スベキコトモゴザイマセウ、或ハ又サウデナクシテ、出來ル限りノ經營ヲ致シテ居リマシテモ、今日ノ不況ノ爲ニ事業ノ縮小、或ハ生産費ヲ低下スルノモ已ムヲ得ナイト云フ場合モアルダラウト思ヒマスガ、又労働者側カラ、今日ノ不況ノ爲ニ働キ掛ケル爭議ガ無イデモナイト考ヘルノデアリマス、何レニセヨ經濟的ニ利害ヲ異ニスル勞資ノ間ニ於キマシテ、左様ナ紛争ガ増シテ參ツタト云フコトハ、洵ニ私ハ悲シマネバナラヌコト、考ヘルノデアリマス、併シ事實左様ナ紛争ガアルコトゴザイマスナラバ、ソレヲ出來ルダケ巧妙ニ又敏速ニ片ヲ付ケテ、産業平和ヲ維持スルト云フヤウナ、労働者ノ爲ニモ、資本家ノ爲ニモ、國家

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十一回

全體トシテモ望マシイ所デアルト考ヘルノデアリマス、此組合法ニ於キマシテモ、例ヘテ申シマスカナラバ、其點ハ最初カラ最モ重要視シテ居ル所デアリマス、事業家側ニ對シマシテハ、労働者ノ團結權ト云フモノヲ法律ニ依ツテ認メマシテ、ソレニ依ツテ團體トシテノ労働者ト協調ヲ保ツテ行クト云フコトヲ求メルノガ、此法ノ建前デアリマスシ、又労働者側ニ對シマシテハ、左様ニシテ認メラレマシタ團體ト云フモノハ、國家ノ要求致シマス秩序ニ從ツテ、合理的ニ、又合法的ニ活動スルヤウニト云フコトヲ認メ、此兩面ノ立場ヲ明ニ認メマシテ、サウシテ此労働組合法ト云フモノガ提出サレテ居ルノデアリマス、労働者資本家ドチラノ側カラ考ヘマシテモ、爭議ト云フモノハ望マシイモノデナイコトハ勿論デアリマス、決シテ爭議ニ基ク暴力違法行爲等ハ出來ル限り避ケネバナラヌ、其原因ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテハ、資本家側ニ於キマシテモ、十分ニ注意シテ戴カネバナラヌ、労働者側ニ於キマシテモ、出來得ル限り自省スルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、今日不況ノ時代デアレバアルダケ、其必要ガ強イト思フノデアリマス、不況ノ時代デアルカラ、労働爭議ガ暴動的ニ流レテモ仕方ガナイト云フヤウナ考ヘ方ハ、是非止メテ戴カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、不況ノ場合

デアレバアルダケニ、勞資相共ニ助ケ合ツテ、今日ノ難局ヲ切抜ケルト云フコトニ努メマセヌケレバ、資本家側モ、勞働者側ト致シマシテモ、損ニコソナレ、得ニナルコトハナイノデアリマスカラ、當局トシテハ片寄ツタ立場デナク、先刻猪野毛サンノ仰シヤツタヤウニ、兩方ノ當事者ト云フモノヲ、公正ニ眺メマシタ上デ、此勞働立法ト云フモノハ立案サレテ居ルノデアリマス

○松村委員 長官ノ御言葉ニ關聯シテ、チヨツト質疑ヲシテ置キタイコトガアリマス、大體ノ説明ハ能ク判リマシタガ、今ノ御答辯ノ中デ、勞資ノ關係ハ、經濟的ニ利害ヲ異ニスルト云フコトハ言ハレマシタガ、大體ニ於テ間違ツテ居ルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、經濟的ニ利害ヲ異ニスルト云フコトヲ言ハレルコトハ、此際政府當局トシテドウカト思ヒマス、其點ハ一應全體ノ御説明ヲ承ツテ經濟的利害ヲ異ニスルト云フ今ノ御説明ダケヲ御訂正願ヒマス

○吉田政府委員 私ノ申上ゲヤウガ、其點惡カツタカモ知レマセヌ、結局ハ經濟的利害ハ同ジクスルモノダト思ヒマスケレドモ、勞資ハ其時々立場々々ニ依ツテ其利害ヲ異ニスルコトガ有リ得ルト思フ、斯ウ云フ意味申上ゲタノデアリマス

○西尾委員 重ネテ御伺ヒ致シマス、サウ致シマス、所謂斯ウ云フ爭議ガ兎モスレバ非合法化スル、又勞働組合ハ所謂闘争的ニナツテ來ル、此事實ハ勞働組合ノミノ責任デハナクシテ、資本家ニモ其責任ノ大半ハ、即チ是ハ日本ノ産業状態ノ生活ガ茲ニ表ハレテ居ルノデアルト當局ハ御認メナリマスカ

○吉田政府委員 私ハ大半ノ責任ガ資本家側ニアルトカ或ハ勞働者側ニアルトカ、左様ナ事ハ、一々ノ爭議ニ付テ言ヒマシタナラバ、一々判斷ヲ與ヘルコトガ出來ルトモ思ヒマスガ、總體的ニハ遽ニ論斷シ難イ問題デアルト思ヒマス、一々ノ場合ニ付キマシテ、言ヘバ或ハ事業主側ノ方ニ誠意ノナイ點モアリマセウ、資本家側ニ於テ、或ハ勞働者側ニ諒解ヲ得ルト云フ手續ニ於テ缺ケテ居ツタト云フコトモアリマセウ、又勞働者側カラ申シマシテモ事業家側ノ意圖計畫ニ對シマシテノ誤解ニ基イタモノモアリマセウ、色々アラウト思ヒマスケレドモ、兎ニモ角ニモ今日爭議ガ多クハソレガ激化スルト云フコトノ大キナ原因ノ一ツト致シマシテハ、今日ノ財界ノ狀況ト云フモノガ影響シテ居ルモノダラウト云フコトガ考ヘラレルダラウト思フ、ドチラガ主ニ惡イノダトカ、此方ハ少シモ責任ガナイナドト全般ノ問題トシテハ遽ニ言ヒ難イト思ヒマス

○西尾委員 全般ノ問題トシテ、遽ニ論斷シ難イト云フ御答辯デ、ソレハ満足致シテ置キマセウ、ト云フノハ元來勞働爭議ノ問題ヲ論議シ、勞働組合ノ運動方針ヲ論ズルニ付テ、多クノ場合ソレガ資本家側ノ責任モ相當アルト云フコトヲ、兎角吾レ勝ちノ多イ今日ニ於テ、政府當局ガ遽ニ論斷シ難イト云フ聲明ヲ爲スツタ程度ニ於テ、今日ノ社會状態カラ見テ、満足スルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、ソレ以上ニ當局ニ答辯ハ出來ナイト思フカラデアリマス、次ニ徹底的協調主義ト云フ言葉ヲ大臣ハ御使ヒニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ所謂從來モ協調主義ト云フ言葉ガ使ハレテ來マシタガ、實際其内容ヲ見マスト、資本家ノ温情主義ニ依ツテ闘争ハシナクトモ、温情主義ヲ主體トスル所ノ協調主義ト云フモノトハ違ツタモノダト云フ意味ノ説明ヲ内務大臣ハ爲スツタコトガアルノデアリマスガ、サウ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○吉田政府委員 内務大臣ノ再々徹底的ノ勞資協調ト云ハレル事ノ意味ハ、私モ折ニ觸レテ承ツテ居ルノデアリマス、此組合法ニ付キマシテ、此説明ヲ用キラレテ居リマス場合ノ意味ヲ推測致シマス、勞働者地位ハ、勞働者地位トシテ認メテ、認メラレタ勞働者ノ地位、認メラレタ勞働者ノ團體ト事業家トノ間ノ協調ヲ保ツテ行クト共ニ、現在

ノ産業ノ下ニ、徹底セル勞資ノ協調デアル、斯ウ云フ意味ニ使ツテ居ラレルヤウニ私ハ思ツテ居リマス、温情主義デナイ意味ノ協調ト云フコトヲ言フノカト云フ御尋ネデアリマスルガ、温情主義ト云フコトモ、色々ナ意味ニ使ハレルト思ヒマスガ、字ノ示ス如ク勞資双方ガ共ニ温情ヲ以テ接スルト云フノガ、温情主義デアラウト思ヒマスガ、今御用ヒニナツタ温情主義ト云フノハ、ソレト違フカモ知レマセヌガ、兎ニモ角ニモ勞働者ノ地位ヲ認メ、認メラレタ勞働者ノ團體ト事業家ノ間ガ完全ニ協調ヲ保ツト云フコトノ意味ヲ、内務大臣ハ言ツテ居ラレルト私ハ斯ク信ジテ居リマス

○西尾委員 次ニサウ致シマス、茲ニ勞働組合法ヲ制定スルコトニ依ツテ、産業状態ニ於ケル病氣デアル所ノ勞働爭議ヲ出來得ルダケ少クシタイト云フ當局ノ御意嚮ヲ屢々聽イタコトデアリマスガ、此點ニ於テモ、總體的ノ問題デアリマス、勞働組合ト資本家トノ間ノ總體的ノ問題デアリマス、會社或ハ協調會ノ人々ヲ以テ組織サレテ居リマスル勞働立法促進委員會ニ於キマシテ、勞働爭議ヲ出來ルダケ少クスル爲ニハ堅實ナル勞働組合ヲ資本家ガ公認シ、ソレト團體協約ヲ結ブコトニアルト云フコトヲ決議致シテ居ルノ

デアリマス、是ハ私ハ眞ニ労働者ノ人格ヲ認め、團結ヲ認
メ、サウシテソレト資本家トノ間ノ合理的ナ協調ヲ保ツト
云フコトノ爲ニハ、是非トモ此團體的ナ協約ガ出來ルト云
フコトガ當然ノ結論トシテ必要ニナツテ來ルノデアリマ
スガ、此點ニ付テ此御尋ネシタノデアリマスケレドモ、
ソレハ拵ヘル積リデアアルガ、直チニショウトハ思ハナイト
云フコトデアリマシタガ、是ハヲカシイノデアリマシテ、
例ヘバ組合ノ法人組織ガ數箇條ニナツテ、法人ノ問題ガ組
合法規ノ中ニ織込マレテ居リマスルガ、其法人ト云フモノ
コソ、モツト労働組合ガ發達シナケレバ、是ハ實際ハ法人
ノ資格ヲ監督スルコトガ出來ナイノダ團體協約ト云フコト
ハ、完全ナ團體協約デナクトモ、團體協約ニ依ツテ問題ガ
合理的ニ協議サレルコトガ望マシイ、團體的交渉ヲ資本家
ガ拒否シ、若クハ労働者ガ拒否スルト云フヤウナ行爲ヲサ
セナイヤウニ法律デ決メルカ、決メナイマデモ何等カノ形
ニ於テ、法文ノ上ニ表ハシテ、ソレヲ導クト云フコトガ必
要デハナイカ、今法人組織ハ急ニ必要デハナイ、ケレドモ
出來ルダケ相互ノ團體的協議ヲ爲サシメテ、爭議ニナラ
ナイヤウニ問題ヲ解決シタイト云フ、此法案ノ趣旨デアルナ
ラバ、ソレハ少クトモ今日カラデモ必要ナコトデアアルト思
ヒマスガ、其コトヲ後廻シニナサツタノハ、ドウ云フ譯デ

アリマスカ
○吉田政府委員 團體協約ノコトハ、前ニモ申シマシタ通
リ、社會政策審議會ニ於テモ慎重ニ考究シタノデアリマ
スガ當局ノ見ル所ニ依リマシテモ、只今御話ニナリマシタ
通りニ、認メラレタ團體ト、資本家トノ間ニ圓滿協調ガ出
來テ、其結果ガ協約トナツテ現ハレ、其協約ニ依ツテ平和
ノ裡ニ圓滑ニ産業ガ營マレルト云フコトハ、極メテ望マシ
イコト、考ヘテ居リマス、現在マダ團體協約ノ結バレテ居
ル實例ハ、我が國ニ於テハ少ウゴザイマス、又御指摘ノ通
リ、團體協約ニ對シテ與ヘラレテ居ル法制モアリマセヌ
ガ、併ナガラ大體ニ於テ多少ノ例外ハアリマスケレドモ、
從來團體協約ノ結バレテ居ル工場ノ經營ハ、比較的協調ノ
趣旨ニ從ツテ、圓滑ニ運バレルツ、アルト當局モ見テ居リマ
ス、併ナガラマダ實例モ極メテ少イコトデアアル、且又團體
協約ノ様式ナリ、或ハ其效果ニ付キマシテハ、民法的、私
法的ノ方面カラ致シマシテ、種々ナル困難ヲ伴フノデアリ
マシテ、團體協約ヲ行フコトガ、現在モ出來テ居ルコトハ
御承知ノ通りデアアルガ、法制ノ規定ヲ以チマシテ、團體協
約ノ決メ方、其效力等ニ互リマシテ、團體協約ト云フモノ
ガ、法制ノ上デ立派ニ運用ノ付クヤウナモノヲ設ケルコト
ハ、無論考慮シナケレバナリマセヌガ、現在ニ於キマシテ

ハ、ソレダケノ資料ガマダ纏マリ上ツテ居ラヌノデアリマ
ス、ノミナラズ今回ノ組合法ノ建前ハ、組合ノ構成、並ニ
組合ガ公ノ秩序ノ外ニ逸脱シテハナラヌト云フ、申サバ組
合ノ基礎工事ノ建前デアリマス、其基礎工事ノ上ニ立チマ
シテ、組合ノ活動スル方面ニ付キマシテ、今ノ協約ト云フ
ヤウナ方面ニ於キマシテモ、或ハ労働紛議ト云フヤウナ方
面ニ於キマシテモ、是ハ非常ナル考究ヲ要スル問題ガマダ
残サレテ居ルノデアリマス、今回同時ニ團體協約ニ關
スル法制ヲ決メルコトガ出來マセヌコトハ、洵ニ残念デア
リマスルガ、是ハ我國ノ團體協約ニ關スル現狀並ニ我國ニ
如何ナル團體協約ニ關スル法制ヲ用フベキカト云フコトノ
研究ガ完成サレテ居リマセヌ今日ト致シマシテ已ムヲ得ナ
イト考ヘルノデアリマス、又強ヒテ是ハ法ノ系統上組合法
ノ中ニ入ラナケレバナラヌモノデアアルト云フコトハナイト
思フノデアリマス、寧ロ其建前カラ申シマスナラバ、別ノ
系統ニ於テ完成サルベキ法ノ筋合ガ正シイノデヤナイカト
考ヘテ居リマス、決シテ團體協約權ヲ否定スルト云フ意味
デ、此中カラ省カレテ居ルノデアリマセヌ
○西尾委員 其點ハ此前ニモ御答辯ヲ得タノデアリマスル
ガ、團體協約ノ規定ヲ此中ニ織込ナクテモ宜イト云フコト
ハ、私モ認メルノデアリマス、併シサウ云フ纏ツタ團體協

約ニ對スル全般ヲ規定スル問題デナクトモ、團體協約ハ望
マシイコトデアアルト云フコトヲ、此法文ノ中ニ現ハス爲ニ
ハ、サシテ困難デハナイト思フ、私ハ法律ニハ素人デアリ
マスガ、サウ思フノデアリマス、例ヘバ吾々社會民衆黨
ト、大衆黨トノ共同案ニ依リマスルト、第九條、労働組合
ガ雇主又ハ其團體ト労働協約ヲ締結シタル場合ニ於テ、之
ニ反スル組合員ト雇主トノ單獨契約條項ハ之ヲ無効トスト
云フ一項ヲ入レルコトニ依テ團體協約ガ漸次促進サレテ行
クト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、此程度ノモノ
ナラバ此條項ヲ入レテ宜イト思ヒマスガ、如何デセウ
○吉田政府委員 只今御例示ニナリマシタヤウナ方法モ、
團體協約ニ關スル一部分ノ規定トシテ、ソレハ成立チ得ル
ト思ヒマスルガ、只今御例示ニナリマシタモノデモ、御承
知ノ通り、ソレハ團體協約ニ依ツテ、個々ノ雇傭契約ノ效
果ヲ排斥スル、申サバ物權的力ヲ與ヘル建前ニナツテ居リ
マス、其意味ノコトヲ宣言スルツレバ、様式形式ノ備ハ
ツタモノニシナケレバナラヌダラウト思ヒマス、何處ニ其
様式ヲ定メレバ宜イカ、又個々ノ労働協約ヲ何處ニ排斥ス
ルカ、團體協約ニ如何ナルコトヲ規定スベキデアルカ、個
々ノ協約ハ、實際ノ場合ニ力ガナイデアラウカト云フヤウ
ナ多數ノ疑問ト、決定セラレナイ部分ヲ殘シテ居ルノデア

リマシテ、其規定ダケヲ拵ヘタノデハ、團體協約トシテ御期待ニ副フヤウニ運用ガ出来ナイ、却テ色々ナ疑問ヲ誘發致シマシテ、此協約ハ労働組合ノ團體協約デアロカ、アルトスレバドレダケノ效力ガアルカ、ソレノミニ依テ實效ヲ舉ゲルコトガ出来ナイノミナラズ、却テ色々ナ疑問ヲ殘ス恐モアルコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、團體協約ニ關スルコトヲ左様ナ一箇條ダケ間ニ合セテヤツテ行クト云フコトハ、餘程考フベキコトデハナイカト當局ハ思ツデ居ルノデアリマス

○西尾委員 モウ一ツ此機會ニ御伺致シテ置キタイ、此組合法案ノ精確ガ、所謂徹底的勞資協調ト云フノデアルト云フコトハ、其内容ハ明瞭ニナツテ居リマセヌケレドモ、大體想像ハ付クノデアリマス、私ハソレニ觸レルコトハ此場合差控ヘテ置キマスガ、此處デ伺ツテ置キタイコトハ、政府ノ徹底的勞資協調ト云フ其精神ハ、直チニ現存スル労働組合若クハ今後發生シテ來ル労働組合ヲ、ソレニ依テ強制的ニ勞資協調ノ中ニ詰込シマフト云フノデアリマスカ、或ハ又成ベクサウ云フ風ニシタイト云フ、サウ云フ方ニ指導シタイト云フ意味デアリマスカ、其點ヲ御伺致シマス

○吉田政府委員 政府ノ持ツテ居ル方針ヲ實行スル上ニ於

ス法ノ強制力ヲ用ユルコトニナルノデアツテ、法デ強制スルコトニ、勞資ノ協調ト云フコトガ期待出來ルト云フ風ニ簡單ニ考ヘテ居リマセヌ

○西尾委員 サウ致シマス、本法ヲ施行スル場合ニ於テ、所謂本法ノ精神ト相背馳スル——例ヘバ勞資協調ニ反對ダト云フ考ヲ持ツテ居ル組合ハ、此處ニハ入レナイノデアリマスカ、ソレトモサウ云フノモ入レルノデアリマスカ

○吉田政府委員 ソレハ其考ノ現ハレ方、或ハ其組合ノ目的トスル所、自體ガドウデアアルカト云フコトニ依ツテキマルノデアリマス、勞資協調ハ出來ヌト云フ考ヲ持ツテ居ル人々モアルニハアリマセウ、デアリマスガ、法デ認メル認メヌト云フ問題ニナリマスレバ、此處ニ書イテアリマス、働勞條件ノ維持改善、共濟修養其他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスル團體ハ、經過規定ニ依リマシテ、一應認メラレマス、認メマシタ上デ、尙ホ法ノ強制力ヲ論ジマスナラバ、其組合ノ持ツテ居ル規約綱領其他ノ形ニ現ハレテ居リマスモノガ法ノ規定ニ違背スル、或ハ公益ヲ害スルト云フ限界ニ至ツテ居リマスレバ、ソレニ對シテ先程カラ御話ノ通りノ加除修正等ノ變更命令ガ下サレル場合モアルノデアリマス、此法ノ強制規定ガ働クノハ、法ノ禁止ニ觸レタ場

テ、勞資協調ノ目的ヲ達スル爲ニ、強制シテ實現スルノカ或ハ之ヲ指導精神トシテ、指導誘掖シテ行クカト云フ御尋デアリマスガ、之ニハ強制致シマスル限界ハ此法律ニ明ニ規定セラレテ居リマス強制規定ガ、強制ノ範圍デアリマス、是モ亦勞資協調ヲ念頭ニ置イテ規定シタモノデアルケレドモ、強制法規デアルカラ、愈々國家ノ強制力ヲ用キネバナラヌト云フ強イ限界シカ規定サレテ居ラス、是ハ單ニ此法案ノミデナク、他ノ一般刑罰法令、取締法令モ、其精神ヲ持ツテ居ラストハ言ヘヌト思ヒマス、併ナガラ其場合ニ用ヒラレル手段ハ何處マデモ法ノ強力デアリマス、是ダケヲ以テ致シマシテモ、勞資協調ノ趣旨ヲ實現スルノニハ恐ラク足りナイト思ヒマス、ソレハ最後ノ解決ヲ與ヘ法ノ限界問題デ、其他ニ此法ヲ運用スルニ方ツテハ、法ヲ直チニ適用シ、強制力ヲ用ヒル前ニ第一條以下各條ノ精神ヲ酌ミマシテ、サウシテ勞資協調ト云フ方ニ、一切ノ庶務或ハ先般モ問題ノ出マシタ勞働教育ニ關スル問題デアルトカ、或ハ事業家トノ日常接觸トカ、全體ノ指導精神ニ依リマシテ、ソレ等ノ方ニ於テ、日常ノ仕事ヲシテ行ク爲ノ指導精神トシ、指導誘掖スルト云フ働キガ基礎ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレニ依テ大ニ努メテ愈々極端ナ限界ニ參リマスモノニ對シテハ、此處ニ規定シテアリマ

合ノ限界カラ始マルノデアル、御話ノアリマシタノハ、ソコデアリマシテ、只今例トシテ御引キニナツタヤウナ組合ニ於テモ、本法ニ依ツテ認メラレ、ヤハリ本法ノ指導精神ニ依ツテ指導セラレル、ソレ等ノ組合ニ對シテハ、當局トシテハ出來ル限り穩健中正ナル方途ヲ選ンデ貰フヤウニ、有ユル方面カラ指導的ニ努メルト云フ立場ハ決シテ捨テナイ、指導精神全般、例ヘバ勞資協調ト云フ指導精神ニ違背シテ居ルカラ、ソレニ對シテハ組合法ヲ一切適用シナイノダト云フ風ニ、簡單ニ捨テ、シマヒハシナイノデアリマスカ

○西尾委員 此點デマダ第一條ニ關シテ他ノ方ノ質問ニ關聯シテ御尋シタイコトガアリマスガ、是ハ此前ニ長官ニ御尋シタ時ニ、長官ハ其任デナイト云フコトデアリマシタカラ、大臣ニ對シテ其點ハ御尋ヲ致シタイト思ツテ居リマスカ

○宮澤委員 ヤハリ關聯シテノ質問デアリマスガ、只今團體交渉權、團體協約權ノ御話ガアツタガ、十三條ニ依ツテ臚氣ナガラ團體協約權ヲ認メラレ、團體交渉權モ認メラレタモ言ヘマセウガ、更ニ此十三條ニ依ツテ、多少デモ團體協約權ガ認メラレタ以上ハ、團體協約權モ認メラレナケレバ、此法モ完備シナイト思フ、團體協約權ヲ認メル法案ハ、ヤハ

リ之ヲ繼續シテ御提案ニナル考デアアルカドウデアリマス
 カ、ソレカラ是等ノ團體權、團體交渉權、團體協約權ト云
 フモノヲ認メルノニハ、ヤハリドウシテモ從來社會局ガ十
 三條トシテ主張シテ居ラレタ免責規定デアリマス、合法的
 ノ罷業怠業ニ對シテハ、ヤハリ損害ノ責任ヲ買ハヌト云フ
 ヤウナ免責規定ヲ茲ニ制定シナケレバ、是等ノ協約權デモ
 交渉權デモ、ヤハリ畫龍點睛ヲ缺クノ憾ガアルダラウト思
 フノデアリマスケレドモ、此點ニ付テ免責規定ヲ置カナカ
 ヲタ理由及ビ免責規定ガナイガ、免責スル意味デハナイ、
 或ハ有責デアルトカ、或ハ免責ヲドウ云フ風ニヤルノデア
 ルト云フコトニ付テ、今マデ多數ノ應答質問ニ依ツテ或ハ
 御話ニナツタカトモ思フノデアリマスガ、私ハマダ始終此
 席ニ居リマセヌシ、ハツキリ記憶ガアリマセヌカラ、所謂
 此免責規定——從來ノ社會局第十三條ニ於テ認メラレテ居
 ヲタヤウナ免責規定ハ此中ニアリマセヌガ、是ハ免責スル
 意味ニアラズシテ、民法ノ例ヘバ四十四條ト云フヤウナ法
 ヲ準用サレル所ノ意味デアルカ、或ハサウ云フ意味デハナ
 イノデアアルカ、之ヲ一ツ簡單ニ承リタイノデアリマス

タコトガアルノデアリマスガ、從前ノ所謂免責規定、前ノ
 社會局案ノ第十三條ニ入ツテ居リマス、是ハ寧ろ爭議ノ起
 リマシタ場合ニ於テ、其勞働爭議ニ對シテ組合ノ役員、其
 他ノ代表者、或ハ組合員デモサウデアリマス、ソレガ爭議
 ニ從事シタ者ノ業務ヲ停廢セシメタト云フコトニ對スル、
 主トシテ勞働組合ノ責任、又組合ヲ代表スル人々ノ責任、
 其指揮ニ與ツタ人ノ指揮ノ責任ト云フモノヲ規定シテ居
 タノデアリマス、今回此種類ノ規定ガ除カレマシタ以上
 ハ、民法其外ノ一般私法ニ關スル規定ノ適用ニ依リマシ
 テ、其邊ハ解決セラレル外ハナイコトニナツタト考ヘマ
 ス、從來ソレ等ノ爭議ヲ指導シタ者ノ責任如何ト云フコト
 ニ付キマシテハ、我國ニ於キマシテ、判決例等マデ一回モ
 ナイノデアリマス、又實際ニ爭議ヲ指導シタト云フ責任ヲ
 以テ、事業家カラ賠償ノ履行ヲ求メラレタト云フ事例モナ
 イノデアリマス、判例デモ實際ノ實例ト致シマシテモ、マ
 ダ事例ハアリマセヌガ、民法ノ一般原則カラ申シマシナラ
 バ、他人ニ債務ノ不履行ヲ勸誘シタ、或ハソレヲ強制シタ
 ト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、若干ノ民事的責任
 ガアルト云フ解釋ヲスルノガ一應普通ナコトカト考ヘマス
 ガ、現在ノ司法當局モ、恐ラク大體論トシテ左様ニ考ヘテ
 居ルコト、思ヒマスケレドモ、一方爭議ト云フモノガ現在

ノ經濟界ニ於キマシテ自然ニ起ツテ參リマス、避クベカラ
 ザル現象デアルシ、又勞働爭議ト云フモノガ多數ノ人々ノ
 寄集ツテスル所謂一致ノ行動デアリマスガ爲ニ、其指圖ヲ
 スル者モ自然出テ參リマスコトハ已ムヲ得ザル現象デア
 ト致シマスルナラバ、何ダカ普通ノ場合ノ債權侵害ト云フ
 ヤウナモノトハ、取扱ヲ異ニスル方ガ穩當デハナカラウカ
 ト云フヤウナ考モ、一般世間ニ動イテ居ラヌト申ス譯ニ參
 ラヌト思ヒマス、從前事業家ガ、組合ニ對シテ賠償ヲ認メ
 ナカツタト云フコトハ、組合ガ強チニ財産的資力ガ少ナカ
 ヲタト云フバカリデナシニ、爭議ト云フコトヲ一ツノ經濟
 手段トシテ之ヲ暗黙ノ中ニ認メテ居ルト云フヤウナ心持ガ
 働カナカツタトハ言ヘナイト思フ、併ナガラ從前入ツテ居
 リマシタ此免責規定ハ、只今モ申ス通りニ、爭議ノ責任全
 般ニ付テキメテ居ルノデハナイ、爭議ニ關スル組合ノ立場
 ト云フモノダケニ關スル規定ナノデアリマス、爭議ハ必シ
 モ組合ニ依ツテ指導セラレルモノトバカリトキマツテ居ナ
 イ、組合以外ニ關スル爭議モアリマセウシ、指圖シタ人間
 ニモ組合以外ノ者モゴザイマセウ、其問題ハ研究ノ必要ノ
 アリマス重要問題ニハ違ヒアリマセヌカラ、爭議ニ關スル
 責任トシテヤハリ是ハ團體協約ニ關スルモノト稍々同ジ趣
 デ、別途爭議全體ノ問題トシテ爭議ヲシテ罷業ヲシタ人ノ

責、或ハ爭議ヲシテ開出シラシタ人ノ責、或ハ指揮命令ヲ
 シタ人々ノ責、ト云フヤウナモノヲ、全般ノ責任トシテ爭
 議ノ問題トシテ考究スルコトガ必要デアルト考ヘラレマス
 ノデソレ等ニ對シマシテハマダ當局ト致シマシテ明確ナル
 結論ヲ得テ居ラナイノデアリマス、ソコデ組合法ヲ制定ス
 ルニ當ツテハ、昨日モ申シマシタ通り、是ハ基礎工事ニ關
 スルコトヲキメテ居リマス、隨テ其働キトナルベキ協約ニ
 關スルコト、爭議ニ關スルコトハ別種ノ問題トシテ慎重ニ
 考究致シタイト考ヘテ居リマス

○宮澤委員 要スルニ勞働組合ハ勞働者ガ自己ノ地位ヲ維
 持改善スル爲ニ爭議ヲ起ス、是ハ已ムヲ得ヌ現象デアルト
 思フ此現象ニ伴フ勞働爭議ノ當然ノ結果トシテ生ジテ居ル
 損害ニ付テハ、賠償ノ責任ヲ認メヌト云フノガ當然ノ行キ
 方デアルヤウニ思フ、今社會局長官ノ御話ノヤウニ、從來
 事實問題トシテ、雇傭者側カラ其爭議團ニ對シテ殆ド賠償
 ヲ申出タコトモナイ、事實問題ガ如實ニ證明シテ居リマ
 ス、併シ實際ソレガ第三者ニ加ヘタ損害、或ハ爭議團以外
 ノモノガ其爭議ニ關係スルコトニ依ツテ非合法的損害ヲ加
 ヘタモノデアラナラバ、是ハ勿論責任ガアルダラウト思ヒ
 マスガ、之ヲヤハリ事實問題ガ物語ツテ居ル如ク、法ノ上
 ニ現ハシテ、此團結交渉權ヲ完備スルト云フコトモ當然ノ

付カヌコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、何カソレニ付テシツカリシタ區別ガ御有リニナツテサウ云フ御辯明ヲ爲サツタノデアリマスカ、之ヲ一ツ御答辯願ヒタイ

○安達國務大臣 シツカリシタト云フケレドモ、組合員ハ他ニ政黨ガアツテ政治運動ハ其方面デシテ何等障礙モナイ、不便モナイ、何ヲ好ンデ組合ノ名ヲ以テ政治運動ヲ爲スカ、組合員ハ一方ニ有ユル政黨ニ屬シテ居ル、政黨ノ名ヲ以テ政黨的行動ヲスル人ガ大多數デアリマス、ソレデ御縣念ニナルヤウナコトハ萬々ナカラウト思ヒマス、何度言ツテモ同ジコトデスガ、唯一時ノ問題デ、ソレモヤハリ勞働組合法ノ第一條ノ趣旨目的ニ依ツテ勞働條件ノ維持改善、其外ノコトニ付テ、一時的ノコトヲスルト云フヤウナコトハ、ソレハ差支ヘハナイ、政治團體的行動ヲスルコトヲ禁ジテ居ルノデアリマシテ、一時的ノコトハ取締ラナクテモ宜イ、斯ウ考ヘテ居リマス

○宮澤委員 私ハ其一時的、繼續的ト云フコトガ實際分ラヌ問題デアラウト思ヒマス、ソレカラ今御話ノ中ニ大體組合ハ政黨ヲ持ツテ居ルト仰シヤイマシタケレドモ、必ズシモサウデハナイ、社民黨ノ如キハ大抵サウナツテ居ルト思ヒマスケレドモ、各組合員必ズシモ政黨員デハナカラウ、私ハ大部分ハ政黨ニ屬シテハ居ラヌト思ヒマス、サウ致シ

取締法ヲ作ラナクテモ宜イト云フコトニ吾々ノ研究ハ結著シテ居リマスカラ、作ル意思ハゴザイマセヌ

○田子委員 關聯シテ承ツタ二點ダケヲ確メテ、又自分ノ順序ヲ待チマシガ、内務大臣ノ此法案バカリデヤナシニ、一切ノ御答辯ハ餘程誠意ヲ疑ハレルヤウナ場合ガ多イ、救護法ノ實施ハ、昭和六年ノ豫算ニハ、何ヲ措イテモ社會政策ヲ考ヘル場合ニハ眞先ニ考ヘルト仰シヤイマシタガ、失業ノ問題ノ方ニハ、多少ノ金ヲ御用ヒニナツタケレドモ、救護法ノ實施ニハ、金額モ少クサレテ、時期モ遅ラシタ、此間其點ヲ御尋シタ所ガ、昭和七年一月一日カラ行フト云フコトデアリマシタガ、私ハ昭和七年一月一日カラ行フトコトガ遅イト云フコトニ對シテ、昭和七年カラ行フト云フトヲ申サレマシタ、又此間モ仰シヤイマシタガ、地方制度ヲ早く、審議ヲ進メル爲ニ之ニ關聯シテ居ル衆議院議員選舉法ヲ御出シニナルカト伺ヒマシタ所ガ、必ズ出スト御答ニナリマシタガ、御出シニナラヌ、私ハ内務大臣ノ御答ハ眞心ガアルカドウカ、一時ヲ糊塗サレルノデハナイカト云フ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此附則ノ問題デモ、此間私ハ日本勞働總同盟ノ綱領ヲ讀上ゲマシテ、組合法第一條ノ勞働條件ノ維持改善及共同利益ノ保護増進ト云フコトガ、謠ハレテ居ナイ、却テ新社會ノ建設ヲ期スルト云フガ

マスト組合ヲ組織致シマシテ、組合ヲ踏臺ニシテ政治運動ヲスル者ガアツテ、是ガ産業團體經濟團體デアルケレドモ、一面ニ於テ、ヤハリ政治團體ノ如キ例ヲスル、又サウ云フ結果ヲ起スト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置クノデアリマス、ソレカラ序デゴザイマスガ、加藤君ノ先程ノ取締上ニ關スルコトニ付テノ御辯明ノ中ニ、勞働爭議取締法ト云フモノヲ制定スル御意思ガナイト云フヤウナ風ニ私一寸聞イタノデアリマスガ、サウ云フ御意見デゴザイマスカ、或ハ斯ウ云フモノヲ近ク勞働組合法ニ關聯シテ御提案ニナル御考デアリマスカ、モウ一遍……

○安達國務大臣 其事ニ付キマシテハ、新聞紙デモ御承知デアリマセウケレドモ、資本案側ノ方デハ非常ニ熱心ニ勞働爭議取締法ヲ制定シテ貰ヒタイト云フ希望ガアツタヤウニ、直接ニモ度々聞カサレマシタ、併ナガラ是ガ法律專門家ノ人其他各方面ノ意見ヲ聽取致シマシタガ、先刻ドナタカ御讀上ゲニナリマシタヤウニ、日本ニハ有ユル法規ガアツテ如何ナル場合モ取締ルコトガ出來ル、大阪ノ工業組合カラデシタカ提出サレタモノニ色々列舉シテアリマシタ、斯ウ云フ場合、ア、云フ場合ト、ソレヲ社會局デ調べテ見マスト、悉ク今日ノ法律デ取締ルコトガ出來ルコトバカリデアリマス、ソレドノ方面カラ考ヘテモ、特ニ勞働爭議

如キ、政治綱領ノヤウナモノガ掲ゲテアルガ、之ヲ御認メニナリ、本法ニ依ル勞働組合ト看做ス理由ハ何處ニアルノダト問ヘバ、是ハ看做スノダト仰シヤツテ洵ニ誠意ノナイ御答辯デアル、所ガ今日ニナルト、此第一條ノ目的ニ成ルベク近ヅケルヤウニ努力スル、規約等ヲ讀ンデ見テ、ソレニ訂正ヲ命ズベキモノガアレバ、訂正ヲ命ジテ此法ニ據ラシムル積リダト、此前ノ御答辯ヨリ餘程進歩シタカノ如ク思フノデアリマス、併シ大體ニ於テアナタハ本當ニ眞面目ニ考ヘテ見テ御答ヘニナルノカ、或ハ此處デ思付キニ、好イ加減ニ、其中何トカ疲レテ通スダラウ位ニ、暢氣ニ御考ヘニナルノカ、私ハ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、只今宮澤君カラ申上ゲタ政治運動ヲ爲シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、此間ハ完全ニ爲シ得ナイ、選舉運動モ出來得ナイノダトハツキリ御答ヘニナツテ、今日ニ至レバ、是ハ繼續的ノ政治運動ニアラザル限りハ之ヲ認メルノダ、選舉モ別ニ差支ナイノダ、是亦今日ノ御答辯ハ、全然別ナコトヲ仰ツシヤルノデアリマス、ソコデ私ハ此機會ニハツキリ確メテ置キタイノデアリマス、現在ノ日本ノ勞働組合ト云フモノヲ、一條ノ目的、即チ勞働條件ノ維持改善及共同利益ノ保護増進之ヲ定規ニシテ、今ノ組合ヲズツト此定規ニ當テ、見テ、觸レナイモノハ除クモノモアラウシ、中ニハ又ア

ナタノ仰シヤル政治的手腕ニ依ツテ、幹部ノ人々ニ面會ヲ求メテ、此處ハ斯ウ直シタラドウダ、ト云フヤウニ御相談ニナツテ此「レール」ニ乗セ、附則二項ノ運用ヲ敏活ニスルノダ、後ハ任シテ置イテ宜イノダト斯ウ云フ御趣旨ト承ツテ宜シイカ、モウ一ツハ政治運動ト選舉運動、是ハアナタガ色々御答ヘニナルガ、繼續的トカ何トカ云フコトデハ面白クナイ、アナタノ御趣旨ヲ付度シテ見マシスト、本法ノ第一條ニ規定シテ居リマス所ノ組合ノ目的、即チ勞働條件ノ維持改善及共同利益ノ保護増進、其目的ノ範圍内ニ於テハ選舉運動モ政治運動モ是ハ許ス積リダ、斯ウ御答ニナツタ方ガ明瞭デヤナイカト思フ、内務大臣ハ此二點ニ付テイヤサウデヤナイ、斯ウ仰シヤルガ成程、大體其積リデ認メテ居ツタト私ノ方カラ申上ゲタ方ガ早分リデアルト思ヒマスカラ、サウ申上ゲテ置キマス

○安達國務大臣 田子サンカラ度々私ノ誠意ヲ缺イテ居ルト云フ御批評、御非難ヲ受ケテ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、私ハ其場逃レノコトヲ言ツテ胡麻化シテ行ク、サウ云フコトハ出來ナイ筈デアリマス、ソレデモ尙誠意ヲ疑ハレテハ甚ダ残念デアリマスガ仕方アリマセヌ、救護法ノコトモ有リ體ニ申シマス、既ニ追加豫算トシテ現ハレテ居リマスガ私ノ申上ゲタ通り、昭和七年一月一日カラ實行スルコトニナ

ツテ居リマス、サリナガラ其場合ニ準備ヲ要シマスカラ準備ニ少クトモ三箇月掛カル積リデアリマスガ、唯法案ハ出來テ法律ニナツテ居リマスケレドモ、愈々實施スルニ付キマシテハ、準備モアルカラサウ急ニハ出來マセヌ、ノミナラズ財政ノ都合モアリマスカラ、此財政困難ノ場合ニ救護法ヲ實行スルノデアリマスカラ、餘程種々ノ苦面ヲ致シタ積リデアリマス、決シテ救護法ノコトニ付テモ嘘ヲ申上ゲル譯デハアリマセヌ、衆議院議員選舉法ノコトハ、是ハ一言申上ゲテ置ク必要ガアリマス、私ハ先般御尋ノ際ハ成ベク速ニ衆議院ニ提案シヤウト云フ考デ居リマシタ、併ナガラ御承知ノ通り樞密院ニ懸ケナケレバナリマセヌ、樞密院ニ於テ精査委員會ニ於テ吾々トノ間ニ十分意思ノ諒解ガ出來ズシテ、今日ニマデ經過シテ居ルコトヲ甚ダ遺憾ト考ヘテ居リマス、内容ニ付テ申上ゲマセヌガ、吾々ノ意思ニ反シタコトニナツテ居リマスカラ、ソレデ意ノ如クナラザリシコトハ甚ダ遺憾デアリマス、ソレデ曩ニハ成ベク速ニト申上ゲタニ違ヒハナイ、然ルニ斯ウ云フ行懸リガ出來テ、今日提案出來マセヌコトヲ遺憾ト線線申上ゲテ置キマス、ソレカラ總同盟ノ規約等ニ付キマシテハ、私先般モ申シマシタ通り今此處デ其一箇條々々ニ付テ批判ヲシテ、ドウスル斯ウスルト云フヤウナコトヲ私ハ申上ゲルコトハ早

計ト考ヘマス、御話ノ現存ノ組合ヲドウスルカト云フコトハ成ベク認メテ、圓滑ニ政治的ナ働キデヤツテ行ク、私ハ御話ノ通りニ考ヘテ居リマス、先刻申上ゲタ意味デ、假令法規ニ違反シタ者ガアツテ無論第一條ノ規ニ當テマ圓滑ニ治メテ行キタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、第二ノ御尋ニ付テハ繼續的ノコトデハ宜クナイ、併シ第一條ノ目的ヲ達スル爲ニ、一時的ニ政治運動ヲ爲スノハ差支ナイ、斯ウ云フノデアリマス

○田子委員 私ハ餘程大臣ニ委員長以上ニ援ケ舟ヲ出シテ審議ヲ進メルノデアリマスガ、觀念ノ上デ繼續的トカ斷片的トカ言ヒマスガ、實際ニハサウアリヤウガナイ、故ニアナタノ頭ニハ勞働組合ナルモノハ經濟團體乃至政治團體、産業團體デアアル、其處デ政治ヲヤラレテハ心配ダト云フ御答辯ダト思ヒマス、十二條ニ依ツテ、組合ト云フモノハ組合員ノ選舉運動ニ金ヲ出スコトト徵收スルコトハ出來ナイノダト規定シテアル以上ハ、其以外ノコトハ自由ダ、ト云フコトハ、是ハサウ讀メル、選舉運動ヲ自由ニサセルト云フコトハ、組合カラ考ヘマシテ其法案ノ第一條ノ目的ノ範圍内デ、政治運動モ出來ルト、斷片トカ繼續トカ云フ觀念ヲ御去リニナツテ、サウ御考ニナツテ行ク方ガ此條文ヲ讀ム人モ、能ク分ルト思フ、社會局長ト御相談ノ上デ宜シウ

ゴザイマス、モウ一遍御答ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 私ニ一寸註釋ヲサセテ戴キタイト思ヒマスガ、内務大臣ノ御答ト、田子サンノ御質疑ノ間ニハ、一脈相通ズルヤウニ私ハ考ヘマス、當初カラ御説明申上ゲテ居リマス通りニ、組合ノ目的ハ第一條ニ於テ限ラレテ居ルノデアリマス、其目的ノ爲ニスル活動ト云フモノハ、組合ノ目的ノ範圍内ノ活動デアルト云フコトガ一應申セマス、併ナガラ政治運動ハ無論其目的ノ範圍内ニハ屬シナイノデアリマス、ソコデ大臣ノ申上ゲタヤウニ第一條ニ書イテアリマス事項ヲ目的トシテ行ハレル行動デアリマシタナラバ、其行動ノ現ハレガ一時的ニ斷片的ノ政治的行動ト看做サレルモノガアリマシテモ、ソレハ第一條ノ違反ニナラナイ、組合ノ事業範圍ト考ヘテ宜シイ、目的ト云フコトガ無論第一條ノデアリマス、併ナガラ其政治的行動ヲ連續シテ致シマス、連續ト云フ觀念ハ何處カラ來ルト云フト、ソレハ事實問題ニナリマスカラ、何處マデ何回ヤツタラ連續ト云フ風ニハ申上ゲラレマセヌガソレヲ組合ノ平生ノ目的トシテ、政治行動ヲスルト云フコトニナリマスレバ、即チ政治行動自體ヲ、組合ノ事業トシテ、ソレ自體ヲ組合ノ目的トスルコトニナリマスカラ、ソレハヤハリ第一條ノ目的ト云フ限定ニ反スル結果ニナルト思ヒマス、根本ノ振合ヒ

ハヤハリ目的トスルヤ否ヤト云フコトニアツテ、一時的、
繼續的デアルト云フコトハ、其判定ノ材料トシテ述ベテ居
ラレル、組合ノヤツテ居ルコトヲ目的トシテ判定サレルコ
トニナリマスカライケナイ、斯ウ云フ意味デ御話ニナツテ
居ルト私ハ考ヘマス

○田子委員長 長官モ多分苦シクテサウ御答ニナルドラウ
ト思フガ、此處ハ組合員ハ個人トシテ選舉運動ヲ爲シ得ル
ヤ否ヤ、之ニ對シテ第一條ノ範圍内デハ、之ヲ爲スコトヲ
得、斯ウ御答ニナレバ何モ、ベタ／＼サウ澤山仰シヤル必
要ハナイト思フ、サウ御答ニナルノガ宜シイ

○安達國務大臣 ソレハ繼續的ニヤツタライケノイ

○田子委員 ソレハマアソレデ宜シイ、モウ一ツ承ツテ置
キマス、アナタノ頭ノ中ニハ、一ツノ錯覺ガアルト思フノ
ハ、政治運動ハ繼續的ノモノデナイト仰シヤツタ反面ニ
ハ、組合員ハ同時ニ政黨員ナノダカラ、構ハナイデヤナイ
カ、斯ウ云フコトヲ始終仰シヤルガ、組合員ハ即チ政黨員
デアルト云フコトハドウ云フ譯デスカ

○安達國務大臣 組合員ハ必ズ政黨デアルト云フコトハ申
シマセヌ、ソレハ組合員ノ多數ハ組合ニ加入セザルモノハ
現在ニ於テハ多イドラウト思ヒマス、ソレデ私ハ産業團
體、經濟團體ハ飽マデ政黨的ノ行動ハ取ラヌガ宜シイ、政

ヤウガナイト云フコトニナル

○吉田政府委員 第一條ノ目的ニ違背シテ金ヲ出シタ場合
ノ規定ト云フノハナイノデアリマシテ、ソレハ一般ノ民事
上ノ責任、或ハ刑事上ノ責任横領ト云フヤウナ責任トナル
カモ知レマセヌガ、第十二條ハ、選舉ノ費用ニ限テデアリ
マス、其外ノ場合ニ於キマシテハ、本法ニハ罰則ハアリマ
セヌ、併ナガラ御承知ノ通り、ソレ等ノ場合ニ於テ自然ニ
他ノ刑法ニ觸レルコトハアリ得ルカト考ヘマス

○守屋委員 田子サンニ對スル大臣ノ御話ヲ承ツテ居リマ
シタガ、ソレヲ承リマシテ、又私ハ一ツ疑問ヲ生ジタノデ
アリマス、大臣ハ此前ノ御答辯ノ際ニ、現在ノ勞働組合ハ
其儘ニ認メテヤル、其方が大變工合宜イト考ヘテ居リマ
ス、斯ウ仰シヤツテ、現在アル勞働組合ハ其儘ニ認メル、
ソレデスカラ第一條ニ規定シテ居ル目的ト云フモノカラ、
幾ラカ外レテ居ツテモ、ソレハ其儘御認メニナル斯ウ云フ
風ニ仰シヤツテ居リマシタガ、再三再四具體的ノ例ヲ出シ
テ伺ヒマシタ時ニモ、ソレヲハツキリ仰シヤツテ居ツタ所
ガ、只今ニナルト、第一條ノ目的、勞働條件ノ維持改善及ビ
組合員ノ共同利益ト云フモノヲ以テ、所謂附則ノ「看做ス」
ト云フコトモ律シテ行ク、斯ウ云フ風ニ仰セラレマシタ、
是ハ私ガ承ツタ時ト餘程違フ御答辯ヲサレテ居ル、ソレハ

黨ヲ基本トスル所ノ團體デハナイ、其中ノ人ガ政黨ニ加入
シテ、別ニ政黨ノ運動ヲスルコトハ、是ハ差支ナイ、悉ク
政黨員トハ私ハ申上ゲマセヌ、併ナガラヤハリ組合員モ、
段々政治知識ガ發達スルニ從ツテ、私ハヤハリ政黨ニ黨席
ヲ置クカ置カヌカハ別問題ト致シマシテ、ヤハリ政黨ニ同
情シテ、其人ノ爲ニ個人的ナ運動ヲスルコトハ頗ル盛ダラ
ウト云フコトヲ申シタノデアリマス

○田子委員 モウ一ツ、甲ナル組合ガ「ストライキ」ヲシ
タ場合ニ、乙ナル組合ハ其組合ノ金ヲ以テ援助スルコトガ
出來ル趣旨デアリマスカ、十二條ノ條文ノ讀ミ方ハ……

○吉田政府委員 十二條ハ選舉ニ關シテ費用ヲ取ツテナラ
ヌ、出シテナラヌト云フコトデアリマス、只今ノヤウナ場
合ニハ、十二條ハ關係ナイノデアリマス

○田子委員 ソレデ出セナイノカ出シテ宜イノカ……

○吉田政府委員 組合ノ目的、詰リ己ノ組合員ノ勞働條件
ノ維持改善ノ目的ノ範圍内デアリマスレバ、出シテ差支ナ
イノデアリマス

○田子委員 第一條ノ目的ニ反シテ支出シタ場合ハ、五十
圓未滿デアリマスカ、五十圓以下ノ料料ニ處ス、是ダケノ
裁制シカナイ、若シ幹部ガ横暴ヲシテ、澤山ノ金ヲ他ノ
「ストライキ」ヲ援助スル爲ニ出シタ場合ニハ、是ハ止メ

如何デセウカ

○安達國務大臣 ソレハ總體ヲ論ジタコトデアリマスカ
ラ、一向變リハセヌト思ヒマス

○守屋委員 サウスルト附則第二項ニ於テ、看做サレルト
云ラコトニナリマス範圍ト云フモノハ、其御解釋ノ關係カ
ラシテ餘程縮小サレテ來ル、例ヘバ日本勞働總同盟デア
ルカ、此間此處デ御認メニナルヤウニ申サレタ他ノ一般勞
働組合聯合ト云フモノモ看做サレナイモノニナリハシナイ
カ、サウ云フ解釋デスト私ハ當然看做サレナイモノニナル
ドラウト思ヒマス、ソレハ如何デスカ

○吉田政府委員 ソレハ先達カラノ大臣ノ説明ハ違ツテ居
ラナイノデアリマシテ、無論第一條ノ目的ヲ有ツテ居ル組
合デアリマセヌケレバ附則第二項ノ適用ヲ受クル譯ニハ行
カナイノデアリマス、併ナガラ第一條ノ事項ヲ目的トシテ
居ルヤ否ヤト云フコトノ範圍ハ、先程田子サンカラモ御尋
ニナリマシタ通り、第一條ヲ定規ニシテ、ソレヲ測ルノデ
アリマスガ、組合ノ規約綱領等デ今マデ、斯ウ云フ條文ガ
與ヘラレテ居ナイノデアリマスカラ、決メ方ノ不明瞭ナモ
ノモアリマス、ソコデ明瞭ニナルヤウニ定規ヲ當嵌メテ、
本法ノ適用範圍ニ抱込ンデ行クヤウニスル、抱込ンデ行ク
ト云フノハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ看做ス看

做サスト云フコトハ問題デハナク、行政ノ運用上ニ於テ出来ル限リ左様ニ取計ラフヤウニ當局ハ努メテ行ク、サウシテ尙ホ其目的ヲ有ツテ居リマス勞働組合ガ違法、或ハ公益ヲ害スルヤウナ取定メヲシテ居ルト云フ部分ニ對シマシテハ、是亦行キナリ第十七條ヲ適用スル必要モナイ、出来ルダケ是モ亦運用ニ依ツテ、法規ニ規定スル基準ニ合フヤウニ指導誘掖ヲシテ行ク、斯ウ云フ風ニ御答ニナツタノデアリマス、決シテ御答ノ趣旨ニ依ツテ、適用ヲ受ケル組合ガ減ルト云フコトハナイノデアリマス

○添田委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後六時三十七分散會

一一一 第五十九回帝國議會 院 勞働組合法案外一件

(勞働組合法案(政府提出) 勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)) 委員會會議錄(速記)第十二回

會 議

昭和六年三月十日(火曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

- | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------|------------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|---------|
| 委員長 添田 敬一郎君 | 理事 由 谷 義治君 | 理事 猪野 毛利榮君 | 濱野 徹太郎君 | 飯塚 春太郎君 | 久留 義 郷君 | 田 中 貢君 | 安藤 正純君 | 松村 光三君 | 中谷 眞頼君 | 松谷 與二郎君 |
| 理事 三 宅 馨君 | 理事 多田 滿長君 | 理事 宮 澤 裕君 | 榎谷 寅吉君 | 櫻内 辱郎君 | 栗原 彦三郎君 | 長尾 半平君 | 加藤 久米四郎君 | 田子 一民君 | 守屋 榮夫君 | 西岡 竹次郎君 |
- 出席國務大臣左ノ如シ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十二回

内務大臣 安 達 謙 藏君

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 吉 田 茂君
社會局部長 富田 愛次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)
勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長開會致シマス——松村君

○松村委員 農林大臣ハ……

○添田委員長 農林大臣ハ今貴族院ノ豫算總會デ答辯中デアリマスカラ、濟ンダラ直ダ來ルサウデアリマス

○松村委員 數日前ノ質疑ニ引續キマシテ、本案ノ逐條質問ニ移リマス、第六條ノ「必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ、登記ニ關スル必要事項トシテ、勅令ヲ以テ規定サルベキ範圍ガ、確定議デナクトモ、豫メ分ツテ居ラレルナラバ茲ニ御示シテ願ヒマス

○吉田政府委員 茲ニ必要ナル事項トアリマスノハ、登記手續ニ關スル事デアリマス、大體裁判所ノ管轄トシテ、登記手續並ニ關係法令トノ趣旨ト同様ノモノヲ決メ見込ナノデアリマス、規定ノ草案等ハマダゴザイマセヌ

○松村委員 マダ確定議ガナクテ、是カラ御相談ノ上ニ、何レ施行マデニ定メルト云フ御趣旨デアリマスカ

○吉田政府委員 司法省ノ所管ト致シテノ、登記手續ニ關スル細目ノ規定ノ見込デアリマス

○松村委員 手續規定ダケデ、其外何カ準用規定ハナイノデアリマスカ

○吉田政府委員 手續以外ニハ此法ニ依ツツテ定メラレル規定ハナイ見込デアリマス

○松村委員 見込ト云フ言葉ハ不明瞭デアリマスカラ、其邊ハツキリシテ置カヌト困ルト思ヒマス、其點ヲ希望シテ、尙ホ第七條法人タル組合ト法人タラザル組合ト、特ニ區別シタル理由ハ何處ニアリマスカ

○吉田政府委員 第七條ノ法人タル組合ニ限ツテ準用セラレル民法ノ條文ヲ擧ゲラレテ、居ルノデアリマシテ、民法ノ法人ニ關スル規定ヲ、此法人ニ準用スベキモノヲ規定シテ居ルノデアリマス、法人タラザル組合ハ、此第七條ニハ關係ハナイノデアリマス

○松村委員 此問題ハ此間田子君ノ伺ツタ第三條ノ規定ト非常ニ關係シ、實ハ第三條ガヤカマシクナルノハ、ヤハリ其處ニ關係ガアル、日本ノ勞働組合ノ状態ヲ見マスト云フト、役員ノ主ナル者ハ僅シカ給料ヲ貰ツテ居ラナイ、例ヲ擧ゲテ宜イカドウカ知ラナイガ、多クノ本ニ書イテアルモノヲ見マスト船員組合ノ代表者ハ二百圓カ取ツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、松岡駒吉君ハ月八十圓デアルト云フ、勞働組合ノ役員ト云フ者ハ、形式ハ名譽職ノヤウナ形ヲ取ツテ居ル、其處ニ日本ノ勞働組合ノ一番弊害ガ起ル、形式的ニ報酬ガ非常ニ少イ爲メ——ト云フト少シ露骨ニナルガ、少イガ爲ニ、茲ニ勞働組合ノ役員等ガ或ハ組合ノ會

計ヲ胡麻化シ、或ハ其處カラ金一封ノ問題モ起リ、幾多ノ弊害ガ此處ニ起ル、何カ此會計事項又役員ニ關スル規定ノ中デ、取締ヲ要スル何等カ第三條、第八條ニ於テ斯ウ云フ問題ヲ規定スルカ、或ハ民法ヨリノ準用規定ガアルカ分リマセヌガ、何カ斯ウ云フコトニ付テ、豫メ考慮ヲ煩ス必要ガアルト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 民法ニモ理事、監事ニ俸給ヲ支拂ハナケレバナラヌト云フコトハナイノデアリマス、只今御話ノヤウナ見地カラシテ、報酬ニ關スル規定ヲ法律ノ中ニ設ケルト云フヤウナコトハ必要モアリマスマイシ、又設ケテ見ルコトハ、必ズシモ實情ニ即シナイカト考ヘルノデアリマス、資力ノアル組合ニ於キマシテ、其主ナル役員ニ相當ノ謝禮ヲ出スト云フコトハ、望マシイ事デアルノデアリマシガ法律ヲ以テ如何トモスベキモノデナイト思フノデアリマス

○松村委員 法律ヲ以テ如何トモスル能ハザルモノデアアルカモ知レマセヌガ、第三條又ハ第八條ニ於テ、是等ノ役員其他ニ關スルコト、會社ノ内容ヲ十分ニ届出シムルト云フコトニ依ツテ、間接ニ斯ル組合ノ役員ニ從來屢々行ハレタ不正行爲ト云フヤウナコトヲ取締リ得ルノデハナイカ、又是ハ組合ソレ自身ノ發達上カラノミナラズ、組合員ヲ保

○松村委員 此理事監事等ニ關スル準用規定ハアルカ、此報酬ニ對シテハ何等ノ取締規定モナイヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ趣旨デアリマスカ

○吉田政府委員 何ニ對シテノ規定デスカ

○松村委員 第七條デナクテモ宜イ、第八條ニ規定スル方ガ本當カモ知レマセヌガ、理事監事ノ報酬ト云フコトニ

○吉田政府委員 理事、監事ハ必ズシモ報酬ヲ受ケル者デナクトモ宜シイノデアリマスノデ、報酬ヲ理事、監事ニ對シテ出スカドウカト云フコトハ、組合ノ任意ニナツテ居ルノデアリマス

○松村委員 此問題ハ此間田子君ノ伺ツタ第三條ノ規定ト非常ニ關係シ、實ハ第三條ガヤカマシクナルノハ、ヤハリ其處ニ關係ガアル、日本ノ勞働組合ノ状態ヲ見マスト云フト、役員ノ主ナル者ハ僅シカ給料ヲ貰ツテ居ラナイ、例ヲ擧ゲテ宜イカドウカ知ラナイガ、多クノ本ニ書イテアルモノヲ見マスト船員組合ノ代表者ハ二百圓カ取ツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、松岡駒吉君ハ月八十圓デアルト云フ、勞働組合ノ役員ト云フ者ハ、形式ハ名譽職ノヤウナ形ヲ取ツテ居ル、其處ニ日本ノ勞働組合ノ一番弊害ガ起ル、形式的ニ報酬ガ非常ニ少イ爲メ——ト云フト少シ露骨ニナルガ、少イガ爲ニ、茲ニ勞働組合ノ役員等ガ或ハ組合ノ會

護スル上ニ於テ必要缺クベカラザル事ト思フノデアリマスケレトモ、當局ハソレ程之ヲ必要ト御考ニナリマセヌカ、尙ホ此問題ハ第十五條ニ關聯シテ、後カラ詳シク御伺致シマス

第八條ノ「組合ヲ解散スル」ト云フヤウナコトハ、民法ノ規定カラ見テモ、特別決議事項トスル方ガ宜シイ、元來第八條ハ決議ノ方法等ニ付テ何等規定ガナイ、想フニ是ハ組合ソレ自身ノ規約ニ委セテト云フ趣旨ト思ヒマス、各國ノ立法ヲ見マスト、組合ノ決議方法ニ關シテハ、必ズ何等カノ規定ヲシテ居ル、英吉利デモ其他デモ其慣例デアール、然ルニ決議ノ方法其他ニ付テ全ク規定ノナイコトハ、本法ノ缺陷デハナイカ、殊ニ組合ノ解散ノ如キハ、特別決議ヲ要スル事柄デアリマス、是等ヲ一括シテ組合ノ自治的規約綱領ニ委セテ置クト云フコトハ、組合並ニ組合員ヲ保護シ助長スル上カラ言ツテ、多少ノ不備デハナイカト思フガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 特別決議ト云フ御意味ハ、多分一定數以上ノ多數ノ決議ヲ要スルト云フヤウナ、特殊ノ規定ガラウト思ヒマスガ……

○松村委員 例ヘバ出席會員ニ付テ或ル制限ヲ設ケ、更ニ三分ノ二ヲ要スルトカ、普通ノ事項ヨリモ解散ハ重大ナル

事項ナルガ故ニ、民法、商法ニ於テモ特別會議ヲ要スル、之ヲ組合ノ自治ニ委セテ置クト云フコトハ組合ノ發達上カ
ラ言ツテモ、組合員ヲ保護スル上カラ言ツテモ、多少缺ク
ル所ガアルデハナイカ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○吉田政府委員 御考ノヤウナ考方モ出來ルカト思フノデ
アリマスガ、現在ノ組合ノ状態ニ於テ、特ニソレニ對シテ
一定ノ程度以上ノ——例ヘバ四分ノ三ト云フヤウナ、程度
以上ノ多數ノ決議ヲ要スルト云フコトヲ、一律ニ定メル必
要ハアルマイト考ヘマス、又現在ノ組合ノ状態ニ於テハ、
ソレ程ノ拘束ヲスルト云フコトハ、實情ニ遠ザカル虞ガア
リハシナイカ、隨テソレ等ノ解散ニ關スル場合ニ於テモ、
組合ニ於テ四分ノ三以上ノ同意ヲ要スルト云フヤウナ取極
メヲ致スト云フコトハ、一向差支ナイノデアリマス、法規
ノ上ニ於テサウ云フ限界ヲ設ケルト云フコトハ必要ハアル
マイト云フ見込デ、其點亦組合ノ自治ニ委セテ次第デアリ
マス、尤モ民法等ニ於テハ左様ナ規定ガアルケレドモ、是
等モヤハリ定款ニ別段ニ定ヲシ得ルト云フコトニナツテ、
反對ノ方面カラ法人ノ自治ヲ認メテ居ルノデアリマス、此
組合法ニ於テハ、最初カラ組合ノ自治ニ委セテ置クト云フ
コトガ、穩當デアルト云フ見地ノ下ニ、特別ニ規定ヲ設ケ
ナカツタノデアリマス

シイ、其外ノ方法デモ之ニ關シ規定シテ置クガ宜イト思フ、
ソレデモ自治ニ委シテ置イテ、組合ニゴタ／＼ガ起ツテ
モ、組合自身ニ委シテ、我關セズデ宜カラウト云フ御意思
デアリマス

○吉田政府委員 組合會議ガ圓滑ニ行ハレルコトハ、最モ
望マシイコト、思フ、隨テ今回ハ先般御質問ニナリマシタ
第三條ノ中ニ、組合ノ規約ヲ致シマシテ、會議ニ關スル規
定ヲ設ケナケレバナラヌコトニナツテ居ル、其會議ニ關ス
ル規定ニ於キマシテ、會議方法ト云フモノハ、從前ヨリハ
明瞭ニセラレテ來ルト思フノデアリマス、會議方法ハ定メ
ナケレバナラナイ、其會議方法ヲ如何ニ定メルカト云フコ
トヲ、組合ノ自治ニ委セルト云フ風ニ建前ガナツテ居ル、
丁度此程度ガ我國ノ労働組合トシテ、極メテ適當ナ所デア
ラウト云フ考カラ致シマシテ、斯様ニ立案致シテアルノデ
アリマス

○松村委員 第三條第六ノ會議ニ關スル規定ト云フノハ、
サウシマスト非常ニ廣義ニ解釋サレテ、組合ガ自治的ニ一
切ノ總會、有ユル會議ニ關スルコトヲ、茲ニ規定シロト云
フヤウナ、大體ノ御趣旨デアリマス

○吉田政府委員 御尋ノ通りデアリマス
○松村委員 此點ハ議論ニナリマスカラ、是レ以上申シテ

○松村委員 民法、商法ノ法人ハ、定款其モノニ必ズ決議
方法ヲ規定シテ居ルガ故ニ、別ニ規定ヲ要シナイ、恐ラク
如何ナル商法、民法ノ法人デアリマシテモ、組合ニ關スル
決議方法ノ規定ノナイモノハ、殆ドナイト云ツテモ差支ナ
イ、然ルニ日本ノ労働組合ハ尙ホ未ダ發達ノ過程ニアルガ
爲ニ、組合ノ規約其モノガ甚ダ不完全ノモノガ多イ、爲ニ
屢々労働組合ノ總會等ニ於テ混亂ヲ生ズル、現ニ過去ニ於
テモサウ云フヤウナコトガアツテ、或ハ勢力争カラ、此決
議方法ニ付テ隨分總會ガ混亂ヲ生ズルコトハ、過去ノ多ク
ノ例ニ徴シテモ左様デアルガ故ニ、英國其他ノ立法令ニ倣
ツテ、第八條ノ決議ノ方法ニ付テハ、組合ヲ保護シ、組合
員ヲ保護スル上カラ見テ、茲ニ規定スル方ガ宜イデハナイ
カ、殊ニ發達ノ過程ニ於ケル日本ノ労働組合ノ爲ニ決議方
法ガ必要デハナイカ、各國ガ特ニ決議方法ヲ規定スルコト
ハ、斯ル趣旨デアル、又日本デモ定款其他規約ニ書イテア
ルモノハ、無論問題ハナイガ、ナイ場合ガ多イ、又定款ニ
規定ナキモノニ對スル決議ノ準則ヲ定メルコトハ、一般立
法ノ趣旨カラ言ツテモ必要デアルト思フガ、自治ニ委セル
コトハ結構デアルガ、ソレガ爲ニ非常ニ問題ヲ生ジテ居ル
カラ、各國ノ規定ニ倣ツテ決議ノ方法ヲ規定シテ置クト
ハ、何等複雑ナ事デモ何デモナイ、民法ノ準用規定デモ宜

モ無益ト思ヒマスガ、各國ノ立法令ガ此處ニ注意シテ、特
ニ決議方法ヲ規定シテ居リマス、殊ニ決議ニ關スル投票ノ
方法ニ付テ、之ヲ定メテ居ルト云フコトハ、ドウ云フ理由
デアルカト云フコトモ考ヘナケレバイカヌト思フ、殊ニ日
本ノ組合ハ、是カラ先ハ段々完全ニナルガ今日マデノ様子
ヲ見ルト、少數ノ人ガ横暴ヲ屢々ヤツテ居ル、組合員多數
ノ人ハサウデハナイガ、少數ノ組合主宰者ガ屢々横暴ヲヤ
ル、然ルニ組合自身ニ決議ノ規定ガ缺ケテ居ルモノガ多イ
爲ニ、屢々之ヲ可能ナラシムル場合モ過去ニ於テ相當ニ多
イ、將來左様ナコトハ無論アツテハナラヌガ、尙ホ組合ノ
自治ニ委セズニ組合發達ノ幼稚ナ過渡的ナ時代ニ於テハ、
國家ノ立法ハ深切ニ之ヲ考ヘルコトガ宜イデハナイカ、更
ニ組合ノ會計ガ段々大キクナツテ、組合ニ非常ナ資産ガ出
來テ來ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其資産ノ運用
處分ト云フヤウナコトニ付テ、必ズ幾多ノ問題ガ生ズルコ
トハ疑ヒナイ、其場合ニ唯組合ノ自治的ノ規約ニ委シテ置
クト云フヤウナコトデハ、其所カラ弊害ノ起ルノハ想像サ
レナケレバナラヌ、斯様ノコトヲ考慮シテモ、尙ホ自治ニ
委シテ置イテ差支ナイト云フ確信ガゴザイマス

○吉田政府委員 組合ノ總會ノ決議事項ハ、單ニ組合ヲ解
散スルト云フコトダケデハナク、基金ヲ設置シ又ハ廢止ス

ルコトモ總會ノ決議ヲ要シ、豫算ヲ定メ又ハ決算ヲ承認スルコトモ總會ノ決議ヲ要スル規約ヲ變更スルコト、聯合團體タル労働組合ヲ設立シ又ハ之ニ加入シ、若ハ是ヨリ脱退スルコト、只今御尋ノ組合ノ解散、法人タル労働組合ノ合併又ハ分割ヲ爲スコト、云フヤウナ風ニ、組合總會ノ決議事項ヲ茲ニ新ニ定メル、尙且組合ノ規約ニ關スル規定ヲ、第三條ニ於キマシテ周密ニ規定シテアルノデ、只今マデヨリハ組合ノ會議ナリ、或ハ組合ノ會計ナリト云フモノハ、公明正大ニヤラレル仕組ニナツテ居ルノデアリマス、此程度ヲ以チマシテ、解散ノ決議ガ一定ノ數ヲ要スルト云フコトヲ、法律ニ定メマヌヤウナコトハセズトモ、是デ宜シイ、或ル組合ニ對シマシテハ、只今マデヨリハ事柄ガ明確ニナリマシテ、争ノ原因ヲ除去スルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、是ハ制度ノ認メ方ニ關スルコトニナリマスノデ、結局或ハ御意見ノ違ヒトナルノカモ知レマセヌガ、當局ノ見ル所ト致シマシテハ、解散ヲスル場合ニ總會ノ決議ガ要ル、尙ホ其他ニ付キマシテノ會議事項ハ、豫メ規約ニ於テ明カニ定メテ居ル、此二ツノ方法、ソレ以上ノコトハ、組合ニ委シテ置キマシテモ宜シカラウト云フ考ヘデ、立案サレタノデアリマス

ガ、私ハ少クトモ此組合ノ解散ト云フコトハ、特別決議ヲ要スル事項デアル、日本ノ外ノ法律ガ特別決議事項タル規定ヲ設ケテ居ルノデアアルカラ、茲ニ民法ノ規定ヲ準用スルコトガ必要デハナイカ、殊ニ組合ヲ法人トナス實益ニ關スル當局ノ説明ニ依ルモ、其影響スル所ガ相當ニ大キイシ、其責任モ大キイ、殊ニ組合、理事者ノ損害賠償ノ點デ、法人トナスカ否カハ組合ノ重大事項デアリマスカラ、之ヲモ總會決議事項ニ加ヘテ居ラヌト云フコトハ、ドウ云フ御趣旨デアリマスカ、一應伺ツテ置キマス

○松村委員 是レ以上申シマシテモ意見ノ相違デアリマス

○松村委員 規約變更ダケガ總會決議事項デアツテ、規約ヲ變更セザル場合ニハ、總會決議事項ニナツテ居ラヌノデ、茲ニ多少ノ疑義ガアル、ヤハリ此處ハ組合ヲ法人トラスムルト云フコトハ、當然總會ノ決議事項ノ一項ニ加ヘテ

置クコトガ宜イト思フノデアアルガ、ソコマデ丁寧懇切ヲ必要ト認メナイノデアリマスカ

デアリマス、隨テ此法人ニナルト云フ決議ヲ致シマシテモ、其決議ハ法人ニナルト云フ點カラ考ヘマシテ、全然效力ノナイモノナノデアリマス、本法施行ト同時ニ、本法ニ所謂規約ト云フモノガ、本法ノ適用ヲ受ケル規約トシテ、又本法施行後ニ始メテ組合ノ決議ニ依リマシテ、法人タルコトヲ議決シ得ルコトニナルノデアリマスカラ、其點ニ付キマシテモ、御心配ノヤウナコトハナイノデアリマス

○吉田政府委員 第四條ニ明カニ「労働組合ニシテ其ノ規約ニ法人タルコトヲ定ムルモノハ之ヲ法人トス」ト云フコトガゴザイマスノデ、其點ハ疑義ヲ貽サナイト考ヘルノデアリマス

○松村委員 私ガ問ヒマスノハ、組合法施行後直チニ法人トナスコトヲ事前ニ相談シ、規約トシテ置クト云フ趣旨デアリマス、此場合ニ組合規約中ニ法人タルコトヲ規定スベシト云フコトモ何モナイ、要スルニ法人ノ如キ重大事項ハ、決議ガ不完全デアツテハ、組合ノ發達ノ爲ニモ多少ノ故障ガ起ルカラ、之ヲ固執セズ、第八條ノ總會決議事項ニスルト云フコトデ何カ差障リガ起ルノデアリマスカ

○松村委員 然ラバ本法施行前ニ或ル組合ガ法人トナルト云フ規約ヲ豫メキメル、其規約ハ必ズシモ總會ニ掛ケズニ變更シタト云フヤウナ場合、第八條ノ問題ニハ觸レナイ、斯ル場合ニハドウナリマスカ、是ハ本法ガ出來マシテカラ法人トスルト云フコトガ、今ノ規約ノ變更デ——サウデハナイ、今ノ中ニ豫メ規約ダケヲ變更シテシマウ、サウシテ組合法ガ施行モレルノヲ俟ツテ居ル、而モソレハ總會ニモ決議シナイ、唯組合ノ或ル者ガ何等カノ形式ヲ整ヘテ豫メ法人ニシテ置ク決議ヲナシタ、斯ル場合ハ極端ノヤウデア

○吉田政府委員 是ハ規定ヲ置イテ差障リガ起ルト云フノデハアリマセズニ、明カニ規定シテアリマスカラ、別ニ規定ヲ設ケル必要ガナイト云フ意味デ御答ヲシテ居ルノデアリマス

ルガ、如何ナリマスカ、是ハ固執ナサラズニ、國家ガ法人ト云フ效果ヲ認ムル趣旨カラ言フテモ、ヤハリ總會決議事項トシテ重キヲ置クコトガ宜イデハナイカ、今ノヤウナコトヲ想像シテモ、何等不便ナシト仰セラレマスカ

○松村委員 ドウモ意見ノ相違デアリマス、私ハ法人トナスト云フヤウナコトハ、明確ニ第八條ノ決議事項ニ加ヘル方ガ宜イト思フノデアアルガ、第三條デ稍々分ルト云フ意味

テアリマスカラ、立法者ノ趣旨ガ其處ニアリマスタラバ、強ヒテ是ハ論ジマセヌ、然ラバ第八條ニ、總會招集ノ手續ニ關スル民法六十條及六十二條ノ規定ヲ準用シナイト云フ趣旨ハ、何處ニアリマスカ

○吉田政府委員 六十條ハ通常總會ニ關スル規定デアリマスガ、是等ノ點ハヤハリ先程モ御話致シマシタ通り、此規約ノ中ニ會議ニ關スル規定ヲ設ケサセマシテ、其中デ組合デ規定スル所ニ委セルト云フ趣旨デアリマス

○松村委員 ドウモ政府委員ノ説明ニ依リマスト、今日ノ組合ガ非常ニ完全ニ、自治的ニ發達シテ居ルヤウナ頭デ、立法サレテ居ルノデハナイカト云フ疑ガアル、今日迄ノ組合ノ様子ヲ見ルト、組合ノ總會ハ隨分招集ノ手續ガ不完全デアリ、何人ガ總會ヲ招集シタカト云フコトニ付テ、屢々混亂ヲ起シテ居ル、尤モソレハ混亂ヲ起ス趣旨ヲ以テ總會デゴタシテ居ルノデアルガ、從來組合ノ分裂ノ如キ場合ニハ、招集ノ手續ガ不完全デ、何人ガ招集シタカト云フヤウナ問題デ、組合ハ屢々混亂ヲ生ジテ居ル、ソレデアルカラ立法者ハ此處ニ注意ヲ置イテ、總會ノ如キ重大ナ事柄ニ付テハ十分考ヘナケレバナラヌ、例ヘバ只今ノ總會招集ニ關スル民法六十條及六十二條ノ準用規定ノ如キ、五十一議會及五十二議會ノ時ニ出タ案ニハ完全ニ入ツテ居ツタ、

其方ガ組合ノ爲ニモ宜イ、然ルニ今度ハソレヲ除イタ理由ハ何處ニアルカト云フコトヲ、具體的ニ御伺スルノデアリマス

○吉田政府委員 之ニ付キマシテハ無論考究シタノデアリマス、只漫然除イタノデアリマセヌガ、左様ナ定時總會ニ關スル規定等ヲ、一切ノ組合ニ一齊ニ適用スル必要ハアルマイ、無論労働組合ニ於キマシテハ、定時總會ノ規定ガ準用サレルコトニナツテ居リマス、定時總會ニ關スル規定ヲ準用スルト云フ規定ヲ設ケナイデモ、會議ニ關スル事項トシテ決定スルデアリマセウ、又其必要ヲ認メナイ組合ニ對シテハ、定時總會デナクテモ總會ト云フモノガアルト云フコトデ宜シカラウ、一年ニ一遍是非定期總會ヲ招集シナケレバナラヌト云フコトヲ、法律ヲ以テ命令セズトモ宜カラウト云フ見地カラ、今回ハ會議ニ關スル規定ノ定メル所ニ委セタノデアリマス、尤モ現在ノ狀況ト違ヒマシテ會議ニ關スル規定ハ、是非トモ規約ノ中ニ定メナケレバナリマセヌカラ、其點モ只今迄ノソレガ無カツタヨリハ、紛糾ヲ餘程避ケラレルト思フノデアリマス

○松村委員 ドウモ長官ノ説明ヲ伺フト、根本的ニ組合ガ非常ニ完全ニ發達シテ居ツテ、自治ニ委セルコトガ出來ルト云フ見解ガハツキリシテ來タ、今日ノ日本ノ組合ハ其様要ハアリマセヌ、左様ナ事實カラ、組合ノ必要ニ應ジテ定時總會ヲ拵ヘル、拵ヘヌト云フコトハ、會議ニ關スル規定ニ於テ定メルコトガ、實際ノ事情ニ適スララウト云フ考カラ、自治ニ委セテアルノデアリマス、總テノ組合ガ非常ニ發達シテ居ルカラト云フ理由デハアリマセヌ

〔委員長退席、宮澤理事著席〕

ニ發達シテハ居リマセヌ、英國デモ何處デモ、組合ハ必ず一年一回會計決算ノ内容ヲ公示スルト云フコトヲ法規ニ依ツテ定メテ居ル、是ハ組合及組合員ヲ保護スル上カラ、必要缺クベカラザル規定デアアル、殊ニ日本ノ組合デハ金ヲ使込シタリ、會計ガ紊亂シテ居ルモノガ非常ニ多イ、故ニ國家ガ親切ニ考ヘテヤラナケレバナラヌ、殊ニ幹部橫暴ノ非難アル組合ニ對シテハ、國家ガ進ンデサウ云フ規定ヲ設ケルコトガ必要デアアル、然ルニ一年一回開クモ開カヌモ隨意デアアル、十年開カナイデモ隨意ト云フコトデハ、組合員ヲ保護スル爲ニ面白クナイト思フ、完全無缺デ不正行爲ナドハ行ハレテ居ナイト云フ前提ノ下ナラ宜シイガ、ソレデモ一年ニ一遍位總會ヲ開クコトハ必要デアアル、ソレデアルカラ五十一議會、五十二議會ノ案ニハ、民法ノ準用規定ガアツタ、其規定ヲ除クト云フニハ、相當ノ理窟ガ無ケレバナラヌ、此點ヲ重ネテ伺ヒマス

○松村委員 諄イヤウデスガ、内務大臣ニ伺ヒマス、五十一議會、五十二議會ノ案ニハ、組合總會招集ニ關スル準用規定ガアツタ、ソレヲ除イテ組合ノ自治ニ委セテ、一年一回開イテモ、十年一回開イテモ隨意デアアル、大キナ組合モ小サナ組合モアルカラ、ソコマデ心配シナクテモ宜シイト云フ趣旨デ説明サレテ居ルガ、各國共大體ニ於テ一年一回會計其他ノ報告ヲスル立法例ニナツテ居ル、是ハ組合及ビ組合員發達ノ爲ニモ必要デアアル、殊ニ組合ノ會計ガ紊亂シテ居ル虞レノアル場合ニ、少クトモ一年一回總會ヲ招集シテ、豫算竝ニ決算問題ヲ報告スルコトガ必要デアアル、先ニ田子君ノ話デモ、日本ノ組合ノ弊害ハ此處カラ起ルト云フコトデアアルカラ、少クトモ會計問題ニ付テ、一年一回位總會ヲ開カセルト云フコトハ、ドウシテモ組合保護ノ上カラ必要デハナイカ、組合ノ金ガ紛失シタト云フヤウナ問題ガ澤山起ツテ居ル、國家ハモウ少シ親切ニ取扱ツテヤラ

ナケレバナラヌ、ソレダカラ前ニアツタ準用規定ヲ強ヒテ除カズニ、組合保護ノ爲ニ一年一回召集ヲ強制スルコトガ、組合發達ノ上カラ、組合員ヲ保護スル上カラ必要缺クベカラザルモノト思フガ、長官ハソレヲ自治ニ委セルト言ハレル、内務大臣モ同ジヤウナ考デ、マア大シタ弊害モ起ルマイ、弊害ハアツテモ、ソレハ今日マデ組合ノ自治ニ委シテ居ツタノデアルカラ、ソコマデヤルニハ及バヌト云フヤウナ漫然タル御考デアリマスカ、伺ツテ置キマス、是ハ組合ヲ保護スル爲ニ相當重大ナル事柄デアリマス

○安達國務大臣 豫算ヲ定メ決算ヲ承認スルコト、云フコトガ、茲ニ規定シテアル以上ハ、組合ガ相當ナル行動ヲ爲ス以上ハ、私共ハ茲ニ毎年一回總會ヲ開カネバナラヌト云フヤウナ規定ガナクテモ差支ナイ、ソレハ組合ノ自治ニ委セテ弊害ハナカラウト、斯ウ見テ居リマス、社會局長官ノ御答ガ當然ダト考ヘマス

○松村委員 重ネテ伺フモ無意味ト思ヒマスガ、併シ豫算ヲ定メ決算ヲ定メテモ、紊亂シテ居ル組合ノ存在ハ否定スルコトガ出來ナイ、過去ノ幾多ノ事實ガアル、中ニハ一年一回ノ總會ヲ開カナイモノモ澤山アル、總會ヲ開カズ幹部ガ好イ加減ニヤツテ居ルト云フヤウナモノモ大分アルノデアル、國家ガ法規ヲ以テ組合ヲ認め、保護スル以上ハ、殊

ニ組合ガ法人トナリ、相當ナ組合費モ取り、基金モ殖エル斯ル場合ヲ想像シテ、一年一回總會ヲスベキコトヲ國家ガ命スルト云フコトハ、是ハ組合ノ會計ヲ明確ナラシムルト云フ上カラ、缺クベカラザルコトナノデアアル、今日マデ一年一回ノ總會モ開カズ、又總會ノ決議方法等モ不確實デアル爲ニ、組合幹部ノ横暴ト云フヤウナコトガ起ルノデアルカラ、是位ノコトヲ加ヘルコトハ何モ面倒ナコトデハナイ、アナタ方ノ前ノ若槻内閣ノ時ニ出シタ案ヲ切り取ラズニ、唯一二箇條準用規定ヲ設ケテ置ケバ宜イノデアアルカラ、何モ面倒ナコトデハナイ、今度ハ日本ノ組合ヲ餘リ自治的ニ御答ニナリ過ギタ爲ニ、之ヲ默認スルト云フコトハ、組合員ノ爲ニ親切ナヤリ方デハナイト思ヒマスガ、内務大臣ハ只今長官ガサウ言ツタノダカラ、否定ハ出來ナイデセウガ、モウ一度再考ヲ願ヒタイ、唯準用規定デアリマス、面倒ナコトデハナイ、組合ニ法人格ヲ與フル以上ハ、少クトモ一年一回總會ヲ召集ヲ命ズルト云フコトハ、國家ノ當然ナ仕事デアアル、又組合ノ當然ナ仕事デアアル、其處ヲ準用シタカラト云ツテ、何モ組合ノ健全ナル發達ヲ阻礙スルモノデハナク、却テ間接ニ組合ノ健全ナル發達ヲ促ス一ツノ方法デアルト思ヒマスルガ、内務大臣ハ尙ソレ程ニ御考ニナツテ居ラヌカ、ドウカモウ一遍伺ヒタイ

○安達國務大臣 今御話シマシタ通りデアツテ、今アナタノ御意見ノヤウニ、ソレ程私ハ考ヘテ居リマセヌ、此規定ノ儘デ宜シカラウト思ヒマス

○松村委員 マダ逐條的ニ質問スベキ所ガアリマスガ、内務大臣ガ見エテ居リマスルカラ、モウ少シ根本的ノ問題ヲ伺ヒタイ、第一條ニ遡リマス、此間カラ本法ニ所謂労働者ト云フ意味ガ分ラナイ、社會局長官ハ筋肉労働者ニ限ルト言フ、陸軍當局ハ、宇垣陸軍大臣ノ前ノ議會ノ説明ト同ジヤウニ、筋肉労働者アラズト雖モ、雇傭關係ニ立ツ所ノ者ノハ、一切労働者デアルト云フ意見デアアル、例ヘバ陸海軍ノ筆生ノ如キハ、筋肉労働者ニアラズト雖モ、雇傭關係ニ立ツ所ノ一例トシテ、明カニ労働者デアルト言フ、簡單ナヤウデアリマスガ、社會局長官ト陸海軍當局トノ間ニ、労働者ノ意義ニ付テ根本的ノ相違ガアル、此點ニ付テ内務大臣カラ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイ、此點ニ付テ此間長ク問答シタガ、陸海軍ト社會局長官ノ意見ガ合致シナカツタノデアアル、之ニ付キ内務大臣ノ責任アル御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○安達國務大臣 此労働者ナルモノハ、筋肉労働者デアルト云フコトヲ明快ニ御答致シテ置キマス

○松村委員 内務大臣ハ筋肉労働ニ限ルト云フコトヲ明快

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十二回

ニ御答辯ナサツタ、而モ宇垣陸軍大臣ハ、從來屢々筋肉労働者ニ限ラナイト云フコトヲ、明快ニ議會ノ速記録ニ載ツテ居ル、加之軍務局長ハ此處ニ來テ、筋肉労働者ニ限ラナイト云フコトヲ繰返シ言ハレタコトハ、速記録ニ明カデアアル、此筋肉労働者ニ限ルカ限ラヌカト云フコトニ付テ、軍務局長ト社會局長官ノ間ニ、徹底的ニ意見ノ相違ガアルト云フコトハ、此間ハツキリ此處デ御二人ガ居ラレル前デ私共ハ聽イタ、ソレデ最後マデ意見ノ合致ヲ見ナカツタノデアアル、然ルニ今内務大臣ハ筋肉労働者ニ限ルト言ハレタ、此問題ハ今是レ以上論議シマシテモ仕方ガアリマセヌカラ、陸軍大臣ノ出席ヲ求メマシテ、改メテ伺ヒタイト思ヒマス、筋肉労働者ニ限ルヤ否ヤト云フコトハ、簡單ナ問題デハナイ、陸海軍ニ於テハ筋肉労働者ニアラザル者モ組合員ニ爲シ得ルヤ否ヤニ依ツテ、多數ノ人ガ組合ニ入り得ルヤ否ヤト云フ重大ナル事項デアリマス、陸軍大臣ノ出席ヲ求メマシテ、軍部當局ノ見ル労働者ト云フ意味ト、内務大臣ノ言フ意味ト、一ツドチラガ本當デアルカハツキリ致シテ置キマセヌト、組合法實施後直チニ大變ナ問題ガ起ツテ來ルコトデアリマスカラ……

〔宮澤理事退席、委員長復席〕

是ハ委員長ヲ通ジテ軍部兩大臣ニ出席ヲ求メ、内務大臣立

會ノ上デ、此問題ハ明確ニ致シテ置キタイ、是ハ五十一議會引續イテノ問題デアツタガ、今日マテ意見ガ合致シテ居ラナイ、茲ニ速記録ヲ讀上ゲル必要モナイト思ヒマスガ、兎角委員長ヲ通ジテ、軍部兩大臣ノ出席ヲ要求致シテ置キマス

○田子委員 關聯シテ一言御尋シタイ、此一條ノ勞働者ノ解釋ハ姑ク措キマシテ、組合法ヲ保護シヤウトシマスルノハ、筋肉ヲ使フ勞働者デアルカ、頭ヲ使フ勞務者デアルカ、ソレガ目的デハナイ、雇フ人ト雇ハレル人トデ其雇ハレル場合ニモ、解雇サレル場合ニモ、雇主側ノ意思ダケニ依ツテ決定サレテ、雇ハレル側ノ意思ニ依ツテハ決定サレナイ、強ク言ヘバ横暴ニ對抗ガ出來ナイ、ソレデ組合法ヲ作ツテ、其雇ハレル人ヲ保護シヤウト云フノハ、筋肉ヲ保護シヤウトカ、其人ノ智力ヲ保護シヤウトカ、斯ウ云フコトハ問題デナイ、要點ハ雇ハレル條件、即チ賃銀報酬、ソレカラ生活ノ向上ノ上ニ維持シテ行カウト云フノデアリマスカラ、是ハ守屋君カラモ、屢々知識階級モ含メルカト云フコトノ御質問ヲ申上ゲマシタガ、社會局長官、又今内務大臣モ、勞働者ハ筋肉勞働者ニ限ル、ソレハ勞働者ノ讀ミ方ハ、ソレデ假ニ政府ハ御決定ニナルトシマシテモ、雇ハレル者ト雇フ者トノ關係ヲ規役スルノデアリマスカラ、言

葉ヲ直スニハ他ニモ規定ガアリマスカラ、必ズシモ勞働者ト書カナイデ、被雇傭者トモ書ケマスカラ、其知識階級ハドウデモ宜シイ、筋肉ヲ使フ者ヲ保護スルト云フ御趣旨ヲ明確ニ承リタイ

○吉田政府委員 言葉ノ解釋以外ニ、何故筋肉勞働者、肉體勞働者ニ限リマシテ、此勞働組合法ヲ適用スルカト云フコトモ、前ニ御説明申上ゲタコトガアルト記憶スルノデアリマスガ、ソレハ現在ニ於キマシテ、知識階級、所謂知能勞働者トデモ申シマスカ、サウ云フ人々ガ團結致シテ雇傭主ニ對シテ自主的ニ勞働條件ナリ、其他ノ共同的利益ノ保護増進ヲスルト云フ現象ハ、此勞働者ノソレ等ニ對スル現象ニ較ベマシテ、マダ著シク少ナイノデアリマス、只今サウ云フ俸給生活者ノ組合等ガ出來テ居ルモノハゴザイマスケレドモ、ソレ等モ多クハ勞働紹介ノ維持改善ヲ圖ルト云フヨリハ、一種ノ研究的ナ會合、或ハ思想團體ト云フヤウナ傾向ヲ現ハシテ居ルモノガ多イノデゴザイマスノデ、組合ト稱シテ居ルモノト致シマシテハ、現在組合ノ數ガ十二、組合員ト稱セラレル者ガ、是モ精確ニハ分リマセスケレドモ、三千四百人ニ過ギナイ現狀デゴザイマス、隨テ社會立法ト致シマシテ、此勞働組合法ヲ立案スルノ實益ハ、主トシテヤハリ筋肉勞働、肉體勞働ニ從事スル人々ノ雇傭關

係、斯ウ云フコトニ著眼スルヲ以テ、今日デハ足レリト考ヘテ居ルノデアリマス、無論御話ノヤウニ、本質的ニ知能勞働ニ從事スル人々ノ雇傭主ニ對スル關係モ、又肉體勞働ニ從事スル人々ノ雇傭主ニ對スル關係モ、雇傭關係ガアルト云フ點デハ同様デアリマス、此法律ニ於キマシテハ、組合ノ團結ト云フコトヲ今日ノ時勢ニ於テ認メマスノハ、肉體勞働者ノ團結保護ト云フコトニ限ツテ置キマシテ差支ガナイ、又其程度デ足リテ居ルノデアル、將來ハ知ラザルコト、只今マデノ現狀デハ、此程度デ十分立法ノ目的ヲ達シ得ラレト云フ考ヲ以チマシテ、此筋肉勞働者ニ限ル積リヲ以テ、勞働者ト云フ字ヲ使ツテアルノデアリマス、此勞働者ト云フ字ヲ——御尋ノヤウニ、勞働者ト云フ字ヲ使ツテ居ルカラ、ソレニ限ルト云フ字義カラ考ヘテ居ルノデアリマセヌ、字義ハ正ニ筋肉勞働者ヲ意味スル字ヲ使ヒマシタガ、其使ツタ理由ハ、只今申上ゲマシタヤウナ知能勞働者ニ付キマシテハ、只今左様ナ組合立法ト云フモノ、必要ヲマダ認メテ居ラナイト云フ、實質上ノ理由ニ基イテ居ルト云フコトヲ、御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス、尙ホ先程松村サンカラ御話ノアリマシタ、陸軍當局ノ見ル所ト大ニ違フト云フ御話ガアリマシタ、是ハ又陸軍當局ガ此席ニ御出デニナツテ御述ニナルカモ知レマセヌガ、先達ハ雇傭關

係ト云フコトニ付テ、主ニ御答ニナツタヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、雇傭關係ニ立ツテ居ルト云フコトモ、ヤハリ本法ノ勞働者ト云フコトノ一ツノ要件ナノデアリマス、御問ガ主トシテソレニアツタガ故ニ、陸軍當局トシテハ、雇傭關係ニ立ツテ居ルコトガ必要デアルト云フ程度ノ御話ヲシ、其際ハ餘リ筋肉勞働者ヲ含ムカ含マナイカト云フ問答ハ、左程繰返サレテ居ラナカッタヤウニ、私ハ記憶シテ居ルノデアリマス、併シ是ハ此勞働組合法立案ノ趣意ト致シマシテ、茲ニ書イテアリマスノハ、第一條ニ書イテアリマス、又本法ノ中ニ用ヒテ居リマス勞働者ト云フノハ、筋肉勞働者ノ意味デ當初カラ立案セラレテ居リマス、是ハ第五十一議會ニ於テモ、五十二議會ニ於テモ、同様ノ意味ニ内務大臣カラ説明ガ出來テ居リマシテ、決シテ今回新ニ範圍ヲ狹クシタノデモナク、又前ニ用ヒタ用例ヲ變更シタノデモナイ、尙ホ松村サンカラ御舉ゲニナリマシタ筆生ノ如キハ、單純ニ書キ物ヲ寫ス、何等頭腦ノ判斷ヲ要セズシテ、單ニ物ヲ寫スト云フヤウナ者ハ、本法ノ適用ノ上ニ於キマシテモ、私共ハソレハ知能勞働者デナイ、筋肉勞働デアルト考ヘテ居リマス

○田子委員 長官ノ御言葉ハ長イ割ニ内容ハナカッタノデスガ、簡單ニ申セバ勞働組合トカ、或ハ職業組合、何デモ

宜シイガ、此組合ノ力、團結ノ力デ、何ヲ保護スルカト云ヘバ、身體ヲ使フ者ダケヲ保護シヨウト云フノデアアルガ、荷モ賃銀報酬ヲ得テ、御互ニ對等ノ地位ニ立ツテ行カレルヤウニ保護シヨウト云フ、社會立法ノ精神デアアル、然ルニ身體ノ方面ダケ御覽ニナツテ、知能ノ方面ヲ一向御覽ニナラナイ、今日日本ノ報酬賃銀ト云フモノハ、知能ヲ以テ働ク者ノ方ガ随分割合ガ悪イ、故ニ新ウ云フ者モ相當保護シテ行カナケレバ、其人々ノ生活ノ向上ハ出來ナイ昔ノ事ヲ言フヤウデアリマスガ、大正七年デアリマシタカ、戰爭時代ニ倫敦デ數萬人ノ警視廳ノ巡查全部ガ「ストライキ」ヲシマシタ、其時ニ要求シマシタコトハ、知識ヲ以テ國家ニ奉仕シテ居ル吾々モ、英吉利ノ労働組合ニ入ル加入權ヲ認メテ貰ヒタイト云フノデ、三日間「ストライキ」ヲ致シマシタ労働組合ニ巡查ガ入ラナケレバナラナイト云フノデ、戰爭中デアアルニ拘ラズ「ストライキ」ヲヤツタ、官吏ノコトハ姑ク措キマシテ、其以外ノ知識階級ノ労働者ト云フ者ヲ、本法ニ於テ保護シテ、サウシテ労働條件、雇傭條件、勞務條件ノ維持改善ヲスルト云フコトハ、最も必要ダト思ヒマス、今ノ御考デハ、唯數ガ少イカラト云フ御話デアリマスガ、社會局長官ナドノ頭、内務大臣ナドノ頭デハ、サウ云フ者ヲ保護スル必要ナシト御考ニナツテ居ルノデアアル

カ、サウ云フ者ノ組合ノ數ハ少イトシテモ、サウ云フ者ヲ保護スルノ必要ナシ、唯身體ノ方面ダケノモノヲ解決スレバ、ソレデ足レリト御考ニナツテ居ルノガアルカ、其點ヲ簡單デ宜イカラ御答辯願ヒマス

○安達國務大臣 今日ノ時勢ニ於キマシテハ、本案デ規定致シマシタ筋肉労働者ヲ保護スルコトガ、一番適當ト考ヘテ居リマス

○松谷委員 ソレニ關聯シテ一寸伺ヒタイ——只今社會局長官ノ御話ニ依ルト、所謂精神労働、知能労働ニ關スル者ハ、僅カ三千ダト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ如何ナル所カラ出タ統計デアアルカヲ御示シ願ヒタイ、ソレカラモウツ、知能労働ニ限ルト言ハレルナラバ、工場ノ相當高級ノ労働者ノ中ニモ、殆ド筋肉ヲ使ハナイデ、精神ノミノ労働ヲヤツテ居ル者ガ、可ナリ多イノデアリマスガ、サウ云フ者ハ此中カラ除外セラレルノデアアルカ、ドウカト云フコトヲ一應承リタイ

○吉田政府委員 第一ノ御尋ノ俸給生活者、所謂知能労働者ノ數ノコトデアリマスガ、ソレハ知能労働者ノ總數ヲ申上ゲタノデハナイ、組合ト稱スルモノニ加盟シテ居ルト考ヘラレル人間デアリマス、ソレ等ノ組合トシテ分ツテ居ルモノ、名ヲ申シマス、全國俸給生活者協會、全國俸給生

活者組合、工友同志會、關東俸給者組合、日本一般使用人組合、全國俸給者組合評議會、東京映畫説明者向上會、關東映畫從業員組合、全國「サラリーマン」組合、大阪俸給者組合、神戸俸給生活者組合、名古屋俸給者組合、是等ノモノハ所謂知能労働者ノ組合トシテ現在分ツテ居ルモノ、全體デアリマス、ソレニ加入シテ居ル組合員ノ數、是ハ正確ニハ分リマセヌノデアリマスガ、當局ニ於テ調べマシタ數ガ、約三千人位ノモノデアアル、斯ウ云フ意味デ御話シタノデアリマシテ、知能労働者ノ全體ノ數ヲ御話シタノデハナイノデアリマス、第二ノ御尋ノ點ハ、ヤハリ其人間ガ知能労働ニ從事シテ居ル、頭腦ヲ使ツテ労働シテ居ルノデアアルカ、或ハ主トシテ肉體ニ依ツテ労働シテ居ルノデアアルカト云フコトニ依ツテ分ケマスノデ、工場ニ出勤シテ頭腦ダケ働イテ居ルノデアアルト云フナラバ、ソレハ本法ノ組合員トナルベキ、所謂労働者ト云フモノトハ考ヘラレナイノデアリマス

○松谷委員 只今ノ中ニ劇場關係ノ組合、俳優ニ關スルモノ、現ニ是ハ觀音劇場ニ一ツノ組合ガアルガ、ヤハリ其中ニモ大分拔ケテ居ルモノガアラウト思フ、ソレカラ又社會局デ御調ニナツタノハ杜撰デアツテ、殆ド其一部シカ載ツテ居ラスト思フ、ダカラ極メテ不完全ダカラ、マダ適用ス

ル程度ニ至ラスト云フ御話デアリマシタガ、將來モ此知能關係ノ者ニ付テハ、組合トシテ認メナイト云フ御考デアアルカ、現在ダケニ付テノ御考デアアルカ、將來ハ知能關係ノ組合ガ相當ニ出來タナラバ、之ニ加盟シテモ宜シイト云フ御考デアアルカ、其點ヲ一ツ御同致シタイ、ソレカラ只今申上ゲルヤウニ、其御調ナルモノハ甚ダ杜撰デアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キマスガ、モウ少シ正確ニ御調ニナツタナラバ、更ニ斯ウ云フ者モ入レナケレハナラヌヤウニ考ヘテ居ル、ソレカラモウ一ツ、私共ノ考ト致シマシテハ、工場ニ働イテ居ツテ、サウシテ主トシテ知能、例ヘバ工場長、ソレカラ又一班長、二班長ト云フヤウナモノヲ、組合ニ入レナイト云フコトハ、私共ハ世界各國實際ニ於テ見マセヌケレドモ、ソレダケ跳出スト云フコトハナイヤウニ思ツテ居リマスケレドモ、日本ハソレヲ跳出スノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、其點ヲ明快ニ御答ヲ願ヒタイ、例ヘバ知能ヲ働カス者、或ハ工場ノ割振ヲ充テル、人員ノ整理ヲスル、サウ云フ者ヲ入レナイト云フコトナラバ、組合トシテ殆ド片輪ノモノガ出來ルト考ヘマスガ、實際ノ情勢上アナタノ仰シヤツタヤウニ適用シテ、圓滿ニ行ク御考デアリマスカドウカ、其點モ併セテ御伺シマス

○吉田政府委員 工場長デアルトカ、或ハ係主任トカ云フ

方如キ者ニ付キマシテハ、是ハ入ル人モアレバ、入ラヌ人モアルドラウト思ヒマス、純粹ノ知能的ナ働キダケヲシテ居ル者ハ、第一條トシテハ入ラナイノデアリマス、但シ自己ノ經歷ニ於キマシテ、同一又ハ類似ノ職業、又ハ産業ノ労働者タリシ者、労働者カラ段々ニ出世ヲ致シマシテ、指揮、監督ヲスル地位ニ立ツテ、現在デハ指揮、監督シカシナイ、自分デハ手ヲ下シテ何ニモシナイト云フガ如キ人ハ、茲ニアリマスル第十條ノ規定ノ第二項ニ依リマシテ、ソレ等ノ人ハ現ニ労働ニ從事セズトモ、入レル途ガ開イテアルノデアリマス、御擧ゲニナリマシタヤウナ例ハ、恐ラクソレニ該當スルモノガ大部分デアラウト考ヘマス、ソレカラ只今申シタ知能労働者ノ組合ニ關シマシテハ、是ハ和和五年末ニ於テ現存スルモノヲ、役所デ調ベタノデアリマス、或ハ其後ニ出来タモノモアルカモ知レマセヌ、或ハ一ツノ組合ニ對シテ、役所ノ調ニ於テ、労働者ノ組合ト見テ居ラヌモノニ付テ、松谷サンノ御考デ、或ハ労働者ノ組合デアルト云フ風ニ御觀察ニナツテ、所謂觀點ノ違ヒノ爲ニ、喰違ニナツタカモ知レマセヌ、何レニ致シテモ、左程大ナル差異ハナイト思ツテ居リマス、尙ホ將來ノコトニ付テ御尋デアリマスガ、是ハ我國ノ労働條件ノ維持改善ノ爲ニ、團結スル労働者ヲ保護スルト云フ目的ノ爲ニハ、今日

ニ於テ知能労働者ヲ此中ニ加ヘテ考ヘルコトハ、必要ガ差當リアルマイト云フコトヲ、先程カラ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、將來マデ斯ウ云フ必要ハ絕對ニナイノダト云フヤウナ意味デ申上ゲテ居ルノデアリマセヌ、是ハ現狀ニ基イテ左様ニ限ツテ置イテ差支ナイ、又此程度ヲ以テ足ルト云フ考ナノデアリマス

○守屋委員 將來ノ場合ニ於テハ、サウ云フコトガ豫想サレルト云フヤウニ政府委員ガ仰シヤラレマシタガ、將來サウ云フコトガ豫想サレル場合ニハ、本法ノ労働者ト云フ文字ハ、肉體労働者ト云フ意味デ制定シタノデアツテ、之ヲ制定スル時ノ意味ト、適用スル時ノ意味ガ違フ、其時ハ解釋トシテ、ソレヲオヤリニナル積リデアルカ、本法ヲ改正シテオヤリニナル積リデスカ、其ノ處ヲ一ツ聽キタイノデアリマス

○吉田政府委員 本法ノ解釋ニ付キマシテハ、當局ノ只今持ツテ居リマスル解釋ガ正シイト思ヒマス、此解釋ニシテ正シイト致シマスル以上ハ、他ノ知能労働者ヲ入レル爲ニハ、本法ノ改正ガ將來必要ダト云フ場合ニ於テハ、必ラズ必要ト云フ風ニマデマダ申上ゲテ居リマセヌ、將來必要ガ起ルカモ知レナイト云フ意味デ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、斯様ナ場合ニ於テハ、文字ノ改正等モ必要ニナルカト

考ヘテ居リマス

○守屋委員 ドウ云フ風ニ文字ヲ改正スルナラバ、アナタノ仰シヤル精神ガ出テ来マスカ

○吉田政府委員 是ハ立法ヲスベキ時ニ定ムベキモノデアリマシテ、ドウ云フ風ニ文字ヲ改正スレバ、其際ニ於ケル社會的の通念トシテ、知能労働者ヲ含ムヤウニナルカト云フコトヲ、只今豫想ヲ以テ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ

○守屋委員 労働者ト云フ意味ハ、私共カラ考ヘルト、社會的の通念デ考ヘルノガ當リ前ナノデアリマス、此労働者ト云フ意味ガ、肉體労働者トナツテ居ルノハ、社會的の通念ガ今現ニ大部分サウナツテ居ルノデハナイカ、社會的の通念或ハ労働組合ノ發達徑路カラ言ヒマシテ、今申シマシタヤウナ知能労働者ガ、労働組合ノ結成ノ中ニ段々入ツテ来ル、サウシテソレガ今ノ肉體労働者ノ結合ノヤウニ數ガ殖エテ来、活動力ヲ増シテ来ル時ニハ、ソレハ本法ニ規定シテアル所ノ労働者ト云フモノ、社會的の通念ガ段々變ツテ行クノデアツテ、其時ニハ解釋論トシテ、法ヲ改正スル文字ニ付テ考ヘヤウトカ何トカ仰シヤラヌデモ、労働者ト云フモノ、解釋サヘ變ヘテ行ケバ宜イノデアツテ、今デモ民政黨内閣ガ變ツテ、例ヘバ無産黨ノ内閣ガ生ジテ来タト云フ場合デアツタナラ、私ハ此文字ノ儘デヤツテ行ケルモノダト思

ツテ居ル、内務大臣ガ幾ラ之ヲ肉體労働者ダト言ツテ制定スル時ニ仰シヤツタ所ガ、アトノ解釋論ハ内務大臣デハ決マラヌノデアリマス、問題ニナレバ裁判所ガ決定スルカモ知レマセヌガ、併シ其根據ニナル文字ノ中ニ、是ハ必ズ肉體労働者ト云フコトヲ明確ニシテ其精神ト云フモノヲ長ク殘サウト思フナラ、ハツキリ肉體ト御付ケニナツタラ宜イデハアリマセヌカ、ソレヲ付ケナイデ、ソレヲ永久ニ固持シテ行クト云フヤウナコトハ、私ハ意味ガナイト思フ、又將來ニソレヲ適用スル必要ガアツタ時ニ、本法ヲ改正スル必要ハナイト思フ、解釋ヲサウシテ行ケバ宜イ、ソレデモ尙且本法ヲ改正スル必要ガアルト云フ風ニ固執サレマス

○吉田政府委員 無論労働者ト云フコトノ意味ヲ、解釋ノ問題トシテ考ヘマスレバ、ソレハ社會通念ニ依ツテ解釋スルノデアリマスガ、只今デ單ニ労働組合法案ノミナラズ、他ノ労働者ニ關スル法制ニ於キマシテ、全部労働者ト云フ字ヲ用ヒマスル場合、日本ノ法制ニ於キマシテハ、肉體労働者ニ限ル意味ヲ以テ労働者ト云フ字ヲ使ツテ居ルノデアリマスカラ、只今ノ社會通念ニ於ケル解釋ノ問題ト致シマシテモ、其點ハ労働組合ニ限ツテ特別ノ解釋ヲ用ヒルト云フ譯ニハ、今日ノ社會通念ニ於テハ參リマセヌ、ノミナラ

ズ左様ナ意味デ、先程申シタ通りニ、此労働者ト云フ文字ヲ使ツテ居リマス以上ハ、法律制定ノ際ニ於テ、労働者ト云フ意義ガ左様ナ意味デ使ハレテ居ルト云フ事實ハ消ス譯ニ参ラヌノデアリマス、ソレハ將來ニ於キマシテ、社會通念ガ段々變化シテ來ルト云フヤウナ、御話ノヤウナ事實ガアルカモ知レマセヌガ、將來モ變化スベキモノデアルト云フ豫想ヲ以テ御答スルコトハ、將來ハサウ云フ風ニ知能労働者ガ入ルト云フコトノ解釋ニナルト云フ御答ヲスルコトハ、現在ノ社會通念ノ下ニ於テ、到底御答ハ出來ナイノデアリマス

○田子委員 私ハ非常ニ穩和ニ御答スレバ、ソレデ満足致シテ居リマスガ、社會通念ガ違フト云フヤウニ、非常ナ「ドグマ」ヲ仰シヤルカラ、社會局ガ吾々ニ下サツタ労働組合ニ關スル各國ノ法制概要、之ニチャント出テ居ル、労働者トハ報酬ヲ得テ他人ノ爲ニ從屬的ニ勞務ニ服スル者ヲ云ヒ、單ニ筋肉労働者ノミナラズ、頭腦労働者、俸給被雇者、或ハ自由職業ニ從事スル被雇者ノ總テヲ包含スルコト勿論ナリ、例ヘバ英吉利ハドウダト、ズツト擧ゲテ居ル、今ノアナタノ労働者ノ解釋ハ、筋肉労働者ガ労働者デアルト云フヤウナ社會通念ノ如キハ、是ハ社會局長官ノ社會通念デ、マルデ各國トモ吾々ノ考トモ違フ、モウ一遍答辯ヲ

ヤリ直シタ方ガ適當ダト考ヘマス

○松村委員 社會局ト社會局長官トノ社會通念ニ關スル觀念ガ違フバカリデハナイ、ソレハ田子君モ言ハレタガ、社會局長官自ラノ社會通念ガ、先週ト今日トハ違ツテ居ル、社會局長官ハ此間斯ウ言ツテ居ル、筆生ノ如キハ筋肉労働者ト言ハズトモ、所謂労働者ノ中ニ入ルト思ヒマス、今日ハ筆生ト云フモノハ、手ハ使フガ頭ハ使ハヌカラ、筋肉労働者ニ入ル、サウ云フヤウニ労働者ト云フモノ、定義ガ、社會局長官自ラ時々説明ノ違フ程曖昧ナモノデアアル、ソレダカラ陸軍當局ト内務當局ノ意見ガ違フ、内務當局ハ筋肉労働者ノ中ニ入ルト言ツテ居ル、陸軍當局ハ然ラズト云フ、大體斯ウ云フ風ニ社會局ノ社會通念ト云フモノハ違ツテ居ル、ソレダカラ軍務當局ノ出席ヲ要求スル理由ハ、本法ノ解釋ハドウデアツテモ、直チニ適用スル場合ニ當リ色々問題ガ生ズル、内務省ハ地方長官ニ命ジテ、本當ニ筋肉労働者以外ノモノハ入ツテハイカヌト云フ、ドウ云フコトヲ爲サルカ知リマセヌガ、之ヲ實際運用スルニ當リ直チニ此問題ガ起ル、ドウシテモ社會局ガ之ヲ固執スル考ナレバ、嚴密ニ筋肉労働者ニハ筋肉ト云フ字ヲ加ヘナケレバ幾多ノ弊害ガ起ル、又必要ノ場合ニハ筋肉ト云フ字ヲ取ツテシマフ、私ハ社會局長官ニ内務大臣ハ、此間カラ労働者ノ意

義ニ關シ非常ニ固執サレテ居ル、説明ノ分ラナイノハ斯ウ云フ所ニ伏シテ居ル、多少筋肉労働者ニ近イ收入ヲ得テ居ル比較的下級ノ人々ガ「サラリーメンズ、ユニオン」ヲ拵ヘテ居ル、斯ウ云フ人ハ入レタクナイ、將來サウ云フ人ハ成タケ組合カラ除却シタイト云フヤウナ先入主ガアルカラ、ソコデ筋肉労働者以外ノ者ヲ入レナイノデハナイカト云フ疑ガ深クナツテ來ル、モウ一ツ、職工長ノ如キハ、過去ニ筋肉労働者デアツタト云フ經歷ダケナラ、是ハ吾々ノ仲間ニモ斯ル過去ノ經歷ノ人ガ澤山アル、過去ノ經歷ガ筋肉労働者デアツタト云フコトハ、第十條ノ役員ノ場合ニ適用スル、併シ過去ニ筋肉労働者デアツタト云フコトニ依ツテ職工長ヲ組合ニ入レル理由トハナラナイ、多數ノ會社ニハ澤山ノ職工長ガ居ツテ、悉ク是ガ現在組合員デアアル、職工長ハ筋肉モ何モ働カサナイ、固ヨリ腕一本モ動かサナイコトモアル、唯デツトシテ居ツテ、知識階級ト同ジヤウナ指揮命令ヲ下スノガ「フォアアメン」ノ實體ガアルカラ、筋肉労働者ニ限リ云々ト云フコトヲ云フナラ、職工長ハ當然除外シナケレバナラヌコトニナリマス、大體労働者ト云フ意味サヘ決マラヌヤウナ労働立法ハ實ニ困ル、此間社會局長官ハ、筋肉労働者ト云フコトニ付テハ、稍々訂正サレタヤウナコトヲ言ツテ居ルガ、又今日ハ逆行シタ、ドウカ逆

行ナサラズニ、午後迄ニ確ツカリ考ヘテ責任アル答辯ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 決シテ強辯スル譯デモ何デモナイシ、先達ノ御話ト逆行シタノデモナイ、今日モ先達モ筆生ハ労働者ト云フ中ニ入ルト御答シテ居リマス、茲ニ筋肉労働者ト云フ字ガ使ツテアル、労働組合ニ關スル各國ノ法制概要ト云フモノ、中ニ書イテアリマス字句ヲ引用シテ御話デアリマスガ、是ハ各國ノ法制ヲ書イタ印刷物ナノデアリマシテ、各國法制ノ中ニ入レテ居リマスモノヲ、是デ全部紹介スル意味デ書イテ居ルノデアリマスカラ、之ニ書イテアルコトヲ以チマシテ、我國ノ法律ニ書イテアル労働組合ノ労働者ト云フモノヲ律スルト、サウ云フ積リデハ毛頭アリマセヌ、我國ニ於キマシテ労働者ト云フ字ヲ使ツテアリマスノハ、再々申ス通りニ筋肉労働者ヲ意味スル趣旨ニ、我國ノ法制ガ全部サウナツテ居リマスカラ、其點ハ決シテ各國労働法制ニ關スル調ト、只今申上ゲテ居リマスコト、ノ間ニ、矛盾ガアルト云フコトニハナラナイと思フノデアリマス

○田子委員 各國ノ法制概要ニアルコトハ其通りデアリマス、アナタハ先程是ハ社會通念ダ、労働者ト云ヘバ筋肉労働者ナリト、ソレヲ非常ニ強ク仰シヤル、社會局長官ガ勞

働者ト云フ文字ヲ筋肉労働者ニ限ルコトガ社會通念ダト仰シヤル、モウ一遍之ヲ讀ミマス、労働者トハ報酬ヲ得テ他人ノ爲ニ從屬的ニ勞務ニ服スル者ヲ云ヒ、單ニ筋肉労働者ノミナラズ、頭腦労働者、俸給被雇者、或ハ自由職業ニ從事スル被雇者ノ總テヲ包含スルコト勿論ナリ、斯ウ決マツテ居ル、今日國際労働會議ヲ開イテ、日本ノ社會局ダケハ各國法制ト違ツテ、特別ナ文字ヲ解釋スルト云フコトガ少シ御無理デハナイカ、寧ロ守屋君カラ屢々申上ゲタヤウニ、労働者ト云フモノヲ廣ク解釋サセテ、當リ前ノ通念デ解釋サセテ、後ハ一般ノ人ノ解釋ニ俟ツタ方ガ正シクナイカト思フノデアリマス、之ヲ無理ニ此速記録ニ、本法ニ云フ労働者ハ筋肉労働者ニ限ルノダト云フコトヲ強調ナサルノハ、本法案ノ運用上面白クナイト申スダケデアリマス、各國ノモノハ外國ノ法制デアルコトハ私モ知ツテ居ル上ニ言フタノデアリマス

○添田委員長 速記者ノ關係デ、ドウシテモ今日ハ繼續スルコトハ出來ナイサウデアリマス、遺憾デアリマスケレドモ、本日ハ是デ散會ヲ致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後零時十一分散會

一三三 第五十九回帝國議會 院 勞働組合法案外一件

(勞働組合法案(政府提出) 委員會會議錄(速記)第十三回)

會議

昭和六年三月十一日(水曜日) 午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

- | | | | | |
|-------------|-----------|------------|---------|----------|
| 委員長 添田 敬一郎君 | 理事 由谷 義治君 | 理事 猪野 毛利榮君 | 榎谷 寅吉君 | 濱野 徹太郎君 |
| 理事 三宅 馨君 | 理事 多田 滿長君 | 理事 宮澤 裕君 | 谷原 公君 | 櫻内 辰郎君 |
| 飯塚 春太郎君 | 久留 義郷君 | 田中 貢君 | 仲井間 宗一君 | 加藤 久米四郎君 |
| 安藤 正純君 | 松村 光三君 | 守屋 榮夫君 | 栗原 彦三郎君 | 長尾 半平君 |
| | | | 堀内 良平君 | 田子 一民君 |
| | | | 中谷 貞頼君 | 西岡 竹次郎君 |

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十三回

中谷 貞頼君 松谷 與二郎君

西岡 竹次郎君

出席政府委員左ノ如シ

- | | | | | |
|--------------|-------------|---------------|----------------|----------------|
| 内務事務官 安井 英二君 | 社會局長官 吉田 茂君 | 社會局部長 富田 愛次郎君 | 商工政務次官 横山 勝太郎君 | 商工省工務局長 吉野 信次君 |
|--------------|-------------|---------------|----------------|----------------|

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)

勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス——松谷君

○松谷委員 昨日ニ引續イテ第一條ノ労働者ノ解釋ニ付テ今少シク御尋ラシタイト思ヒマス、智能労働者ハ此労働者ノ中ニ道入ラヌト云フ御意見デアリマシタガ、是ガ筋肉労働者デアルカ、智能的ノ労働者デアルカト云フコトニ付テ

ハ、識別スルコトガ中々困難デアラウト思ヒマスガ、後日ノ解釋ニ便宜ダラウト思ヒマスカラ、二三御質問ヲシタイト考ヘマス、サウシテ社會局長ノ御話ニ依ルト、筆生ハ筋肉労働者ダト云フ御答辯ガアリマシタガ、尙ホ二三ソレニ類似シタモノヲ聞キマスガ、例ヘバ貯金局ニ於ケル所ノ算盤ヲ弾ク者ア、云フ者ハ筋肉労働ト御考ヘデアルカ

○吉田政府委員 算盤ダケ弾クモノデシタナラバ、茲ニ所謂労働者ノ中ニ這入り得ルト云フ考デアリマス

○松谷委員 然ラバ統計局ニ於ケル統制課ノ人間、アレノ如キハヤハリ這入りマスカ

○吉田政府委員 統計局ニ於キマスル所謂此「ガード」ノ整理、書込ト云フヤウナ事ダケヲヤツテ居リマスル、頭腦デ判断シテドウカウト云フ、判断ノ餘地ノ殆ド要リマセヌモノハ、ヤハリ茲ニ所謂労働者ノ中ニ這入ルト思ヒマス

○松谷委員 然ラバ御尋ヲ致シマスガ例ヘバ染物業者、友禪工ノヤウナモノデアリマスガ、アレハ唯ノ筋肉労働バカリデナク、色ノ調査ダトカ、或ハ手加減、其他相當ノ智能ノ働ヲ要スルモノガアルノデアリマスガ、サウ云フモノハ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 染物、織物等ノ、所謂圖案家ト云フヤウナモノハ這入ラナイ積リデアリマスルガ、自ラ染ニ従事ス

ル、又ハ一ツノ型ヲ本ニシテ、機械的ニ調査シ、染色ヲシテ行クト云フ者ハ、労働者デアルト考ヘマス

○松谷委員 調査ノミノ意味デハアリマセヌ、例ヘバ色ノ調査ニ依ツテ色彩ノ濃イ淡イ、或ハ此色ト此色ヲ調査スレバ斯ウ云フ色ガ出ルト云フノデ、相當ニ智能ヲ働カサネバナラヌモノハ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 御話ノヤウナ程度デアリマシテモ、労働者デアルト考ヘマス

○松谷委員 然ラバ智能ノ働ト筋肉ノ働ト、稍々半々位ノモノニ付テハ如何ナル考デアリマスカ

○吉田政府委員 是ハ何ヲ以テ半々ト見マスルカ、サウ云フ抽象的ナ御尋デアリマスルト、ヤハリ私共ノ方デモ抽象的ニ、社會通念ヲ以テ判断スルト言フヨリ外ニハ御答ノ致シヤウガナイカト思ヒマス、這入ルカ這入ラヌカドチラカニ定メネバナラヌノデアリマスルカラ、丁度其間ノモノハドチラニ這入ルカト云フ御質問ニナルノデアリマスガ、何トモ御答ノシヨウガナイト思ヒマス

○松谷委員 私ノ申上ゲタノハ、根據ノ無イ事ヲ申上ゲタノデハナイノデアリマス、ソレハ例ヘバ、十分ニ智能ヲ働カシテ、サウシテ筋肉労働ニ従事スルト云フ者デアリマシテ、私ハ假ニ半々ト言ヒマシタケレドモ、的確ニサウ云フ

算盤ガ立チ得ルモノト假定ノ上ニ置イタノデアリマスルカラシテ、社會通念ト云フコトハ、ソレガ半々デアアルカドウカト云フコトガ、社會通念デ判断スルト云フ御話デアリマスケレドモ社會通念デ半々ダト見タ場合ノ御尋ヲシテ居ルノデアリマスルカラ其意味デ御答ヲ願ヒタイ、サウ云フモノハヤハリ労働者ノ中ニ這入ルカドウカト云フコトノ御尋ヲシタイ

○吉田政府委員 ヤハリソレハ主トシテドチラノ種類ノ勞務ニ服スルカト云フコトデ判断スルノデアリマスカラ、ドチラニモ屬シナイ真中ノモノト云フ意味デアルト云フコトニナリマス、實ニ御答ノ申シヤウガナイコトニナルノデアリマス、ドチラカニ片付ケ得ルト思ヒマス、ソレノ業態ニ依ツテ……

○松谷委員 ドチラカニ片付ケル片付ケヌト云フ問題ニアラズシテ、半々ノモノガアツタラドウスルノカト御尋シテ居ル、半々ノモノガ茲ニアツタ場合ニ、何レニ入レラレルカト云フコトヲ御尋シテ居ルノデアリマス、ソレハ抽象的ナ難シイ言葉デ申シテ居ルノデハナイ、一番分り易イ言葉デ御尋シテ居ルノデアリマスカラ、其點ニ於テ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイ、私共ハキチントシテ特ニ御尋シテ居ルノデアリマス

○吉田政府委員 ヤハリサウ云フ半々ト云フヤウナコトデナクシテ主トシテドチラニ屬スルカト云フコトヲ決メネバナリマセヌカラ、社會通念トシテ判断スル上ニ於キマシテモ、極ク冷靜ニ數理的ニ、是ハ丁度五十「パーセント」宛ダト云フヤウナモノハ、決メヤウガナイト云フコトニモナリマスガ、サウデナクシテ實際ノ場合ニハ、ソレハ必ズドチラカニ屬スルト云フコトヲ決メ得ルト考ヘマス、又決メネバナラヌト考ヘマス

○松谷委員 私ノ申上ゲタノハ、丁度半々ノモノニ付テ、ドチラニ決メタラ宜イカト云フドチラカニ決メル決メヌト云フコトデナクシテ、半々ノモノガアツタ場合ニハドウスルノカト云フコトヲ御尋シテ居ルノデアリマス、半々ト強ヒテ解釋シナクトモ、半々ノモノヲドウトカスルト云フ解釋ノ餘地ノナイモノ、アツタ場合ニ付テ御尋シテ居リマス

○添田委員長 其問題ニ付テハ大分先程カラ政府委員トノ應答交渉ガアルヤウデアリマスケレドモ、其半々ト云フコトニ付テハ政府委員ガ、ソレハ事實上ノ問題ニ打突カツテ見ナケレバ、答辯ガチヨツト、ドツチニ附クトモ分ラヌ、言ヒ難イト云フノデアリマス、モウ此問題ハ打切ツテ他ノ點ニ付テヤツテ載キタイ

○松谷委員 私人ハムヅカシイコトヲ言ツテ居ルノデナクシテ、私ハ性格ガセツカチデアリマスカラ、ゴタノ言フノハ好ミマセヌカラ、委員長カラ御注意デアリマシタガ、併シ其點ヲ明確ニ御答ヲ願ヒマス、半々ノモノガアツタ場合ニハ、ソレハ此方ヲ四分ト見ルトカ六分ト見ルト云フノデナクシテ、實際ニ半々ノモノガアツタラドウスルカト云フコトダケヲ御尋シテ居ルノデアリマス

○吉田政府委員 同シ事ヲ御答スル外仕方ガナイノデアリマス、詰リ半々ト云フコトハ、ドチラカ主ト云フコトニナルト思ヒマスカラ、ドチラガ主トスルト云フトコノナイモノニ付キマシテハ、正確ニ——甚ダ御満足ニナラヌカモ分リマセヌガ、極ク正確ニ、ソレハドウスルカト云ヘバ、ソレハドウツチニ附クカ分ラヌト云フコトヲ御答スルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、併シ實際ノ問題ニ付キマシテ、ドチラニ附クカ判ラヌト云フノデナク、必ズドウツチニ附クカ決メ得ルト吾々ハ見込シテ居ルノデアリマス

○松谷委員 ソレヲドウ決メルカト云フコトヲ御尋シテ居ルノデアリマス
○吉田政府委員 半々デナシニドウツチガ主デアアルカト云フコトヲ見分ケ得ルト考ヘマス
○松谷委員 見分ケ得ルト云フコトデナクシテ、例ヘバ五分

分ト云フヤウナモノニ付テ、ドチラニ入レルカト云フ御尋デハナイノデアリマス、四ト六トニ強ヒテ區別出來ナイ場合、實際ノ情勢上サウ云フ場合ニ付テノ御尋ヲスルノデアリマスカラ、極メテ問題ハ簡單デアリマス、ドチラカニ入レナケレバナラヌト仰シタルノデアリマスカラ、ソレニ付テドウサレルカト云フノデ、御尋ハ簡單デアリマス、是ハ實際問題トシテ——

○吉田政府委員 ドツチカ分ラヌモノハドウツチカ分ラヌト決メルヨリ仕方ガナイノデアリマス
○松谷委員 數理的ニゴミンノシナイヤウニ極メテ正確ナル、御尋ヲシテ居ルノデアリマスケレドモ、ドチラヘ入レテ宜イカ分ラヌ、サウ云フ御答辯チハ甚ダ不満足デアリマス
然ラバ更ニ私ハ御聽スルガ、貯金局ノ算盤ヲ彈イテ居ル人間ハヤハリ筋肉労働ダト仰シタルバ、銀行ニ於テ札ヲ數ヘテ居ル者ハドウ云フ者デアリマスカ、ソレヲ御尋致シタイ

○吉田政府委員 銀行ニ於テ札ヲ數ヘルコトノミヲ職分ト致シテ居ル者ハ、茲ニ所謂労働者ト考ヘテ宜シイと思ヒマス
○松谷委員 然ラバ御尋ヲ致シマスガ貯金局ノ事務員、統

計課ノ事務員、銀行ノ札數ヘ等ニ付テハ是ハ筋肉労働者トスルト、ソレデハモウ一例ヲ擧ゲテ御尋ヲスル、是ハ的確ニ其處ニ居ラレルノデアリマスガ、速記者ノ如キハドウ云フ御考デアリマスカ

○吉田政府委員 速記ハ、是ハ單ナル手先ダケヲ動かカスト云フ仕事デハナクシテ、頭腦労働者ト考ヘテ居リマス、茲ニ所謂労働者ノ定義ニ當嵌マラヌモノト考ヘマス

○松谷委員 然ラバ看護婦ハ如何デアリマスカ
○吉田政府委員 看護婦ハ大體茲ニ所謂労働者ノ中ニ這入ルト考ヘテ居リマス

○松谷委員 看護婦ハ此處ノ労働者ノ中ニ這入ルトスル、速記者ノ點ニ付テハ甚ダ不満足デアリマスガ、ソレデヤ例ヘバ算盤ヲ彈クニシテモ相當ノ技術ヲ要シ、相當ノ——詰リ速記者同様ノヤハリ智能ヲ要スルノデアリマスガ、速記者ト統計課ノ事務員トドウ云フ風ニ之ヲ區別ナサルノデアリマスカ

○吉田政府委員 少シ御考ヲ私承リ損ネテ居ルカモ知レマセヌガ、統計課ノ事務員ガ全部這入ルノデアリマセヌガ、ソレハ御分リニナツテ居ルト思ヒマス、統計課ノ純粹ノ機械的ノ統計表ノ整理デアリマストカ、書込ミデアルトカ、サウ云フコトヲ致シマス者ト云フ意味ニ先程モ御答ヲ

シテ居リマス
○松谷委員 ソレデハ貯金局ノ算盤ヲ彈ク者ハドウデスカ
○吉田政府委員 同ジ算盤ヲ彈ク者デモ、例ノ貯金局ノ集計係ト云フコトヲ御尋ニナツタガ、ソレハ智能ヲ主トシテ働カスヨリモ、機械的ニ算數ヲ扱フト云フコトガ主ニナツテ居リマスカラ、之ヲ以テ労働者ト考ヘテ差支ナイと思ツテ居リマス、然ラバ算盤ヲ扱ヒマシテモ學校ノ先生ノ算盤ヲ扱フガ如キ、判斷ヲ主トシテヤリマス者ハソレ等ハ同ジ算盤ヲ扱ツテ居リマシテモ、之ヲ以テ労働者ト見ルコトハ出來マセヌ、役所ニ於キマシテ算盤ヲ扱フニシテモ、貯金ノ集計ノヤウナ機械的ノ仕事デハナクシテ、色々ナ判斷考慮ヲ重ネテ、仕事ヲスル手段トシテ算盤ニ依ツテ頭腦ヲ働カセルト云フ者ハ労働者ノ分ニ這入ラナイ、其者ノ擔任ノ仕事ガ主トシテ機械的ノ操作ニアルカ又ハ頭腦的ノ考慮ヲ廻ラスコトニアルカト云フコトデ分ケルノデアリマス

○松谷委員 ソレデハモウ其邊デ宜シイト致シマシテ、ソレデハ尙ホ御尋スルガ、貯金局ノ事務員ガ算盤ノミヲ彈イテ居ル、是ハ恐ラクハ一ツノ局ダケデモ五百人モ七百人モ居ル、サウ云フ者ガ労働組合ヲ作ツテ、サウシテサウ云フ所カラ出世ヲシテズンノ上ヘ行ツタ人、詰リ課長級位マ

デズン、行クデアリマセウ、サウ云フ人ガ労働者若クハ労働者タリシ者トシテ組合ヲ作ツテモ差支ナイト云フ御考デアリマスカ

○吉田政府委員 同一種類ノ職業ニ嘗テ從事シテ居リマシタ者ハ其職業或ハ其産業ニ於ケル労働組合ニハ這入ルコトハ第十條デアリマシタカニ規定ノアル通りデアリマス

○松谷委員 然ラバ是ハ御役所トモ會社トモ限リマセヌガ、會社ナリ役所邊リデ上官ノ命令ニ從ツテ算盤ヲ彈キ使ヒ歩キヲシ、若クハ書類ノ「カード」ノ整理ナドヲシテ居ツタ人ガ、大學ヲ卒業シテモ此頃デハサウ云フ仕事モヤラセル、サウ云フ人ガ會社ナリ官廳ナリニ使ハレテ居ル、サウシテソレガ労働組合ガ組織出來ルト云フ趣旨ニナルナラバ、結局此労働者ト云フモノニハヤハリサウ云フ筋肉ニ限ルト云フヤウナ風ニムヅカシク解釋スルノハ間違ツテ居ルノデハナイカ、實際ニ於テ區別ノ出來ナイモノモアリマセウシ、ソレカラシテ或ハ又此單純ナル仕事ヲシテ居ル者デズン、上ニ行クト云フ者ガ、労働組合ガ出來ルト云フナラバ、筋肉労働者ニ限ル必要ガ結局ナイ結果ニナリマシガ、ソレデモ社會局、詰リ政府デハ筋肉労働者ニ限ルト固執セラル、カドウカト云フコトヲ御尋致シマス

○吉田政府委員 是ハ只今御擧ニナリマシタ例以外ニ世間

デハアリマセヌガ、此法案立案ノ當初カラノ精神ガ、マダ所謂知的ノ被傭者、ソレ等ノ者ニ對シマシテ組合加入權ヲ認メル、或ハ之ニ付テ本法ノ規定スル、其他ノ利益或ハ規律ヲ與ヘルト云フコトハ、今日トシテ我國ノ労働立法ヲ考ヘル上ニ其必要ヲ認メナイ、斯ウ云フ理由ナノデアリマス

○松谷委員 甚ダ御答辯ガ胡麻化シ的ニ出來テ居ルト思フ、サウ云フ言葉ハ使ヒタクナイガ、ソレハ別ト致シマシテ、少クトモ今ノ所デハ其必要ヲ認メナイ、本質的ニハ別ダ、斯ウ云フ御答辯デアリマシガ、要スルニ今ノ状態デ必要ガアルカナイカト云フコトハ、サウ云フモノガ作レルヤウニナルナラバ、當然入レテ宜イデヤナイカト、斯ウ御尋シテ居ルノデアリマス、詰リ現在ノ状態デ、十條ノ規定ニ基キマシテサウ云フモノハ組合ヲ作ルコトガ出來ルト云フナラバ、必要不必要トカ、之ヲ筋肉労働ニ限ツテヤラナケレバナラヌト仰シヤルケレドモ、現在ノ状態デハ筋肉労働者ダケニ限ル、ソレカラ智能労働者ハ成ベク入レル必要ガナイカラ入レヌノデアアル、現在ノ情勢デハサウダト斯ウ仰シヤル、併ナガラサウ云フモノモ作り得ルナラバ、現在ノ情勢デドン、作り得ルノダカラ、特ニ智能労働者ノミヲ省ク必要ハナイデハナイカト云フコトヲ御尋シテ居ルノデ

ニ多ク例ノアルコトデアリマス、此頃高等工業或ハ工科大學ヲ卒業シテ工業會社ニ採用セラレル人ハ、三年モ四年モ職工ヲヤツテ居ル者モ例ニアルヤウデアリマス、ソレ等モヤハリ同一産業ノ労働者タリシ者ト云フコトニ於テ妨ゲナイノデアリマス、併シサウ云フ事實ガアルカラ智能労働者デモ這入レルト云フコトニハ直ニハナラヌソレ等ノ人々ガ此第十條ノ規定ノ適用ニ依リマシテ、同一ノ職業又ハ産業ノ労働者デアツタト云フ事由ニ依リマシテ、労働組合員タルコトヲ認メラレマスノト、サウデハナクシテサウ云フ經驗ノ有無無経験ノ有無ハ問ハズシテ當初カラ所謂智能労働者トシテ組合ニ這入レルト云フコトデハ、全然立場ガ違フノデアリマス、茲ニ第一條ニ「労働者」ト云フコトニ致シマシテ、筋肉労働者肉體労働者ノ拵ヘル組合ヲ以テ本法ノ組合トスルト云フノハ、昨日モ御話ヲ申上ゲマシタ如ク、智能労働者ノ團結ト云フモノハ、今日ノ我國ノ社會状態ニ於テ法ニ依ツテ之ヲ認メ、之ニ基準ヲ與ヘルコトハ、マダ今日ノ時勢トシテ其處マデスル必要ガナイノデアラウト云フ見地デサウ云フ理由デ、労働者ニ對スル組合團結權ト云フモノヲ認メルニ止メテ居ルノデアリマシテ、労働者出身ノ人ガ労働者出身タルノ故ヲ以テ組合員ニ這入レルト云フコト、ハ自ラ問題ガ別ナノデアリマス、固執スルト云フ意味

アリマス、本質的ニ別ダト云フコトハ能ク分ツテ居ル、私共ハ本質的ニハ同シダト思ツテ居ルケレドモ、政府ノ御考デハ本質的ニハ別ダト思ツテ居ル、別ダト仰シヤツテモ、片方ニ作ルナラバ、本質的ダナドト餘計ナ事ヲ言ハヌデモ宜イデヤナイカト斯ウ御尋シテ居ルノデアリマス

○吉田政府委員 ソレハ智能労働者ト云フモノモ現在ノ制度下ニ於テ組合ヲ組成スルコトガ出來ヌト云フコトニナツテ居ル譯デハナイノデアリマス、組合ヲ組成シテモ一向差支アリマセヌ、ソレハ憲法ノ結社ノ自由ニ依ツテ組成出來ルノデアリマシガ、其點ハ本法適用以外ノ労働者ノ團體ニモヤハリ同ジヤウナ事ガアルノデアリマス、本法ニ所謂労働組合ト認メラレナイデ、先達テカラモ御尋ガアリマシヤウニ、結社ノ自由ト云フコトデ、社會ノ事實現象トシテ組合ノ出來マスコトハ、公ノ秩序、善良ノ風俗ニ反セザル限リハ出來ルノデアリマス、併ナガラ智能労働者ノ組合ト云フモノニ對シマシテ、今日此法ヲ適用シテ、此法ニ依ル加入者ノ利益ヲ保護スル方法ヲソレニモ及ボシ、尙又此法ニ依ル各種ノ組合ニ關スル統制規律ト云フモノヲ與ヘルト云フコトハ、今日ニ於キマシテハ必要ハアリマシマイ、ソレ等ノモノ、出來ルコトヲ阻止スルト云フノデアリマセヌ、此組合法ハ御承知ノ通り労働者ノ團結ノ中ノ最モ代表

的ノ種類ノモノニ對シマシテ、一定ノ保護ヲ與ヘ、一定ノ規律ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、智能労働者ノ組合ト云フノハ、今日ノ實際ニ於テ其程度デハナイ、ソレデ之ヲ適用スル必要ハアルマイ、此團結ヲ阻止スル積リデハナイ、況ヤ禁止スル積リデハ尙更ナイノデアリマス

○松谷委員 政府ノ御考デハ此労働組合法ガ非常ニ利益ノアルモノデアツテ、中ニハ入レヌケレドモ、外ノ結社ハ自由デアルト云フヤウナ御答辯ノヤウニ承ツテ居リマスガ、私共ノ眼カラ見ルナラバ、此労働組合法ト云フモノハ、利益ノ點ハ唯十三條ダケデ、アトハ全部取締規定デアツテ、斯ウ云フ法律ニ依ツテ拘束セラレルト自身ガ労働組合ノ爲ニ非常ニ不利益デアルト私共ハ考ヘテ居ル、他ニ結社ガ出來ルカラ此中ニ入レヌノダト云フ御答辯ヲ承ツテ居ルノデアリマセヌ、私ハ智能労働者デアツテモ十條ノ規定ニ依ツテドンノ労働組合法ノ適用ガ出來ルデハナイカ、ソレナラバ筋肉労働ニ限ツテ置ク必要ガナイデヤナイカト斯ウ御尋シテ居ル、併ナガラ政府ハ同ジ穴ヲグルノ廻ツテ居ラレテ一向答辯ノ要領ヲ得ナイコトヲ遺憾トシテ居リマスガ、此點ハ打切りマス

モウ一點御尋シテ置キマス、ソレハ看護婦デアリマスガ、看護婦ノ如キハ所謂規約ノ中ニモ知識労働者デアル、

ハ智能労働者ニ限ラス、筋肉労働者ニ限ラヌトナゼ言ヘレヌカ、ナゼソレヲ固執セラレナケレバナラヌカト云フコトヲ今一應御尋スル、看護婦ノ點ト併セテ御尋致シマス

○吉田政府委員 ヤハリ労働ニ於キマシテモ、ソレハ程度ノ差コソアリマセウガ、多少頭腦ヲ働カセナケレバ人間ノヤリマス労働ハ殆ド出來ルモノデハナイト云フ點ニ付キマシテハ、全然御同感デアリマス、併ナガラ主トシテ頭腦ノ働キニ依ルカ或ハ主トシテ手先機械的ノ働キニ依ルカト云フコトヲ見分ケテ定メルノデアリマスカラ、其分界點ニナリマス、トチラニ入レルト云フコトニ付テ、ソレハ疑ノ餘地ノアルモノモ無論ゴザイマセウ、併ナガラ主トシテ智能労働ニ従事スル、或ハ主トシテ肉體労働ニ従事スルト云フコトデ、一ツツノ業態ニ付キマシテ振分ケテ致シマスコトハ、是ハ必ズシモ困難デナカラウト思フノデアリマス、ナゼサウ云フ振分ケヲシテ居ルカト云フ御尋ニ對シマシテハ、先般來度々申上ゲテ居ル通りデアリマス、御満足ニナラナイカモ知レマセヌガ、主トシテ智能労働ニ従事シテ居ル労働者ノ團體ニ對シテハ、是ハ團結シテイケナイト云フノデハナイノデアリマスケレドモ、本法ヲ適用スルコトハ現在ノ状態ニ於キマシテ必要ナイト認メタカラデアリマス

詰リ知識職業デアルト云フコトガ明確ニ讓ハレテ居リマスシ、看護婦ハ少クトモ女學校位出タ人間デアツテ、サウシテ其連中ハ三年ト云フモノヲ病院デヤツテ、ムツカシイ試験ヲ受ケテ所謂看護婦トシテノ免狀ヲ與ヘラレル、隨分是ハ落第スル人間モアリマスガ斯ウ云フ者ガ筋肉労働者ト解釋セラレラバ、恐ラク政府自身、吉田局長自身ノ御答辯ト云フモノハ支離滅裂デアル、只今ノ御答辯ヲ承ツテ居ツタケデモ、ドレガ智能労働者カ、ドレガ筋肉労働者カテンデ分ラナイ、ソシテ分ラナイモノヲ捉ヘテ筋肉労働者ニ限ル、智能労働者ニ限ルト言ハレル、ソシテハツキリシタモノデハナカラウト思フ、如何ナル職業ト雖モ智能労働カセナイモノハ殆ドナイ、百「パーセント」サウダト考ヘテ居ル、ソシテナムツカシイ解釋ヲシテ、現ニ看護婦デアツテモサウデヤアリマセヌカ、染職労働ニシテモサウデアアル、智能ガナケレバ出來ナイ、看護婦ノ如キハ七割ハ智能デアツテ、三割ガ實際ノ労働ダト斯ウ私ハ考ヘテ居ル、サウ云フ點デスラ社會局自身ガ御考ヘニナツテ譯ノ分ラナイモノガ出來ルナラバ、今後此法律ヲ適用致シマシテ、サウシテドノ官廳ガ監督セラレルカ知ラヌケレドモ、其官廳ノ低イ程度ノ頭デ、是ハ智能ガカラ出來ヌ、是ハ筋肉ダ、ソシテ馬鹿ナコトヲ言ツテ居ルヨリモ、寧ロアツサリト、是

○松谷委員 現ニ速記者ノ方々ニ於カレマシテモ、トウモコンナニ筋肉労働デハ堪ラナイト云フノデ、現ニ爭議ヲ起サレテ居ル、ソレ等ノ如キハ必要ノナイ所ニ明日カラデモ必要ガアツテ適用ニナラナケレバナラヌヤウナ状態デアリマス、何時デモサウデアアル、現ニ最近起ツタ問題デアリマスガ、新聞従業員ノ爭議ノ如キモノガアリマス、アレハ配達人ト、出張所ノ主任ト、新聞記者ノ三ツガ集マツテ、新聞労働組合ト云フモノガ出來テ居ル、若シ政府ノ御答辯ノヤウニナルナラバ、其中ニ記者モ入レテハイケナイ、出張所ノ主任モ入レテイケナイト云フコトニナル、現在アルデハアリマセヌガ、斯ウ云フモノハ明日カラデモ適用シナケレバナラヌ、現在必要ナイト言ハレルガ、現在目ノ先ニブラ下ツテ居ル、ソレガ御分リニナラヌデ斯ウ云フ立法ヲ爲サルノハ如何デアルカ、モウ少シ世ノ中ノ情勢ヲ御調べニナツタ上デナケレバイクマイト私ハ考ヘマス、目ノ先ニブラ下ツテ居ル、ソレデアルカラ、筋肉労働ニ限ル、ソレハ今ノ所必要ガナイト云フ御答辯デハ満足出來ヌ、現在目ノ前ニブラ下ツテ居ルノヲドウ爲サルカト云フコトヲ御伺スル

○吉田政府委員 マダ御答辯ガ要ルナラ御答シテ宜シウゴザイマスガ、此立法ノ趣旨トスル所ハ先程カラ十分申上ゲ

テアルト思ヒマス、ソレヲ變更スル意思ヲ政府ハ持つテ居
リマセヌ

○松谷委員 甚ダ不満足ナ答辯デアリマスガソレデ宜シウ
ゴザイマス、ソレカラ只今ノ御答ハ不満足デアリマスガ、
看護婦ノ點ノ御答辯ガアリマセヌカラ、モウ一遍此看護婦
ニ付テ御答辯ヲ求メマス

○吉田政府委員 看護婦ノ仕事ヲスルニ付キマシテ、若干
ハ智能ノ働ヲ必要トスルコトハ無論御話ノ通りデアリマス
ガ、看護婦ハ自ら醫療ニ従事スルモノデアリマセヌノ
デ、醫者ノ指圖ヲ受ケマシテ、體溫ヲ計ツテソレヲ記張ス
ルトカ、或ハ患者ノ手當ヲスルトカ、サウ云フ風ナ仕事ヲ
主トシテ看護婦ト云フ業態ニ認メラレテ居ルノデアリマス
カラ、無論其働方ハ鶴嘴ヲ執ツテ働ク人カラ見マシテ多大
ノ差ガアリマス、ケレドモ、ソレ等モ此處ノ所謂労働者ノ
中ニ入ルト考ヘテ居ルノデアリマス、其種類ノ労働者ニ又
ドウ云フ名前ヲ與ヘルカト云フコトハ、是ハ自カラ別ノ問
題デアリマシテ、主トシテ智能ノ働ニ依ルカ、或ハ主トシ
テ器械的、肉體的ノ働ニ依ルカト云フヤウニ振分ケタノ
デ、看護婦ハ本法ノ適用ノ範圍ニ入レルコトガ適當デアラ
ウト云フコトデアラマシマス、先程ノヤウニ御答シ
タノデアリマス

○松谷委員 ドウモ看護婦ガ知識労働者デナイナント云フ
御答辯ハ、御取消ニナツタラドウデス、看護婦ガ知識労働
者デナイナント云フ御答辯ハ、恐ラクハ將來ニ於テ此速記
録ヲ御覽ニナル人ハ非常ニ妙ナ御答辯ダト言ヒマセウ、現
ニ三年モ四年モ修行シテ、醫學ノ大半ト云フモノ、知識ヲ
持タナケレバ看護婦ト云フモノハ出來ルモノデアリマセ
ヌ、現ニ體溫ガ變リ、容態ガ變ル、熱ガアルトカナイトカ
記帳スルダケデアリマセヌ、其場ニ於テ容態ガ變更スル
ナラバ變更シタコトヲ通知シナケレバナラズ、或ハ此人間
ハ酸素吸入ヲ三分ヤツタガ宜イカ五分ヤツタガ宜イカ、其
程度モアリマセウ、其他病人ノ看護ナド、私ハ醫者ト對立
シテ立派ナ知識職業ダト考ヘテ居ル、現ニ看護婦ノ如キ醫
者ト段階ヲ置クノハ間違ツテ居ルト云フ議論ガ置キテ起ツ
テ居ルデアリマセヌカ、ソレヲ筋肉労働デアツテ知識勞
働デナイト言フ、私ハサウ云フ出鱈目ナ答辯ヲ餘リ長ク續
ケテ聽キタアリマセヌカラ、其點ハ打切ツテ置キマス

次ニ御尋ヲシタイノデアリマスガ、此第一條ニ「労働條
件ノ維持改善」其他「共同利益ノ保護増進」目的トスル
トアル此點デ御尋ヲ致シマスガ、労働團體デ新聞ヲ發行シ
タリ、或ハ講演ヲヤルヤウナコトガ出來ルノデアリマス
カ、ドウデアリマスカト云フコトヲ御尋致シマス

○吉田政府委員 新聞ノ點ニ付キマシテハ前ニ御尋ガゴザ
イマシテ御答致シテアルノデアリマスガ、労働團體ニ於キ
マシテ本法ニ書イテアリマス目的ヲ達スルノ一ツノ手段ト
シテ、新聞或ハ雜誌等ノ刊行物ヲ發行致シマスコトハ、勞
働組合ノ事業目的ノ範圍内ノ仕事ト考ヘマス、講演ニ付テ
モ同様デアリマス

○松谷委員 引續イテ御尋致シマスガ、政治運動ハ出來マ
セウカ

○吉田政府委員 是モ數日來最モ度々應答ヲ重ネラレマシ
タ問題デアリマシテ、ソレ等ヲ御承知ノ上デモアリマセウ
ガ、政治運動ニ付キマシテハ、本法ノ第一條ニ掲ゲテアリ
マス目的ヲ達スル爲ニ、個々斷續的ノ政治的行動ヲ致スコ
トハ、是ハ組合ノ事業目的ノ範圍内デアルト考ヘラレマシ
テ認メラレルノデアリマスガ、政治自體ヲ獨立ノ目的ト致
シマシテ、ソレヲ達成スル爲ニ労働組合ガ働キ又ソレヲ目
的ニ掲ゲルト云フコトデアリマシテハ、労働組合ノ目的ノ
範圍外ノ行爲ニナリマスカラソレハ認メラレマセヌ、尤モ
政治自體ヲ目的トスルノデ、明カニソレヲ規約綱領ニ掲ゲ
テアリマセズトモ、連續的ニ始終一般的ノ政治行動ヲ目的
トスルコトデアリマスレバ、ヤハリ政治行動ヲ致スト云フ
コトデアリマスレバ、其團體ハ政治行動ヲ目的ニシテ居ル

モノト認メラレルガ故ニ、繼續的ニズツト政治行動ヲ引續
イテヤリマスト云フコトハ、本法ノ目的ノ範圍外ニ逸脱ス
ルモノト看做サレル、斯ウ云フ趣旨デ先般來御答シテ居リ
マス、今日モ左様ナ御答ヲ以テ御答トナルト思ヒマス

○松谷委員 ソレカラ「同一若ハ類似ノ職業」ト云フノデ
アリマスガ是モ速記録ナドニアリマスガ尙ホ私ハ念ノ爲ニ
御聽シタイ、後デ御尋ヲスル必要上御尋シテ見マスケレド
モ、「同一若ハ類似ノ職業若ハ産業」ト云フコトハ非常ニ
是亦「デリケート」ナ問題デ、區別ガシニクイヤウニ考ヘ
テ居リマスガ、尙ホ此文字ヲ固執ナサイマスカ、是ガ困難
ト云フコトヲ御認メ下サラヌカ、實例ハ煩雜ニナリマスカ
ラ擧ゲマセヌ

○吉田政府委員 「同一」ト云フコトニ付テハ問題ナイト
思ヒマス、全然同一ノ場合ヲ豫想シテ居ルノデアリマス、
區別ノ判斷ヲ要シマスノハ、「類似」デアアルカドウカト云
フ問題ガ主トシテマアルト思ヒマス、「類似ノ職業若ハ産
業」ニ限リマシタコトハ、類似タルガ故ニ利害ノ共通スル
所ガ多イデアラウ、同一デハナイケレドモ、類似ノ産業、
類似ノ職業ニ従事スル労働者ナルガ故ニ、共同シテ労働條
件ノ維持改善、又ハ其他ノ共同利益ノ保護増進ヲスルニ付
テ必要ガ多イデアラウト云フ見地カラ、類似ノモノヲ認メ

テ居ルノデアリマス、隨テ無論ソレハ類似タルヤ否ヤト云フコトノ判斷ヲ要シマスケレドモ、一ツノ場合ニ其判斷ヲ要スルガ故ニ、左程ノ困難ガアラウトハ考ヘラレマセヌ、是ハ御承知ノ通りニ前ノ所謂社會局案ト云フモノカラ此法案ニ移リマス際ニ熟考ヲ重ネマシテ、同一若ハ類似ノ職業若ハ産業ノ勞働者ノ團體ニ對シテノ本法ヲ適用スル、經過的ニ認メラレルモノハゴザイマセヌケレドモ、將來ノモノハサウ云フコトニシタノデゴザイマスノデ、「同一若ハ類似ノ職業若ハ産業ノ勞働者ノ團體」ト云フ文字ヲ削ルト云フ考ハ政府ハ持ツテ居ラナイト云フコトヲ私ハ承知致シテ居リマスカラ、此儘デ御承認ヲ願ヒタイ積リデ今日モ居リマス

○松谷委員 此類似ノ職業トカ産業トカ云フコトニ付キマシテハ、非常ニ各國デモ疑ガ多イノデ、現ニ露西亞ノ如キハ明文デハハツキリシテ居ル、私ハマダ昨日貰ツタバカリデ何モ見マセヌガ、現ニハツキリ之ヲ條文ニ明カニシテ居ルト私ハ承知シテ居ル、ソレカラ又英國ノ如キハ千九百二十七年デアツタカ著書ニモアリアマスガ、保守黨内閣ノ當時、「ストライキ」ノ範圍ニ付テ非常ニ是方問題ニナツテ、到頭此文字ヲ削ツタト云フコトヲ承知シテ居リマス、各國ニ於テ此類似トカ云フコトハ非常ニ解釋ガ困難デアルト云

ト看做ス、産業ト看做スト云フコトヲ定メル積リハ持ツテ居リマセヌガ、執務ノ便宜トシテ能ク考慮ヲ廻ラシマシテ、實際ノ事務ヲ執行スル上ニ於キマシテ、ドウ云フ範圍マデ類似ト認メルカト云フヤウナコトヲ、大體基準タルベキコトニ付テ能ク考慮致シマシテ、内々ノ標準ト云フヤウナモノヲ拵ヘル必要ガアルデアラウト思ツテ居リマス、後日或ハ勅令ノ規定ト云フヤウナモノヲキチントキメマスカトトガ宜シイカドウカ、餘程問題デアリマス

○松谷委員 ソレデハ一ツ例ヲ以テ御尋申シマスガ、例ヘバ軍需工業ノ中デ爆彈ヲ造ル、之ニハ石炭或ハ乾溜工業色々ナナ此職業ガアル、又鐵工ノヤウナモノモ必要デアリマセウガ、假ニ軍需工場ノ中ニ、百位ハ恐ラク種類ガアルダラウト思ハレマスガ、サウ云フモノハ一ツノヤハリ軍需工業ノ産業トシテ御認ニナル譯デアリマスカ

○吉田政府委員 是ハ同一類似ノ問題デハナイト考ヘマス、軍需品デ、爆彈ヲ拵ヘル、或ハ大砲ヲ拵ヘルト云フヤウナ、サウ云フ一ツノ産業ニ從事スルモノデアリマス、一ツノ産業ニ從事スルモノ、中ニハ、色々ナ手職ノ異ツテ居ルモノガアリマスコトモ當然デアリマス、是ハ單ニサウ云フ陸海軍ノ工廠ガサウデアアルノミナラズ、民間造船所ニ於テモ色々數十種類ニ互ル職工ガ併セテ一ツノ造船ト云フ産

ハレテ居ルニ拘ラズ、社會局ガ極メテ簡單ニ如何ニモスラスラトヤレルヤウニ言ハレマスガ、ソレダケノ確信ガ御在リニナルノデアラウカドウカ、斯ウ云フ文字ノ解釋ニ依ツテ疑義百出シテ、サウシテ當局ノ手心ニ依ツテ、感情其他ヲ交ヘテ、色々ナ問題ガ生ズルヤウナ條文ハ成ベク除イタ方ガ、立法技術トシテモ甚ダ宜シイヤウニ考ヘテ居リマスガ、今尙ホ世界各國ニ於テ困難ダトサレテ居ルノニ、日本ニ限ツテ困難デナイト云フ御考デアリマスカドウカ

○吉田政府委員 所謂産業別、職業別ノ組合ト云フモノヲ公認スルト云フコトハ、他ノ國ニモ例ノアルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、無論何等ノ困難ナシニ類似ノ職業ヲ決メヨウト云フヤウニ暢氣ニ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ實際ノ場合ニ於キマシテ類似ノ職業ガ、此職業ト此職業トハ類似デアルトカ、此産業ト此産業ハ類似デアルトカト云フコトヲ決メマスルコトハ、實際問題トシテ不可能デアルトカ、或ハ非常ニ困難デ、到底適用ニ難イト、ソレ程ニ考ヘテ居リマセヌ、茲ニソレヲ決メマスニ付テハ無論適用ノ上ニ非常ニ注意ヲ致ス積リデアリマス、又何ガ類似ナリヤト云フヤウナコトヲ決メマスコトハ、是ハ却テ又膠柱ノ謗ヲ免レヌヤウナ譯デアリマス、ソレデハ實際ノ適用上不便ガアルカモ知レマセヌガ、法律ヲ以テ何ヲ以テ類似ノ職業

業ニ從事スルノデアリマス、是ハ同一産業ニ從事スルモノト考ヘテ、類似云々ト云フコトハ必要ナイノデアリマス

○松谷委員 然ラバ此軍需工業、其中ノ或鐵ノ業トカ或ハ造船業ノ或一部ノモノハ殆ド同一若クハ類似デアアルカラ、其モノ、一ツノ組合ガ出來ルコトハ御認メデアリマスカ

○吉田政府委員 造船業ニ從事スル職工ト、サウシテ軍需品ノ製造ニ從事スル職工ト、今度ハ産業ノ方面カラデナシニ——産業トシテハ明ニ違ツテ居リマスガ、産業ノ方面カラデナシニ職業ノ方面カラ致シマシテ、同一ノ職業ニ從事トハ、同一ノ職業ニ從事スルモノデアリマス、隨テソレ等ノ職工ハ、サウ云フ同ジ職業ニ從事スルノ故ヲ以テ一ツノ組合ヲ拵ヘルト云フコトハ出來マス、又全然ドウツチモ鉄打ト云フ風ニハツキリ同一デアリマセズトモ、類似ノ職業ニ從事スル者ガ一種ノ産業ノ間デ、職業組合、職業別ノ組合ヲ拵ヘマスコトハ出來マス

○松谷委員 サウ云フモノガ交錯シテサウシテ網ノ目ノヤウニナツタ場合ニ於テ一ツノ組合ガ出來マスカ

○吉田政府委員 幾ラ交錯致シテ居リマシテモ、例ヘバ御尋ノ趣意ハ斯ウ云フコトデアラウト思ヒマス、或ル種類ノ職工、或ル種類ノ職業組合ハ色々ナ産業ニ關係ヲ持ツテ居

ル、軍需工業ニモ關係ガアレバ民間ノ肥料工業ニモ關係ガアル、或ハ藥品工業ニモ關係ガアル、造船工業ニ付テモ關係ガアルト云フ風ニ、或ル種類ノ職業ニ於テ色々ナ産業ノ範圍内ニ分布シテ居ル、サウ云フ場合ニ職業別ニ依ツテソレ等ノ同一又ハ類似ノ職業ニ從事スル職工ガ團結シ得ルカドウカト云フ御尋ト思ヒマスガ出來マス

○松谷委員 サウスルト軍需工業ニ從事スル所ノ一ツノ産業組合ト、ソレカラ職業別ノ組合ト交錯シテ居リマスカラ、其モノヲ一ツト見テ、一ツノ組合ガ出來ルカト云フ御尋ラシタノデス

○吉田政府委員 一ツト見テハ出來マセヌ、産業別ナラ産業別ノ間デ同一又ハ類似デナケレバナリマセヌ、職業別ナラ職業別ノ間デ同一又ハ類似デナケレバナリマセヌ、同一又ハ類似ノ職業別ノ組合ヲ拵ヘルノハ、同一又ハ類似ノ組合、産業別組合ヲ拵ヘルノデアリマシテ、職業別ト産業別トヲゴチャゴチャニシテ一ツノ産業別ニアラザル組合、職業別ニアラザル組合ヲ拵ヘルコトハ出來マセヌ

○松谷委員 サウスルト職業別ハ職業別、産業別ト全然區別シテ、職業別ハ職業別、産業別ハ産業別トセナケレバナラヌト云フ御考デアリマスカ

○吉田政府委員 其通りデアリマス

○松谷委員 ソレデハ其點ハ後ニモウ少シ調べたいと思ヒマスカラ、其點ハ留保シテ載キマシテ、更ニ違ツタ點ヲ御尋シテ見たいト斯ウ考ヘテ居リマス

ソレハヤハリ第一條ノコトデアリマスガ「共済、修養」トアリマスガ修養ノ點ニ付テ御尋ラシタイ、是ハ何故ニ斯ウ云フ規定ヲ置カレタカト云フコトノ御答辯モアリマシタケレドモ、一應モウ一遍承リタイ

○吉田政府委員 共済若クハ修養ト云フコトハ、是ハ前ノ五十一議會、五十二議會ノ案ニモ組合ノ目的トシ得ルコトヲ明カニ規定シテアタツノデアリマス、所謂社會局案ト云フモノニ於キマシテモ同様デアリマス「修養」ト云フ字ヲナゼ使ハヌカト云フ御尋デアリマスルガ、修養ト申シマスルノハ、先達テ松村サンノ御尋モアツタト記憶シテ居リマスガ、所謂精神修養ト云フヤウナモノヲ含ミマスコトハ勿論ノコト、銘々ノ職工トシテノ適性ヲ養フテ行ク上ニ付テ、例ヘバ技能ノ習得ヲスルトカ、或ハ基礎的普通學ノ習得ヲスルトカ云フ如キモノモ修養範圍ニ這入ルト云フ考ヲ以テ此處ニ入レテアルノデアリマス、ソレ等ノコトハ組合員ノ共同利益ノ保護増進ヲスル上ノ最モ、代表的ノモノ、一ツトシテ「共同利益ノ保護増進」ト云フコトノ重要ナモノトシテ共済トカ修養トカ云フヤウナモノヲ數ヘ得ルト云

○松谷委員 職業別ニ付テ御尋シマスガ、例ヘバ茲ニ謂フ、詰リ色々ナ索連シテ居ル職業ガアル、サウスルト例ヘバ桶ノ職工、ソレカラ木工ノ職業ニ從事シテ居ル、サウスルト木工ハ、例ヘバ醬油製造業ニ於テヤハリ桶ノ職業ニ從事スル者モアル、ソレカラ又箸ヲ造ル人間モアラウト思フ、ソレカラ又木挽ノヤウナモノモアル、是亦、百種、二百種、随分大キナモノニナラウト思ヒマスガ、サウ云フモノハ一ツノ組合ガ出來ルト御考デアリマスカ

○吉田政府委員 木工ニ從事スルコトデ、一種ノ産業ニ含マレテ居リマス労働者ガ、木工トシテ職業別組合ヲ拵ヘルコトガ出來ルノデアリマス、併シ是モ實際ノ狀況ニ付テ御覽ニナリマスト非常ニ懸離レタ産業デ、同種ノ職業ニ從事シテ居ル者ガ、其職業ノミノ故ヲ以テ團結スルト云フ事例ハ少イノデアリマス、多クノ現在ノ組合ノ状態ヲ見ルト、産業別ヲ以テスルコトガ最も多イノデアリマス、隨テ茲ニ職業別産業別共ニ、共通ノ利害關係ノ深イ場合ヲ豫定致シマシテ、職業別産業別ト致シテ居リマスケレドモ、全國ノ有ユル各種ノ産業ノ中ノ木工ナラ木工トシテノ職業組合ヲ、總テノ産業ニ互ツテ職業組合ヲ拵ヘルト云フヤウナコトハ事例トシテ稀デアラウト思ヒマス、併シ法律ノ上デハ出來マス

フコトデ、此二ツヲ重要ナル例示トシテ用ヒテアルノデアリマス

○松谷委員 私ハ労働組合ニ非ザル所ノ産業組合、其他色々ノ法規モ調べテ見マシタガ、サウ云フモノニハ強制的ニ修養ヲ一ツノ目的トシテ掲ゲタモノハナイヤウニ心得テ居リマス、或ハ私ノ調方ガ足りナイカモ知レマセヌガ、然ルニ拘ラズ労働團體ニ限ツテ斯ウ云フモノヲ置カナケレバナラヌ理由ヲ伺ヒタイ

○吉田政府委員 修養ト云フコトヲ強制的ニ労働團體ニ行ハセルト云フノデアリマセヌ、是ハ只今モ申シマス通り、「共済、修養其ノ他共同利益ノ保護増進」ソレノ主要ナ例トシテ載ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ労働組合ノ目的ノ中ニ修養ガ掲ゲラレテ居リマシテモ、他ニ共同利益ノ保護増進ニ關スル事項ガアリマスレバ宜シイノデアリマス、ノミナラズ表面修養ト云フコトガ書現サレテ居ラヌカモ知レマセヌケレドモ、銘々ノ技能ノ習熟或ハ労働者トシテノ其他ノ色々ノ適性ヲ習得スル爲ニ、労働組合ニ於キマシテモ、或ハ共済團體等ニ於キマシテモ各程ノ施設ヲシテ居リマスモノハ、ソレハ實例ニモ乏シクナイト考ヘマス、「修養」ト云フコトヲ單純ニ精神修養ト云フコトニ考ヘマストヤツテ居ラヌモノモアリマスケレドモ、併シ此處ニ

所謂「修養」ト云フノハ労働者ノ共同利益ノ保護増進ノ一例トシテ掲ゲラレテ居ルノデアリマス、無論精神修養モ其一ツデアリマスガ、其他ニモ、先日モ御話ノアツタ労働教育ト云フヤウナコトニ關スルモノモ一ツノ修養デアルト考ヘマス、是モ非常ニ大切ノ事デアルト考ヘマス、サウ云フ意味デ使ツテ居ルノデアリマシテ、修養ヲヤラナケレバ労働組合ニナラヌト云フノデアリナインデアリマス

○松谷委員 斯ウ云フ文字ヲ入レラレルコトハ、労働者ノ團體ナルガ故ニ如何ニモ修養ガ足リナイト云フ風ニ見得ルノデアリマス、私共ハ斯ウ云フ他ノ産業組合等ニ全然無イ文字ヲ特ニ入レラレタト云フコトハ、甚ダ労働者ヲ侮蔑シタ規定デアツテ、非常ニ感觸ヲ害スル、入レテモ入レヌデモ宜イモノナラバ、何モサウ云フ文字ヲ殊更入レル必要ハナイト考ヘル私共ハ少クトモ社會局長官ナドハ労働者ノ心理状態ヲ能ク御承知デモアリマセウシ、其修養程度、知識程度ヲ十分御承知デアラウト思フ、少クトモ私共ノ接シテ居ル労働者ハ、非常ニ頭腦ノ宜シイ、知識モ進ンダモノト思フ、私共二十年餘モ辯護士ヲヤツテ居リマスガ、何カ討論デモシヨウナラバ此方ガタチノニナル位修養モ頭腦モ進ンデ居ル、學校出ノホヤホヤナドハ何時モヤリ込メラレテ居ル、ソレ程労働團體ト云フモノハ本當ニ覺眼メテ居

リ、知識ガ行渡ツテ居ル、然ルニ拘ラズ他ノ産業組合其他ノ團體、社團法人、財團法人色々アリマスガ、サウ云フモノ、何レニモ無イ文字ヲ特ニ労働組合ノミニ使ハレタト云フコトハ、甚ダ労働者ヲ侮蔑シテ居ルモノデアアル、入レテモ入レヌデモ宜イモノナラバ特ニ斯ウ云フ規定ヲ置ク必要ハナイ、削ル御考ハアリマセヌカ

○吉田政府委員 「修養」ト云フ字ヲ用ヒタカラ労働者ヲ侮蔑シテ居ルノデアルト云フ御尋ハ、非常ニ意外ニ考ヘルノデアリマス、決シテサウ云フ積リデ「修養」ト云フ文字ヲ此處ヘ入レテ居ルノデアリマセヌ、併ナガラ産業組合ノ事業目的ハ産業ノ組合法ニ就テ御承知ノヤウニ、人ニ物ヲ賣ル買フ、或ハ利用組合ヲ作ルト云フコトデアリマシテ、労働組合ノ如クニ「共同利益ノ保護増進」ヲスルト云フヤウナ廣イ範圍ノ意味ヲ持ツテ居ルノデアリナインデアリマス、隨テ産業組合ニ修養ナリ或ハ修養ニ限ラズ外ニ廣イ目的ヲ持タセルコトハ、法制ノ上デ産業組合ノ目的ヲ考ヘル上ニ於キマシテ必要ノナイコトデアリマスルカラ、這入ツテ居ラヌノハ當リ前デアリマス、労働組合ニ對シマスル「共濟、修養」ト云フモノハ一例デアリマス、其外ノ「共同利益ノ保護増進」ト云フモノヲ目的ニスルノデアリマスカラ、精神上ノ修養或ハ技能上ノ修養ヲスルト云フコト

ハ労働者自身トシテモ非常ナ利益デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ其方面ノ施設ノ最モ重要ナ例示ノ一ツトシテ、茲ニ掲ゲテアリマスルコトハ、決シテ労働組合ニ對シマシテ、或ハ労働者ニ對シマシテ、侮蔑ノ意味ヲ含ンデ居ルト云フコトデハナクシテ、「共同利益ノ保護増進」ノ目的ガ最モ達セラレマスルコトヲ希望致シマシテ此處ニ這入ツテ居ルノデアリマス、只今ノヤウナ御疑念カラ「修養」ト云フ字ヲ此處カラ削ルト云フ考ハ毛頭アリマセヌ

○松谷委員 産業組合ハ物ヲ賣ル買フダケノコトデアルカラサウ云フモノハ必要ハナイ、ソレナラバ労働者ハ「労働條件ノ維持改善」ダケデ宜イデアアリマセヌカ、サウ云フ結果ニナリマス、産業組合モ一ツノ團體ヲ作ツテ、サウシテ其自己ノ組合デ物ヲ賣ル買フデモ宜シイ、サウシテ其利益ヲ増進スル、或ハ値段ノ協定モ必要デアラウシ、或ハ値段ノ維持改善、其他職業ニ從事シテ居ル人ノ爲ニ必要ノ利益ノコトヲヤル、各産業組合ト労働組合ト根本ノ目的ハ違ツテ居リマスケレドモ、茲ニ労働組合員ガ修養シナケレバナラナイナラバ、産業組合員モヤハリ一ツノ修養ヲシナケレバナラナイ、其點ニ於テ少シモ變リハナイ、労働組合ダケニ修養ガ足ラヌカラト云フ、是ガ一ツノ侮蔑デナクテ何デアリマセウ、併ナガラソレ以上只今ハ削除スル者ガナイ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十三回

ト仰シヤルカラ宜シウゴザイマスケレドモ、少クトモ労働者ニ修養ガ足ラヌカラ修養セヨト云フヤウナコトハ、一ツノ侮蔑トシカ取レナイ、況ヤ現在ノ労働組合労働者ニ對シテ實ニ此文字ノ如キハ怪シカラヌ、随分人ヲ馬鹿ニシテ居ル、ソナナコトモアナタノ耳ニ十分這ツテ居ルト考ヘマス、斯ウシタ閑文字ヲ用ヒルコトハ立法技術カラ言ツテモ私ハ甚ダ拙イ立法ダト思ヒマス、併ナガラ其點ハ質問ヲ打切ツテ置キマス

○猪野毛委員 只今松谷君カラ御話ニナツテ居リマスル此程度マデノ職業ノモノハ加入ヲ許ス許サヌト云フコトヲ何カ政府ノ方デ表ニ作ツテ廻シテ下サツタ方ガ大變私共ガ間ヲ發スル上ニ於テ便宜ダラウト考ヘテ居ルノデスガ、何百トアル職業ニ付テ一々議論スルト時間モ非常ニ掛リマシ、政府ノ答辯モ非常ニ苦シイダラウト思ヒマス、又私共トシテモ政府ノ答辯ニ非常ニ矛盾ガアルコトヲ熟々發見シテ居ル次第デスカラ、ソコデ本會議マデマ宜シウゴザイマスガ、簡單ニ出來マセウカ

○吉田政府委員 只今御尋ノ點ハ無論御審議ノ御參考ニナルト思フノデアリマスガ、各種ノ産業職業ニ互リマシテ、政府ガ類似ト認ムル範圍マデノ表ヲ、此會期ノ少イ今日拵上ゲマスコトハ餘程ムヅカシカラウト思ヒマス

○猪野毛委員 サウスルト其表サヘ拵ヘテ吾々ニ出セヌヤ
ウナ位デハ、政府ノ方デハハツキリ答辯ガ出来ナイコトニ
ナルデハアリマセヌカ

○吉田政府委員 サウデハナイト思ヒマス、答辯ハ先達テ
來致シテ居リマス通りデアリマシテ、類似ノ産業、類似ノ
職業ヲ一々ニ付テ何ガ類似シテ居ルカ、何ガ類似シテ居ラ
ヌカト云フコトヲ定メルコトハ、事實ノ上ニ付テ出来得ル
ノデアリマス、併シ今日會期ノ切迫致シマシタ場合ニ、有
ユル産業職業ニ互リマシテ、是ガ類似デアアル、是ガ類似デ
ハナイト云フコトヲ表ニ拵ヘテ差上ゲル餘裕ガアリマセヌ
ケレドモ、其中ノ類似ノモノデ宜シイト仰シヤルナラバ間
ニ合セテ宜シウゴザイマス

○猪野毛委員 全部デナクテモ百位、大凡百以内デ結構ダ
ト思ヒマス、是ハ吾々ガ本會議ニ於テ議論ヲスル上ニ於テ
必要カト思ツテ居リマスカラ、出来得ル限り澤山ナラバ結
構デスガ、百以内デモ結構デスカラ、ハツキリシタ表ヲ貫
ヒタイ、サウデナイト例ヘバ藝妓ダトカ、御灸ヲ据ヘル
商賣、或ハ尺八ヲ吹クヤウナモノナドハ中々問題ダラウト
思ヒマス、筋肉ト云フモノハ精神ノ働ニ依ツテ働イテ行ク
モノデ、單ニ筋肉ダケ單獨ニ働クモノデハナイ、是ハ互ニ
相關聯ヲシテ居ル譯デアリマス、「ランニング」ナドハ「オ

フ御要求デアリマスカ

○松谷委員 サウデス、ソレハ出来マセウカ

○吉田政府委員 承知致シマシタ

○松谷委員 モウ一ツ御願シタイノハ、實ハ私尙ホ重要ナ
ル點ニ付テ、勞働組合ノ根本精神、根本の規定ニ付キマシ
テ、政府ノ本當ノ意思ノアル所ヲ聽キ、又條文ノ順ヲ追ッ
テ質問シタイ所ガアリマスカラ、午後カラ大臣ニ御出掛ケ
下サルヤウ願ヒタイノデアリマス

○添田委員長 大臣ニハ午後此處ニ出席セラレルヤウ交渉
シテ居リマス、併ナガラ根本觀念デアツテモ政府委員カラ
御答出來ルト思ヒマス、政府委員ノ御答モ根本觀念ニ觸レ
ナイコトハナイノデアリマスカラ、政府委員ニ御尋下サツ
テモ結構ダト思ヒマス

○松谷委員 ソレハ委員長ノ仰シヤルマデモナク私モ能ク
心得テ居リマスガ、往々ニシテ大臣ノ答辯ト政府委員ノ答
辯トガ全然違フコトガアリマス、殊ニ是ハ重要ナル法律デ
アリマシテ、恐クハ今後ノ歴史ニ載ルベキ重要法案デアリ
マスカラ、ヤハリ閣議ニ列席セラレテ、閣議定メラレタ
本當ノ政府ノ精神ヲ聽キタイト考ヘテ居リマス

○添田委員長 大臣ノ出席ハ要求シデアリマス

○松谷委員 ソレデハモウ一ツ聽キマス、第七條デアリマ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十三回

リンビツク」ナドデモ言ツテ居リマスガ、精神分析學ニ依
レバ「ランニング」ハ筋肉ノ働ヲ主トシタモノデハナク
テ、頭腦働ヲ主トシタモノデアルト云フコトヲ、今日ノ心
理學者ハ論ジテ居ル、此點ハ私共モ非常ニ議論ノ餘地ガア
ルト思ヒマスカラ、成ベク判斷ニ便宜ヲ與ヘル意味ニ於
テ、今日、明日デ無クテ結構デゴザイマスカラ表示ニシテ
戴キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 出來ル限り取揃ヘテ御覽ニ入レルコトニ
致シマス

○松谷委員 只今表ノ提出ノコトニ付テ御話ガアリマシタ
カラ、私ノ方カラモ是非御願シタイノハ、精神勞働ト筋肉
勞働ト表ヲ作ツテ御提出願ヒタイ、此表ハ極メテ簡單ダ
ウト思フ、職業ト言ツテモサウ澤山ナイモノデアリマスカ
ラ、只今御聽キシタヤウナ、百トカ二百トカ云フモノデハ
ナク、私ハ少クトモ三十カ四十ノ範圍デ宜シウゴザイマ
ス、例ヘバ看護婦トカ、醫者トカ、「サラリーマン」、サウ
云フモノニ付テ一ツ表ヲ作ラレテ御出シ下サルヤウ御願ヒ
致シマス

○吉田政府委員 一寸松谷サンニ伺ヒマスガ、アナタノ御
求ニナリマス表ハ、ドチラニ屬スルカ紛ハシヤウナモノ
ヲ拾出シテ、ソレヲドチラカニキメテ表ニ入レテ吳レト云
スケレドモ、第七條ニハ民法第四十四條ノ規定ガ準用セラ
レテ居ル、其規定ニ依ルト「法人ハ理事其他ノ代理人カ其
職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任
ス」、斯ウ云フ規定ガアリマシテ、勞働爭議ニ付キマシテハ
其責任者ガ爭議ノ爲ニ、相手方ニ損害ヲ負ハシタ場合ニ於
テ、日本デハ是ハ組合若クハ其理事代理人ニ責任ガアル、
結局組合ニ於テ損害賠償ノ責任ガアルト云フコトニナツテ
居リマス、是ハ御承知デモゴザイマセウガ、英國ハ千九百
六年デアツタト記憶シマスケレドモ、勞働爭議ノ三條、四
條ニハ明カニ「ストライキ」ノ損害賠償ニ付テハ其責任ガ
ナイト云フヤウニ判例モナツテ居ルシ、又規定ニモナツテ
居ル、是ハ勞働組合法ニ於ケル所ノ爭議ノ根本精神デアリ
マシテ、私共ハ之ヲ是非トモ斯ウ云フ風ニヤツテ戴キタ
イ、是ハ勞働組合法トシテノ切實ナル要求デアリマス、又
世界立法ノ趨勢モサウ云フ風ニナツテ居ルモノト心得テ居
リマスガ、政府ハナゼニ此點ニ付テ逆行シタル法律ヲ作ラ
レタノデアアルカ其精神ヲ御尋シタイノデアリマス

○吉田政府委員 法人タル組合ニ於キマシテ理事其他ノ法
人組合ノ代表者ガ他人ニ加ヘマシタ損害ノ責任ガ組合ニ及
ブト云フコトハ是ハ代表者タルガ故ニ代表者トノ組合、法
人トノ關係ヲ律スル限り、是ニハ別ニ御異存ガナイト思フ

ノデアリマス、問題ハ爭議ニ依リマシテ業務ヲ組合員トシテ停廢セシメタ、其爭議ノ責任ト云フモノハ、他人ニ加ヘタ損害ナリトシテ組合ノ負擔ニナルドラウカドウカト云フコトニアルノデアリマスガ、御承知ノ通りニ前ノ社會局案ニ於キマシテハ、單ニ業務ヲ停廢セシメタト云フダケデハ、組合又ハ組合ノ幹部トシテ指揮命令ヲ致シマシタ人々ノ責任ヲ除ク意味ノ規定ガ這入ツテ居リマス、併ナガラ此問題ニ付キマシテハ、我國デ未ダ勞働組合ガ——英吉利ニアリマシタ如クニ勞働組合ガ爭議ノ損害ニ付テ責任アリトサレマシテ、事業主カラ損害ノ賠償ヲ請求セラレテ居リマスル事例ト云フモノハ現レテ居リマセズ、又其點ニ於テハ判決事例ガマダナイノデアリマス、一方ノ爭議ノ責任ト云フコトヲ考ヘマスルト、先達テモ他ノ御方ガ御質問ガアツタノデアリマスルガ、爭議ニ從事シタ人々ノ民法的ノ責任如何ト云フコトカラ、之ヲ指揮命令シタ人ノ責任如何、又其屬スル團體ノ責任如何ト云フガ如キ問題ニ付キマシテハ、單ニ勞働組合ノ關係シタ爭議ノミニ限ラズ、爭議全般ノ問題、別途ノ問題ト致シマシテ、餘程慎重ニ考究ヲ要スル問題デアリ、又現在ノ非常ニ重要ナル問題デアルト考ヘルノデアリマシテ、サウ云フ爭議全般ニ關係致シマシタ、爭議カラ發生シタ損害ニ付テノ賠償責任ト申シマスルカ、

民事上ノ責任ノ歸屬問題ニ付キマシテハ私共ノ所デ決シテソレガ輕キヤウニ問題トシテ省イタノデアリマセヌガ、前ニアリマシタヤウニ組合ニ關スル點ダケソレヲ規律致シマシテモ、爭議ノ責任ト云フモノガソレニ依ツテ明瞭ニナル譯デモナイノデアリマス、爭議全般ノ問題ト致シマシテ、別途ニ考究ヲスルガ宜カラウ、又只今マデ其事例ガナカツタノデアリマス、事實我國ニハ事例ガ起ツテ居ラナカツタノデアリマスルガ、勞働組合法ノ制定ニ當ツテ、組合法ノ中ニホンノ一部分、組合ニ對スル關係ト云フモノダケヲ規定シテ置イタデハ問題ノ解決ニハマダナラナイ、而シテ別途ニ之ヲ慎重ニ考慮スルト云フコトデ、前ノ所謂社會局案ノ所謂十三條ト云フモノハ、今回ノ法案ノ中ニ這入ツテ居ラナイノデアリマス、民法ノ四十四條ノ準用ガアリマスルコトハ、是ガアリマセヌト、組合ノ理事ト云フモノガ決ツテ居リマシテモ、一向役ニ立タナイノデアリマス、理事ガ理事タル職分ヲ果ス上ニ付キマシテモ役ニ立タナイノデアリマスガ、ソレガ問題ニナルモノトハ考ヘマセヌ、四十四條ガ準用ニナルト云フコトハ惡イ事デハナイト思ヒマス、爭議ノ責任、之ニ付キマシテハ私共ハ別途ニ慎重ニ考究ヲ致シテ居ル次第デアリマス、今回ノ法案ニ其一部分ヲ入レマセヌノハ、只今申シマシタ通り、其一部ヲ解決致シマシ

テモマダ解決ニナリマセヌノデ、ソレハ別ニ爭議ノ責任ニ關スル問題ト致シマシテ考究ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○松谷委員 サウスルト爭議ニ關スル責任ハ此規定ノ中ニ含マレテ居ラヌト斯ウ承知シテ宜シイノデアリマスカ、其點ヲ承リタイ

○吉田政府委員 含マレテ居ラナイノデアリマセヌ、規定ハ全體ニ冠サツテ居リマスルカラ、無論關係ガアリマスルケレドモ、爭議ニ關スル責任ノ問題ニ付キマシテハ、此組合法ハ何等規定シテ居ラナイ、外ノ一般ノ問題ノ原則ニ依ツテ今ノ所デハ解決セラレル状態デアリマスカラ、斯ウナツテ居ルノデアリマス、四十四條ハ爭議ノ責任ノコトニ付テハ關係ハナイト云フコトハ申セヌト思ヒマス、只今モ申シマシタ通りニ爭議責任ト云フコトニ付キマシテハ、根本的ニ爭議ニ從事シタ人ノ責任ト云フコトカラ實ハ考ヘテ、問題ヲ解決致サナケレバナリマセヌノデ、ソレ等ノ問題ト一緒ニ致シマシテ考究ヲ致シテ置クノデアリマス、今回ハ組合法ノ中ニハソレガ這入ツテ居リマセヌ、斯ウデアリマス

○松谷委員 ドウモ答辯ガハツキリ致シマセヌガ、サウスルト此七條ノ「法人ハ理事其他ノ代理人ガ其職務ヲ行フニ

付キ他人ニ加ヘタル損害」ト云フノハ爭議ノ責任ニ這入ツテ居ラヌト解釋シテ宜シイノデスカ、這入ツテ居ルト解釋スルノデスカドウモハツキリシマセヌガ、其點ヲ明瞭ニ簡單ニ御願シマス

○吉田政府委員 ソレハ一應這入ツテ居ルト考ヘマス

○松谷委員 這入ツテ居ルナラバ、所謂先程申上ゲル如ク世界ノ立法ノ趨勢ニ反スルト考ヘテ居ルガ、其點ハドウ考ヘラレマスカ

○吉田政府委員 或ル全般ノ問題ト致シマシテ、爭議ノコトノ全般ノ問題トシテ言ヘバ這入リマスルケレドモ、全般ノ問題ト考ヘマシテ、法人ノ代表者ガ其法人ノ職務ヲ行フニ付キマシテ、法人トシテ働クコトニ付キマシテ他ノ者ニ損害ヲ加ヘタ場合ニ、其責ニ任ズル當人ガ、職務ヲ行フニ付テ職務權限ノ範圍内ノコトニ付テハ法人ノ責任ニ歸スルト云フ原則論ヨリ致シマスルコトハ少シモ不當デナイノデアリマス、又法人ヲ置キマスル趣意モサウナノデアリマスカラ、ソレハ少シモ不當ナコトデハナイノデアリマスガ、爭議ノ關係ニ付キマシテハ爭議自體ノ責任ト云ツタモノニ付キマシテ、現在ノ社會問題トシ、勞働問題ト致シマシテ、考究ヲ要スル點ガアリマスルカラ、マダ我國デ組合ガ爭議ノ責任ニ付テ賠償ヲ求メラレタ事例ノナイノモ其一ツ

ノ現レデアルト思ヒマス、或ハ我國ノ組合ハ實力ヲ持タナイカラ組合ニ賠償ヲ求メテモ、モノニナラナイカラ求メナイノダト云フ見方ヲスル人モアルカモ知レナイト思ヒマス、同時ニ争議ノ一ツノ付テ組合ノ賠償ヲ求メルト云フコトハ争議ノ性質ニ鑑ミテ考慮スベキダト云フ考ハ、決シテ我國ニ於キマシテモ動イテ居ラナイト云フコトハアリマセヌ、隨テ争議ノ責任ト云フコトニ付キマシテハ、單ニ組合理事者ト組合トノ間ノ關係ダケヲ規律シタノデハ、ソレデマダ全般ノ争議ノ責任ト云フモノニ付テハ明瞭ニナラナイノデアリマスカラ、ソレ等ノ基礎的ノ問題ト合シテ別途ニ考慮致シタイ、斯ウ云フ積リデアアルノデアリマス其規定ガナケレバ民法ノ一般ノ原則ニ依リマシテ其責任ノ歸屬ガナクナルト云フコトハ當リ前ノコトデアリマス、唯争議ノコトニ付テサウダカラト云ツテ済マシテ居ラレナイ、別途ニ考究スル必要ガアルノデアリマス

○松谷委員 此點ニ付テ一ツハツキリスル御答辯ガ願ヒタイノデアリマスガ、ソレデハ此七條ハ民法ノ規定ハ争議以外ノ場合ヲ主トシテ規定シタノデアルカ、争議ニ付テハ別個ノ考ヲ持ツテ居ル、斯ウ承ツテ宜シイノデアリマスカ
○吉田政府委員 民法ノ規定ガ争議ヲ除ク意味デ出来テ居ルトハ考ヘマセヌ、ソレハ全般ニ冠サル規定ナノデアリマ

ス、争議以外デモ争議デモ全般ニ冠サル問題ナノデアリマス、併シ争議ニ付テハ斯ウ云フ規定或ハ民法ノ外ノ損害賠償ニ關スル規定ト索聯致シマシテ、争議ノ責任ト云フコトニ付キマシテモ、現在ノ社會状態ノ上ニ於キマシテ別途ニ慎重ニ考究ヲ要スル、サウ考ヘテ居ルノデアリマス、民法ノ規定ガ争議ニ對シテ適用セザル趣意デ出来テ居ルトハ思ヒマセヌ

○守屋委員 議事進行ニ付テ 今日ハ第一ニ内務大臣ニ質問シタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、内務大臣ガ御見エニナリマセヌカラ、質問ヲ留保シテ置キマス、ソレカラ農業労働者ノ結社ノ自由ニ付キマシテ、農林大臣ノ出席ヲ度々御願ヲシテ居ルノデアリマスガ、マダ御見エニナリマセヌ、ソレカラ銀行類似ノ仕事ノ取締ニ付キマシテ大藏大臣ノ出席ヲ要求シテ置キマシタガ、ソレモ御見エニナリマセヌ、委員長カラ再三本案ハ重大ナル法案デアルカラシテ、審議ヲ進メルト云フ御決心ナラ、私共ハソレヲ御勸告ヲシテ居ルノデアリマス、然ルニモ拘リマセズ、各大臣ガ此委員會ニ御顔ヲ御出シニナラヌト云フコトハ、私共ノ審議ヲ進ムル上ニ於キマシテ非常ニ不都合ニ感ジマス、非常ニ不便ヲ感ズルノデアリマス、デアリマスルカラ委員長ハ此點ニ付テ各大臣ト交渉サレテ居ルコトデアルト考ヘ

マスルガ、モウ大分審議ヲ重ネテ居リマスルシ、私共質問シヨウト思ウテ準備ヲシテモ、大臣ガ居ラレマセヌガ爲ニ無駄ナ時間ヲ費サナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ遺憾ニ存ジマスカラシテ、ドウカ各大臣ノ出席ヲ求メマスルヤウニ御骨折ヲ願ヒタイ、ソレカラ文部大臣ニ對シマシテ、此間労働教育ノ實際ヲ御聽致シマシテ、ソレヲ本書ヲ以テ吾々ニ示シテ下サルコトニ文部政務次官カラシテ承ツテ居リマス、然ルニ待ツテ居リマスルノニマダ私共ノ手許ニ參ツテ居リマセヌ、是ナドモ洵ニ文部當局ガ不熱誠デアリ、不誠意デアルト云フ證據ニナラウカト考ヘマス、ドウカ政府ヲ鞭撻致シマシテ、私共ノ委員ノ要求シマスル調ヤ其他ノ書類ニ付テ、モツト便宜ヲ圖ツテ戴キタイト思ヒマス
○添田委員長 承知致シマシタ、出来ルダケヤツテ居リマス、休憩ヲ致シマス、午後一時半カラ開會ヲ致シマス
午後零時二十五分休憩

午後二時二十分開議

○添田委員長 會議ヲ開キマス、先達テ御質問ガアリマシタ我國ノ思想運動ノ狀況等ニ付テ、警保局カラ報告ヲ致シタイト云フコトデアリマス、就キマシテハ此委員會ヲ秘密會ニシテ吳レト云フ要求ガアリマス、秘密會ヲ開クコト、

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十三回

致シマス、ソレデハ以外ノ人ハ御退席ヲ願ヒマス、ソレカラ秘密會ニハ便宜速記ヲ附ケナイコトニ致シマス、御承知ヲ願ヒマス
〔午後二時二十五分秘密會ニ入ル〕
〔午後四時五分秘密會ヲ終ル〕

○添田委員長 秘密會ハ是デ閉デマシテ、是カラ公開致シマス

○田子委員 安井サンガ御歸リニナラナイ前ニ承リタイ——共産運動ノコトヲ承ルヤウニナリマシタノハ、外國ノ雜誌ニ日本ノ労働組合ノ中ニ共産系ノ者ガ「フラクシヨ」ヲ作ツテ相當ナ人数ガ居ル、斯ウ云フ風ニ見マシタカラソコデ其御心配ガアルカナイカト云フコトヲ中心ニシテ御聽致シタノデアリマス、ソレデ御答辯ヲ承レバ全協ノモノニ付テハ只今ノヤウナコトニ承ツタノデアリマスガ、其他ノ組合ニ付テハ、組合自體ハ勿論、組合ノ中ニモ左程憂慮スルヤウナモノハナイ、ソレニ這入ルニモ付テハ十分取締ツテ居ル斯ウ云フヤウニ承ツテ宜シウゴザイマスカ

○安井政府委員 只今仰セニナリマシタヤウニ、全協ニ付キマシテハ先程申上ゲタヤウナコトニナツテ居リマス、ソレカラ合法的ノ組合ニ對シマシテモ「フラクシヨ」ヲ作ルト云フコトハ甚ダ困ル、之ニ付テハ分り次第檢舉シテ居

リマス、而シテ此「フラクシヨ」ハ必ズシモ左翼ダケノ組合ニ限リマセヌ、最モ右ノ方ニ位シテ居ル組合ニ對シテモ起リ得ルコトデアリマス、隨テ是ハモウアリト有ユル合法的方面ニ及ンデ來ルノデアリマスカラ、直チニ檢舉ハ致シマスガ、ソレデアアルカラト申シマシテ合法組合ハ直チニ惡イト云フコトハ出來ナイコトハ只今御話ニナリマシタ通リデアリマス

○猪野毛委員 警保局ノ方ノ御歸リニナラナイ前ニ一寸伺ヒマス、日本労働總同盟ノ綱領ノ中ノ一部分デアリマスガ其中ニ「吾等ハ組合ノ實力ヲ以テ労働者階級ノ完全ナル解放ト自由平等ノ新社會ノ建設ヲ期ス」斯ウ云フ一項ガアリマスガ、今日マデ是ガ現存ヲシテ居ツテ別ニ取消サレタト云フコトモ聞キマセヌガ、内務省ニ於キマシテハ労働者階級ノ完全ナル解放トカ、又労働者階級ノ自由平等ノ新社會ヲ建設サスト云フヤウナコトヲ御許シニナツテオイデニナル御考デアリマセウカ

○安井政府委員 社會運動ト致シマシテ極ク右ノ方ニ在リマスル組合若クハ團體ニ色々綱領ガ掲ゲラレテアルノデアリマスガ、是ハ昨今ニ始ツタコトデアリマシテ、餘程前カラ斯ウ云フ綱領ヲ掲ゲテ居リマス、ソレニ付キマシテハ、苟モ合法的ニ運動ヲ致シマスモノハ差支ナイトシ

テ、今マデ認メテ居ルノデアリマス、其綱領ガ善イカ其人ノ主義トシテ善イカ惡イカヲ判斷シテ取締ル方面カラ申シマスルト、苟モ違法ニナラナイ、合法的デアリマスレバ、差支ナイト云フノデ、是ハズツト是カラ其儘ニ認メテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 以前カラアツタニセヨ、只今出來タニセヨ、現在此處ニ斯ウヤツテ存在ヲシテ居ルノデアリマスガ、労働者階級ノ完全ナル解放ト云フコトハ警保局デハドウ云フ風ノ解釋ヲ爲サツテ御居デニナリマセウカ

○安井政府委員 是ハ實ハ詳シイ説明ヲ聽イタ譯デモアリマセヌガ、其團體ノ綱領ナリ、或ハ實際ノ組織ナリヲ見マシテ、サウシテ團體ソレ自體ガ直ニ治安ニ害アリトハ認メテ居ラナイノデアリマス、デ、其從來ノ綱領ナリ、組織ナリ、ヤリ方ナリヲ見マシテ、ソレガ合法的ニ問題ヲ解決スル、斯ウ云フモノデアアルト認メテ居リマスノデ、今日マデハ之ニ對シテ結社禁止ヲスルトカ云フ、サウ云フヤウナ程度ニハ立至ツテ居ラナイノデアリマス

○猪野毛委員 私ノ御伺スルノハサウ云フ御答トハ違フノデス、茲ニ舉ゲテアル所ノ労働者階級ノ完全ナル解放、之ヲドウ云フ風ニ御解釋ニナツテ居ルカ、此綱領ノ内容ヲドウ御解釋デスカ

○安井政府委員 ソレハ極メテ抽象的ナ文句デアリマスカラ、具體的ニ斯ウシタイ、ア、シタイト云フコトハ分リ兼ねマスガ、要ヌルニ共產主義ヲ目的トスルトカ、或ハ議會政治ニ非ズシテ無産者ノ獨裁ヲスルトカ、サウ云フヤウナモノデアリシイコトハ、明瞭ニ積極的ニ考ヘラレマスカラ、直チニ左様ニ解釋スルコトハドウカト思ヒマス、具體的ニ置イテ居ラナイノデアリマスカラ、極ク抽象的ノ文字デアリマスノデ、ソレダケヲ以テ直チニ結社禁止ニスルモノデアルト云フヤウニハ從來カラ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○猪野毛委員 然ラバ自由平等ノ新社會ノ建設、是ハドウ云フ風ニ御解釋ニナツテ居リマセウカ

○安井政府委員 其言葉ダケノコトデアラウト思ヒマスルガ、ソレハ一種ノ人ニ依リマシテハ或ハ空想ト云フカモ分リマセヌ、又或者ハ理想ト云フカモ分リマセヌガ、是ハ左様ナ目的ヲ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、ソレダケヲ以テ直チニ治安ニ害ガアルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ

○猪野毛委員 非常ニ私共ハ疑惑ニ打タレカ、ツテ來タノデアリマスルガ、此處ニ綱領ガ儼然トシテ掲ゲテアルカラニ於テハ此綱領ガ空漠トシテ假令雲ヲ掴ムヤウナ形式ニハナツテ居ツテモ、日本ノ此國情ニ於テ労働階級ノ完全ナル

解放トカ、自由平等ノ新社會ノ建設ヲ許スト云フヤウナコトハ、是ハ容易ナラザル事デハナイカト云フコトヲ私共ハ案ズルノデアリマス、私共ノ如キ立場ノ者デサヘ左様デアルカラ、況ヤ警保局ハ餘程斯ウ云フ點ニ付テハ嚴罰主義ヲ御持チニナツテ、特ニ共產黨事件ナドニ付テハ寧ろ人權ヲ蹂躪シテデモ斯ウ云フ事ニ付テハ嚴格過ギル程嚴格ニシ、又斯ウ云フモノ、芽ガ生エナイコトニ努力ヲサレテ居ルヤウニ私共ハ承ツテ居ルノデス、然ルニ只今ノ御説明ニ依リマス、洵ニ樂觀主義デアツテ、斯ウ云フヤウナ言葉ガ一向差支ガナイト云フ風ニ私共ニハ解釋サレマスガ、内務大臣ノ先日來ノ答辯ヲ見マスルト勞資協調主義デアリマシテ、ドウシテモ日本ノ組合、或ハ經濟組織、政治組織ニ於テモ、労働ト資本ト云フモノハ協調ヲシテ行カナクチャナラヌト云フ事ヲ度々繰返シテオイデニナルノデス、然ルニ此綱領ナルモノヲ見マスルト、全然資本ト云フモノヲ無視シテ、サウシテ労働者階級ノ完全ナル解放ヲヤレトカ、又労働者階級ダケデ自由平等ノ新社會ノ建設ヲ期ス、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデス、而モ其初メニ當ツテ、吾々ハ組合ノ實力ヲ以テト云フコトガアルノデス、組合ノ實力ヲ以テト云フコトニナリマスルト、組合ニハドウ云フ實力ガアルカト云フト、組合ニハ大シタ力ハナイ、所謂團結權或ハ

「ストライキ」ヲヤルトカ、或ハ又暴力行爲ニ依ルトカ云フ、是等ノモノガ即チ労働組合ノ實力デアラウト思フノデス、斯ウ云フ力ヲ以テ労働者階級ヲ完全ニ解放スル、而シテ労働者階級ニ依ツテ自由平等ノ新社會ノ建設ヲ期ス、斯ウ云フ事ハ從來ノ内務省ノ御考ヘニナツテ居ル事カラ考ヘテ見レバ、頗ル矛盾撞著ガアルト考ヘルノデス、ト云フノハ「サンヂカリズム」、是ハ私ガ申スマデモナク「ソレル」ノ主張デアリマシテ、即チ労働組合國家ヲ作ルコトヲ目的トシテ居ルノデス、此新社會ノ建設ヲ期スト云フコトハ即チ「サンヂカリズム」ノ労働組合國家ヲ作ルト云フコトニ是ハ一致シナケレバナラヌノデアリマス、是ハ議會ヲ否認シテ居ルノデス、此思想ト云フモノハソレト是ト合致シテ居ルノデス、ソレデモ是ハ一向差支ガナイト御認ニナツテ御居デニナルノデアリマスルカ、又「マルキシズム」ノ如キハ、是ハ議會ハ認メテハ居ル譯デスガ、併ナガラ是ト雖モ労働組合ト労働政黨トガ協力ヲシテ、サウシテ無産者專制ノ國家ヲ作ルコトヲ目的トシテ居ル、唯前者ハ議會ヲ認メヌ、後者ハ議會ヲ認ムト云フダケノ違デアルノデス、併ナガラ日本ノ政治、或ハ日本ノ經濟、又是等ノ組合ニ於テモ「マルキシズム」或ハ「サンヂカリズム」ト云フ如キモノハ、相容レラレナイト云フコトハ私共ハ從來承ツテ居ル

ノデス、然ルニ茲ニ儼然ト是等ノ「サンヂカリズム」若クハ此「マルキシズム」ト合致スル所ノ内容ガ立派ニ現レテ居ル、然ルニ、一向是ガ治安ニ差支モナク、日本ノ國情ニ照シテ禁止スベキモノデハナイト云フヤウナ御考デアルコトハ、如何ニモ腑ニ落ちヌト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトニ付テ從來御協議ヲ爲シタコトガアルノデゴザイマセウカ、序ニソレモ承ツテ置キタイト思ヒマス

○安井政府委員 只今御述ニナリマシタヤウナ此「サンヂカリズム」デアリマスナラバ、ソレハ明瞭ニ議會政治ヲ否認シ、且ツ其目的タルヤ無政府主義デアルノデ、是ハ無論日本ノ國家ニ取りマシテハ、害ノアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、又「マルキシズム」即チ共產主義ト云フコトニナリマスレバ、是ハ無論御話ノヤウニ議會政治ヲ否認シ、而シテ無産者獨裁ノ政治ヲ暴力ヲ以テ持チ來サウトスル主義デアリマシテ、是亦我國ノ社會ニ受入レルコトノ出來ナイ主義デアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、併ナガラ仰セニ

只今今御述ニナリマシタヤウナ此「サンヂカリズム」デアリマスナラバ、ソレハ明瞭ニ議會政治ヲ否認シ、且ツ其目的タルヤ無政府主義デアルノデ、是ハ無論日本ノ國家ニ取りマシテハ、害ノアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、又「マルキシズム」即チ共產主義ト云フコトニナリマスレバ、是ハ無論御話ノヤウニ議會政治ヲ否認シ、而シテ無産者獨裁ノ政治ヲ暴力ヲ以テ持チ來サウトスル主義デアリマシテ、是亦我國ノ社會ニ受入レルコトノ出來ナイ主義デアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、併ナガラ仰セニ

ナリマシタ此團體ガ斯様ナ「サンヂカリズム」デアリマストカ、或ハ「マルキシズム」「レーニズム」ノヤウナ思想ヲ採ツテ居ルデハナイト云フコトハ、有ユル方面カラ考ヘマシテ左様ニ考ヘラレルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ先程モ申述べタヤウナ譯デアリマス

ニ演説ヲヤツテモ言フコトハ必ズシモ行フノデハナイ、併ナガラ演説ノ内容ニ於テ激シイコトヲ言フト、警保局ハ言論ノ中止、或ハ解散デモ何デモ命ズルデセウ、言フコト、行動ト云フコトガ合致シナイコトハソレハ澤山アルノデス、是ナゾハ今マデハ事ヲ行ハナカウタニハ遠ヒナイケレドモ、兎ニ角斯ウ云フ看板ヲ掲ゲテ居ルコトハ、是ハ警保局トシテ投ゲテ置イテ宜イカドウカト云フコトヲ聽クノデス、行爲ニ現レルト云フコトハ、是ハ今晩ニデモ現レルカモ知レナイ、斯ウ云フコトガ此通り現レタラ大變デアリマス、是ハ露西亞ノ主義ト共通ノ看板デスカラ、現レタラ大變ダケレドモ、現レストモ斯ウ云フコトヲ宣言シテ置クノ

○猪野毛委員 私共モ此日本労働總同盟ハ決シテ危険ナルコトヲスル團體デハナイト云フコトハ信ジテ居ルノデス、併ナガラ只今ノ御言葉ニ依ルト、今マデノ行動ヲ見ルノニ何等治安ニ害ガナカウタラウト仰シヤル、然ラバ斯ウ云フ綱領ト云フモノヲ旗印ニシテ掲ゲテ行ツテモ宜イカト云フコトヲ御尋スルノデス

ガ差支ナイト仰シヤルノデスカ、ソレデハ警保局ハ行ハナケレバ、口デ言ツタリ、文章ニ書クコトハ構ハナイ、宣言綱領ヲ印刷物ニスルコトハ構ハヌト云フナラバ、別ニ發賣禁止モ要ラナケレバ、言論ノ中止モ解散モ命ズル必要ハナイト云フコトニナルト思ヒマスガ、ソレニ對スル御意見ヲ承リタイノデス

○安井政府委員 色々此團體ヲ見マシル場合ハ、從來ノ行動ナド無論綱領ノ中ニ入レラレナケレバナラヌ、從來サウ云フコトガ現レ、バ、無論考ヘマスガ、將來團體ト云フモノハ主義政策ヲ變ヘルコトモアルト思フ、若シ將來果シテ此「サンヂカリズム」ナリ或ハ共產主義ヲ目的トスルナラバ、ソレハ當然宜シクナイコトハ申スマデモナイノデアリマス、併ナガラ茲ニ掲ゲデアリマスル綱領ソレ自體ガ、此「サンヂカリズム」ナリ、或ハ共產主義ヲ採ツテ居ルモノトハ考ヘナイノデアリマス

○安井政府委員 行動ハ無論見ナケレバナリマセヌシ、又行動ノ一部分デアリマスル色々ノ言論ナドニ付キマシテモ無論注意シナケレバナラヌト思ヒマス、併ナガラ茲ニ掲ゲデアリマスルコトソレ自體ガ直チニ「レーニズム」ナリ、

或ハ「サンチカリズム」ナリト断定スルコトハ如何カト思ヒマス

○添田委員長 先程申シマシタヤウニ商工省ヨリ政務次官並ニ工務局長ガ見エテ居リマス、是ハ先達ノ要求ニ依ツテ御出席ヲ求メタノデス

○猪野毛委員 モウ少シデ質問ガ終リマスガ

○添田委員長 今ノ御話ナラバ少シ延期ヲ願ヒタイト思ヒマス、商工省ノ政府委員ガ來テ居リマスカラ、其方ノ話ガ濟ンデカラ御願致シマス

○猪野毛委員 ソレデハ保留シテ置キマス

○松村委員 商工大臣ノ出席ヲ要求シマシタノハ私及ビ加藤君、其他ニモアツタト思ヒマスガ、大臣ガ御見エニナリマセスト、ヤハリ根幹ノ問題ニ付テ再ビ御問スルヤウナ相互ノ不便ガアリマスガ、先ヅ御出席ノ政府委員ニ豫メ伺ヒ、更ニソレニ基キ重テ商工大臣ニ對スル質疑ヲシタイノデ、之ヲ保留シテ置キマス

近時世界各國共ニ勞働爭議ハ寧ロ減少ノ經過ヲ辿リツ、アルニモ拘ラズ、日本ノミガ非常ニ爭議ガ多イ、而モ其増加ノ勢ガ驚クベキ状態ガアルト云フコトニ付キマシテ、其因ツテ來タル原因等ニ關シマシテ、商工省トシテハ如何ニ之ヲ觀テ居ラレマスカ、先ヅ其點ヲ御伺致シマス

○横山政府委員 先刻委員長カラ御話ノ通り、御要求ニ依リマシテ商工大臣ガ出席スル所デゴザイマシタガ、已ムヲ得ヌ差支ガアリマシテ取敢ヘズ代ツテ出タ次第デアリマス、詳シイ事ハ無論吉野局長カラモ御答致シマス、尙ホ御質問ノ趣旨ハ能ク承リマシテ、答ヘ能ハザルモノハ之ヲ商工大臣ニ取次ギマシテ更ニ相當ノ處置ヲ執リタイト思ヒマス

只今御質問ハ實ハ商工省トシテ適切ナル答辯ヲ只今ノ所ニ於テ致シ兼ネマズガ、世界各國ノ勞働爭議ノ趨勢ガ大體ドウ云フモノデアルカ位ノコトハ無論存ジテ居リマス、ソレト正反對ニ日本ノ勞働爭議ト云フモノガ、果シテドノ程度ニ増加シツ、アルカト云フヤウナ、正確ナル答辯ハ或ハ出來ナイカモ知レマセヌ、恐ラク其點ニ付キマシテハ取調ベタモノガ商工省ニハナイト思ヒマス、併シ統計其他ノ方面ニ於テサウ云フ材料ガアリマシタナラバ改メテ私ヨリ申上ゲマスガ、唯商工省トシテ執ツテ居リマス方針ハ、産業、商業ノ助長、監督、指導、斯ウ云フ方面ニ努力致シテ居ルノデアリマスカラ、商工業ニ至大ノ影響ヲ及ボシマス所ノ勞働爭議ノ傾向ニ付テハ、常ニ相當ナル注意ヲ致シテ居ルノデアリマス

〔委員長退席、宮澤理事著席〕

隨テ今回ノ勞働組合法案、勞働立法ニ關シマシテモ、相當ノ注意ヲ拂ツテ居リマス、何シロ商工大臣ガ立案スルノデハナイ、案ノ内容ニ付テハ彼此レ申スノデハナイ、要スルニ商工業保護ノ立場カラ、勞働爭議ニ對シテハ深甚ナル注意ヲ拂ヒツ、アリマス、隨テ勞働爭議ガ商工業ノ發展ニ影響スルモノデアルト考ヘマスル時分ニハ相當ノ處置ヲ執ル考デゴザイマス

○松村委員 商工省ノ方ガ御知リニナラナケレバ已ムヲ得マセヌガ、内務省ノ方カラ出マシタ爭議ノ統計ヲ基礎トシテ先ヅ御問致シタノデアリマス、商工省ガ爭議ノ状態ヲ御知リニナラヌト云フコトデアルト、初カラ質問ガ進行シマセヌ、内務省ノ統計及ビ私ノ取調ニ依ツテ見マシテモ、多少ノ例外ハアリマスガ、各國トモ勞働爭議ノ減少シテ居リマスガ、日本ダケハ非常ニ多イト云フ事實デアリマス、此事實ハ明白デアアル、一體商工省ハ其事實ノ由ツテ來ル原因ヲドウ見ルカ、ソレガ一ツデス

ソレカラ第二、本案ハ商工省デ立案シタモノデナイ、ダカラシテ爭議ノコトハ注意シテ居ルガ、ソレガ産業ニ至大ナル影響ガアル場合ニ於テハ、相當ナル處置ヲ執ルト云フヤウナ御話デアツタガ、勞働爭議ガ産業其モノニ至大ナル影響ガアルカナイカナド、云フコトハ、是ハ問題ニスル必

要ハナイ、即チ組合法ハ社會立法デアルト同時ニ産業立法デアアル、ダカラ其處ニ商工省トシテハ案其モノニ對シ非常ナ發言權モアリ、又非常ナ責任ガナケレバナラヌ、第一爭議ガ斯ノ如ク殖エタト云フ事實ヲ一體ドウ觀テ居ラレルカ、其方カラ先ニ伺ヒマス

○横山政府委員 先刻申上ゲマシタ通りデゴザイマス、世界ノ勞働爭議ノ大勢ニ對シテ、日本ノ勞働爭議ノ現状ヲ比ベテ見テ、ドノ程度ニ日本ノ勞働爭議ガ増加シツ、アルカハ、只今正確ナル數字ヲ持ツテ居リマセヌ、仰セノ如ク近時勞働爭議ガ非常ニ増加シテ居ルト云フ傾向ハ固ヨリ存ジテ居リマス、其通りデアリマス、之ニ對シテハ商工省直接ノ施設ト致シマシテハ、勞働運動ニ對シテ商工大臣ガ行政的ノ手腕ニ於テ、法律上下ウ云フコトヲスルト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、併ナガラ其原因ニ立至ツテ見マシレバ、産業界ノ統制ガ破レルトカ、或ハ産業界ノ資本家ト勞働者トノ間ニ爭議ガ起ルト云フヤウナコトガ、無論原因トナツテ參ルノデアリマスカラ、ソレ等ニ對シテハ適當ナ方法ヲ講ジツ、アルト斯ウ云フコトデアリマス

○松村委員 ドウモ政府委員ノ答辯ハ十分ニ分ラナイ、私ハ爭議ガドウシテ斯ノ如ク起ルカト云フ爭議ノ原因ヲ聽イテ居ル、爭議ガ原因ニナツテ産業界ニ非常ナ影響ガアルト

云フコトデハナイ爭議ガ斯ノ如ク殖エルガ、何故ニ斯ノ如ク爭議ガ殖エタカト云フコトハ、商工當局ノ觀點カラ大體ノ見當ガ付カナケレバナラヌ

○吉野政府委員 御尋ガ一般的ニムヅカシイ御尋ダト思ヒマス、爭議ガ日本ニ多イト云フコトハ事實デゴザイマシテ、又爭議ノ原因ト云フモノハ恐ラク私存シマセヌケレドモ、社會局ノ方ノ御調デアツタト思ヒマスガ、例ヘバ解雇デアルトカ、或ハ賃銀ヲ低下スルト云フヤウナコトガ、今日ノ爭議ノ主ナル原因ヲ爲シテ居ルト云フコトモ事實デゴザイマス、其事實ハ事實トシテ認メマスケレドモ、ソレガ何故デアルト云フ根本的御尋ニ付キマシテハ、由ツテ來ル所ガ複雑ナル原因デアリマシテ、見ル人ニ依ツテ餘程違フダラウト思ヒマス、サウ云フ御尋ニ對シテ、明確ニア、ダスウダト云フコトヲ申上ゲルダケノ準備ヲ商工省トシテ持ツテ居リマセヌ、或ハ幸ニ松村サンノ方ニ御考ガアリマシテ、斯ウ云フノガ原因ダ、ア、云フノガ原因ダ、ソレニ付テ御前ノ方ハドウ考ヘルカト云フコトデゴザイマスナラバ、是ハ具體的ノ事ナラ、多少見ル所ヲ申上ゲルコトモ出來ヤウカト考ヘテ居リマスケレドモ、一般的ニドウ云フ原因ダト云フヤウナ御尋ニ對シマシテハ私共力足リマセヌデ、御明答ヲ申上ゲルコトガ出來ナイノヲ甚ダ遺憾トスル

次第デアリマス

○松村委員 商工省ニ於テ調ベテ居ラヌト云フナラバ已ムヲ得マセヌ、其問題ハ尙ホ保留致シマス、商工次官ノ御答辯ニ依ルト、是ハ社會局デ立案シタモノデアルカラ、商工省トシテハ云々ト云フ御話デアツタガ、元來社會局ヲ何處ニ置クカト云フコトニ付テハ、實ハ非常ナ問題デアツタ、是ハ根幹的ノ問題デアアル、内務省ニ社會局ヲ置クコトガ抑々間違デアルト云フヤウナコトモ從來屢々唱ヘラレタ、單ニ内務行政ノ中ニ社會局ガアツテハイカヌカラ、寧ロ産業行政トシテ、元ノ農商務省ニ置ク方ガ宜イデハナイカト云フ意見モアツタバカリデナク、元來勞働立法ニ關スル事柄ハ、英吉利ノ如キ最初ハ我方商工省ニ相當スル「ボード・オブ・トレード」ノ所管デアツタ、社會局其モノガ内務省ニ在ルト云フコトハ、今日ニ於テモ餘程研究問題デアアル、ソレヲ頭ニ置イテ行カナケレバナラヌ、ソレ故ニ社會局ヲ何處ニ置クカト云フコトハ、從來日本ノ政治行政トシテ非常ニ大問題デアツタ、然ルニ近時社會局ノ立法ヲ見ルト動モスルト産業方面ノ研究ガ乏シイガ爲ニ、單ニ内務行政ノ立場カラノミ立法ヲナシ、産業界ニドウ云フ影響ガアルカト云フヤウナコトニ付テノ研究——露骨ニ言ヘバ知識モ足リナイト云フ虞ガアル、ソレダカラ外國デモ之ヲ農商務所

管ニスルト云フ沿革關係モアリ、更ニ農商務省案ト云フモノガ大正十四年ニ出テ居ル、是ハ農商務省トシテモ無論見ル所ガアツタカラデアラウ、農商務省案ト云フモノハ保守的デアアル、資本主義デアアル、是ハ産業本位ニ傾キ過ギテ居ルト云フノデ、殆ド弊履ヲ棄ツルガ如ク誰モ顧ミナイ、問題ニナラヌゾト云フヤウナコトデ相手ニシナイガ、日本デ一番早く出來タノハ農商務省案デアアル、此案ト社會局案ト云フモノハ根幹ニ於テ違ガアル、是ガ弊履ノ如ク棄テラレタト云フコトハ農商務當局トシテハ重大ナ事デアアル、苟モ農商務省ガ自ラ組合法案ヲ立案シテ之ヲ社會ニ公ニシタ以上ハ、相當ナ理由ト相當ナ決心ヲ以テ立案シタニ違ヒナイ、然ルニ社會局案ガ出來ルト、農商務省案ハ殆ド輕蔑サレテ居ル状態デアアル、實際ハ社會局其モノヲ内務省所管ニ置クコトガ間違ダト云フヤウナ議論モアル今日デアアルカラ、其農商務省ノ半身タル商工省トシテハ、社會立法ト同時ニ産業關係立法デアアル此組合法案ニ對シテハ、深甚ナル注意ト、モツト發言權ヲ持チ、モツト踏込シテ參與シナケレバナラヌノデアアル、本案提出者ノ中ニ商工大臣ノ名前ガ書イテアルガ、ソレナ簡單ナモノデハナイ、立案其モノニ對シテモツト商工省ガ踏込シテ、大イニ産業ノ立場カラ參與スベキ當然ノ權利ガアル、然ルニ今ノ御話ダト、ソレハ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十三回

コチラガ立案シタノデナイカラト云フヤウナコトデ、前ニ農商務省案ガアツタト云フコトスラ忘レテ居ラレル、外國デハ社會局ガ屢々商工省ノ管轄内ニアルト云フコトモ御存ジナイヤウナ口吻デアアル、現内閣ノ拵ヘタモノデハナイガ、前ノ農商務省案ガ全ク踏付ケラレタ形ニナツテ居ルノデアアルガ、ソレデモ此社會局案ニ對シテ、人ガ立案シタモノダカラト云フヤウナ簡單ナル考デ差支ナイト云フ積リデアアルカ、先ヅ其根本問題ヲ伺ヒタイ

○横山政府委員 本案ガ内務省側ノ立案ニ係ルガ故ニト云フヤウナコトヲ申シタノデアアリマセヌ、其意味ハ先刻申上ゲタ通りデアリマス、色々御話ガアリマシタガ、此社會局ノ所屬ニ付テ沿革其他ニ付テノ御説ハ傾聽致シマシタ、詳シイコトハ無論私ハ存ジマセヌ、農商務省ニ數十年ノ昔カラ工場法ニ關スル研究ノアツタコトモ沿革ノ中ニハ出テ居リマス、隨テ日本ノ政府ト雖モ社會局ナルモノヲ必ズシモ内務省ノ所屬ニ置カナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ツタ譯デハアルマイト考ヘマス、是ハ色々研究ノ結果斯ウナツタノデアツテ、吾々ノ見ル所ヲ以テ致シマスレバ、只今内務省ノ方面ニソレガアルト云フコトハ、最モ適當デアルト考ヘテ居リマス、併ナガラ只今ノヤウナ御議論ノアルト云フコトモ私ハ諒承致シテ居リマス、是ハ聽

テ作ラルベキ行政整理ニ關スル調査會ニ於テ、相當ノ形式ヲ以テ現レルノデハナイカト思ヒマス、又現レル方ガ宜シイト考ヘテ居リマス、ソレカラ立法ニ關シテ發言權ヲ持テト云フ御話デアリマスガ、商工當局モ相當ノ意見ヲ提出致シマシテ、相當協議ヲ遂ゲテ本案ノ如キモノガ立案サレルニ至ツタノデアリマス、全然對岸ノ火災視シテ職責ヲ贖贖致シテ居ルト云フ筋合デアリマセヌ、相當ノ努力ヲシテ、相當ナル發言ヲ致シテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 只今ノ御話デハ社會局ヲ内務省ニ置クト云フコトハ考物ダ、行政整理ノ時ニハ何等カノ形ニ於テ當然現レルベキモノダト云フヤウナ御話デアル、是ハ何レ行政整理ノ問題デアツテ、内務省ニ置クトノ可否ハ尙ホ研究事項デアル、ドウモ適當ナ變革ヲ要スルノデハナイカト云フ御話デアルガ、私モ同感デアリマス、是レ以上此問題ニハ觸レタクナイカラ他日ニ之ヲ期シマス

唯前ニ農商務省案ト云フモノガ儼トシテアツタ、今日ノ社會局案ト云フモノハヤハリ大正十四年ニ其根幹の基礎ガ出來テ、農商務案ト社會局案トハ對立シテ居ツタ、而モ其内容ハ根本的ニ違フノダガ、其後社會局案ノミ殘ツテ、茲ニ本案トナツテ出來タ、一體商工省ハ其間ドウ云フコト

勞働行政ニ關スル事務ヲ移シマス時ニハ、二兩省ノ間ニ、官廳内部ノコトデアルカラ此處デ詳シク申上ゲルノハ如何カト思ヒマスガ、チャント文書デ以テ取極メガアリマシテ、勞働立法ニ關スル重要ナル事項ハ、農商務省——今日ノ商工省ト云フモノト協議ヲ經テ然後ニヤルト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、組合法ニ致シマシテモ、其立案ニ對シマシテハ、商工省ノ役人ガ其方ニ諮問機關トシテ參與スルコト、云フ手續ニナツテ居ツテ、商工省トシテハ立法ノ重要ナ事ニ付キマシテハ、十分ニ發言權ヲ持ツト云フ取極メニナツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ農商務省私案ナルモノガ、其後消エテ無クナツタト云フ御話モアリマシタガ、併シ吾々トシマシテ農商務省デ、或ハ商工省トシテ考ヘテ居リマス意見ハ、其都度社會局ヘ申述ベテ居リマシテ、ソレガ容レラレタモノモアリ、容レラレナカッタモノモアリマスガ意見ダケハ十分ニ主張シテ居リマス、唯一ツ御諒承願ヒタイノハ大正九年ニ内務省デ立法シタ時ニハ、勞働問題ト云フモノハ産業本位ニスルコトハ當然デアリマシテ、専ラ産業本位ト云フコトデ實ハ立案シマシタ、其後ハ松村サンノ御承知ノ通り、勞働問題ハ産業ニモ重大ナ關係ガアリマスケレドモ、其以外ニ思想的ノ社會的ノ關係ト云フヤウナモノモ、段々加ツテ參リ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十三回

六八八
ヲシテ居ツタノカ、曩ニ是ハ自ラ出シタ案ヲ幽靈ノ如ク引込メタヤウナ形デアツタ、要スルニ商工省ハ社會局案ノ方ガ自分ノ作ツタ

〔宮澤理事退席、委員長復席〕

案ヨリモ良カツタ、自分ノ案ハマツカツタト云フヤウナ、意味デ、全幅ノ賛意ヲ社會局案ニ表サレタノデアルカ、或ハ其途中ニ於テ社會局案デハ産業ノ上カラ斯ウ云フ點ハ面白クナイト云フヤウナコトニ付テ、多少ノ發言ヲサレタノカ、大臣ハ少クトモ會議ニ出テ居ラレタ答デアル、大臣以外ノ人モ此立案ニ付キ長イ間關係シテ居ツタ答デアル、社會局案ニ對シテ、商工省ガ執リ來ツタ從來ノ態度、竝ニ此提出法案ニ對シテ商工省ハ徹頭徹尾賛成デアルカドウカト云フコトヲ伺ヒマス

○吉野政府委員 大正十四年ニアラズシテ、大正九年ニ農商務省ダケガ勞働組合法ニ關スル私案ナルモノヲ發表シタコトハ御説ノ通りデアリマス、ソレデ其案ヲ發表シテ、ソレガ其儘ニナツテシマツタト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ勞働行政ニ關スル事務ノ權限ガ、新ニ社會局ト云フモノガ設ケラレマシテ、其方ニ移ツタノデアリマスカラ、ソコデドウモ表向ニ商工省カラ勞働組合法ニ關スル法案ト云フモノガ出ヤウ答ハナイノデアリマス、併シ社會局ニ

マスコトハ申ス迄モナイノデアツテ、隨テ大正九年ニ立案シタト云フヤウナ農商務省案其儘ヲ今日吾々ハ支持シテ居ルノデナイト云フコトヲ御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○松村委員 幽靈ノ如ク消エタモノデ私モ年次ヲ忘レテ居リマシタガ、確ニ大正九年デアリマシタ、今吉野政府委員ノ御話ニ依ルト組合法案ヲ引繼グ時ニ充分文書ヲ以テ明確ニ當時ノ農商務省ノ意思ヲ引繼イテ居ルシ、社會局モソレニ對シテハ相當ノ責任ヲ持ツテ居ルベキダト云フヤウナ御話デアツタ、然ラバ農商務省案ノ骨ハ何ニモ殘ツテ居ラヌト思フノデアルガ、細カイ骨デモ宜イガ、何カ切メテ形骸デモ宜イカラ何カ本案ニ殘ツテ居ル所ガアルカドウカト云フコトヲ先ヅ第一ニ伺ヒタイ

第二本案制定ニ關シテ商工省ハ社會局ト十分協議スベキ約束ガアリ、發言權モ持ツテ居ツタト云フコトヲ言ハレテ居ルガ、然ラバ社會局案ガ出來テカラ今日マデ更ニ社會政府審議會ガ出來タ昭和四年以降ノコトデモ宜シイガ、十五名ノ委員中ニ商工大臣一人ダケ這入ツテ居ツタヤウダガ、大臣以外商工省ノ如何ナル形デ額ヲ出シテ居ツタカ、商工省關係者モ發言協議ト云フドコロデハナク、當然ノ主張トシテ此審議會ニモウ少シ額ヲ出スノハ當リ前デアルガ、如

何ナル理由デ商工大臣一人ダケデアツタノカ、商工省ハボ
ンヤリシテ何等抗議ヲ申入レズニ居ラレタカドウカト云フ
コトヲ簡單ニ伺ヒマス

○吉野政府委員 後段ノ審議會ノ組織ハ御承知ノ通り役人
トシテハ各省ガ大臣ダケデゴザイマス、内務省デモ大臣ダ
ケデゴザイマス、大臣以外ノ者ハ委員ニナツテ居リマセ
ヌ、併シ其幹事ニハ微力デアリマシタケレドモ、私ガヤハ
リ幹事トシテ出テ居ツタ、職責ヲ盡サヌト云フ御叱ハ甘ン
ジテ受ケマスガ、私ハソレニ出テ居リマス

ソレカラ御尋ノ法案ニ農商務省案ナルモノ、片鱗ガアル
カト云フノハ、今提案ニナツテ居ル法律ニ農商務省ノ片鱗
ガアルカト云フ意味デゴザイマスカ、ソレトモ世間ニ稱シ
テ社會局案ト云フモノ、中ニ……(松村委員)「兩方デアリ
マス」ソレハ大正九年ノ時ノモ既ニ内務省ノ當時ノ案ト云
フモノハ私共ノ精神ト根本ニ於テ違ツテ居ルノデスカラ大
體建前ガ違ツテ居ル、ソレデスカラドウモ似テモ似付カヌ
モノヲ二ツ出シテ置イテ、何處カ似テ居ルモノガアルカト
云フ御尋デゴザイマシタナラバ、一寸御答ニ苦ムノデアリ
マス、趣旨ガ違ツテ立法シタノデアリマス、併シ一番肝腎
ナ勞働組合ト云フモノ、本質ハ、ヤハリ農商務省案ト雖モ
組合員ノ勞働條件ノ維持改善ト云フコトニ置イテアルノデ

アリマスカラ、根本ノ一番大事ナ所ハ社會局案モ農商務案
モ少シモ違ハナイト云フコトハ御諒解願ヒタイノデス、而
シテ今回提案ニナリマシタ案ニハ更ニ其當時ノ農商務省案
ト云フモノ、片鱗——大鱗ト云ツタ方宜イト思フ、大キ
イ鱗ガアルノデアアル、其當時私共ハ職業別、産業別ト云フ
コトヲ非常ニ主張シテ居ル、ソレガ實ハ農商務省案ノ骨子
トナツテ居ル、當時容レラレナカツタノガ今度ノ案ニハ其
點ガ這入ツテ參ツタノデアリマスカラ、是ハヤハリ農商務
省案ト云フモノハ世間カラ言ハレルヤウニ影モ形モナクナ
ツタト云フヤウナモノデナイト思フノデアリマス、其邊デ
御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村委員 大分御辯明デアリマスガ今ノ御話ダト云フト
農商務省案ト社會局案ハ事實趣旨ガ違フ、一體社會立法產
業立法ト云フ風ニ趣旨ガ根本的ニ多少ハ違フカ、違フナラ
バ農商務省ノ考ヲ全然容レナイヤウナ、内務行政ノ立場ノ
ミカラ見ラレタ指導方針ト云フモノハ間違ツテ居ル所ガナ
イカト云フ結論ニナル、前ニ何故ニ農商務省案ト云フモノ
ヲ拵ヘタカト云ヘバ、ソレハ産業カラ見テ立案スル必要ガ
アツタカラデアアル、社會局ハ社會立法ノ立場カラノミ此案
ヲ拵ヘルト云フ所ニ間違ヲ生ズル虞ガアルカラ、其中間ヲ
探ル、其意見ヲ協議スル時ニ初メテ完全ナル立案ガ出來

ル、即チ社會局ト云フモノハ英吉利ニ於テハ初メ農商務省ノ
下ニ在ツタ、此頃ハ勞働省ガ別ニ出來テ居リマスガ、最初
ハ農務省ノ下ニ在ツタト云フコトモ其處ニアル、ダカラ其
趣意ガ違フト云フコトハ宜イガ、趣意ガ違フト云フコトニ
依ツテ社會局案ヲ出スカラ、農商務省案ハ引込マシテ吾レ
關セズ焉ト言フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、趣意ガ違
フカラ、向フデヤツタカラ仕方ガナイト云フヤウナ態度ヲ
執ツテ居ラレルヤウニ見エルガ、ソコガ違フノデアアル、趣
旨ガ違フト云フナラ其異ル立場即チ産業ノ立場カラ、社會
局案ニ對シ發言シ、協議シ、茲ニ初メテ完全ナル社會立法
ガ出來ル同時ニ産業立法ガ出來ル、即チ社會局——内務行
政ノ立場カラノミ見テハ完全ナル社會立法ハ出來ナイト云
フコトヲ私ハ恐レテ居ル、然ルニ趣意ガ違フカラト云フ
ガ、趣意ガ違フナラ殊ニ商工省ハ十分此案ニ發言ヲシ、協
議シナケレバナラヌト言フノデアアル、商工省ガ餘リニ此案
ニ力ガ弱カツタト云フカ、冷淡デアツタト云フカ、其處ハ
能ク分リマセヌガ、此問題ニ對シテ商工省ハドウモ立案者
デナイト云フヤウナ先程來始終説明ヲ聽キマシテ遺憾ナ點
ガ多イ

ソレカラ今ノ案モ何カ多少片鱗ガ殘ツテ居ツタト云ハレ
タガ、今度ノ案ニハ産業別、職業別前ノハ勞働條件ノ維持

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十三回

改善是ハ吉野政府委員トモ思ハレナイ答辯デアアル、勞働條
件ノ維持改善ノナイ組合法ト云フモノハ世界ニナイノダカ
ラ、別ニ農務省ノ片鱗デモナケレバ、世界各國共通ナル案
デアツテ、ソレハ片鱗ニモ何モナラナイ、ソコデ社會局案
ト云フモノニハ農商務省案ノ片鱗モ形骸モ殘ツテ居ラヌト
云フコトハ、少シ言ヒ過ギルカモ知レヌガ、私ハ其通りダ
ト思ヒマス、ソコデ今度ノ案ニ産業別、職業別ガ附イタク
トハ、農商務省案トシテ多少ノ片鱗ダガ、是モ別ニ農商務
案獨自ノモノデハナイ、社會局ハ必ズシモ農商務省案ヲ尊
敬シタモノデナイ、是ハ或ル方面カラ見ルナラバ、改悪デ
アルト云フ人多イ、惡イ所ダケ農商務省案ヲ受ケタノダ
ト云フヤウナコトヲ言フ者ガ多イ、要スルニ農商務省案ノ
根本精神ハナクナリ、指導精神ハ何處カヘ行ツテシマツ
タ、其形骸ガ殘ツテ居ラヌト言ツテモ差支ナイコトデアリ
マス、然ルニ今政府委員ノ説明ニ依ルト、是ハ幹事トシテ
吉野サン一人出ラレタト云フガ、社會局ノ方ハ總員擧ツテ
出テ居ルノデアリマス、吉野サン一人デアツテ他ニ出テ居
ツタカ知ラヌケレドモ、商工省ノ精神、趣旨産業カラ見タ
所ノ考ガ殆ド全ク通ツテ居ラヌヤウニ見エルノデアアル、此
案ハ無論政府内部ノコトデアアルカラ全ク迄モナイコトデア
ルガ、産業上カラ見テ何等遺憾ナク、完聽無缺ナルモノト

シテ、差支ナイモノトシテ、商工省ハ之ニ賛意ヲ表サレタ
ノデアルカ、簡單ナル説明ヲ願ヒマス

○横山政府委員 色々御話ガゴザイマスガ、無論悪イト思
ツテ賛成シテ居ル譯デハナイノデス、御問ガ餘リニドウモ
茫漠トシテ居ルヤウデゴザイマスガ、無論政府内部ニ於キ
マシテハ、統一セラレタル協議ノ結果是ナラバ最善ノモノ
デアル、何處マデモ成案ヲ期スルト云フ決心ノ下ニ賛成ヲ
致シマシテ提案シテ居ルノデアリマス、ドウゾ其意味ニ御
了承ヲ願ツテ置キマス、ソレカラ審議會ニ餘リ商工省カラ
出ナイヤウナ御話デアリマス、是ハ各省カラ行ツテ居ツタ
ヤウデアリマスガ、吾々ノ方カラハ私モ參與官トシテ多ク
ノ場合ハ臨席致シテ居リマス、ソレデ其議事ノ經過等ハ詳
細ニ承ツテ居ル、意見ノアル所ハ商工大臣ニ相當陳述シテ
アリマス、故ニ各々ノ意見モ内部ニ或ル程度ニ影響ヲ與ヘ
テ居ルト思フ、併シ採用サレタカドウカハ明言スル限りデ
ハナイト思ヒマス

○松村委員 ソレハ當然ノ事デアリマスガ

○添田委員 長 ちヨツト松村君ニ御相談デスガ、今ノ御質
問ヲ繼續サレルコトハ結構デスガ、御承知ノ通り會期モ切
迫シテ居ルノデアリマスカラ、過去ノ農商務省ノ問題ガド
ウデアルトカ、斯ウデアルトカト云フコトモ、ソレハ御研

究ノ爲ニハ宜イデセウガ、組合法ノ施行ト商工省ノ關係、
即チ産業トノ關係ト云フコトガ、主タル御質問カト實ハ考
ハテ居ツタ次第デアリマス、成ベク其内容ノ方ニ這入ツテ
御質問アラシコトヲ希望シタイト思ヒマス

○松村委員 併シ組合法案ニ對シテ、商工省ハドウ云フ風
ニ考ヘテ居ルカ分ラナイ、唯政府内部ノ事デアルカラト云
フコトデアルガ、ソレ程大勢參與サレタノナラバ、ドンナ
點ヲ主張サレタカ、少シモ商工省ノ意見ハ採用サレテ居
イデハナイカ、尙ホ此問題ハ幾ラ論ジマシテモ、次官デハ
チヨツトナラズカ、大臣ヲ煩サナケレバナラヌト思ヒ
マスカラ、此程度ニ止メマシテ、大臣カラ伺ヒタイト思ヒ
マス

○横山政府委員 松村君、ドウデセウ項目ダケデモ示シテ
下サリマセヌカ、大臣ガ來レバソレヲ見テ直グ答辯ガ出來
マスカラ……

○添田委員 長 松村君ノ今マデノ質問ハ緒論トシテ承リマ
シタ、是カラ本論ニ這入ツテ御聽ノ程ヲ願ヒマス

○松村委員 労働爭議ガ非常ニ多イト云フコトハ、極端ナ
ル不景氣ノ爲メデアルト御考ヘニナリマセヌカ

○横山政府委員 是カラ端緒ヲ取ラレテ澤山ノ御質問ヲナ
サルコト、思ヒマスガ、經濟界ノ不振ト云フ事柄ガ延イテ

ハ企業家ノ懐ノ都合ガ悪クナル、其結果トシテ、自然勞銀
ノ引下、事業ノ縮小、隨テ労働者ノ解雇、又物價ノ値下リ
ニ依ツテ、工場主ガ困ツテ來ルト云フヤウナ關係カラ、自
然労働爭議ヲ誘發スル一ツノ原因ニハナツテ居ルト信ジマ
ス、併ナガラソレノミガ労働爭議ヲ誘發スル原因トハ思ヒ
マセヌ

○松村委員 ドウモ政務次官ハ統計ヲ見テ居ラレヌカラ答
辯ヲ促スノハ無理ダト云フ感ジガスル、ソコデ一體爭議ノ
原因ニ付キ内務省デ出シタモノヲ見マシテモ、賃銀引下ニ
關スル爭議ガ非常ニ多イノデス、要スルニ此爭議ハ不景氣
ガ最大原因デアルコトハ言フマデモナイ、内務省ガ出シタ
統計ガ明カニ之ヲ示シテ居ル、不景氣其モノガ爭議ヲ激發
セシメ、不景氣デアルガ故ニ其處ニ幾多ノ賃銀問題ガ起
リ、更ニ其處ニ過激ナル思想モ醸成サレ、ソレガ相寄り相
集ツテ爭議ガ益々多クナツタノデアルコトハ明白デアアル、
大體此事實ダケハ御承認爲サイマスカ

○横山政府委員 大體今申シタ通りデゴザイマスガ、不景
氣ノ場合ニ賃銀ノ引下ヲ行ヒタイト云フコトハ企業家ノ側
カラ見テ當然デアリマス、ソレモ原因デアリマセウ、又勞
働者ノ側ニ於テ是マデ賃銀ガ安イカラ引上ゲテ呉レ、斯ウ
云フ要求デアリマス、是モ一ツノ労働爭議ノ原因デアアル、

デアリマスカラ、不景氣ガ或ル程度マデ労働爭議ノ原因ト
ナルト云フコトハ前段申述ベル通りデアリマス、大體ニ於
テソレハ違ヒ無イノデアリマス

○松村委員 此頃ノ爭議ハ賃銀引上ノ爭議モ多少アルケレ
ドモ、ソレハ殆ド例外的デアアル、皆不景氣ニ關スル賃銀引
下ノ爭議デアアル、ソレダケハ先ヅ政務次官ガ頭ニ置イテ戴
カヌト、後ノ質問ヲ繼續シテモ意味ヲ爲サナイ、ソレダケ
ノ事實ハ内務省カラ出テ居ル統計ニ依リハツキリ御認ニナ
ラナケレバ、此方ガ答辯ヲ促シテ反應ガ無イ、ソコデ賃銀
ノ下落ノ状態ト物價下落ノ状態トハドウナツテ居ルカト云
フコトニ付テ先ヅ商工當局ノ意見ヲ伺ヒマス

○横山政府委員 只今數字ヲ持ツテ居リマセヌガ、大體斯
ウ云フコトハ申シテ差支アリマセヌ、物價ノ値下リニ比較
シテ見テ、賃銀ノ値下リノ方ガ、其程度ガ低イ、即チ物價
ガ下ル程ソレ程賃銀ガ下ツテ居ラナイ、詰リ賃銀ノ値下リ
ト物價ノ値下リトガ並行シナイ、大體斯ウ云フ傾向デアアル
コトハ私ノ記憶ニアリマス、併シ今數字ニ基イテドウト云
フコトハ申上ゲラレマセヌ

○松村委員 此處ニ商工省カラ出テ居ル賃銀ト物價表ガア
ルノデス、此表ニ依ルト殊ニ卸賣ノ物價ガ極端ニ下ツテ居
リ、小賣ノ物價ハ中間ニアリ、賃銀ハ殆ド下ツテ居ラナイ

ト云フコトニナツテ居ル、即チ現内閣組織前後ヲ起點トスレバ丁度三ツ線ヲ引イタ形ニナリマシテ、段々其距離ガ隔リツ、アル、卸賣物價ガ一番下ツテ居ル、小賣ハ其真中ニアツテ、賃銀ハ殆ド下ラナイデ、此三者ノ距離ガ段々大キクナツタ表ヲ御作りニナツテ居リマス、是ハ後デ宜シイガ、此商工省カラ出シタ表ヲ御認ニナリマスカ

○横山政府委員 大體私ノ記憶ハ今申シタ通りデアリマスカラ、表ヲ見テ又詳シク申上ゲマス

○松村委員 ソレナラバ日本ハ、物價ガ非常ニ下ツテ居ルニモ拘ラズ賃銀ガ下ラナイ、何故下ラナイカ、是ガ労働争議ニドウ云フ關係ガアルカト云フコトニ付キマシテ、商工省當局ハ何モ御考ヘニナリマセヌカ

○横山政府委員 其點ハ最モ憂慮シテ居ル點デアリマス、物價ノ値下リガアツテモ、ソレニ伴レテ賃銀ガ下ラヌト云フコトカラ致シマシテ、自然多方面ニソレガ影響シテ居リマス、例ヘバ瓦斯料金ノ如キモノデモ、石炭ガ下ツタカラ瓦斯料金ノ値下ラスベキモノダト申シマス、一應理由ガアリマス、併ナガラ石炭ガ下リマシタカラト申シマシテモ、賃金等ガ下ラナクテハ、石炭ガ下ツタ割合ニ瓦斯料金ヲ下ゲルト云フ譯ニ行カナイ、ソレカラ吾々ガ日常生活ニ於テ使ツテ居リマスル蕎麥デアトカ、饅頭デアルト云フヤウナ

モノモ、或ル程度マデノ値下リガアリマスガ、正確ノ數字ハ持チマセヌガ、ソレハチャント記憶シテ居リマス、所ガ其饅頭蕎麥ノ原料ノ値下リハ一杯二杯ノ市場デ賣ツテ居リマスル飲食物ノ上カラ見マスト云フト、僅カ二厘、三厘、五厘、所ガ需要者ノ側ニ於テハ二割三割下ツタト申シマスガ、小麦紛ガ二割下ツタカラ蕎麥ヲ二割下ゲイト云フ、所ガ蕎麥屋饅頭屋ト云フモノニ就テ研究シテ見マス、勞銀ガ其割合ニ下ツテ居ラヌ、否ナ殆ド舊態依然、即チ商店ノ設備勞銀ト云フモノガドウモ値下リハアリマセヌ、茲ニ於テカ原料ハ二割三割下ツタカラト申シマシテモ、ドウモ商品ノ上ニ値下リノ影響ガ及バナイ、是ハ松村君ノ御心配ノ通りドウモ當局トシテモ最モ憂慮シテ、常ニ注意ヲ拂ツテ居ルケレドモ雇主ト労働者ノ間、即チ大キク言ヘバ資本家ト労働者ノ争議ハ、商工大臣ハ之ヲ決定スル權能ヲ持ツテ居リマセヌ、或ハ労働争議ノ形式ニ於テ起ツテ參リマスカ、或ハ裁判法廷ノ問題トシテ現レマスカ、何レニ致シマシテモ解決方法ハ商工大臣ノ手許ニハアリマセヌ、此故ニ經濟事情ノ變更、即チ經濟界ノ振興ヲ圖ツテ、根本カラ經濟界ノ立直シヲ行ツテ、労働争議ノ一ツノ原因タル所ノ經濟界ノ不景氣ト云フコトヲ除去致シタイ、斯ウ云フコトデ色々ノ設備ヲ致シテ、當面ノ問題ヲ解決スルコトニ全力ヲ

致シテ居ルノデアリマス、私ハ本年度ノ豫算ヲ見テ下サレマスレバ多少ハ判ルト思ヒマス、遺憾ナガラドウシテモ賃銀ガ下ラヌ、ドウシテ解決セヌカト言ハレマシタナラバ、ソレハ直チニ解決ガ出來ルトハ申上ゲラレマセヌ、私ハ遺憾千萬デアリマスガ、憂ヲ共ニスル點ハ松村君ト同一デアリマス

○松村委員 ドウシテ賃銀ガ下ラヌノデアアルカト云フ根本問題ニ付キ商工省ハ御分リアリマセヌカ、色々原因モアリマセウガ、商工省ノ立場カラ見テ、何故賃銀ハ下ラナイカ下ゲ得ラレナイノデアアルカト云フ理由ヲ大體御説明ハ出來ナイデセウカ

○横山政府委員 率直ニ申上ゲマスガ、實ハ私ハソレハ知リマセヌ、デスカラ此點ガ必要デアラウト思ヒマスカラ、暫クノ時間ヲ御與ヘ下サレバ知ツテ居ル人モアラウト思ヒマス、都合ニ依ツテハ大臣モ出テ説明シテモ宜シイ、ソレデ物價ノ計算ニ付テ、只今ノ御質問ノ點ニ付テハ私ハ説明スルコトハ出來マセヌ

○松村委員 ソレデハ斯ウ云フ事實タケハ御認ニナリマスカ、賃銀ハ下ゲヨウト思ツテ居ルケレドモ、中々下ラヌ、其原因ニハ色々アルケレドモ、其最大原因トシテハ卸賣物價ハ非常ニ下ルガ小賣物價ガ中々下ラナイ、卸賣物價ノコ

トニ付テハ成程議會デモ是ハ大問題ノヤウニ始終論ゼラレルガ、小賣物價ニ付テ論ジタコトハ殆ド一ツモナイ、所ガ吾々國民ノ日常生活ニ關係アルノハ小賣物價デアリ、殊ニ中産以下ノ生活ニ最モ關係アルモノハ小賣物價デアアル、所ガ此小賣物價ト云フモノヲ世間ノ人ハ閉却シテ居ル、私ハソレダカラ内務大臣ニモ聽イタ、労働條件ノ維持改善トカ何トカ能ク言ハレルガ、労働者ノ賃銀ト云フモノハ、實際賃銀カ名目賃銀カト云フコトヲ聽イタ、所ガ能ク御分リニナツテ居ナカツタ、即チ吾々ノ必要ナ事ハ一圓二圓ト云フ賃銀デナクテ此賃銀デドレダケノ物ガ買ヒ得ルカト云フ、貨幣ノ購買力ノ問題デアアル、即チ實際賃銀ノ問題ガ非常ニ必要デアアル、ソレデ賃銀ガ上ルトカ下ルトカ云フコトハ形式的ノ問題デアアル、小賣物價サヘ下ツテ居ルナラバ、今日ノ賃銀ハモット下ゲ得ル、下ラナケレバナラナイノデス、小賣物價ヲ下ゲルコト、即チ労働者ノ生活費ヲ下ゲルト云フコトハ、先ツ賃銀ヲ下ゲル最大ノ要件デアアル、是ガ下ラネバ賃銀ハ下ゲ得ナイシ、又賃銀ノミヲ下ゲヤウト云ウヤウナコトヲスルコトハ無理デアアル、小賣物價其他ノ生活費ト云フモノガ下ラナケレバ賃銀ハ下ゲ得ナイ、所ガ卸賣物價ハドン／＼下ルガ、小賣物價ハ其割合ニ下ラナイ、是ガ賃銀ノ下ラナイ、賃銀ヲ下ゲルコトノムツカシイ根本的ノ

原因ニナツテ居ル、然ラバ低物價政策ヲ盛ニ宣傳スル此内開ガ、此小賣物價ニ對シテ何ニモ低物價政策ト云フモノガナイト云フコトニ付キマシテ、現内閣、殊ニ商工省當局ハ何カ責任ヲ御感ジニナリマセヌカ

○横山政府委員 餘程ムツカシイ問題デスガ、ソレナラバサウ仰シヤツテ戴ケバ御答スルコトガ出來タト思ヒマス、成程御説ノ通り勞働者階級ノ生活費ガ日用品ノ値下リガ思フヤウニ行カヌガ爲ニ、其賃銀ヲ容易ニ引下ゲルコトノ交渉ニ應ジナイト云フ事實ハソレハ其通りデアリマス、ソレハ私見テ居リマス、併ナガラデスネ、小賣物價ガ下ラヌト云フコトノミガ原因デアリマセヌデス、ソレナラ即チ家賃ヲドウスルカ、ソレカラ家賃ノ問題ヲ決定スルノニハ地代バナラヌ、唯小賣物價ガ下ラヌカラシテ、ソレノミガ勞銀ノ下ラヌ原因デアルト云フヤウナ斷定ハ私ハ承服シマセヌケレドモ、併シソレモ一ツノ原因デアルトハ事實デアール、ソレデ根本カラ申シマセヌレバ、地代家賃ノ問題ヲ先ヅ解決スルノ必要ガアルト思ヒマス、併シ是ハ御承知ノ通りニ、今日財産制度ガ儼然トシテ存在シテ居リマスル以上ハ、行政的ノ手段ニ依ツテ之ヲ如何トモスルコトハ出來ナイ、立法手段ニ依ラナケレバナリマセヌ、今日勞働者ヲ初

メ中産以下ノ者ガ苦シデ居ルノハ、皆家賃ト地代デゴザイマス、地代ガ高イカラ家賃ガ高イ、家賃ガ高イカラ小賣物價ガ高イ、是ハ動カスベカラザル事實デアール、此問題ニ對シテ相當考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ小賣物價段其モノニ付テ申上ゲマシテモ、日本ノ販賣制度ニ對スル根本義ハ松村君モ能ク御研究ニナツテ居ル筈ト思ヒマスガ、是ハ一朝一夕ニ決定ハ出來マセヌ、吾々國民ノ生活狀態、今日ノ販賣制度ヲ根柢カラ改善スルニ非ズンバ困難ナ事デアリマス、從來我國ノ經濟界ニ於キマシテハ生産ニ重キヲ置イテ消費販賣ノ方ニ比較的手ヌカリガアツタト云フコトハ、既ニ御研究ニ依ツテ御承知ノ通りデアリマス、物ヲ造リサヘスレバ賣レル、製造サヘスレバ販賣ガ出來ルト云フコトガ容易デアリシ時代ニ於テハ、ソレデ宜カツタノデスケレドモ、今日ノ經濟狀態ト云フモノハデス、生産ノミノ問題ヲ決定シテハイカヌ、勿論生産ニ重キヲ置イテ生産ヲ保護シナケレバナリマセヌケレドモ、生産ハ結局販賣ニアル故ニ、此販賣ノ上ニ於テ相當研究シナケレバナラヌ、此問題ハ商工省ノ産業合理局ニ於テ盛ニ研究ヲシテ居リマス、而シテ吾々國民性ノ上カラ考ヘテ見マセヌレバ、所謂御用聞ト云フ制度ガアリマス、是ハ勞働者一般ニ通ズルカ通セヌカ分リマセヌガ、或ル程度マデハヤハリ關係シテ

居リマス、即チ僅カ二十錢三十錢ノ品物デモ悉ク商人カラ消費者ノ所ニ運ブ、之ニ類スル事ガ澤山アルコトハ御承知ノ通りデアリマス、是等ノ爲ニ小賣物價ト云フモノガ思フヤウニ下ラヌノ原因ナノデアリマス、又小賣物價段ノ下ラヌ原因ニ付テハ、今日ノ小賣制度ノ重大ナル缺陷トシテ認メナケレバナラヌコトハ、今日ノ小賣商人ヲ非難スル譯デハアリマセヌケレドモ、家庭ノ費用モ店ノ資本モ悉ク之ヲ混同致シテ居ルノデアリマス、店ニ賣上ガアツテ餘裕ガアレバ臺所ニ使フ、店ニ餘裕ガナケレバ自分ノ不動産ヲ質ニ於テ資本ヲ作ル、高利ヲ借りテ來ル、斯ウ云フヤウナ有様デ日常小賣商ト云フモノハ經營ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、此處ニ必ズ算盤ノ探レナイ、遺憾ナ現象ヲ呈シテ來ルト云フコトハ勿論デアリマス、斯ノ如キ事柄ガ小賣商ノ商ツテ居リマス、商品ニ至大ナ影響ヲ持ツテ居リマス、是等ノ問題ヲ根本カラ改善致シマスコトハ至難ノ問題デアリマスガ、併シ産業合理局ハ此處ニ著目ヲ致シマシテ、松村君ノ御質問ニナリマサウナ趣旨ヲ尊重致シマシテ、昨年ノ六月二日以来殆ド不眠不休デ此問題ヲ研究致シテ居リマス

○松村委員 是ハ根本問題ニ關係シマスカラ何レ商工大臣ニ伺ヒマスガ、家賃、地代ト云フコトモ無論或ル割合ノ關

係ガアルケレドモ、一番肝腎ナノハ生活費ノ過半ヲ占メテ居ル食料品デアール、ソレダカラ此食料品ニ對シテ低物價政策ヲ行ハナイ限りハ生活費ハ安クナラナイ、是ハ一番必要ナ事デアリマス、家賃、地代モ相當割合ヲ占メテ居ルガ、殊ニ都ニ都會勞働者ニ對シテ瓦斯ナドハ重大ナ問題デアール、然ルニコンナニ卸物價ガ下ツテ居ルニモ拘ラズ、瓦斯ハ殆ド下ゲナイ、此頃漸ク——來月カラデアツタカ、東京瓦斯ノ如キハ下ゲルガ、其外ノ瓦斯會社ノ如キハマダ全國ニ於テ下ゲナイ處ガ多イ、斯ウ云フ風ニ商工省ハ或ル場合ニ於テハ權限ヲ以テ、力ヲ以テ監督シ得ル問題デサヘモヨウ下ゲナイ、瓦斯料金ノ如キハ人件費トハ言フガ、石炭ガ一番大キナ生産費ニナルノデアアルガ故ニ、石炭ノ値ガ斯ノ如ク下ツタ場合ニ於テハ、瓦斯ノ値ガ下ルト云フコトハ當リ前ノ話デアール、先ヅ第一ニ都會ノ勞働者ニ對シマシテハ瓦斯ノ料金ノ徹底的値下ト云フコトヲ商工省ハ圖ラナケレバナラヌ、是ハ實ハ詳シク論ジタイ事モアリマスガ、先ヅソレダケニ致シテ置キマス

又食料品ニ對シテハ商工省ノ力ヲ以テ或ル程度マデ何等カノコトヲ爲シ得ル、唯商工省ノ力ノ及バヌト云フノハ家賃、地代位ナモノデアール、ソレデアールカラ低物價政策ト云フコトニ付キマシテハ、商工省ガ本當ニ其處ニ考ヲ置イテ

力ヲ入レルナラバ、卸賣物價ヨリモモツト小賣物價ヲ下ゲルト云フコトヲ考ヘネバナラス、此問題ヲ論ジマスト非常ニ長クナリマスシ、又同ジ事ヲ繰返スノハ御互ニ迷惑デアリマスカラ、商工大臣ヲ一ツ煩シ度イ、此低物價政策ト賃銀ハ非常ニ關係ガアル、ダカラ斯ウ云フ問題ニ付キ、モウ少シ豫備的ナ研究ヲ願ツテ置キマス、卸賣物價ダケ下ゲテモ、小賣物價ガ下ラナイ限りハ各種ノ労働問題ガ起ル、労働爭議ガ起ルト云フコトハ是ガ根本的ノ原因デアアル、賃銀ノ問題モ此處カラ起ツテ來ル、ダカラ政府ハ此處ニ意ヲ注ギ——此處ニ最モ留意シナイ限りハ、或ル意味カラ申シマスト、此労働爭議ノ激發ニ對シマシテ、政府ハ實ハ大イニ責任ヲ感ジナケレバナラスト思ヒマス、政府自ら低物價政策ヲ行ハズシテ、労働爭議ノ起ルノヲ其儘看過シテ居ルト云フコトハ、政府自ら責任ヲ感ジナケレバナライ、斯ウ云フ問題ニ對シテマダ澤山質問ガアリマスガ、是ハ商工大臣ガ出ラレマス迄保留シテ置キマス

○横山政府委員 商工大臣ノ出席ノ要求ガアリマシタカラ無論サウ云フコトニ致シタイト存ジマス、唯大體私カラ御返事ヲ申上ゲテ置キマス、所謂低物價政策ト云フコトハ、是ハ現内閣ノ政綱ノ一ツデアリマス、最モ重大ナ政策デアリマスカラ、商工省ト言ハズ總テノ方面ニ於キマシテ、此

問題ノ爲ニ努力シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、唯其成果ガドウデアアルカト云フコトデ御議論ニナルノデアラウト思ヒマス、御説ノ通り低物價政策ハ何處マデモ之ヲ貫徹スル方針デアリマス、ソレカラ瓦斯料金ノ御話デアリマスガ、是ハ先刻モ一寸申上ゲマシタ通り、石炭ガ瓦斯料金ノ額ヲ決定スル重大ナモノデアルト云フコトハ、其通りデアリマス、併ナガラ石炭ノ値下リノミヲ以テ瓦斯料金ノ裁定ヲ下スト云コトハ、今日ハ出來ナイ状態ニナツテ居リマス、故ニ過日發表致シマシタ瓦斯料金ノ裁定ハ、消費者ノ側ノ利益モ考慮シ、事業家ノ側ノ利益モ考慮シ、又獨占ノ弊害ト云フコトニ著目ヲ致シマシテ、商工大臣トシテハ最モ妥當ナル額ナリト信ジテ、其確信ノ下ニ裁定ヲ下シテ居ルノデアリマス、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒマス、而シテ小賣ノ物價ニ付テノ御話ハ先刻ノ説ヲ御繰返シニナツタニ過ギマセヌガ、私ノ方デモ大體其通りデアリマス、唯茲ニモウ一ツ御考慮ヲ願ヒタイノハ、小賣物價ヨリモ私ハ家賃ノ方ガ重大ナ問題デアルト云フコトデアリマス、今日ノ状態ハ御承知ノ通り中産階級以下ノ者ハ正當ナル所得ノ大體二割半、三割ト云フヤウナ家賃ヲ負擔シテ居ルト云フ状態デアリマス、併シ是ハ統計ノ數字ヲ以テ申上ゲルコトデアリマセヌ、私ノ經驗ニ基ク話デアリマス、サウ云フ次

第デアリマスカラ、無論食料品モ勞銀ヲ決定スル重大ナ標準ニハ違ヒアリマセヌガ、ヤハリ地代、家賃ト云フヤウナモノモ相當考慮シナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマス、而シテ小賣物價ノ値下リニ關シマシテハ前段申述ブル通りデアリマス、低物價政策ノ一ツノ方法ト致シマシテ、極力是ガ爲ニ努力スルト云フコトハ申述べタ通りデアリマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス、其他ハ私ノ答辯デハ十分満足ガ行キマスマイカラ、大臣ニ出席シテ貰ヒマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 私人質問ハ正確ナ統計ニ基イテヤツテ居リマス、労働者ノ生計費ノドノ位ノ割合ガ家賃デアアルカト云フヤウナコトモ正確ナ統計の基礎ニ依ツテ論ジテ居ルノデアリマスカラ、是カラ先ノ御答辯モ成ベク正確ナ統計ヲ基礎トシテ御答辯ヲ願ヒタイ、尙ホ色々アリマスガ、先程申上ゲマシタ通りニ後ハ大臣ノ出ルマデ保留シテ置マシテ、私ノ質疑ハ此邊ノ程度デ止メテ置キマス

○猪野毛委員 私人質問ハ正確ナ統計ニ基イテヤツテ居リマス、労働者ノ生計費ノドノ位ノ割合ガ家賃デアアルカト云フヤウナコトモ正確ナ統計の基礎ニ依ツテ論ジテ居ルノデアリマスカラ、是カラ先ノ御答辯モ成ベク正確ナ統計ヲ基礎トシテ御答辯ヲ願ヒタイ、尙ホ色々アリマスガ、先程申上ゲマシタ通りニ後ハ大臣ノ出ルマデ保留シテ置マシテ、私ノ質疑ハ此邊ノ程度デ止メテ置キマス

組合其モノガ今マデ穩健ナル行動ヲ致シタカラ差支ガナイ、斯ウ云フ御言葉デアリマシタガ、併ナガラ茲ニ考ヘテ戴カナケレバナラス事ハ、獨逸ノ革命ハ何ガ故ニ行ハレタカ、之ヲ考ヘテ見マスルト、即チ「マルクス」ノ主張「マルキシズム」ヲ奉ジテ、サウシテアノ獨逸ハ革命ヲ斷行致シタノデアリマス、露西亞ノ革命等ヲ見マシテモ、成程戰術ハ「ソレル」ノ主張、即チ「サンデカリズム」ヲ用ヒテ居リマシタケレドモ、實際ハ「マルクス」ノ主張ヲ奉ジテ、此綱領ヲ以テ露西亞ノ革命ヲ斷行致シタノデアリマス、從來朗カニ斯ウ云フ「マルキシズム」若クハ「サンデカリズム」ヲ労働組合、若クハ労働團體ガ奉ジテ、其一國ノ革命ヲ斷行シタト云フ此アリ、シタ危險ナル歴史、光景ヲ吾々ガ見テ居ツテ、サウシテ日本ガ尙且ツ「マルキシズム」若クハ「サンデカリズム」ノ主張ト同一ノモノヲ日本ノ組合ガ奉ジテ居ツテモ、將來ノ爲ニ憂ナシト御考ヘニナリマスガ、此點ヲ念ヲ押シテ置キタイノデアリマス

○安井政府委員 只今ノ御言葉デ、日本労働組合ニ於キマシテ、其行動サヘ宜ケレバ、其綱領ニ於テ、「サンデカリズム」ナリ若クハ「マルキシズム」ナリノ思想ヲ掲ゲテモ、ソレヲ當局トシテハ差支ナイト云フコトヲ私ガ申上ゲタト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、私ノ今マデ申上ゲマツタ

限リニ於テハ左様ナコトハ全然申シテ居ラナイ積リデアリマス、御話ノ如ク「マルキシズム」ヤ「サンデカリズム」ノ思想ヲ綱領ニ掲ゲルモノハ、ソレハ先程申上ゲマシタヤウニ法案ニ害ガアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、唯現實ニ日本労働總同盟ノ掲ゲテ居ル綱領ガ之ヲ以テ直ニソレガ「レーニズム」ナリ、「マルキシズム」ナリ、若クハ「サンデカリズム」ナリノ思想ヲ現シテ居ルノデアルトハ斷定シ難イト云フコトヲ申上ゲタ積リデ居リマス

○猪野毛委員 只今ハ御訂正ニナツタノカ、又ソレガ本當ノ御心デアルノカモ知レマセヌガ、サウ云フコトナラバ吾々モ段々分ツテ來ルノデス、ケレドモ何トシテモ日本労働總同盟ノ綱領ノ中ニ、先程申シマシタ如ク此一點ハ向フノ綱領ト同一ノモノデアル、全部同一ト云フ譯デアリマセヌガ、此一點ハ向フノ綱領ト同一ナノデス、サウシテ是等團體ノ演説ヲスルコトヲ聽イテ居ルト、詰リ汎労働階級ノ國家ヲ建設スル、資本主義ヲ倒シテ、激シイ闘争ヲシテ、斯ウ云フコトヲ敷衍シテ演説ヲヤツテ居ル、サウシテ綱領ニハツキリ之ヲ掲ゲテ居ル、ダカラ向フノ綱領ニ五ツアルカ、十アルカ、其全部トコチラノ五ツアルカ十アルカ、ソレガ全部ガ悉ク同一ト云フ風デアリマセヌガ、共通ニ重要ナル點ダケハ一致現存シテ居ル、ソレデ私ハ現在此處ニ

存シテ居ル、此綱領ノ此點ト云フコトヲ名指シテ申上ゲタノデアリマス、アナタハ初メニアレハ昔ヤツテ居ツタモノデ、今マデ別ニ弊害ガナイカラト云フヤウナ御話デアリマシタガ、從來カラ之ヲ許シテ置イタカラ、今ノ内閣ニハ責任ガアルカナイカト云フヤウナコトヲ私ハ問フノデアリ、ナイ假令從來カラ許シテアラウガナカラウガ、現ニ今労働組合法案ニ今日打ツツカツタノデアリマスカラ、此事ヲ尋ネルノハ至當デアルト思ヒマス、更ニ御伺致シタイコトハ、日本労働總同盟ト云フモノハ、此處ニ無産黨ノ御方ガ御居デニナルノデ、又御叱ヲ受ケルカモ知レナイガ、是ハ労働者階級ノ方デハ、言フコトダケハ非常ニ激シイコトヲ言ウテ、爲スコトハ政府ノ御用黨トカ、資商家ノ御用黨ト云フ噂ヲ私共ハ聞ク、是ハ噂ヲ參考ニ申上ゲルノデ、私ガサウ思ウテ居ルト云フ譯デアリナイノデス、サウ云フコトヲ言フノデス、ソレハ極ク左ノ方ニ傾イタ人ノ言デアルカモ知レナイガ、兎モ角サウ云フ宣言ト綱領ダケヲ見レバ實ニ激シイ「サンデカリズム」「マルキシズム」ト云フ其儘ノモノヲ掲ゲテ居リマスカラ、激シイケレドモ、其行タルヤ先程御話ガアツタ如ク、大シタ危険ナコトハサウ爲サラナカウツタ、ソレ故ニ過去モ亦將來ニ於テモ日本労働總同盟ト政府ノ方トハドレダケノ諒解ガアルカハ知リマセヌケレドモ

「サンデカリズム」「マルキシズム」ノ主張ト等シキ、若クハ同一ノ宣言綱領ヲ掲グル組合ガ將來出來テモ、ウヲ一視同仁、即チ日本労働總同盟ノ如ク政府ハ之ヲ看做ツテ干涉壓迫ヲシナイカドウカ、是ハ過去ニ許シテ來テ今マデ弊害ガナカツタカラ、或ハ政府ノ方ト幹部ノ人ハ或ル程度ノ諒解ガアルカラ許シタケレドモ將來ニ於テハサウハイカヌト云フノカ、其邊ノ事モ承リタイト思フノデアリマス

○安井政府委員 取締ヲ致シマス場合ニハ、主トシテ具體的ノ問題ニ付テ有ユル狀況ヲ見マシテ、取締ルベキカ否カト云フコトヲ判斷致シマスカラ、將來如何ナル團體ガ出來ルカ知レマセヌガ、其團體ニ付テハ、其團體ノ組織ナリ、或ハ綱領ナリ、政策ナリ、有ユル點ヲ考ヘマシテ、其上デ判斷ヲ致シタイト思フノデアリマス、抽象的ニ申スナラバ、先程繰返シテ申上ゲタ通り、茲ニ御指摘ニナリマシタ規約ガ「レーニズム」ナリ若クハ「サンデカリズム」ノ思想ヲ表シタモノデアルトハ斷定シ難イト云フコトハ先程申上ゲタ通りデアリマス

○猪野毛委員 丁度アナタハ御留守デ、内務大臣ト社會局長官ハオイデニナツタノデ、此事ヲ申シタノデアリマスケレドモ、何分ニモ内務大臣ハ大難把ナ事ダケシカ御分リニナラナイ、社會局長官ハ此取締ト云フヤウナコトニ付テハ

餘リ普段カラ御考ガナイヤウダト思ツテ居リマスカラ、警保局ノ椅子ニオイデニナルアナタニ承リタイノデアリマシガ、サウスレバ初メノ文句全部ヲ讀上ゲレバスツカリ御分リニナラウ、是ガ大丈夫ダトカ、露西亞ノソレト共通デナイトカ、同一デナイトカアナタハ仰シヤルケレドモ、之ヲ全部申上ゲマスカラドウゾ御聽キ下サイ、ソウスルト分リマス、「我等ハ労働階級ト資本階級トガ兩立セザルコトヲ確信ス」是ガ前段ニ掲ゲテアル、内務大臣ハ労働階級ト資本階級ガ兩立シナイト云フコトハ仰シヤラナイ、對立ハシテ居ツテモ、之ヲ緩和、協調シテ行カウト言ハレル、組合ノ方針モヤハリサウラシク承ツテ居ツタケレドモ、此綱領ニ於テハ斷然兩立出來ヌコトヲ前提トシテ置ク、サウシテ此前提ノ下ニ第二項ニ我等ハ組合ノ實力ヲ以テ——先申シタ組合ノ實力ト云フモノハ團結權、或ハ「ストライキ」或ハ暴力ト云フモノデアラウト思フ、他ニ是レ以外ノ力ガ組合ニアルナラバ承リタイ、即チ此組合ノ力ヲ以テ労働階級ノ完全ナル解放ト自由平等ノ新社會ノ建設ヲ期スト云フノデアル、今日ノ日本ノ社會状態ト云フモノハ平等ノ社會トハ言ハレヌ、經濟組織、政治組織等ニ依ツテ差別ノアルノハ已ムヲ得ナイ、貧富ノ懸隔モアル、然ルニ此綱領ニ於テハ平等ノ新社會ノ建設ヲ期スト云フノデアリマスカラ、ド

ウシテモ今日ノ三井、三菱ノ如キ何億ト云フ富ト、労働階級ノ其日ノ生活モ出来得ナイ、生存權サヘ現ニ奪ハレツ、アルト云フ、是等ノ方面ノ人ト較ベテ見ルト、天地雲泥ノ差ガアル、是ガ平均ト云フコトニハ、非常ナ經濟界ニ大變動ヲ起シテ、産業ノ革命、其他過激ノ方法ヲヤラナケレバ目的ノ達成ハ出来ヌコトデアアル、シテ見レバアレニ掲ゲテアル非常手段ヲ以テ、三井、三菱ノ如キ大富豪、金融資本家ト云フモノヲヤツツケテ、目的ノ貫徹ヲ致スコトニナルト云フ理由デアリマス、如何ニ賃銀ノ値上ヲシテ貰ヒ、或ハ時間ヲ短クシテ能率ノ上ルヤウニ働イテモ、其日ノ生活シカ出来ナイ今日ノ労働者ガ、三井、三菱ニ平均スルト云フヤウナコトハ出来ハシナイ、然ルニ之ヲヤルト云フ理想ヲ掲ゲテ前進シテ居ルカラニハ、如何ニ内務大臣ノ仰シヤルコト、此内容ガ一致シテ居ナイカト云フコトハ何人ガ聞イテモ分ルト思フ、如何デアリマセウカ

○安井政府委員 是ハ申スマデモナイノデアリマスガ、社會ニハ色々各種各様ノ意見ガ行ハレテ居ルノデアリマス、而シテ事物ニ對スル價值判斷ト云フモノモ、人々ニ依ツテ千差萬別デアラウト思ヒマス、隨テ或事ガ總テノ人、殊ニ政府ノ見ル所ト民間ノ或ル意見ガ合致シナケレバ、ソレガ治安ニ害ガアル、斯ウ云フ風ニハ言ヒ難イノデアリマス、

各種各様ノ意見ニ付キマシテ、ソレヲ一色ニ塗潰サナケレバ、社會ノ治安ガ保テナイト云フコトニハ考ヘナイノデアリマシテ、ソレニハ自ラ標準ガアル、而シテ其立場カラ考ヘマスナラバ、苟モ治安維持ニ害アリト認メマシタモノニ付テハ嚴重ナル取締ヲ致シマスガ、其範圍外ノ事ナラバ各種各様ノ意見ガ行ハレマシテモ是ハ差支ナイ、大體斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○猪野毛委員 サウスルト私共ハ非常ニ政府ノ眞意ヲ疑フコトニナル、同ジ文句ヲ用ヒテモ甲ノ人ガ言ヘバ中止、若クハ其演說會ガ解散ヲ命ゼラレル、乙ノ人ナラバ差支ナイト云フト、差別待遇ヲシナケレバナラヌト云フコトニナリマス、官廳ハ日本労働總同盟ノ綱領ト同一ノ綱領宣言ヲ掲ゲル將來ノ組合ガ出来テモ、之ニ許シタカラソレニモ許サナケレバナラヌ筈ト心得マスガ、是ダケノ明言ハ御出来ニナラウト思ヒマスガ、併シ或ハ其處ニ之ヲ率ヒテ居ル人ト、今度出来ル組合ノ幹部ハ違フカライケナイト云フヤウナ意見ガアルカモ分リマセヌケレドモソレナラバソレモ承リタイ

○安井政府委員 差別待遇ト云フ仰セガアリマシタガ、固ヨリ同一ノ價值判斷ヲ下サナケレバナラヌモノニ付キマシテハ、差別待遇ハ致スベキモノデハナイ、物ガ違ヒマスレ

バソレト違ツタ取扱ヲシナケレバナラヌコトハ當然デアリマスガ、苟モ同一ノ程度、同一ノ性質ノモノデアリマスレバ、其間ニ何等差別待遇ヲ設クルコトハナイ、只今仰セラレマシタ綱領ト云フモノハ、極メテ漠然タル、極メテ抽象的ナルモノデアリマシテ、ソレガ果シテ如何ナル内容ヲ持ツカト云フコトハ、ソレハ場合ニ依リマシテ色々ノ行動ニ依ツテソレガハツキリシテ來ル場合ガ少クナカラウ、隨テ御說ノヤウニ色々將來團體ガ出来ルデアラウト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテノ問題ハ其團體自體ニ付キマシテ十分考慮ヲ加ヘナケレバ、ソレニ對スル色々ナ判斷ヲスルコトハムヅカシイト思フノデアリマス、大體個々ノ具體的ナ問題ニ付キマシテ、ソレゾレ標準ヲ立テルト云フコトガ取締上必要デアラウ、大體斯様ニ考ヘテ居リマス

○猪野毛委員 漠然々々ト繰返シテ仰シヤイマスガ、是位ハツキリシタ綱領ト云フモノハナイ、労働階級ト資本階級トガ兩立スベカラザルコトヲ確信スト云フコトヲハツキリ言ツテ居ル、サウシテ此労働組合ノ實力ヲ以テ労働階級ノ完全ナル解放ト、自由平等ノ新社會ノ建設ヲヤルト云フノダカラ、ドウシテモ舊社會ヲ破壊シナケレバ出来ヌコトデアリマセヌカ、又此「實力ヲ以テ」ト云フノモ先ニ申シマシタ以外ニ他ニ實力ガアリマセウカ「ストライキ」ト

カ、或ハ暴力トカ、或ハ團結トカ、是レ以外ニ労働組合ニハ何モ大シタ實力ハナイト思フ、現ニ安達内務大臣ハ「ストライキ」ハ悪クナイ、團結スルコトハ悪クナイデハナイカト云フ逆捻デヲ食ハセルヤウニ昨日仰シヤイマシタガ、私ハ何モ團結スルノガ惡イ「ストライキ」ヲスルノガ惡イトハ言ハナイ、併シ成ベクナラバ「ストライキ」ヲサセヌ方ガ宜カラウト思フ、又團結權ヲ認ムルト云フコトヲ政府ハ仰シヤルガ、然ルニ完全ナル團結權ハ此法案ニ認メテナイデハナイカ、無イト云フコトハ職業別産業別ナドニ別ケテアルコトヲ考ヘテモ、少クトモ無條件ノ團結ヲ許シテハナイ、拘束的ノ團結權ヲ認メテ居ル「ストライキ」ノ如キモノヲ成ベクサセヌ方針デアルト云フコトハ分ル、況ヤ暴力行為ニ於テハ、是ハモウ政府モ吾々モ同様デス、ドウシテモ斯フ云フコトハサシテハナラヌト思フノデアリマス、然ルニ組合ハ組合ノ實力ヲ以テト云フナラハ、是レ以外ニ大シタ方法モナイ、今マデ労働組合ガ資本家ト闘ツテ來タヤリ方ヲ見マスルノニ、是レ以外ノ武器ヲ見タコトハナイ、又是レ以外ニハ資本家ニハ應ヘナイ、宗教ヲ説キ、道徳ヲ説イタ所デ資本家ニハ一向利カナイ、ドウシテモ非常ナ富ノ力トカ、權力ヲ握ツテ居ル者ニハ、斯ウ云フ力デブツカルヨリ外ニ對抗出来ナイ、是ガ彼等ノ唯一ノ武器デ

ス、之ヲ以テブツカツテ行ク時ニハ、其處ニ詰リ第一項ニアル如ク、勞働者階級ト資本家階級トガ兩立シナイ、兩立シナイカラ之ヲ壞シテ、新社會ノ建設ヲ期スト云ウテ茲ニ決心ヲ明カニシテ居ルノデス、此綱領ヲ掲グテ居ルカラニハ勞資ノ協調何處ニアルカ、ドウシテモサウ云フ武器ヲ以テ資本家ニ對シテ、舊社會——一口ニ之ヲ半面カラ云ヘバ、今日ノ社會組織ト云フモノハ資本家ニ依ツテ組織サレテ居ル所ノ惡社會デアルト云フヤウナ結論ニナル、ダカラ勞働者ノ方カラ云ヘバ勞働萬能政治ヲ布イテ、新社會ノ建設ヲ期サナクテハイカナイト斯ウ云フ意味ナノデス、是ハ綱領デアルカラ一向差支ナイ等ト云ウテ捨置ケルベキモノデシヤウカ、安達サンノ從來ノ演說ニ比ベテ、所謂溫情主義トカ「ストライキ」メ如キハ好マヌトカ云フ、其御言葉ト全然相反スルヤウニ思フ、ソレダカラ私ハ執拗ニ此點ヲ御伺スル、獨逸デモ、露西亞デモ、「マルキシズム」デモ「サンチカリズム」デモ、斯ウ云フ綱領ヲ掲ゲテヤツテ居ル、ソレヲ現在日本ノ茲ニ見セツケラレテ居ル、然ルニモ拘ラズ、内務省ノ方デハ尙且ツ是ハ一向差支ナイト御覽ニナリマスカ

○安井政府委員、御指摘ニナリマシタ團體ニ付キマシテハ、一般ノ有ユル狀況カラ考ヘマシテ、ソレヲ私ハ非合法

團體デアルトハ認め難イ、固ヨリ合法的ノ團體デアツテモ、暴行脅迫ノ如キハ無論取締ラナケレバナラヌガ、團體ソレ自體ヲ非合法的團體デアルトハ認めナイ、合法的ノ團體ト認めテ居ル、是ハ取締當局トシテ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ成立シマシテ以來相當長イ時ガ経ツテ居ルニナリマシタ團體ガ非合法的ノ團體デアルト云フ風ニハ、一般ニハ考ヘテ居ラヌノデアラウト思ヒマス、取締當局トシテハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 私ハ此團體ノコトヲ過去ノ事バカリヲ言フノデハナイ、綱領ノコトヲ言フノデス、綱領、即チ旗印ガ差支ナイカト言フノデス、内務大臣ノ仰シヤル言葉ト對照シテ見ルト、大變距離ガ多イカラ申上ゲルノデス、又將來ニ於テモ是ト同一ノ綱領ヲ掲ゲテモ今迄通りニナサルカト云フ開デアリマス

○安井政府委員 是ハ先程若干觸レタカト思ツテ居リマスガ、斯ウモシタイ、ア、モシタイト云フ希望ニ付キマシテハ色々意見ガアラウト思ヒマス、恐ラク内務大臣ノ御希望ニナリマス點ト、將來許サレルデアラウト思フ團體トハ、必ズシモ有ユル點ニ付キマシテ同一ノ意見デアルカドウカト云フコトハ、是ハ世ノ中ト云フモノハ色々意見ガ行ハ

レルコトデアリマスカラ、總テノ點ニ於テ一致スルト云フコトハムヅカシカラウト思ヒマス、是ハ要スルニ斯ウアリタイ、ア、シタイト云フ點ニ付キマシテ、ソレ々々各人ガ各々信ズル所ニ依ツテ努力スル譯デアラウト思フ、警察ト致シマシテハ此點マデハ宜イ、此程度ノモノハ取締ラナケレバナラヌト云フ凡ソノ見解ガアル、其意味ニ於テ治安維持ニ害ガアルカドウカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、治安維持ニ害ガナイト云フ範圍ニ於テモ、總テノ意見ガ一致スルモノトハ考ヘナイ、一致シナクテモ各人ノ意見ガアリマシテ、私ノ方デ取締ニ付テ考ヘルノ治安ニ害ガアルカ否ヤト云フ點ダケデアリマス

○添田委員長 本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後五時五十五分散會

一四 第五十九回帝國議會 院會 勞働組合法案外一件

(勞働組合法案(政府提出) 勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)) 委員會會議錄(速記)第十四回

會議

昭和六年三月十二日(木曜日)午前十時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事三宅 馨君

理事多田 滿長君

理事宮澤 裕君

榊谷 寅吉君

谷原 公君

飯塚春太郎君

久留義 郷君

清水德太郎君

堀内 良平君

加藤久米四郎君

安藤 正純君

松村 光三君

理事由谷 義治君

理事猪野 毛利榮君

濱野 徹太郎君

櫻内 辰郎君

栗原彦三郎君

長尾 半平君

田 中 貢君

仲井間宗一君

堀切善兵衛君

田子 一民君

守屋 榮夫君

中谷 貞頼君

松谷 與二郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 安達 謙藏君

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 吉田 茂君

社會局部長 富田愛次郎君

大藏省銀行局長 大久保 偵次君

文部政務次官 野村 嘉六君

農林省農務局長 石黑 忠篤君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)

勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ開會致シマス

○宮澤委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマスガ、私今朝ノ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十四回

新聞ヲ見テ實ハ驚イタノデアリマス、私ノ見ル新聞ハ二三
ニ止ツテ居リマスケレドモ、其中デ朝日、國民ノ兩新聞ニ於
テ勞働組合法ノ審議ガ、如何ニモ遅延シテ居ル、其責任ハ
政友會委員ノ方デ如何ニモ審議ヲ阻止スルノ結果、斯ウ云
フヤウニ遅延シテ居ル、委員長ハ大分焦慮シテ居ルト云フ
風ナ記事ガアツタノデアリマス、併シ是ハ御案内デモアリ
マセウガ、吾々ハ殊更ニ審議ヲ遅延サセルヤウナ態度ヲ取
ツタコトハナイノデアリマス、御指定ノ時間カラ夜ヲ冒シ
テ、實ハ速記ノ諸君モ堪ヘ得ザルマデニ連日連夜努力ヲ致
シテ居ルノデアリマスガ、重大法案ダケニ中々審議ノ進マ
ザルコトハ御案内ノ通りデアリマス、而シテ尙ホ今日マデ
二週間ニナツテ居ルガ、審議ヲ出來ヌト仰シヤイマスケレ
ドモ、其原因ノ大半ハ與黨ガ是ダケノ重大法案ヲ會期半ヲ
過ギテ御提案ニナツタト云フコトガ大ナル原因ダラウト思
フ、其他審議中ニ色々御都合モアルデアリマセウガ、大臣
ガ満足ニ御出席ニナリ得ナイト云フコトモ一ツノ理由デハ
ナイカ、モウ一ツハ速記ノ方ニモ何か事情ガアツテ満足ニ
御出席ガナイノデ、隨テ會議モ十分開クコトガ出來ナイト
云フヤウナ、色々ノ事情ガアツテ今日茲ニ未ダ會議ガ終了
セズニ居ルノデアリマス、ソレヲ斯ウ云フ風ニ宣傳サレ、
而モ其内容ヲ見マスルト、吾々既ニ二三日ノ前ニ理事會ヲ開

イテ公式ニ十二日ニハ質問ヲ打切ツテ之ヲ本會議ニ上程ス
ルヤウナ公約ガアルニモ拘ラズ、之ヲ更ニ引延バサントス
ル態度ガアツテ、如何ニモ重大法案ノ議了ヲ阻止スルノ傾
向ガアルト云フコトヲ言ハレルガ、是ハ以テノ外デアリマ
ス、吾々決シテ十二日ニ議了シテ之ヲ本會議ニ上程スルト
云フヤウナコトハ、理事會ニ於テモ決シテサウ云フ公約ヲ
申上ゲタコトハナイ、全ク是ハ何カ宣傳ダラウト思フ、是
ハ恐ラク委員長ト雖モサウ云フ公約ヲシタト云フコトハ仰
シヤルマイ、御希望トシテハ十一日ニ議了シテ十二日ニ本
會議ニ上程シタイト云フ御話ガアツタト思フガ、尙ホ吾々
ノ方ニ澤山質問者ガアリ、ソレガ山積シテ居ルカラ連モム
ヅカシカラウ、私ハ或ハ十四日ニ本會議ニ上程ニナルヤウ
ニ、十三日マデニ議了出來ルヤウニ心配シテミヨウト云フ
程度ノ私一個ノ意見ヲ申シタコトハアル、諸君ノ集リ方ニ
モ因ラウガ、十二日ト云フコトハ確ニ駄目ダト云フコトヲ
申上ゲタコトヲ御記憶デアラウト思フ、ソレヲ斯ウ云フ風
ニ各新聞ニ宣傳サレマシテ、此審議遅延ノ責任ガ悉ク我ガ
在野黨ニ在リ、政友會ニ在リト云フ宣傳ニナリマス、折
角今日マデ圓滿ニ審議ヲ繼續シテ居リマスノガ、茲ニ非常
ニ意思ノ阻隔ヲ來タスノ弊ガアルト云フコトニナリ、審議
ヲ進メル上ニ非常ニ憂フルノデアリマス、委員長モ御案内

ノコトデアリマスカラ、此席デ明確ナル御答辯ヲ願ヒタ
イ

○加藤委員 私モ議事ノ進行ニ付テ、一寸關聯シテ居リマ
スカラ申上ゲマス、今理事ノ宮澤君カラ御發言ガアリマシ
タガ、私共ハ新聞ノ記事ヤ或ハ世間ノ風評ナドニ於テ兎ヤ
角御註文申上ゲタリ、委員長ノ意思ヲ確メタリスルコトハ
致シタクアリマセヌ、左様ナ意味デアリマセヌケレド
モ、委員長ハ今マデ審議シテ來ツタ實績ニ鑑ミテ、吾々方面
ノ質問ガ本當ニ要點ヲ盡サズシテ質疑ヲ爲サンガ爲ニ質疑
ヲシテ居ルトカ、或ハ又重複致シテ居ル點ガアルト御考ヘ
デアリマスルナラバ、其要點ヲ御示ヲ願ヒタイノデアリマ
ス、吾々ハ議事ニ馴レマセヌカラ、委員長ノ御指圖ニ從ツ
テ重複致シテ居ル所ヲ具體的ニ御示下サイマスレバ、之ヲ
訂正致シマス、之ヲ御願致シテ置キマス、ソレカラ委員會
ニ付託ニナツテカラ今日マデ私ノ計算ニ依リマス、付託
ニナツタノハ先月ノ二十六日デアリマスルカラ、今日マデ
十五日デゴザイマス、成程長イヤウデアリマスケレドモ、
從來ノ慣例ニ依リマス決シテ長イトハ言ハレナイノデア
リマス、過グル議會ニ於テノ勞働組合法ノ審議ニハ三十七
日間ヲ費シタ、回数ハ勿論今回ヨリハ少イノデアリマスル
ガ——又當議會ニ於テ委員會ニ付託サレテ居リマスル小作

法案ハ、御承知ノ通り、現内閣ノ社會政策立法トシテ堂々
ト御宣言セラレタ法案デアリマスルガ、之ガ丁度二月ノ十
四日デアリマスルカラ、今日マデ二十七日間ニ相成ツテ居
リマス、此勞働組合法ヨリモ十日間多ク審議致シテ居リマ
ス、斯様ナ事柄ニ鑑ミマス、委員長ト致シマシテハ成ベ
ク早く審議ヲ結了致シタイト云フ御心事ハ吾々モ必ズシモ
之ヲ非議スベキモノデアリマセヌシ、御心中ハ御察シ致
シマス、與黨ノ諸君ニ於テモ餘リ與黨ノ御經驗ガオアリニ
ナラヌノミナラズ、隨分御辛抱ナコトダラウト思ヒマス、
吾々ハ與黨ノ經驗ガ多イノデアリマスカラ、斯様ナコトハ
辛抱トハ思ヒマセヌケレドモ、只今ノ與黨ノ方ニ於カレマ
シテハ隨分御辛抱ダト思ハレマス、併シ是モ亦已ムヲ得ナ
イコトデアリマシテ、吾々ハ斯様ニ致シテ當初此法案ヲ審
議スルニ當ツテ、私ハ我黨ヲ代表致シマシテ、短期間ニ審
議ヲ結了致シタイト御焦リニナルヤウナコトハアリマスマ
イ、又ナキコトヲ要望致シテ居ルノデアリマス、ヨモヤ御
忘レハナカラウカト思ヒマス、吾々ハ此案ニ付キマシテ最
モ責任アル答辯ヲ承リタイ、内務大臣ガ今日マデ御出席ニ
相成リマシタノハ、成程回数ニ致シテ見マスルト九回此席
ニ御出ニナツテ居リマス、二月二十六日、七日、八日、ソ
レカラ三月三日、四日、五日、六日、九日、十日、回数カ

ラ申シマスト九回御出席ニ相成ツテ居リマスケレドモ、一寸顔ヲ御出シニナツテ直グ御歸リニナツタリ、質問ガ要點ニ觸レヤウトスルト直グ御退席ニナツタリ、故意ニ御逃ゲニナツタトハ申シマセヌ、公務デ御差支ガアツタコト、思フカラ、兎ヤ角申シマセヌケレドモ、回数ハ九回デモ、之ヲ實際ノ時間ニ積ツテ見マスルト極ク僅カデアリマス、政府委員ノ答辯ヲ承ツテ居リマスルト、是ハ洵ニ結構ナコトデ、吾々政府委員ノ答辯ガ當ヲ得タトカ得ナイトカ申スノデハアリマセヌケレドモ、内務大臣ガ之ヲ押切ツテ御提案ニナツタト云フ以上ハ、ドウシテモ内務大臣ノ意向ヲ確メテ置カナケレバ吾々ハ審議ニ非常ニ不便デアリマス、又委員長カラ御覽ニナルト、是位ノ法案ハ、モツト早ク分リサウナモノダラウト御考ニナルカモ知レマセヌガ、委員長ノヤウナ明敏ナ頭腦ト豊富ノ知識ヲ御持チニナル方カラ、此勞働組合法ヲ御覽ニナルナラバ、左様ニ簡單ニ出來ルカモ知レマセヌガ、吾々ノ委員ノ方面カラ參リマシタナラバ、左様ナ簡單ニハ參リマセヌ、殊ニ勞働爭議調停法ノ審議ハ委員長カラ御質問ヲナサイト御命令ハアツタノデアリマスケレドモ、吾々ノ方面ト致シマシテハ、是ハ不可分ノ法案デアリマスルケレドモ、質問ノ順序トシテハ可分的ニ取扱ハナケレバナリマセヌノデ、後廻シニシテ居ルノデアリ

マス、又此方ノ審議ガ一日ヤ二日デ済ム譯デハアリマセヌ、ソレハ與黨ノ方々ハ、ソシナコトハ分ツテ居ルデヤナイカト言ハレルカモ知レマセヌガ、餘程頭ノ善イ方バカリオイデニナルノデ左様ナコトヲ仰シヤルノデアリマセウ、私ノ方デハ質問ヲ終了致シマシタガ、ソレハ唯一渡リ済ンダト云フノガ安藤君ト西岡君デ、而モ要點ニ付テハ内務大臣ニ質問スルト云フコトヲ保留シテ居リマス、守屋君ガ其後ヲ繼イデマダ二三回發言ヲシタマケノコトデアリマシテ、松村君成程質問ガ長イト云フ御非難モアツタヤウデアリマスケレドモ、松村君ハ松村君ノ豊富ナル知識ヲ提ゲテ内務大臣ト渡リ合ツテ居ル、是ハ決シテ私惡イトハ思ヒマセヌ、サウ致シマスト守屋君ガマダ十分質問ヲ——十分デアリマセヌ、マダ十分ノ一モ致シテ居リマセヌカラ、後ノ十分ノ九、田子君モ其通り、マダ今申上ゲマシタヤウニ、松村君モ或ハ他ノ諸君モ内務大臣ニ對シテ質問ヲ保留シテ居リマス、宮澤君モ其通り、殊ニ産業ノ立場ニ於テ、此日本ノ産業ノ現在ニ對シテ、勞働組合法施行後ニ於ケル影響如何ト云フコトニ付キマシテハ堀切君ハ餘程深い研究ヲ致シテ居ルノデアリマスルカラ、堀切君ガ此質問ヲ申上ゲルコトニ吾々ノ方デハ準備ヲ致シテ居ルノデアリマス、猪野毛君モ専ラ思想問題、或ハ又取締デアルトカ、或ハ又

立法方面ニ付テハ、中谷君モ御控ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ工合デ、吾々ノ方面デハ、皆サンハ質問ハ随分濟ンダデヤナイカト言ハレルケレドモ、吾々ノ方デハマダ——是ハ本當ノ散漫的ナ關聯シタ事項ダケニ付テ質問ヲ致シテ居ルノデアリマスルカラ、是ハ質問ガ終了シタト言ハレル人ノ頭ノ良イ工合ニハ吾々ハ敬意ヲ表シマスルケレドモ、吾々ハ要點ニ付テ未ダ質問ヲ終ツタトハ思ヒマセヌ、私ハ最初ニ申上ゲマシタヤウニサウ云フ新聞ノコトナドヲ言フノデアリマセヌケレドモ、與黨諸君ノ方デ何時打切ル何時打切ルト言ハレルガ、打切ルト云フ言葉ハ私ハ議會デハ禁物ダト思フ、之ヲ平ツタク申シマス多數黨橫暴ト云フコトニナル圓滿ナル理解ノ下ニ委員長ハ議事進行ヲ爲サルコトガ私ハ本則デアラウト思ヒマスルカラ、旁々以テ委員長ハ議事進行セシメルコトニ付キマシテ——成程政府ノ方ニ於テハ、色々又閣内黨内、ニ於テ御察シスベキ事情ヤ御心配ガ御アリデアリマセウカラ、是ハ御急ギニナルモノモ萬已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、ソレハ黨内、閣内ノコトデアツテ、此議院ニ付議サレテ、吾々審議中ノ勞働組合法案ヲ皆サンガ御急ギニナルカラト云ツテ、之ニ吾々ハ御附合申上ゲルコトハ出來マセヌ、殊ニ貴族院ニ於テ審議ガ會期中ニ完了スルト思ヒマスナラバ、是ハ洵ニオ目出タイ話デ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十四回

アリマシテ、成程一寸皆サンノ御考デハ或ハ貴族院ハ通過スルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、私ノ考カラ致シマスト、此衆議院デ審議ヲ詳細ニ進メテ行クコトガ、貴族院デ審議ヲ進メテ行ク上ニ非常ナ參考ニナルデアラウト思ヒマス、此案ノ質問應答ヲ致シタ其速記録ヲ貴族院議員ニ御上ゲニナレバ、ソレデ審議ガ却テ茲デ豫メシテ上ゲルヤウナ必持ニナルト思ヒマスカラ、茲デ長クナツタカラ貴族院デ審議ヲ進メル上ニ不便デアラウト思ヘヌノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、私ハ今後審議ヲ御進メニナル上ニ於テ、左様ニ無理ナコトヲナサラヌヤウニ——是ハナサツテモ致方アリマセヌガ、皆サンノ多數ノ力ヲ以テ御ヤリニナルナラバ、左様ナコトヲナサルト皆サンノ爲ニ不爲ニナルト云フコトヲ、豫メ警告致シテ置キマシテ、委員長ノ御答ヲ得タイト思ヒマス

○添田委員長 御答申上ゲマス、宮澤君ノ第一ノ御質問ニ御答シマスガ、本朝ノ新聞記事ニ付キマシテハ、私モ見タノデアリマス、見テ吾々ガ考ヘテ居ル内容トハ大分違ツテ居ルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、私ノ方デ別ニ宣傳シタトカナントカ云フ何ニモ事實ハアリマセヌ、ソレカラ十二日デ打切ルト云フ御話ヲ申上ゲタコトモナイ積リデアリマス、理事ノ宮澤君ト色々打合セテ居ル内容ハ、宮澤君モ御

承知ノ通りノ次第デアリマス、只今御話ニナツタ通り進
ンデ居ルノデアリマス、即チ十一日ニ一週打切ラウデハナ
イカト云フ御相談ヲシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、
其後ノ経過ハ宮澤君ノ御話ノ通りニナツテ居リマス、何カ
新聞ノ間違デアルト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、デア
リマスカラ此點ハ御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、ソ
レカラ只今之ニ關聯シテ加藤君カラノ詰リ質問ガ中々盡キ
ナイト云フ御話、ソレカラ打切り——斯様ナコトヲ豫メ決
メルコトハ宜シクナイト云フ御話モ、是ハ開會ノ當時加藤
君ノ御意見トシテ承ツテ居ル次第デアリマス、無論委員會
トシテ審議ヲ進メ、出來ルダケノ質問ヲシテ十分ニ此問題
ノ内容ト云フモノヲ討究シテ掛ルト云フコトガ必要デア
ルト云フコトハ、委員長モ御同様ニ認メテ居ル次第デア
リマス、ソレデアルカラ今日マデモ成ベク野黨側ノ方ノ御發言
ハ許シテ、繼續シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、
唯只今加藤君ノ御話ノヤウニ、貴族院デ通過ノ見込ガアル
ト考ヘルノハ大變オ目出タイ話デ、通過ヲスル見込モナイ
シスルカラ、十分緩クリヤラウ……(加藤委員「ソレハ違
ヒマス意見ノ相違ダ」ト呼ブ)若シサウナラバ、ソレハ少
シ委員長ハ意見ヲ異ニシテ居ル次第デアリマス、私ハ出來
ルダケ質問ヲ繼續シテ、圓滿ニ議事ヲ進メテ戴キタイト考

ヘテ居ル次第デアリマス

〔加藤委員「圓滿ニ急イデ下サイ」ト呼ブ〕

○松谷委員 私モ議事進行ニ付テ一言申上ゲタイ、昨日デ
アリマシタガ、警保局ノ御方ニ私ガ質問シタトキニ於キマ
シテ、ソレハ簡單ニ答辯シテ宜イ——甚ダ私ハ怪シカラヌ
御言葉ダト考ヘテ居リマス、無産黨デアル私共ハタツタ一
人カ二人デアアル、此法案ハ本當ニ無産黨ニ一重要ナ利害
ノアル問題デ、又國民モ無産黨ノ意見ハ十分聽キタイデア
ラウシ、又ソレヲ尊重シテ宜シカラウト考ヘマス、然ルニ
拘ラズ警保局ノ方ニ向ツテ簡單ニ答辯セヨ、サウ云フ言ヒ
分ト云フモノハ私ハ恐ラクアルマイト思ヒマス、實ニ怪シ
カラヌ言ヒ分ダト私ハ考ヘテ居リマス、餘リ私ハ見クビツ
テ貰ヒタクナイト思ヒマス、議員ハ議員トシテ一個ノ票決
權ヲ持チ、一個ノ權能ヲ持ツテ居ルト考ヘテ居リマス、然
ルニ拘ラズ簡單ニ答辯セヨ、而モ秘密會ノ席上ニ速記者ヲ
入レル、是亦怪シカラヌ話ダト思ヒマス(「入レテモ宜イ
ノダ」ト呼ブ者アリ)速記者ヲ入レナイト云フ宣言ヲ爲ス
ツタ、サウ云フコトモ私ハ御考置キヲ願ヒタイト思フノデ
アリマス、ソレカラ今後ノコトニ付キマシテモ、西尾君ガ
總括的ノ御質問ヲナサイマシタケレドモ、私共トシテハ本
當ニ血ノ出ルヤウナ思デ此法案ヲ研究シ、且ツ私共ノ意ノ

アル所ヲ質問ノ形式ニ於テ十分ニ發露シタイ、是ハ無産黨
全部ノ意見デアリマス、ソレデアリマスカラシテ私ハ決シ
テ大臣ノ出席ヲ要求スル譯デモアリマセヌ、此法案自身政
府ノ意ノアル所ハドノ點ニアルカ、モウ少シ私共ノ申上ゲ
ルコトモ御聽キ下サツテ、サウシテ修正ヲスベキコトハ修
正ナサツテ戴キ——今度ノ法案ガ通過スルカ否ヤト云フコ
トハ別問題ト致シマシテ、十分御考慮ニ入レテサウシテ政
府自身デ今少シク良イモノニ練リ合セテ貰ヒタイ、斯ウ云
フノガ私共ノ切實ナル要求デアリマス、然ルニ拘ラズ簡單
ニ答辯セヨ、實ニ怪シカラヌ御言葉ヲ聽クモノデアアル、而
モソレガ協調會ノ御役人ヲシテ居ラレル所ノ添田君ガ言ハ
レルニ至ツテハ、實ニ言語道斷ダト思フ、今後ハサウ云フ
コトガナイヤウニ十分ニ無産黨ノ意見モ——私ノ意見ガ駄
目ダトカ、内容ガ「ブーア」ダト仰シヤルナラバ、ソレハ
又別ノ機會ニ於テ御批評ヲ願ヒタイ、簡單ニ答辯セヨト云
フヤウナコトハ成ベク今後御慎ミヲ願ヒタイ

○添田委員長 松谷君ニ御答致シマスガ、昨日ノ場面ハ豫
テ商工省側ノ當局者ノ出席ヲ要望サレテ居リマシテ、ソレ
ニ對シテ委員長トシテハ屢々商工省ノ當局ニ出席ヲ促シテ
居ツタノデアリマス、所ガ色々他ノ委員會ナリ其他ノ用務
ノ爲ニ出席ガ遅レテ居ツタ譯デアリマス、ソレデ昨日少シ

ノ間デアアルガ時間ガアルカラ其時間ノ間デモ此處ヘ來テ説
明ヲシテ貰ハウト云フコトデ、商工省ノ當局ガ此處ヘ出席
ヲシタノデアリマス、ソレガ丁度秘密會ノ最早終ヘントシ
タ時デアリマシテ、秘密會カラ公開ニ移ツテモ宜イ時期ニ
ナツテ居リマシタ、又時間ヲ經過スルト商工當局ガ他ノ委
員會ニ出ナケレバナラヌコトニナリマスカラ、ソレデ實ハ
私ハアナタノ發言ヲドウスルト云フ譯デハナイガ、アナタ
ノ御質問ハ必ズシモ秘密會ニ限ツタ御質問デモナイヤウニ
私認メタノデアリマス、昨日ノアナタノ御質問ノ要點ナラ
バ必ズシモ秘密會ニシナクトモ公開ノ席上デ御話ニナツテ
モ宜イダラウト思ツタノデ、先ヅ豫テ要求ノアル商工當局
ニ對スル質問ヲ繼續シテヤツテ貰フ方ガ宜カラウ、斯ウ云
フ實ハ考デ居ツタノデアリマス、併シソレト同時ニ政府委
員ト雖モ成ベク答辯ガ長クナツテ來ルコトハ——何モ簡單
ト云フコトハ好イ加減ニヤレト云フ意味デハナイノデアリ
マス、能ク要ヲ得テ簡潔ニヤツテ貰ヒタイト云フ希望デア
リマス、何モ松谷君ヲ侮辱スルトカ、無産黨ヲ侮辱スルト
云フヤウナ考ハ持タナイ譯デアリマス、或ハ議員ノ御質問
デモ成ベク簡單ニ御願スルト云フコトハ或ハ善イコトモア
ルカモ分ラヌノデアリマス、サウ云フ意味デ決シテ怪シカ
ラヌ考ヲ以テドウノ斯ウノト云フコトハナイノデアリマ

ス、殊ニ無産黨ノ御質問ニハ私共モ成ベク機會ヲ餘計與ヘ
タイト思ツテ居ル次第デアリマス、此點ハドウゾ誤解ノナ
イヤウニ願ヒマス

○松谷委員 簡單ニト云フ言葉ハ、政府委員ガ餘リズ
ラ、長イ答辯ヲシテ要領ヲ得ナイ、ソレデアルカラ簡單
ニト仰シヤツタト云フ御意見デアリマスガ、私ノ質問ニ際
シマシテハマダ答辯モ何モナイ先ニ簡單ニト云フ御注意ガ
アツタ、餘リ當ラナイ辯解ガマシイ事ハ止シテ戴キマセ
ウ、ソレトモウツ私ハ御注意申上ゲタイノハ、昨日私ハ
第一條ノ質問ヲ終ツタノガ十二時十五分更ニ第七條ノ質問
ヲシヨウトシタ時ニ、私ノ第七條ノ質問モ少シ長クナリマ
スカラ此程度デ午後ニシテ戴キタイト言ツタガ、ヤハリ發
言ヲ要求セラレタ、サウシテ十分モ經ツト直チニ止メラレ
タ、マルデ第七條ノ質問ト云フモノハ尻切蜻蛉ニナツタ、
何ノ必要ガアツテ十分カ十五分延バサレル、ヤルナラバ徹
底的ニヤラセテ宜イデヤアリマセヌカ、サウシテ腰ヲ浮
シテ宜イ位ニナツタラ休憩、ソノコトハモウ少シ親切ニ
扱ツテ貰ヒタイ、私ガ七條ノ質問ヲスレバ少シ長クナツ
テ、恐ラク一時間ナリ一時間半ナリ掛ル、ソレデヤ皆様モ
御迷惑ノ事ダラウト考ヘマシタシ、何モ私ハ大臣病ニ罹ツ
テ居ル譯デハナイカラ、大臣デナクテモ宜シイ、唯一應其

時打切ツテサウシテ午後ニヤラシテ貰フ積リデアツタ、然
ルニ尻切蜻蛉ニ十分カ十五分ヤツテ見タツテ何ニナル、モ
ウ少シ本當ニ親切ニヤツテ戴キタイト思フ、アノヤリ方ハ
私共自身モ非常ニ感ジテ悪クスル、私共ハ今迄ハ非常ニ添
田サンニハ敬意ヲ表シテ居ツタ、私ハ今迄御會ヒシナカ
タガ、添田サンハ相當私ハ敬意ヲ持ツテ臨ンデ居ツタ、私
共ノ質問ニ對シテ相當ニ理解ヲ持ツテ戴ケルコト、思ツ
テ、私共ハアナタガ委員長ニナラレタ事ヲ衷心カラ喜ンデ
居ツタ、然ルニ事毎ニサウ云フ風ニヤラレルコトハ甚ダ遺
憾デアル、今後十分御理解ノアル、御取扱ヲ願ヒタイト云
フコトヲ特ニ御願シテ置キマス、御答辯ニハ及ビマセヌ

○添田委員長 委員長ハ松谷君ノ質問ハ敬意ヲ持ツテ許ス
積リデアリマス

○栗原委員 議事進行ニ付テ…此法案ハ洵ニ重大ナル法
案デアリマシテ、只今宮澤君、加藤君ノ申サレタヤウニ十
分ニ慎重審議ヲ盡スベキモノデアルコトハ勿論デアリマ
ス、又此委員會ノ經過ニ徴シマシテモ野黨ノ諸君及ビ無産
黨ノ諸君ガサレマシタ所ノ質疑應答ニ付キマシテ、無用ノ
質疑デアルトハ私共モ毛頭思ヒマセヌ、洵ニ傾聴スベキモ
ノト私共モ思フノデアリマス、辛抱ドコロノ話デナク、喜
ンデ拜聴致シテ居ル次第デアリマスガ、大體物ニハ程度ト

云フモノガアリマス、併ナガラ私ハモウ既ニ審議ガ濟ンダ
ト申スノデアリマセヌケレドモ、若シ十分ニ此質疑應答
ヲ各黨派ガ精銳ヲ選ツテシヨウトスラバ、迎モ一會期
ヤ二會期デ審議ガ終ルモノデハナイノデアリマス、併ナガ
ラサウ云フ風ニシテ居リマシテハ政治ノ運用ニ於テ大ナル
障礙ヲ來スト云フコトハ、モウ常識上明カナコトデアリマ
スカラ、此際ニ於テ私ハ委員長ニ野黨ノ諸君ニモ十分大雅
量ヲ示サレマシテ、早ク審議ヲ終ラレマシヤウニ御交渉ヲ
御願申シタイト共ニ、世間ニ於テハ敢テ野黨ト力與黨トカ
云フ區別ハアリマセヌケレトモ、此委員ノ中ニモ相當資本
関ヲ代表スル者ガアツテ、徒ニ審議ヲ延シテ、上院ノ方ニ
廻スコトガ出來ナイヤウニスルノデハナイカト云フヤウナ
疑ノ眼ヲ以テ見ル人モアルカラヤウニ仄ニ聞クノデアリマ
スガ、若シ我ガ神聖ナル議會ガ左様ナ風ニ見ラレルヤウニ
ナリマシテハ、洵ニ遺憾千萬デアリマスカラ、ドウゾサウ
云フヤウナ眼ヲ以テ見ラル、コトガナイヤウニ、御互ニ誠
心誠意ヲ盡シテ成ベク早く進行致シマシヤウニ、委員長ニ
於テ十分御考慮ヲ煩ハサレルヤウ御願致シマス

○加藤委員 只今栗原君ノ御發言中ニ、何カ資本家ノ爲ニナ
リ、資本家ノ依頼ニ依リ、其意向ヲ忖度シト云フ、妙ナ奧
齒ニ物ガ挟ツタヤウナ御發言ガアリマシタガ、吾々ハ憎ム

ベキ資本家ハ飽マデ憎ミ、愛スベキ資本家ハ愛スル、勞働
者側ニシテモ憎ムベキ勞働者ハ飽マデ憎ミ、愛スベキ勞働
者ハ愛スルト云フヤウニ、至公至平ノ立場デ行クノデアリ
マスカラ、左様ナ意味デ以テ御覽ニナリマスコトハ迷惑デ
アリマス、左様ナ御考デアルナラバ吾々ハ慎ンデ之ヲ御返
却申上ゲテ置キマス

○安藤委員 一寸議事進行デ申上ゲマスガ、吾々モ勞働組
合法ノ成立ハ望ンデ居ルカラ、我方黨ニ於テハ一日モ早ク
之ヲ制定シタラ宜カラウト云フ意見ヲ持ツテ居ツタ、既ニ
議會ノ劈頭ニ於ケル施政方針ノ質疑演説ニ於テモ、私カラ
此事ノ提出方ヲ大臣各位ニ御話シテ置イタ筈デアル、既ニ
ソレ位デスカラ一日モ早く制定ヲ我が黨ハ望ンデ居ル、併
ナガラソレ以來荏苒トシテ議會ニ提出ガナカツタ、提出サ
レタノガ既ニ遅イノデアリマス、ソレデアリマスカラ政府
ニ於テモ重要法案ト稱シ、又事實重要法案デアル所ノ此組
合法案ヲ好イ加減ニ質疑モ終了シナケレバ打切ツテ進メル
ト云フコトハ忍ビナイノデアリマス、併シサウ何時迄モ之
ヲ引張ツテ置イテ、今栗原君ノ言ハレタヤウニ、是デモウ
十分ダ十二分ダト云フマデニ質問ヲ盡スト云フコトハ出來
ナカラウト思ヒマスカラ、適當ナ機會ニ於テ討議ヲ進メテ
行クト云フコトニハ異存ハナイケレドモ、今日ハマダソコ

マデ達シテ居ラナイ、現ニ此前憲政會内閣が出シタ時ニモ、ソレヲ本會議ニ上程スルマデニハ約四十日間掛ツテ居ル、サウ云フ譯デアアルカラモウ少シ質問ヲ進メテ、適當ナル所デ討論ニ移ルト云フコトニシタラドウカト思フ、且ツ此資本家ガ後ロニ居テ云々ト云フ話ガアリマシタガ、與黨ノ委員ノ中ニ於テモ資本家ニ傾イタ考ヲ持ツテ居ル人ガ澤山アルデアアリマセヌカ、サウ云ウ偏頗ナ考ハ取去ツテ、斯ウ云フ重要法案ハモウ少シ慎重ニ質問ヲシタイト思フ、ドウカサウ云フ風ニ委員長ニ於テモ考慮アランコトヲ望ミマス

○猪野毛委員 私共モ此委員會ニ於テ該法案ヲ慎重審議シテ、成ベク早ク貴族院ヘ送リタイト云フコトハ、與黨諸君竝ニ委員長ト同一ノ意見ヲ持ツテ居ル、併ナガラ此法案ヲ普通ノ法案ト同一ニ考ヘラレテハ困ル、如何ニ此法案ナルモノハ難産デアツタカト云フコトヲ與黨ノ御方モ實例ヲ御考下サルト分ル、第四十四議會ニ箕浦勝人君外五名デ大正十年三月十日ニ提出シテ委員會未了ニナツテ居ル、ソレカラ第四十五議會ニ於テハ安達謙藏君外六名ガ大正十一年二月八日ニ提出、是モ委員會未了、第四十六議會ニハ安達謙藏君ガ筆頭デ外六名提出、即チ大正十一年十二月二十八日提出、是モ委員會未了、第五十一議會大正十五年二月九日

モノト同一視シテ貫ツテハ困ル、此法案ノ結果ニ依ツテ、日本ガ産業革命ヲヤルカ、ヤラナイカト云フ所マデ行クカモ分ラヌ性質ノモノデアアル、ダカラ吾々ハ民政黨ノ努力ガドウノ、政府ノ權威ガドウノト云フコトモ考慮シテ差上ゲナケレバナラヌケレドモサウ云フ私ノ情ニ捕ハレテサウシテ此案ノ慎重審議ヲセズ、五日ヤ十日早マツタ所デ、結局ニ於テ貴族院ヘ行ツテ笑ハレタリ、世間デ見テ洵ニ是ハ不慎重不審議デアルト云フ風ニ取ラレテハ、委員會ノ面目ニモ關シ、吾々ノ職責權能ノ上カラモ遺憾ナ點ガアルト考ヘラル、ソレ故ニ與黨諸君ノ御希望ノアル點ハ私共諒ト致シマスケレドモ、ドウカ此法案ノ今日迄ノ歴史ヲ顧ルコト、政府自身味ツテ來タ所ノ先達テ以來ノ状態ヲ考ヘテ、又内務大臣ナドノ出席ナサル時間モ少ク、文部大臣モ一向御出マシガナイ、是ハ思想上ニ大變ナ關係ノアル法案デアルケレドモ、文部大臣モ忙シイノカ、ドウ云フ事情デアアルカ一向見エナイ、自ラ盡スベキ義務ナルコトヲ考ヘズシテ、政友會ガ慎重審議ニ熱心ニヤルコトヲ、恰モ何カノ私情ヲ狭ンデ引延スノテハナイカト云フヤウナコトハ、是ハ揣摩臆測ニ過ギヌコト、私ハ思フ、更ニ委員長ニ申上ゲテ、委員長カラ政府ニ交渉シテ戴キタイコトハ、先達テ内務大臣ハ何レ濱口總理モ御出席シテ答辯云々トノ御言葉モアリマシ

衆議院委員會勞動組合法案外一件委員會第十四回

若槻内閣ノ時ノ提出デアアルガ、是モ委員會未了、第五十二議會若槻内閣、政府提出、即チ昭和二年二月二十八日提出、委員會未了、第五十六議會、昭和四年二月二十一日鈴木文治君提出、第五十八議會、昭和五年四月二十八日片山哲君提出、以上二回共ニ委員會未了ニナツテ居ル、此過去ノ例ヲ考ヘテ見ルト、悉ク委員會未了ニナツテ居ルヲ見テモ如何ニ此案ノ骨ガ折レルカト云フコトガ分ル、又政府ガ之ヲ今日御提出ニナルマデノ苦心ヲ私共ハ仄ニ聞イテ居リマスガ、協調會ノ案、社會局ノ案、審議會ノ意見、是等ヲ纏メテ大體宜シト云フコトニナツテ居ツタノデアアルケレドモ、一度閣議デ又三菱ガ喙ヲ入レタトカ、江木君ガドウトカ、世間デ噂サレテ居リマスガ、其内容ハ別トシテ、兎モ角資本家階級カラ愚圖々々喙ヲ入レタコトハ間違ナイ、其爲ニ是ガ非常ニ遅レテ、サウシテ此案ノ内容ヲ改訂シテ、政府ノ向イテ居ツタ所ノ方向ヲ資本家ノ方ヘ方向轉換ヲシタ、詰リ資本家ノ意見ヲ容レタトマデ世間デハ云ハレテ居ル、コンナ事情ニ彼此レサレテサウシテ議會ノ劈頭ニ於テ之ヲ出スコトガ出來ナクテ、會期ノ半分以上濟ンデカラ漸ク出サレテ、而シテ加フルニ内務大臣ノ御出席ノ時間モ至ツテ少ク、文部大臣ノ如キモ一向ニ來ナイ、一體此法案ナルモノヲ單ニ御座ナリニ出テ來ル所ノ法案トカ其他ノ

タガ、既ニ濱口總理ハ九日午後三時三十分首相官邸ニ於テ「メツセージ」ヲ發表サレタ、其内容ヲ見マスルト、「私ノ健康状態ハ最近漸ク回復シマシタ」ト云フコトデアアル、ソレカラ「本日午後二時參内致シテ」云々、ソレカラ更ニ後段ニ至リマシテ「斯クテ幣原内閣總理大臣臨時代理ハ解任セラレ爾後私ハ直接國務ノ衝ニ當ルコト、ナリ、愈々明日ヨリ登院」云々ト云フコトガアル、ソレカラ最後ニ「更生ノ意氣ヲ以テ益々國務ニ精勵シ、奉公ノ至誠ヲ致ス覺悟デアリマス」ト云フコトヲ明言サレテ居ルノデアリマス、明言サレタラ全ク其ノ通りデアリマスコトヲ私ハ信ジマス、先日ハ貴族院ニモ、衆議院ノ本會議ニモ昨日ハ又豫算委員會ニモ御出席ニナツタノデアリマスガ、未ダ十大政綱ノ一大事タル此勞動組合法案委員會ニハ御出席アリマセヌガ、私ハ果シテ總理ガ茲ニ明言ヲサレテ居ル通りナラバ、ドウシテモ總理カラ直接承ラナクテハナラヌコトガアル、ト云フコトハ若槻内閣ノ時ハ現總理濱口サンガ、内務大臣デアリマシテ、其時カラ私ハ濱口サントノ押問答ニ引ツ掛リ合ガアル、其時云フコトハ今日ハ責任ハナイト仰シヤルカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角德義ノ上ニ於テサウハ行カヌ、思想ト云フモノハ一向ニ居ルモノト思ハナケレバナラヌカラ、是非承リタイト思ツテ居リマスガ、此

點ヲ政府ノ方ニ通ジラレテ、勞働組合法案ニモ御出席ニ相成ルヤウニ申シテ戴キタイト思フ

○添田委員長 一寸私カラ一言申シマス、大藏大臣ハ御承知ノ通り豫算總會ニ詰メテ居ルヤウナ状態デアリマス、ソレデ先達テノ御要求ニ依リマシテ、只今銀行局長ガ出席致シマシタ

○田子委員 此勞働組合法案ニ、内務大臣ハ主管大臣トシテ副署シテ居ル、ソレカラ大藏大臣、鐵道大臣モ副署ヲシテ居ラレル、斯様ナ重要法案ニ三人モ連署シテ出サレテ居ルニ拘ラズ、一遍モ御出席ニナリマセヌ、其時々局長ヲ出シテ胡麻化サウト云フコトハ、甚ダ當ヲ得ナイト思フ、ドウカ提案大臣ガ御出席ニナルコトヲ希望シマス、尙ホ商工大臣モ本案ニハ御署名ニナツテ居マセヌガ、併ナガラ我國ノ産業ニ付キマシテノ主管大臣ハ商工大臣デアラウト思フ、ソレニ餘リ能ク御分リニナラヌ、政府委員ヲ御出シニナツテ、是モ出テ來ナイ、委員長ハモウ少シ進行ナサルト云フナラバ、各大臣ト能ク協調ヲ遂ゲラレテ、速ニ大臣ガ此處ヘ出テ御辯明ナサルコトガ議事進行上早イト思ヒマスカラ、私ノ意見ヲ申上ゲテ各大臣ノ出席ヲ要求シマス

○宮澤委員 只今私ニ對スル委員長ノ釋明ニ依ツテ了承致シマシタ、之ニ依ツテ私ガ今朝親知リマシタ國民、朝日ノ

兩新聞ノ記事ハ、事實相違シテ居ル、吾々ハ十二日ニ議了スルト云フ公約ヲシタト云フコトハ、誤解ニ過ギナイコトハ、委員長ガ御言明ニナリマシタカラ了解シタラウト思ヒマスガ、只今加藤君カラノ御話トシテ、新聞ノ記事ハドウデモ宜イト云フ御話ガアリマスケレドモ、私共政治家ノ最モ恐ルベキコトハ汚名デアリマス、尊ブベキコトハ名節デアリマス、斯ウ云フ新聞記事ガ一ツナラズニツモ三ツモ、私ノ狭イ見聞ノ範圍ニ於テアツタ、而シテ其新聞記事ハ皆符節ヲ合スル如クデ、同ジ所カラ出タト云フヤウニ私ハ察スルノデアリマスガ、之ヲ見マスト斯ウ云フ同様ノ記事ガ他ノ新聞ニモアルト——私ハ時間ガ許シマセヌノデ總テノ新聞ヲ涉獵スル餘裕ガアリマセヌガ、サスレバ或ハ委員長ノナスツタコトデハナイト云フコトハ、御言明デ分リマシタガ與黨若クハ政府部内ニ於テ斯ウ云フ宣傳ヲシテ新聞ニ出シタノデハナイカ、然ルベク委員長ノ職責ヲ以テ公平ヲ維持サレル上ニ於テ其出所ヲ能ク確メテ、此蒙ヲ正シテ戴キタイト私ハ思フ

○添田委員長 調べテ見マセウ

○中谷委員 私ハ議事進行ヲヤル積リハナカツタノデアリマスガ、先程委員栗原君ノ發言中ニ於キマシテ、聽捨テニナラヌコトガアツタ、是ハ委員長ニ於カレマシテモ私ハ御

同感デアラウト思フ、委員ノ質問中、資本案ノ爲ニトカ、資本案ノ意ヲ承ケテト云フヤウナ——詳細ハ速記ヲ見ナケレバ分リマセヌガドウモ資本案ノ意ヲ承ケテト云フヤウナ意味ニ類スルコトヲ言ハレマシテ、故意ニ此組合法案ノ成立ヲ妨グルガ爲ニ議事ノ引延シヲスル者ガアルヤウニ見エルトカ云フ御話ガアリマシタガ、是ハ私ハ容易ナラヌ質問デアラウト思フ、果シテ左様ナル委員ガ若シ此處ニアルナラバ、左様ナル委員ハ委員タル資格ハナイ、吾々ハ委員會全體ノ名譽ノ爲ニ、恐ラク栗原君ハ左様ナル信念ヲ以テ言ツタモノデハナカラウト思ヒマスガ、是ハ委員長ヨリ栗原君ニ卒直ニ御取消ヲ御取次願ヒタイト思ヒマス、私ハ之ヲ委員長ニ要求致シマス

○添田委員長 ソレハ私カラ申スベキ事柄デハナイガ、私ガ聽取ツタノハ斯ウ云フ風ニ聽取ツタノデアリマス、與黨ト云ハズ、野黨ト云ハズ、サウ云フコトハ區別セズニ、或ハ世間デサウ云フコトヲ考ヘテ居ル者モアルヤニ承知スルト云フヤウナ話デ、栗原君ノ話ハソレヲ斷定シタ譯デモナイヤウニ委員長ハ聽取ツタノデアリマス——サウデセウ栗原君

○栗原委員 其通りデス

○中谷委員 ドウモ是ハ速記ヲ見ナケレバハツキリ分リマ

セヌガ、同ジ委員會ニ席ヲ連ネテ居ツテ、左様ナル言辭ヲ弄セラル、ト云フコトハ私ハ不謹慎千萬デアラウト思フ、サウ云フヤウナコトヲ申セバ吾々ノ方ニモ言分アルノデアリマス、大體今日マデ數回ノ議會ニ於テ提案サレタガラ、何時モ審議未了ニ相成ツデ居ル事ハ隠レモナイ事實デアル、故ニ現政府ガ眞ニ此勞働組合法案ヲ成立セシムル所ノ熱心サガアルナラバ、誠意ガアルナラバ、議會ノ劈頭間モナク之ヲ提案致シマシテ、慎重ナル審議ヲ重ネテ、以テ貴族院ニ之ヲ送付スベキガ當然デアルノデアリマス、ソレヲ二月ノ二十四日ニ至リマシテ漸ク之ヲ上程スルコトガ出來タコトハ、寧ロ吾々ハ政府ノ誠意ヲ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、併ナガラ私ハ左様ナルコトヲ此處ニ問答ハ致シマセヌ、要スルニ栗原君ガ惡意ヲ以テ言ハレタノデナイナラバ、私ハソレ以上追窮致シマセヌガ、ドウカ若シ左様ナル言辭ガアリマスル以上ハ、委員長ハ直チニ御取消ヲ求ムルコトニ今後モ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○安藤委員 議事進行ニ付テ——農林大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、審議ガ進ムダラウト思ヒマスカラ簡單ニ申シマスガ、是ハ委員長竝ニ與黨ノ委員諸君ニ御參考ニ申上ゲテ置クノデアリマスガ、先程私ガ言ヒマシタ事ニ付テ委員長ハ否定サレタヤウデアリマスガ、サウデナイト云フコト

ヲ一言申上ゲテ置キタイ、大正十五年五十一議會デ労働争議調停法が出タノハ二月九日、労働組合法案が出タノハ二月十六日、サウシテ委員會ガ開ケマシタノハ二月十七日デ、終ツタノガ三月三日デス、サウシテ本會議ニ上程サレテ治安警察法ノ改正ト爭議調停法案ノ成立シタノガ三月十七日デアリマス、サウシマスルト二月九日カラ三月十七日マデ掛ツテ居ルノデスカラ、約一ヶ月ト七八日掛ツテ居リマス、委員長ハソシナニ掛ラナイト私ノ發言中ニ仰シヤツタガ、事實一ヶ月七八日掛ツテ居ル、今度ノハ、私共ガ速ク出セト云フコトヲ政府ニ促進シテ居ルニ拘ラズ、提出サレタノハ二月二十四日デアリマシテ、委員會ガ開カレタノハ二月二十六日ガ第一回デアリマス、今日マデハマダ十三日シカ掛ツテ居リマセヌ、デスカラ斯ウ云フ重要法案ハ、兎ニ角審議ヲ十分盡スコトガ適當ダラウト思フ、ソレヲ委員長ハ御含ミ下サツテ、適當ナ機會ニ討論ニ進ンデ行クコトニ付テハ異存ハアリマセヌガ、又此成立ハ吾々望マシイノデアリマス、此邊ハドウカ誤解ノナイヤウニ餘リ端折ツテ好イ加減ナ取扱ヲ爲サルト云フコトハ、今年是ガ通過スレバ勿論ノコト、若シ萬一ソレガ貴族院ノ方ガドウカナツテモ、將來ノ爲ニモ必要デアリマスカラ、餘リ輕率ノ取扱ヲナサラヌヤウニ御注意ヲ申上ゲテ置キマス

○守屋委員 農林大臣ガ御見エノヤウデアリマスカラ、農林大臣ニ御質問申上ゲタイト考ヘマス、本法ハ一般肉體労働者ヲ保護スルヲ目的トシテ制定サレタモノデアリマスカラ、勿論農林大臣ノ管下ニアリマス農業労働者ニ對シテモ、本法ノ適用ヲ受クルモノガアルコトデアラウト考ヘマス、此點ニ對シテ先ヅ農林大臣ノ御意見ヲ承ツテ置キマス

○町田國務大臣 只今御尋ノ農業労働者ノ中ニモ一部此法ノ支配ヲ受クルモノガナイトハ申シマセヌガ、御承知ノ通り我國ノ農業ニ從事シテ居ル労働者ハ、主トシテ私共ガ企業者トモ見ルベキ小作者、自小作者、斯様ナモノガ多數ヲ占メテ居リマスルガ故ニ、此法ノ支配ヲ受クル日傭労働者、或ハ其他ノ傭労働者ノ人々ハ極メテ少クアリマシテ、農村アタリニ於キマシテ大多數ハ私共ノ考ニ於テハ此組合法ニハ入ラヌモノガ多イト思ヒマス

○守屋委員 農業労働者ト云フ風ニ廣ク解釋シマスルト、自作小作モ含ンデ居ルシ、サウ云フモノハ我國ニ於テハ大多數ヲ占メテ居ルカラシテ、本法ノ適用ヲ受クル農業労働者ノ數ハ少イト云フ御話ノヤウニ拜聴致シマシタ、其本法ノ適用ヲ受クル労働者ハ、私共ガ解釋致シマシテモ主トシテ傭關係ニ於ケル賃銀労働者ト思ハレルノデアリマスカ、サウ云フ風ニ大臣モ御考ニナツテ居リマスカ

○町田國務大臣 大體ハ御意見ノ通りデアリマスガ、併シ「アグリカルチユアシーボア」ト云ヒマスルカ、ソレモヤハリ自作小作モ自分ノ仕事ノ外ニ一時傭ハレルト云フヤウナ形ニナツテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマスカラ、左様ナモノハ本法ニ入ラヌト思ヒマス

○守屋委員 純粹ノ意味ニ於ケル所謂農業賃銀労働者ノ我國ノ概數ト云フモノハドレ程アリマスカ、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイ

○石黒政府委員 純粹ノ農業労働者ガ幾ラアルカト云フコトノ調べハ非常ニ困難デアリマスシ、常ニヤツテ居リマセヌ、守屋サンノ御承知ノヤウニ第三回ノ國際労働會議ニ於テ農業労働者ノ問題ガゴザイマシタ際ニ、ソレノ準備トシテ調べマシタアノ際ノ調べガ即チソレデゴザイマシテ、只今ソレニ依ツテ申シマス云フト、純粹ノ農業賃銀労働者ハ三十七萬人ト云フコトニ其當時ノ調査デナツテ居リマス、其以外ハ今大臣ガ御話ニナリマシタヤウニ自作若クハ小作ヲヤツテ居リマシテ、サウシテ日傭ニ出ルトカ、或ハ漁市ノ方カラ漁閑期ニ季節傭ヒ等ニ出掛ケル農業労働者ト云フモノガ大部分ヲ占メテ居ルト云フ調査ニナツテ居リマス

○守屋委員 此點ニ付テ私ハ農林當局ノ御熱心ヲ疑フノデ

アリマス、少クトモ労働組合法ト云フモノガ制定セラレントスル情勢ニアリマシテハ、其適用ヲ受ケテ保護サルベキ所ノ農業賃銀労働者ノ數ト云フモノニ付テ、モツト新シイ統計ヲ御持チニナルコトガ望マシイト考ヘマス、純粹ナル農業賃銀労働者ノ數ノミナラズ、所謂小作人若クハ自作農ニシテ餘暇ニ農業賃銀労働者トナリ得ル數ト云フモノハ、日本ニ於テ可ナリ多イノデアリマス、デスカラ純粹ノ農業賃銀労働者「ブラス」准農業賃銀労働者ノ數ト云フモノハ、此處ニ出サレテ居ル三十七萬——大正十年ノ國際労働會議ニ出サレテ統計デアルト致シマスレバ、恐ラク其前ニ出來タ統計デアリマセウカラ、現在ノ事實ト遙ニ遠ザカツタモノデアリマス、農業賃銀労働者モ兎ニ角法規ノ上ニ於テハ保護サレ、結社ノ自由ガ認めラレル時代ニ達シテ來テ居ルノニ、農林當局カラ其恩恵ヲ受ケル所ノ人ガドレ程アルカ、純粹ナルモノガドレダケ、ソレニ準ズルモノハドレダケアルカト云フ數ヲハツキリ承ルコトガ出來ナイト云フコトハ、私ハ如何ニモ農業労働者ニ對シテ農林大臣ハ親切ヲ缺キ、誠意ヲ缺クト云フヤウニシカ承知出來ナイノデアリマスガ、ソレハ如何ニ御考ニナリマスカ、其點ニ付テハモツト承リタイト思ヒマスガ、先ヅソコヲ一ツ大臣カラハツキリ承ツテ置キタイ

○町田國務大臣 御尋ノ通り純粹ノ雇傭労働者ニ屬スル農業ニ從事シテ居ル者ノ數ハ、只今農務局長カラ申上ゲタ通リデアリマス、大體カラ見マスト先刻申上ゲマシタ通りニ、兼業労働者ニシテ准雇傭労働者ノ數ハ各村ニ互ツテハ少シハアリマセウケレドモ、是ハ大シタ數ニハナツテ居ラヌト云フ觀察ヲ致シテ居リマス、而シテ此取扱方ハ主トシテ自作或ハ小作ヲ主トシタモノデ、雇傭労働者一部之ヲ兼ネテ居ルト云フヤウナ意味デアリマスカラ、私共ノ取扱ハ今後小作組合或ハ地主組合等ノ際ニ——大體ニ於テハ農村ノ耕作ニ從事シテ居ル者ト云フ、斯様ナ文字ニ萬國會議ニ於テ改メタカラ、其趣意ニ依ツテノ多數ノモノハ小作組合、地主組合ニ入ルモノト見マシテ、此法ニ依ツテ農村ニ及ボス關係ハサウ大シタモノデナイト、大體斯様ニ觀察致シテ居リマス

○守屋委員 調査ヲサレナイデ唯想像ノ計數ヲ土臺ニシテノ御説明デアリマスカラ、ソレ以上追窮致シマシテモ仕方ガナイコトデアラウト存ジマスガ、私ハドウカ農林大臣ガ、工業労働者ニ對シテ斯ノ如キ保護ノ法律ト云フモノガ制定サレマシテ、結社ノ自由ガ認めラレルト云フ状態ニアル際ニ、農業労働者ニ對シテモモツト眞面目ニ、權利利益ヲ保護スルト云フ點ニ於テモウ少シ御考慮ヲ廻ラサレテ、

果シテドレ程本法ノ適用ヲ受ケル者ノ數ガアルカ、又準農業賃銀労働者ト云フモノモヤリヤウニ依ツテハ所謂此賃銀労働者ト同ジヤウニ結社ノ自由ヲ本法ニ於テ獲得サシテ差支ナイト考ヘマス、今現ニサウ云フモノハナイカモ知レマセヌガ、本法ガ施行サレマスト當然ソレガ起ツテ來ル問題デアリマス、ソレヲ指導シテ行ク人ガアリマシテ結成ヲ計ルト云フコトニナレバ、公認ノ労働組合トシテ活動シ得ルモノガアルノデアリマス、デスカラソレニ對シテ相當ノ方策ヲ立テラレルト云フコトモ必要デアリマスシ、方策ヲ立テルニ付キマシテモ、ドレ程一體本法ノ適用範圍ニ屬スル農業賃銀労働者、之ニ準ズル者ガアルト云フヤウナコトニ付テハ、モツト詳シイ的確ナル御調査ヲサレンコトヲ切望シテ置キマス

ソレハソレト致シマシテ、サウスルト農林大臣ハ本法ノ適用ヲ受ケル所謂農業賃銀労働者ノ組合ト云フモノハ、現ニ我國ニ於テハ一ツモナイ、斯ウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

ツテ利益ガ保護サレルト云フモノハ現在ニ於テハアリマセヌ

○守屋委員 農林大臣ノ今ノ御答辯ハ能ク分リマセヌガ、任意ニ農業労働者ガ團結シテ居ルモノガアルト申サレマシタガ、サウスルト任意ナラザル労働組合ト云フヤウナモノアルヤウニモ思ハレル、其點ハ不明瞭デアリマス、現在ノ農業労働者ト云フモノハ憲法ニ於テハドンナ形態ノ結社權モ認めラレテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラヤラウト思ヘバドウヤウナ形態ノモノモ作レル、例ヘバ小作農、自作農賃銀労働者ヲ合シタ農民組合ヲ作ルコトハ、憲法ノ上ニ於テチャント自由ヲ持ツテ居ルノデアリマス、現ニ又サウ云フ種類ノ農民組合ト云フモノガアルコトモ御承知デアリマセウ、ソレヲ任意ニ生ジタモノト云フ風ニ御考ヘニナルコトハ格別デアリマスガ、兎ニ角憲法ノ上ニ於テハチャント農業労働者ノ結社權ト云フモノガ現ニ認めラレテ居ル、唯労働組合法ニ依ツテ公認サレマス、サウ云フ組合ガ特殊ナ保護ヲ受ケル、或ハ法人ニナルトカ、公認組合トシテ穩健性ヲ認めラレルトカ、或ハ雇傭關係ニ於テ組合員タルノ故ヲ以テ雇傭ヲ拒マレナイト云フヤウナ利益ヲ受ケルコトニナツテ居リ、彼等ノ權利利益ト云フモノハ一層保護サレルコトニナルノデアアル、ソレ故ニ本當ニ農業勞

働者ト云フモノヲ御保護ナサラウト云フ考ナラバ——或種ノ因業ナ雇傭主ニ對シテ賃銀労働者ヲ保護スルト云フ御誠意ガアリマスナラバ、今迄ナクテモ、本法ノ適用ト共ニ穩健ナル組合ヲ拵ヘテ、所謂悲惨ナル状態ニ居ル賃銀労働者ト云フ者ヲ保護シテ行カレテチツトモ差支ナイ、本法ハソレヲ認めテ居ル、ソレヲドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○町田國務大臣 純然タル賃銀労働者ノ數ト云フモノハ大體ニ於テ農業ニ從事シテ居ル労働者ノ數カラ見マスレバ極メテ少數ト思ヒマス、其少數ノ純然タル雇傭労働者デアレバ、此労働組合法ニ依ツテ彼等ノ權利モ確保サレルコトニナルノデアリマス

ソレカラ憲法ハ結社組合等ノ權利ヲ認めテ居ルコトハ無論デアリマス、併シ特別ナル法律ガ出來マスレバ、法律ノ範圍内ニ於テ其結社ノ自由ガ憲法ニ依ツテ認めラレルガ、其特別ナル法律ハ今ゴザイマセヌ、併シ私共ハ農業ニ從事スル多數ノ者、所謂萬國會議デ決メマシタ農業ニ從事スル一切ノ者ト云フ、アノ修正サレタ簡條ニ依ツテ今後ハ小作組合法、地主組合法ヲ、適當ナ時期ニ作ルト云フ考ヲ持ツテ居リマスカラ、御尋ノ如ク何モ矛盾シテ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマス

○守屋委員 國際條約ニ付テノ御話ガ出テ居ルヤウデアリ

マスガ、サウ云フコトハマダ私ハ伺ツテ居ラナイノデアリ
マス、ソコニ行ク前提トシテ實ハ色々ノ質問ヲ致シタイト
考ヘテ居ル、只今私ノ質問致シタノハ本法ノ適用ヲ受ケル
農業賃銀労働者ト云フモノニ付テハ現ニ組合ガナイ、ソレ
ヨリモモツト廣イ範圍ニ付ハテ組合ガアルケレドモ、農業
賃銀労働者ノミノヤツテ居ル純粹ノ労働組合法ノ公認組合
ト見ラルベキモノハ全然ナイト承知シテ宜シウゴザイマス
カ

○町田國務大臣 各地方ニ互ツテ一切ヲ調べタモノ、材料
ハ持ツテ居リマセヌガ、大體各地ニ農民組合トカ云フモノ
ハアリマス、其狀況カラ察シマスト小作人、自小作人ヲ除
イタ純然タル日傭人ダケノ組合ガナイ、私ハ斯様ニ考ヘテ
居リマス

○守屋委員 一ツノ農場ト云フモノニ使ハレル所ノ農業勞
働者ノヤウナモノニ付テ、將來本法ニ依ツテ公認サレル勞
働組合ガ起ルトハ御考ニナリマセヌカ

○町田國務大臣 或ハ今後ハ左様ナモノガアルカモ知レマ
セヌ、又アリ得ルトモ思ヒマス、唯現在アルモノニ付テド
ウカト云フ御尋デアリマスカラ、私ノ方デ詳シイ調査ハア
リマセヌガ、從來ノ農業地方ニアリマス色々ナ團體ノ實情
ヲ見マス、小作人ヲ除キ、自小作人ヲ除イタ純然タル日

傭人ダケノ團體ガアルヤウニハ常識上考ヘテ居ラス、今後
ノコトハ場合ニ依レバ相當生ジ得ラレルコトガアルト云フ
コトハ勿論デアリマス

○守屋委員 ソレハモツト具體的ニ事實ヲ御調査願ツタラ
宜カラウト思ヒマスガ、大農場ニ於テ恐ラクサウ云フヤウ
ナ組合ノ存在シテ居ル所ガアリハシナイカ、大農場ノ經營
ト云フコトハ恐ラク賃銀労働者ヲ使フト云フ形ニナリマス
カラ、其大農場主ト雇傭關係ニ立ツ所ノ農業労働者ノ間ニ
ハ、現ニ或種ノ農業労働組合ガアリハシナイカ、而シテ將
來本法ニ於テサウ云フ種類ノ農業労働者ノ組合ト云フモノ
ガ公認サレマスレバ、キツトサウ云フコトガ具體的ニ生ジ
テ來ルコト、考ヘラレルノデアリマス、之ニ付テ今確實ナ
ル統計ガナイ、調査ガナイト云フコトデアラナラバ、ドウ
カモウ少シハツキ具體的ノ調査ヲ御示ヲ願ヒタイ、現ニ
農場ヲ中心トシテ本法ニ謂フ労働組合ト云フモノガ存在シ
テ居ナイカドウカ、存在シテ居ルナラバ其概數、將來ニ於
テサウ云フモノガ如何ナル趨勢ニナルト思フカ、サウ云フ
コトニ付テノ御所見ヲ後デ宜シウゴザイマスカラ御發表ヲ
願ヒタイ

ソレカラ先程農林大臣ハ農業労働者ノ結社權ガ一千九百
二十一年ノ國際労働會議ニ於テ條約案ニナツテ居ルノデア

リマスガ、ソレニ對スル政府ノ處置トシテ、自分ハ地主
法、小作法ト云フモノヲ制定シテ、一面ニ於テハ地主ノ組
合ヲ作り、一面ニ於テハ小作人ノ組合ヲ作ル、サウシテ此
結社權ニ對スル條約案ノ實施ニ備ヘル積リデアルト云フヤ
ウニ御説明ニナツタト考ヘマスガ、ソレデ宜シウゴザイマ
スカ

○町田國務大臣 大體ソレデ宜シイト思ヒマス

○守屋委員 サウシマス農林大臣ハ農業労働者ニ對シテ
ハ小作人ノ組合ダケヲ認メル、サウシテソレニ對抗シテ地
主ノ組合ヲ認メル、地主ハ地主トシテ團結シ、小作人ハ小
作人トシテ團結シ、其間ノ關係ヲ解決スルノニ團體ノ力
ヲ以テスル、斯ウ云フ原則ヲ立テ、御ヤリニナラウト云フ
考デアリマスカ

○町田國務大臣 地主ハ地主組合ヲ作り、小作人ハ小作人
ノ組合ヲ作ツテ、其對抗ニ依リ、彼等ノ間ニ生ジタ紛議ト
申シマスカ、ソレヲ解決スルト云フ考ガアルカトノ御尋ト
承リマシタガ、昨今農村ニ於ケル地主小作人間ノ紛議ニ對
シテハ、大體農林當局ノ考ト致シマシテハ、一面ニ於テハ
歴代内閣ノ等シクヤツテ居ル自作農ノ創定維持ヲ出來ルダ
ケ促進サセルコトニ依ツテ此紛議ヲ緩和シ、一面ニハ小作
法ヲ制定シマシテ地主、小作人ノ權利ヲ確保スルコトハ主

トシテ小作法ニ依ル積リデアリマスガ、小作人ノ組合ガ出
來マス、勢ヒ地主ノ組合ガ出來マスコトモ常識ニ依ツテ
考ヘ得ラレマスカラ、其組合ハ別ニ制定スルコトハ勿論
デアリマス、結社ノ自由ヲ主トシタル意味ニ於テ組合法ハ
作りマスガ、雙方對立シテ其間ノ紛議ヲ防止シ、若クハ緩
和スルコトノ施設ニ於テハ、主トシテ自作農創定、權利義
務ノ方カラ參リマスレバ小作法ニ於テヤル積リデアリマ
ス

○守屋委員 權利義務ノ關係カラ申シマシテ小作法ヲ作ラ
レルコトハ宜カラウト考ヘマス、併ナガラ今此處デ論ジテ
居リマスノハ結社ノ自由ト云フモノデアリマス、資本家ガ
結社ノ自由ヲ憲法上ニ於テ有シテ居ルト同様ニ、労働者モ
持ツテ居ルノデアリマス、憲法上ニ於ケル結社ノ自由ヲ特
ニ法律ヲ以テ公認シテ、之ニ對シテ法律上ノ利益ヲ與ヘル
コトニナルト、ソコニ一ツノ理由ガナケレバナラス、デア
ルカラ今ノ状態ニ於テ農業労働者及ビ農業資本家ヲ其儘放
ツテ置ケバ、憲法上ノ權利ニ依ツテ團結シテドノヤウニモ
ヤツテ行キマセウガ、併ナガラ其事實ヲ基礎トシテ新シイ
組合活動ト云フモノヲ公認シテ行カウト云フコトニナル
トソコニ農林大臣トシテサウ云フ法制ヲ立テル時ノ理由ト
云フモノヲ考ヘナケレバナラス、而シテ其理由ヲ立テマス

ル時ニ一體ドウ云フ團體ヲ認メテ行クカ、地主ダケヲ聯絡スル團體ヲ一面ニ認メ、他面ニ於テハ小作人ヲ聯絡スル團體ヲ認メル、サウ云フヤウニ利益ノ反スル人々ノ結合スル團體ヲ認メル、又然ラザル方法モアラウト思フガ、農林大臣ノ御考ヲ承リマス、寧ろ私共ノ豫想シナイ考ヲ仰シヤツテ居リハシナイカ、現實ニ於テハ確ニ小作人ト云フモノハ團結ヲシテ居ルカラ、ソレニ壓セラレテ地主モ已ムヲ得ズ團結ヲスルト云フ形ニナツテ居ル、其事實ヲ其儘御認ニナツテ小作人組合ヲ將來認メル積リデアル、ソレト對抗シテ地主ノ組合ヲ認メルノダト云フコトニナルト、今日偶然起ツテ來ル事態ヲ其儘御認ニナツテ、之ヲ指導シテ行ク、之ヲ誘掖シテ行ク、ト云フ考ヲ御持チニナツテ居ルモノト考ヘラレヌ、農業労働者ノ結社權ト云フモノヲ考ヘマス時ニハ、私ハ日本ノ農業ノ状態ヲ基礎トシナケレバナラヌ、決シテ外國ノ法制ノ模倣ノミニ依ツテキメベキモノデナイト考ヘル、私ハ今ノ御答辯デ頗ル不愉快ヲ感ジタノデスガ、モツト農林大臣ハ親切ニ日本ノ農業ヲ御覽ニナツテ居ランケレバナラヌモノト思フノデアリマスガ、前ノ御話ノ通りニ承知シテ宜シイデセウカ

○町田國務大臣 大體私ノ前ニ申シタコトハ私ノ考ヲ申シタノデアツテ、御話ノ通り間違ハナイト思ヒマス、唯私ガ

ラレルト云フ意味デハアリマセヌ、工業労働者ニ對シマシテ積極的ニ今回立法セラレテ團結々社ノ權ガ茲ニ確保セラレルト云フコトニナリマスレバ、我國ノ事情ト致シマシテ小作人ノ組合ト云フヤウナモノニ對シマシテ同ジヤウニ積極的ニ立法ガ要求セラレルト云フコトニナツテ參ラウト考ヘルノデアリマスガ、其際ニ於キマシテハ大臣ガ先程申サレマシヤウニ、單ニ小作人ノ組合ヲ積極的ニ立法ヲシテ認メル外ニ特別ノ我ガ農業事情ト致シマシテ多數ノ小地主モ居リマス、隨ヒマシテ小地主ノ方モ相當積極的ニ團結々社ヲ認メル法律ヲ以テ認メナケレバナルマイカト思フ、併シソレヲ兩々相對立サセテ、サウシテ其間ニ於テ對立的ニ小作條件ノ交渉ヲサセルコトガ理想的デアアルカドウカト申シマス、ソレハ必ズ理想的ノ交渉ノ出來ル方法ハナイト思ヒマス、ソコデ出來ルナラバ兩者ノ協調組合ト申シマスカ、兩者ガ集リマシテソコデ一ツノ團結ノ内部ニ於テ交渉ヲ付ケテ、小作條件ヲ決定シテ行クヤウニシタイ考デ居リマス、是ガ大臣ノ申サレマシタ協調組合デアリマシテ、此組合ニ關シマスル規定ノ一部ヲ今回出シマシタ小作法ノ中ニ書イテアリマス、即チ小作委員會ト云フ名前デ規定ヲ設ケテ居リマスガ、ソレハ工場ニ於キマシテ企業者事業主ノ方カラト、工場労働者ノ方カラト、ソレノ代表者ヲ出シ

御話ノ中ニ十分申サナカッタ爲ニ、或ハ小作組合ガ組合法ニ依ツテ出來ル、之ニ對抗シテ地主組合ガ出來ルト、茲ニ一種ノ争ガ一層醸成セラレル虞ガナイカト云フヤウナ御心配ガアルヤウデアリマス、是ハ御同感デアリマス、私ハ詳細ク申サナカッタガ、申スマデモナク協調組合ハ必ズ其時ニ出來ルモノト思ヒマスルシ、小作組合、地主組合ノ出來ル時ニハ必ズ協調組合ヲ作りマシテ、ソレヲ緩和スル働ヲスルコト、思ヒマス、ソレカラ日本ノ農業ノ事情ハ歐洲各國ト違フト云フノハ、先般ノ國際労働會議ニ於キマシテモ、日本ハ日本ノ主張ヲ致シマシテ、今日マダ御批准ニナツテ居ラヌ事情モ、日本ノ事情ガ歐羅巴各國ト違フ、即チ雇傭労働ノ關係ニアル者ノ範圍ハ極メテ少クシテ、一面ニ於テハ企業者ト見ルベキ小作人並ニ自小作人ガ多數デアツテ、全然歐洲各國ノ農業状態ト異ツテ居ルノハ、私共ハ日本ノ特殊ノ事情ニ重キヲ置イテ居ル理由デアアルト御諒承ヲ願ヒタイ

○守屋委員 農林大臣ハ小作法ガ制定サレルト云フト小作人組合ト云フモノガ當然公認サレルガ如キ御言葉ガアツタガ、ソレハ其通りニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○石黒政府委員 今大臣ノ御答辯ニナリマシタノハ、決シテ小作法ガ制定セラレ、バソレニ依ツテ小作組合ガ公認セ

テ色々労働條件ヲキメテ居ルヤウナ按配ニ、全タク同ジトハ申シマセヌガ、小作條件ヲ或ル地域ノ中ニ於テ小作ヲシテ居ル人達ト、又ソレニ土地ヲ耕作サセテ居ル地主ノ人達ト各代表者ヲ出シマシテ、小作條件ヲキメテ居ルト云フ事情ガ只今アリマスル約二千バカリノ所謂協調組合ノ相當大部分ガ争議ノ前、多クハ争議ノ後デアリマスガ、サウ云フ風ナ形式ニ依ツテ小作交渉ヲ終ツテ居ル實例ガアリマスノデ、此兩者カラ代表者ヲ出シテ話ヲシテ、ソレガ個々ノ小作ノ契約ノ内容ヲ爲スヤウニ、一定ノ標準ヲ示シテ勸告スルト云フヤリ方ガ一番宜カラウト云フノデ、ソレヲ小作法ノ中ニ規定シテアリマス、是ガ小作法ト今ノ團體トノ關係デアリマシテ、此規定アルガ爲ニ總テ小作組合ノ規定ガ出來ルトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス

○守屋委員 今ノ政府委員ノ御話デ分リマシタ、私ハ小作法案ト云フモノ、中ニ小作人組合ヲ公認シ保護スルト云フコトハナイ、唯サウ云フ小作法ノ規定ノ精神カラ恐ラク法律デ公認サレナイ小作人組合、所謂憲法上ノ結社ノ自由ト云フコトニ依ツテ律セラレル組合ガ殖エテ來ルト云フ風ニ承知スベキモノト思フ、又先程大臣カラ千九百二十一年ノ國際労働會議ニ於ケル農業労働者ノ條約案ハマダ日本ハ實施シテ居ナイ、ソレハ國內ニ於ケル農業労働者ノ關係ガ外

國ノソレト違ヒガアルカラ、適當ナ考慮ヲシテ居ルノダト云フコトデアリマシタ、此條約ノ第一條ノ本文ヲ讀ンデ見マスト「各締盟國ハ農業ニ從事スル一切ノ者ニ對シ工業労働者ニ對スルト同一ナル結社及組合ノ權利ヲ確保シ且農業ニ從事スル者ニ關シ、該權利ヲ制限スル法令其ノ他ノ規定ヲ廢止スルコトヲ約ス」斯ウ書イテ居ルノデアリマシテ、即チ茲ニ申サレテ居ル所ノ農業ニ從事スル一切ノ者ト云フノハ、農業賃銀労働者ヲ含メテ、廣イ意味ノ事柄デアリマス、ソレデスカラ同ジク農業ニ從事スル所ノ労働者ニ對シテハ、必要ナ場合ニハ工業労働者ニ對シテ認メテ居ル所ノ結社ノ自由ヲヤハリ等シク認メルト云フコトハ、社會的正義ノ上カラ必要ダ、斯ウ云フコトヲ約シテ居ルノデアラツテ、唯各國ノ事情ニ依ツテドノヤウナ結社ノ形式ヲ執ルカト云フコトハ異ルデアリマセウ、サウ云フ結社ノ形式ヲ異ニスルコトニ付テ各國ノ情勢ヲ考ヘテ御定メニナルコトハ望マシイコトデアル、然ルニ農林大臣ハ各國ト狀態ガ違フカラ此條約ニハマダ参加シナイノダト云フコトヲ仰シヤツテ居ルト云フコトハ、私ハ農業労働者ヲ保護スルト云フ御精神ガ徹底シナイ、缺ケテ居ルト云フ爲デナイカト思フ、ドノヤウナ結社ヲ作ルカ、目的ヲドノヤウニ、其結社ノ形態ヲドウスルカト云フコトハ各國ノ任意ニ任サレテ居ルコ

トデアル、労働組合法ト申シマシテモ、今日内務省ガ出シマシタヤウナ労働組合ノ形式ハ各國共通ノ形式ヂヤナイ、是ハ寧ろ形式トシテハ類例ノ少イ形式デアル、露西亞デアルトカ、支那デアルトカ、云フヤウナ所ノ形式ヲ御執リニナツテ居ル、外國ノ形式ハ職業組合法デアル、或ル種ノ職業ニ参加スル人々ノ結合ヲ認ムル、即チ資本家ノ組合モアレバ資本家「ブラス」労働者ノ組合モアル、又労働者自體ノ組合モアルト云フ所謂職業組合法ヲ認メテ、サウシテ其間ニ勞資協調ノ精神ヲ徹底シテ行ク、又労働條件ノ維持改善モヤツテ行クト云フヤウナ組合結成ノ形式ヲ執ツテ居ル國モ多イノデアリマス、デアリマスカラサウ云フ形式ヲ持ツテ來テ、所謂農業ニ關係シテ居ル労働者團結ノ目的、竝ニ形式ヲ定メルト云フコトハ出來ルコトデアリマス、而シテ恐ラク我國ニ於テ農業労働者ノ結社權ヲ認メル、其自由ヲ保證スル、ソレヲ公認シテ其活動ノ自由ヲモツト擴張シテ行カウト云フヤウニ御考ニナルナラバ、寧ろ地主ト農業労働者トノ團體、或ハ地主相互ノ團體、或ハ地主相互ノ團體、或ハ農業労働者自體ノ團體、サウ云フヤウナ選擇ハ農業關係者ノ自由ニ任セルト云フヤウナ形ニシテ、必ズシモ常ニ利害鬭爭ヲスルト云ツタヤウナ形ノ組合ノミヲ認メナイ方ガ宜シイト考ヘル、サウ云フヤウナコトハ農林省ガ疾

クノ昔ニ研究ヲシテ、何トカ具體的ノ案ヲ御持チニナラナクチャナラヌ次第デハナイカ、工業労働者ニ對シテハ世論ガ沸騰シテ、其結社ノ自由ヲ認メテ居ル、之ニ對スル保護ハ日ニ加ツテ行クノデアル、然ルニ農業労働者ニ對シテハ如何ナル目的ヲ以テ其結社ノ自由ヲ保障スルカドノヤウナ形態ヲ以テ結成ヲ促進シテ行クカト云フコトニ付テ、マダ何等ノ研究ガ付イテ居ラナイト云フコトハ、農業者ヲ保護スル立場ニ居ラレル農林大臣トシテハ如何デアラウカ、此點ヲモウ一度承ツテ置キマス

○町田國務大臣 段々質問ヲ重ネラレマシタニ付テ、御趣意ハ能ク分ツテ來マシタ、私ノ今考ヘテ居ルノハ斯様デアリマス、労働組合法トノ關係ハ純雇傭労働者ガ各町村ニアルガ、其數ハ比較的少ナイ、左様ナ人ニ對シテハドウスルカト云ヘバ、此組合法ノ支配ニ依ツテ、若シ出來レバ出來マセウ、大農場ノヤウナ雇傭労働者ノ澤山居ル所ニ於キマシテハ此法律ニ據リマセウ、併シ初ニ申シマシタ通り、日本ノ農業事情ハ申スマデモナク歐洲各國ト違ツテ居ツテ、其多數ハ小作人若クハ自小作人デアル、故ニ相當研究モ致シテ居リマス大體ノ案ハ小作組合ノ立法ヲ致スコトノ材料モ集メテ研究モ致シテ居リマス、之ト對抗シテ、自然ノ勢トシテモ生ジテ來ルベキ地主組合ノ立法ニ對スル研究モ致

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十四回

シテ居リマス、又附加ヘテ申上ゲマスガ、此間ノ對立シテ爭議ヲ生ズルト云フヤウナ虞ヲ防止若クハ緩和スル爲ニ協調組合ヲ造ル協調組合ト云フモノハ、此度ノ小作法ニ法律デハツキリ定メテハ居リマセウガ、勅令ニ依ツテ定ムル所ノ小作委員會、之ニ依ツテ協調ヲサスト云フコトニナツテ居ル、故ニ大體言ヒマスルト斯ウナリマセウ、一方ハ自作農創定維持ト云フ施設ニ依ツテ行クコトガツ、ソレカラ小作法ニ依ツテ地主ト小作人ノ權利ヲ確保スルト云フ小作法ガツ出來、一ツハ將來小作組合法、地主組合法、協調組合法更ニ町村ニ散リ、ニアリマス純然タル雇傭労働者ニ對シテハ労働組合法ニ依ツテ、彼等ニ憲法ニ依ツテ與ヘラレテ居ル權利ヲ支持スル、是ハ御承知通り萬國會議ニ於テハ色々ノ問題ガ出來テ、到頭日本ノ立場モ考慮シテ、農業ニ從事スル一切ノ者ニ對シテハ工業労働者ト同ジヤウナ結社ノ組合ノ權利ヲ確保スルト云フコトニナツテ居リマス、其事情ガ歐羅巴ト違ヒマスルガ故ニ、私ノ申シタヤウナ色々ノ組合ニ分レテ、一切ノ農業労働者ガ、各種ノ法律ニ依ツテ工業労働者ト同様ニ確保スルト云フ形ガ現レルコト、思ヒマス

○守屋委員 議事進行デスガ、私ノ質問ハ半分モ進ンデ居リマセヌカラ、引續イテ午後ニ農林大臣ニ對スル質問ヲ繼

續サシテ戴キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 御承知ノ通り、本會議ノ初ニ私ノ方ノ提案ノ關係ノモノガアリマスカラ……

○守屋委員 ソレデハ濟ンデカラデモ宜シウゴザイマス

○添田委員長 ソレデハ是デ休憩致シマス、午後ハ一時半カラ開會致シマス

午後零時十分休憩

午後三時四十分開議

○添田委員長 會議ヲ開キマス

○松谷委員 先達テ第七條ノ質問ガ殘ツテ居ツタノデアリマスガ、結局此爭議ニ關シマシテ組合若クハソレヲ指導シタ者ニ責任ガナイト云フコトハ、是ハ英國ノ千九百六年ノ勞働爭議法ノ三條、四條及ビ其他支那、米國邊リデ總テサウ云フ風ニナツテ居ル、又ハ是ハ世界ノ立法ノ趨勢ト考ヘテ居リマスガ、何故ニ斯ウ規定ヲ置カレナカツタノデアアルカ、其點ノ御説明ヲ願ヒマス

○吉田政府委員 其點先達テモ申上ゲタ積リデアリマスガ、我國ニ於テハ左様ナ意味デ組合ニ對シマシテ賠償ヲ求メラレタ事例ガマダゴザイマセヌ、又一方先般申上ゲタ通りニ、罷業ニ關スル責任ハ、爭議自體ノ責任トシテ組合ニ

關係スルトセザルトヲ問ハズ、爭議ヲシタ者或ハ指圖ヲシタ者全般ニ亙リマスル問題デアリマスルノデ、御指摘ニナリマシタコトノ如キ、ソレハ現在ノ勞働問題トシテ重要ナル考究スベキ事項トシテ、組合法中ニ於キマシテ組合ノ責任ニ關スル規定ノホンノ一部分デ、問題ノ解決ニナリマセヌノデ、今回ノ組合法案ノ中ニハ入ラレテ居リマセヌガ、當局ト致シマシテハ其點ニ付キマシテ慎重ニ取調ヲ致シテ居ル次第デアリマス、左様ナ意味デ這入ツテ居ラナイノデアリマス

○松谷委員 然ラバ今度勞働爭議法ト云フヤウナモノガ出來ル場合ニハ十分考慮ノ中へ入レ、ソウシテ御實行ニナル御考デアアルカドウカ

○吉田政府委員 爭議法ト云フヤウナモノ、出マス際ニハ、其中ニ入レル重要ナ問題ノ一ツデアラウト考ヘテ居リマス

○松谷委員 重要ナ問題デアルト云フコトハ争ノナイ事實デアリマスカラ、ソレヲ規定セラレル意思ヲ只今ノ所持ツテ居ラレマスカ、ソレトモ排斥シテ、七條デ足リルト云フ考デアラレルノデアリマスカ、其點ノ御明答ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 此點ニ關シマシテ、爭議法中ニ如何ナル規定ヲ設ケルカト云フコトニ付キマシテハ、政府トシテマ

ダ確定シタ意見ヲキメテ居ラナイノデアリマスカラ、民法ノ四十四條ノ準用規定デ足リルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、慎重ニ研究ヲ要スル問題デアルト考ヘテ居リマセケレドモ、果シテ然ラバ政府ハ只今爭議法ト云フモノヲ制定スル意思ヲ持ツテ居ルカ、又爭議法ノ中ニ如何ナル其點ニ關スル規定ヲ入レルカ否カト云フ、的確ナル御尋ニ對シテハ、具體的ニ御答辯出來ナイト考ヘテ居リマスガ、兎ニ角當局ト致シマシテハ、是ハ勞働問題ノ上ニ於キマシテ、重要ナ原則ノ問題ナリトシテ、如何ナル法制ヲ立テマシタナラバ宜シイカト云フコトニ付キマシテ、慎重ニ考慮ヲ致シテ居ルノデゴザイマス

○松谷委員 只今ノ御話デハ爭議法ト云フモノヲ作ル考ガ今ノ所ナイト仰シヤルト、今少シ突込ンデ聞キタイノデアリマスガ、只今政府委員ノ仰シヤツタノニハ斯ウ云フ事例ハ今マデニナカツタノデアアルカラヤラナカツタノデアアルト仰シヤルガ、各國デモ勞働組合法ナリ、爭議法ナリ、作ル前ニハ、殆ドサウ云フ實例ハナカツタラウト思フ、餘リ各國ニサウ云フ實例ト云フモノハ餘計ニナイ、英國ノ實例ナドハ顯著ナモノデアリマスケレドモ、各國デサウ勞働爭議ヲ起シテ、サウシテ損害賠償ヲ請求シタト云フヤウナ事例ガナイ、事例ガナイニモ拘ラズ、ヤハリ勞働組合ナリ或ハ

爭議團ナルモノヲ保護スル意味ニ於テ、サウ云フ規定ガ置カレテ居ルノデアリマシテ、本當ヲ言フナラバ、私共ハ爭議法ノ骨子トナルベキモノダト思フ、然ルニ拘ラズ此骨子ヲ、世界ノ立法ノ趨勢ニ反シテ、サウシテ規定セズニ社會局案ニハアツタガ、其社會局案ヲ改造シナケレバナラナイヤウナ状態ニ何故ニ置カレタノデアアルカト云フコトヲ、今一應御尋シタイ

○吉田政府委員 英吉利ノハ只今御指摘サレマシタガ、左様ナ事例ガ起リマシタ爲ニ立法サレタノデアリマシテ、我國ニ於テハマダ事例ガナイト云フノハ、是ハ本法ニ其規定ナイ理由ノ半分ノ例ヲ申上ゲタノデアリマシテ、事例モナイコトデアアルシ、尙ホ又其責任ハ其組合ノ責任ダト云フコトダケデ問題ガ盡ルノデアリマセヌノデ、爭議ニ關スル爭議自體カラ起ツテ參リマスル外ノ關聯シタ問題ト共ニ考究スルコトガ、其問題ニ對シテ適正ナ解釋ヲ與フル所以デアルト云フ、此二ツノ理由ニ基キマシテ、今回ハ組合法案ニ這入ツテ居ラナイノデアリマス、何故ニ這入ツテ居ラナイカト云フ御尋ニ對スル是ガ御答デアルト思フノデアリマス

○松谷委員 社會局案ニハ現ニアリマシタ、サウシテ之ニ除カレタル理由ハ如何ナル理由デアアルカ、ソレカラ又、英

國ニ斯ウ云フ實例ガ起ツタカラシテ初テキメタ、日本ニハ實例ガナイカラ置カヌノデアルト言ハレルガ、少クトモ各國ニサウ云フ事例ノ起リ得ルト云フコトハ豫測シ得ルノデアリマシテ、今コソ組合ニ金ガナイケレドモ、是カラ組合ガ確立スレバドン／＼金ガ出來マス、今金ガナイカラ出來スト言フ、然ラバ財産ガナイ人間ニ對シテハ民法ハ作レナイ、少クトモ法律ト云フモノハ百年位先ヲ豫想シテ作ルコトガ今日ノ立法ノ觀念デアアル、所ガ今現在ニナイカラト言ツテ、ソナ馬鹿ナ話ハナイト思フ、ソレカラ是ハ英國ノ立法バカリデハナイ、米國ニモ斯ウ云フ規定ハアリマセス、更ニ又支那、印度ナドニモ斯ウ云フ規定ハアリマス、マダ其他ニモアリマセウガ、社會局長官ハ其方ノ專門デアリマスカラ、各國ノ立法例ハ十分御承知ノ筈デアアル、各國ノ立法ノ趨勢デアツテ、今日日本ニナイカラ作ラヌト云フコトハイケナイ、而モ是ハ労働組合法ノ骨子デアルト思フ、其一番骨子ノ眼目ヲ除カレタト云フコトハ、只今ノ御答辯ダケデハ分リ兼ネマス、社會局原案デ作ラレタモノヲ何故除カレタカ、其點ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 今回這入ツテ居ラヌ理由ハ只今申上ゲタ通りデアリマシテ他ニ申上ゲル別ノ理由ハナイノデアリマス、モウ一ツ他ノ半面カラ申シマス、此組合法ハ全體ニ

付テ御覽ニナリマス通りニ、労働組合ト云フモノハドウ云フモノデアルカ、又其運用ヲドウ云フ風ニシテヤツテ行クカト云フ、重ニ組合ノ構成作用ニ關スル規定デゴザイマスノデ、其中ノ一部分ノ爭議トカ、團體協約トガ、サウ云フ作用ニ關スルコトハ只今マデノ社會局原案ニアリマシタモノトシテモ、爭議ノ場合ニ於ケル免責規定唯一ツデアリマス、ソレデ今回提案セラレテ居リマス労働組合法案ハ組合ノ構成、労働組合ハドウ云フモノデアルカ、ドウ云フ働ラスルモノデアアルカト云フコトヲ規定スルコトヲ主眼ニシテ居ルノデアリマス、労働爭議ニ關シテハ何等規定ガナイノデアリマス、ソレデ労働爭議ニ關スル免責ノ規定等ハ、法律ノ系統ト致シマシテ斯ノ如キ組合法ノ中ニ含マズシテ、爭議ニ關スル法律系統ノ中デ規定スレバ完全ガ得ラレル、斯ウ云フ考デ此中ニ入レテナイノデアリマス、決シテ其間題ヲ輕視シテ居ルノデモアリマセヌシ、爭議ノアツタ度ニ組合ニ對シテ賠償責任ト云フヤウモノヲ要求セラレル、ソレガ何デモナイモノダト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、恐ラク從前ノ社會局案ニアリマシテハズツトアノ規定ハ這入ツテ居ルノデアリマスケレドモ、主トシテ左様ナ沿革ニ依ルト云フ理由ガ多カツタノデハナイカト思ヒマス、法律系統ノコトヲ言フト、必ズシモ組合法ノ中ニナクテモ、仰

セノ通り組合法ノ骨子トシテ缺クル所アリトハ私共ハ考ヘナイ、労働問題トシテハ重要ナ問題ニ違ヒナイガ、組合法ノ中ニソレガナケレバナラヌト云フモノデハナカラウト思フ、斯様ニ考ヘテ今回ハ入レテナイノデアリマス

○松谷委員 大變議案ノ琴線ニ觸レテ來タコトヲ私ハ喜ブ者デアリマス、労働組合法ニ規定スベキ事案デナクテ、ソレハ寧ろ爭議法ニ規定スベキ問題デアアル、ソレデアルカラ除イタト云フ御答辯ニ私共ハ満足スルノデアリマス同時ニ、ソレナラバ爭議法ヲ至急作ツテ、足ラザル所ヲ補フコトガ忠實ナル立法家ノナスベキ仕事デハナイカト考ヘマス、其點ニ關シテ只今ノ御話デハ爭議法ハ全然作ル意思ガナイトカ、作ルニシテモ何時作ルカ分ラヌトカ言ハレルコトハ、少クトモ労働組合法ガ出來タ以上ハ、爭議法モ本當ヲ言フト茲ニ併セテ作ツテ戴キタイ、又作ルベキ性質ノモノト考ヘマスガ、之ニ對シテ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○吉田政府委員 左様ナ組合運動ノ作用ニ關スル事項、只今問題ニナツテ居リマス爭議ニ關スル法規、並ニ團體協約等ニ關スル法規、ソレ等ニ付キマシテハ只今當局ト致シマシテ慎重ニ攻究ヲ重ネツ、アルノデアリマス、併シ何時出スカト云フ御尋ニ對シマシテハ、マダ的確ニ御答申上ゲル

程ニ調査ガ纏ツテ居ラナイノデアリマス、併シ決シテ等閑ニ附シテ居ル譯デハアリマセヌ、熱心ニ目下攻究中デアリマス

○松谷委員 攻究中デ御アリダト云フコトハ結構ダト思ヒマスガ、攻究シテ斯ウ云フモノヲ作ル考デアルト云フコトマデ仰シヤツテ戴ク譯ニハ行キマスマイカ、詰リ攻究中デアツテ出スカ出サヌカ分ラヌト言ハズニ、出ス考ト云フ其時期ニ付テ分ラナイト言ハレルノカ攻究ハシテ居ルケレドモ出スカ出サヌカ分ラヌト言ハレルノカ、ドウチデス、出ス考デ居ルケレドモ其時期ハ言明ガ出來ヌト云フ風ニ承ツテ宜シウゴザイマスカ

○吉田政府委員 此問題ニ付テハマダ全般トシテノ決定ヲ受ケテ居リマセヌカラ、政府全般ノ問題トシテハ一寸私カラ御答申上ゲ兼ネマスガ、私共ノ部局ニ於キマシテハ、成ベク早く斯ウ云フ方面ノモノヲ拵ヘタイト云フ積リデ攻究シテ居ルノデアリマス

○松谷委員 斯ウナルトヤハリ大臣ノ御出席ヲ要求シタイノデアリマス、私共ハアナタニ御尋シテモヤハリ政府當局トシテノ御答辯ヲ要求シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ若シ政府トシテ出ス考ガナイナラバ、労働立法、労働爭議法ナリ何ナリハ、社會局案ノヤウニ茲テ明快ニシ

テ置ク必要ガアラウ、ソレカラ又出ス考ガアルナラバ、近キ將來ニ出スノデアアルカラ其方ニ讓ツタト云フ趣旨ガナクテハナラヌト思ヒマスガ、其點ヲ今一應御致シマス

○吉田政府委員 政府全體トシテ出ス考ガナイトハ私共思ヒマセヌ、併ナガラ左様ナ問題ハソレノ擔任ノ部局ニ於テ攻究ヲシ、其結果ヲ成案ニ纏メテ、斯様ナモノヲ出スカ出サヌカト云フコトデ、政府ノ態度ヲ決メテ貫クノデアリマスルカラ、其方デノ段階ヲ進リツ、アルト云フコトデ御諒承願ヘルト思フノデアリマス、政府内部ト致シマシテモ、私共ガ材料ヲ調査シテ居ル、現在攻究ヲ重ネテ居ルト云フコトハ、其立法ニ近付キツ、アル段階ト御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマス、私共考ガ纏マリ次第ニソレノ指揮ヲ受ケマシテ、政府ノ方針ヲ其際ニ決メテ貫クノデアリマスカラ、社會ノ立法ノ色々ノモノガ將來豫想サレル譯デアリマスケレドモ、皆サウ云フ風ニシテ攻究ノ結果ヲ以テ政府ノ決定ヲ仰グト云フ段階ヲ經テ參ルノデアリマス、政府トシテ最近ノ機會ニソレヲ提案スルト云フ決心ヲ決メテ戴ク程ノ材料ヲ、マダ私共ノ方カラ政府ニ提供出來ズニ居リマス、ソレヲ取急イデ私共ノ所モ勉強シテ居ルノデアリマスカラ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松谷委員 諄イヤウデスガ、重要デアリマスカラ特ニ聞

クノデアリマス、是ハ組合法ノ中デ團結權或ハ罷業權或ハ團體協約權ト云フヤウナモノハ、何レモ重要ナモノデアアルデアリマス、ソレデ幸ニシテ安達内務大臣モ御出デニナツタノデアリマスカラ——只今社會局長官ノ御話ニ依ルト、社會局トシテハ出ス積リデ現ニ草案ヲ研究シテ居ル、併ナガラ政府トシテハ人アラヌト云フ御話デアリマシタカラ、特ニ内務大臣ニ御伺スルノデアリマスケレドモ、御分リニナラヌダラウカラ、一寸前カラ説明ヲモウ一遍申上ゲマス、ソレハ爭議ノ際ニ於テ勞働組合若クハ爭議ノ指導者、若クハ勞働組合ノ責任者ナリニ對シテ、損害賠償ノ請求ガ出來ナイ、所謂爭議ニ關スル免責規定ガ社會局案ニハ存在シテ居ツタガ、此法案ニナイノデアアル、ソレデ色々社會局長官ニ御尋ヲシタ、所ガ、ソレハ勞働組合法ニ規定スルヨリモ爭議法ニ規定スルノガ立法ノ趨勢ト云ヒマスガ、立法トシテノ系統上ソレガ正當デアルカラ、之ニ書イテナイノダ、斯ウ云フ御答辯デアアル、然ラバ爭議法ト云フモノヲ作ラレル御意思ガアルカト云フコトヲ御尋シタ、所ガ社會局長官ハ社會局トシテハ目下考究中デアアルガ、政府トシテハ分ラヌ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタカラ、政府トシテ爭議法ヲ御出シニナル考デアアルカナイノデアアルカ、若シ爭議法ヲ御作リニナラヌナラバ、前ノ社會局案ノ如キ規定

ガ必要デハナイカ、斯ウ云フ御尋ヲシテ居ルノデアリマス

○安達國務大臣 爭議法ノコトハ社會局長官モ御答致シマシタラウガ、政府ト致シマシテモ考究中デアリマス

○松谷委員 考究中デアアルトダケ承ツタノデハ私共ハ満足出來ナイノデアリマシテ、少クトモ近キ將來ニ於テ出サレナイナラバ、跛ノ法律ヲ作ツテ置クヨリモ、ヤハリ此組合法ニ於テ規定ヲシテ、サウシテ完壁ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、只今社會局長官ノ御話ニ依ルト、ソレハ爭議法ニ讓ツタ方ガ宜カラウト仰シヤルノデアリマスカラシテ、ソレナラバ組合法ニ作ル必要ハナイノダ、組合法ニ作ル必要ハナイケレドモ、出サレナイナラバヤハリ組合法ニ規定シナケレバナラヌ、ソレデ近キ將來ニ於テ御作リニナラヌ考デアルナラバ、是非共之ニ入レテ貫ハナケレバナラヌ、作ラレル考デアルナラバ御説ノ通り爭議法ニ讓ルヨリモ、私共ハ強テ異存ハ申シマセヌガ、其點モハツキリシナイト、所謂跛ノ法律ガ出來ハシナイカ、ソレヲ憂ヘテ居ル、ソレデ先ヅ社會局案カラ除カレタノハ爭議法ヲ御作リニナル積リデ除カレタト云フ趣旨ニナツテ居リマスカラシテ、爭議法ヲ出サレルカ出サレナイカト云フコトハ、此法律審議ノ上ニ於テ重大ナル影響ヲ及ボスノデアアル、而モ是ハ勞働組

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十四回

合ニ取ツテ最も重要ナル點デアリマスカラ、今一應御出シニナル積リデアアル、併ナガラ時期ニ付テハ言明出來ヌト言フナラソレハ宜シウゴザイマス、何レ御考究中デアアルカラ今期議會ニハ無論出來ヌガ、來議會ニハ出シテ戴ケルト思ヒマスケレドモ、其時期ニ付テハ申上ゲマセヌガ、少クトモ御出シニナル御考デアアルカドウカト云フコトダケハ承ツテ置カナイト、此法律ノ審議ニ於テ非常ニ影響スル所ガ多大デアリマスカラ、特ニ御尋致シマス

○安達國務大臣 考究中デアリマスカラ、ソレハ出スコトニナルダラウト考ヘマス、兎ニ角今其邊ノコトハ社會局デ専ラ考究致シテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○松谷委員 ソレデハ其點ハ餘リ御尋シテモ結局クル／＼廻ツテ居ルノデアリマシテ、甚ダ不満足デアリマス、要スルニ斯ウ云フ跛ノ法律ヲ作ツテ、義足デモ宜シイ、後デ作ツテ呉レルナラバ宜シイガ、義足モ何時作ツテ貰ヘルカ分ラヌト云フノデハ甚ダ不満足デアリマスガ、其點ハ是デ打切リマス

更ニ御尋シタイノハ、第七條ノハ民法第四十四條ノ適用ノ結果デアリマシテ、要スルニ法人ニ對スル規定デアリマス、法人以外ノ組合ニハ其組合ノ代表者若クハ代理人ガ其職務ヲ行フニ當ツテ、組合ニ加ヘタル損害賠償ノ責任ガア

ルカナイカ、其點ノ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○吉田委員 法人以外ノ組合ニ付テハ、民法ノ一般ノ組合ニ關スル規定カラシテ法人ノ場合ト略々同様ニナルデアラウト云フ解釋ガ付クダケナノデアリマシテ、明カニドノ規定ヲ準用スルト云フヤウナコトデハ問題ガキマラナイガ爲ニ、茲ニ書イテナイノデアリマス、法人ニハ法人ノ理事其他ノ代表者ガ組合ノ爲ニシテ法律行爲ノ責任ハ組合ニ歸屬スルト云フ命令ナリ規定カラ準用シマス、法人以外ノ人ノ私法人ノ行爲ニ付キマシテ、左様ナ多數ノ人ノ組合代表者ヲ持ツテ居ル組合ニ付テハ法律行爲ノ效果ト云フモノニ付テハ、明瞭ナ規定ガ法人ノ場合ノヤウニハナツテ居ラナイノデアリマス、隨テ其點ハ大體學說ガサウナツテ居ル、一般ノ解釋ガサウナツテ居ルト云フニ止マルノデアリマシテ、私ノ只今申シタノモ一般解釋カラ言ツデモ左様ニナルダラウ、斯様ニ申シタノデアリマス、但シ爭議ノ責任ノ歸屬ノコトニ付キマシテハ、我國ニ於キマシテハキマリマシタ慣例ナドガゴザイマセヌカラ、此點司法裁判所ニ於テ明カニ解釋ガセラレテ居ルト云フコトハ申セヌノデアリマス、通説ニ於テハ、大體組合ノ代表者ガ組合ノ爲ニシタ行爲ニ付キマシテハ、組合自身ニ於テ權利義務ヲ負フト云フ趣旨ニスルノデアルカラ、負フベキデアラウト云フコト

ノ解釋ガ普通ニナツテ居ルト思ヒマス

○松谷委員 ドウモオカシイ話デアリマシテ、ソレナラバ第七條ニ民法第四十四條ダケヲ準用ニナツタノハ跋デアアリマセヌカ、若シ法人ノ場合ニ此規定ヲ準用スルナラバ、法人以外ノ場合ニ於テモヤハリ組合ハ理事其他ノ代理人ガ職務ヲ行フニ付キ、組合ニ加ヘタル損害賠償ノ責任ズトハツキリ書イテ置カナケレバナラヌ、解釋上出來ルナラバ四十四條ハ無駄デアアリマセヌカ、何レニシテモ此法律ハ少クトモ跋タルヲ免レナイ、此點ニ對シテモウ一層明快ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○吉田委員 四十四條ノ問題ハ、解釋ノ問題デアアリマセズシテ、明カニ民法ノ四十四條ニ法人ニ關スル規定ガアルノデアリマスカラ、之ヲ明カニ準用シテ居ルノデアリマス、又準用スルコトニ少シモ無理ハナイノデアリマス、併ナガラ法人以外ノモノニ付キマシテハ、民法四十四條ハ適用ニナラナイノデアリマス、ソレハ法人デナイカラデアリマス、隨テ其方面ハ解釋ノ問題トシテキメルヨリ外仕方ガナイ、少シモ跋ト云フヤウナコトニハナラナイノデアリマス、明カニ民法ノ規定ノアルモノハ民法ノ規定ノ準用ヲスル、民法ノ規定ノナイモノハヤハリ民法ト同ジヤウニ解釋ニ委セル、斯ウ云フコトニナリマス

○松谷委員 ソレハ法律上ノ問題デ、少々社會局長官ニハ御無理カモ知レヌト思フノデスガ實際少クトモ立法技術ト致シマシテハ、同ジ責任ヲ負ハスナラバ、民法ノ四十四條ヲ御適用ニナルナラバ、法人以外ノ者ニ對シテモヤハリ同一ノ規定ガ并行セラレテ、竝ビ竝ンデ規定シナケレバナラヌノガ、立法ノ技術上當然デアルト思フ、然ルニ拘ラズ規定ガナイ、一方ハ解釋デ附ケルト云フナラバ是モ解釋デ附ケテ宜イ譯デアアル、ソレヲ一方ハ解釋デ附ケテ一方ハ法律ノ明文ヲ置クナント云フ、ソナダラシタ話ハナイ、少クトモ解釋デ行クナラバ是レモ解釋デ行カナケレバナラヌ、是モ甚ダ無理ナ御注文カ知レマセヌガ、立法技術ノ上カラハサウ行カナケレバナラヌト思フ、同時ニ此爭議ノ問題デ、損害ヲ加ヘタノハ不法行爲デアアルカ、適法行爲ト見ラレルノデアリマスカ、此點ヲ御尋致シマス、ソレニ依ツテ又解釋ガ違ヒマス

○吉田委員 只今ノ御尋ハ如何ニモ私ガ無理ヲ言フヤウニ御聽取リニナツタヤウデアリマスガ、此組合ノ爲ニ組合ノ役員ガ色々仕事ヲスルト云フ點カラ見マスルト、法人タル組合モ、法人タラザル組合モ同ジコトデアルト云フ御議論ハ一應御尤ノヤウデアリマスガ、法人ニハ法人ト致シマシテ、代表者トシテ理事ヲ置ク、殊ニ此組合法ノ法人ニ

於テモ同様デアリマス、理事ニ關スル規定モ準用ニナルノデアリマス、隨テ法人デアル場合ハ、法人デナイ場合ヨリモ權利關係ガ明確デアアルノデアリマス、サウシテ其權利關係ハ、民法ノ法人ノ權利關係ヲ其儘移シテ以テ此處ニ持ツテ來ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、別ニ法制ヲ新ニ立テズトモ宜イノデアリマス、法人タラザル組合ニ於キマシテハ、ソレハ組合員ナリ或ハ外部ノ人々ト、組合ノ代表者、或ハ組合自體トノ權利關係ハ、何ト致シマシテモ法人ヨリハ不明確ナノデアリマス、組織自體ガ不明確ナノデアリマスカラ、權利關係モ不明確ナノデアリマス、隨テ法人ノ場合ニハハツキリ規定シテアツテ、法人タラザル場合ニハ幾ラカハツキリセヌコトガアルデハナイカト云フコトハ、是ハ組合ノ構成組織ノ上カラ止ムヲ得ナイノデアリマス、ハツキリシタモノニ法律ノ規定ガアリ、ハツキリセヌモノニハ解釋デ行クコトニシテ居ル場合ガアリ得ルト云フコトハ、是ハ法制ノ上カラ止ムヲ得ナイ、決シテ私共片跋デアルトハ思ツテ居リマセヌ、爭議ヲ指揮命令スルト云フコトノ御尋デアリマスガ、ソレハ不法行爲デアアルカドウカ……

○松谷委員 違ヒマス、爭議ニ依ツテ損害ヲ與ヘタ行爲、其行爲自身ハ不法行爲デアアルカ、適法行爲デアアルカト云フ

コトヲ御尋シテ居ル

○吉田政府委員 先程カラ申上テ居リマス爭議ノ責任ニ付キマシテハ、規定ヲ明カニスル必要ガアラウト申シテ居ルノハ其點ナノデアリマス、只今マデ爭議ニ依ツテ工場ニ損害ヲ加ヘタ、之ニ對シマシテ賠償ヲ致シタト云フ實例ハマダナイノデアリマス、併シ之ニ指揮命令ヲシタト云フ關係カラ申シマスレバ、之ニ命令ヲシテ、他人ノ雇傭關係ニモ立入ツテ勞務ヲ停止セシメ、或ハ勞務ヲ廢止サシタト云フコトハ、單純ナル民法ノ形式解釋ノ上カラ申シマスレバ、ソレハ一ツノ權利ノ侵害ト云フ不法行為ヲ形成スルノダラウト云フ說ハ成立ツノデアリマス、併ナガラ我國ノ實生活ニ於テ現在サウ云フ考ガ支配シテ居ルカト云フト、必ズシモサウデナイ、其場合ニ爭議ニ關スル責任ノ歸屬ト云フモノヲ明カニスル必要ガアルデアラウト私共モ考ヘラレルノデアリマス、單純ナル法律論、形式解釋論カラ、不法行為ニ對スル賠償責任ガアルダラウト云フ論斷ハ一應立ツコト、考ヘマス

○松谷委員 是ハサウ大シタコトデモナイガ、序ダカラ結末ガ付キマセヌカラモウ一應御尋致シマス、結局普通ノ法人ニアラザル組合ニ對シテハ、法人ノ規定ガ曖昧デアルカラシテ、ソレデ法人ニ付テハキツカリシテ居ルカラキツカガ法人ノ爲ニ致シマシタ仕事ノ效果ガ法人ニ歸屬スルト云フコトハ、ソレヲ置ク必要ガナイドコロデナシニ、ソレガナクテハ理事ノ職責ト云フモノモ行ヘナイノデアリマス、此四十四條ヲ適用スルト云フコト自體ガ非常ニ必要ナコトナノデアリマス

○松谷委員 尙ホソレデハ御尋致シマスガ、私ハ民法ノ四十四條ナント云フ規定ハ要ラヌ規定ダト思ヒマス、勞働組合法ニ依ル一ツノ組合ガアリマシテ、ソレヲ法人トスルナラバ、當然民法ノ法人デナクチャナラヌ、民法デアルカ何カ知ラナイケレドモ、公法人デアルカ私法人デアルカ知レナイガ、少クトモサウ云フ法律解釋カラ云ツテモ、當然民法第四十四條ト云フモノハ解釋上ソレガ一ツノ常例トナツテ適用スルト云フコトガ、今日ノ法律解釋ノ趨勢デアリマス、然ルニ拘ラズ、此曖昧模糊タル所ノ組合ニ付テ規定ヲスルノガ本則デアルニ拘ラズ、組合ニ付テ何等ノ規定ガナイ、之ヲ跋デアルト私ガ言ツテ居ルノハ當然ダト思ヒマス、是ハ社會局長官ニ質問スルノハ無理ダト思ヒマスカラ、此點ダケデ止メテ置キマス、次ニ重要ナ點ダケモウ一ツ大臣ガ御出ニナツテ居ラレマスカラ、特ニ御問ヲ致シマス、ソレハ十二條ノ規定デアリマス、是ハ私共ニ取ツテハ非常ニ重要デアリマスカラ特ニ御尋スルノデアリマスガ、

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十四回

リシタ規定ヲ適用スル、法人ニアラザルモノニ對シテハ、民法ノ組合ニ關スル規定ト云フモノハ曖昧ダカラシテ、曖昧中ノニ打棄ツテ置ク、ソレハ私ハ全然間違ツテ居ル、若クハアベコベデアアル、法人ノヤウナ責任ノ歸屬ノ明カナルモノニ對シテハ寧ろ適用ノ規定ガナクテモ宜イ、ドツチヘ解釋シテ宜イカ分ラナイ——責任ノ歸屬ガ分ラナイモノニ對シテコソ斯ウ云フ規定ガ必要デヤナカラウカ、サウ考ヘテ居リマス、ソレハ當然サウナクチャナラヌ、ソレカラ次ニ不法行為ナリトスレバ、組合ノ代表者ガ不法行為ニ依ツテ他人ニ損害ヲ與ヘテモ、ソレハ代人デモ何デモナイ、不法行為ニ代理權ナント云フモノハアルモノデヤナイカラ、當然組合法ノ適用ガナイ、其點カラ見テモ特ニ此四十四條ヲ適用セラレタコトハ跋モ跋殆ド不具者デアリマス、ソレデアリマスカラ寧ろ斯ウ云フ民法第四十四條ヲ適用スルナント云フ規定ヲ省カレタラ如何カト考ヘマスガ、其點ニ付キマシテ如何ニ考ヘテ居ラレマスカ、是ハ大臣ニ御尋ヲ致シマス

○吉田政府委員 民法ノ四十四條ガ爭議ニ關シテダケノ規定ト云フヤウナ御前提ノ下ニ御斷定ノヤウデアリマスガ、是ハサウデハナイノデ、法人ノ理事者ガキマツテ居ル以上ハ、全般ノ問題トシテ凡ユル法律行為ヲ含メマシテ、理事勞働組合ガ、衆議院議員、又ハ北海道府縣其他ノ議員選舉運動ニ關シ、費用ヲ支出シ、其費用ニ充テル爲ニ、組合員ヨリ金錢ヲ徵收スルヲ得ズト云フヤウニ規定シテデアリマス、之ニ付テハ大分論議ガ重ネラレテ居リマスガ、尙ホ不十分デアリマスノデ、私共ハ特ニ御尋スルノデアリマス

○添田委員長 重複シナイヤウニ願ヒマス

○松谷委員 成ルベク重複シナイヤウニ速記録モ茲ニ寫シテ持ツテ居リマス——ソレデ政治運動ヲ爲ス、少クトモ選舉運動ニ關シ何故費用ノ支出ハ出來ナイト御解釋ニナツタノデアリマスカ、ドウシテ斯ウ云フ規定ヲ日本ニ置カレタノデアリマスカ、是ハ殆ド世界各國ニ斯ウ云フ規定ハナイト思ウテ居リマス、是ハ私ノ見樣ガ足リナカッタカ或ハ調べヤウガ足リナカッタカ知レマセヌガ、斯ウ云フ規定ヲ置イタ國ハ殆ド他ニ類例ハナイト思フ、何故斯ウ云フ類例ノナイ規定ヲ置カレタノデアリマスカ、或ハ私ノ調べヤウガ足リナカッタカ知レマセヌガ、特ニ斯ウ云フ規定ヲ置カレタ本當ノ根本趣旨ヲ御尋致シマス

○安達國務大臣 是ハ勞働組合ナルモノハ産業團體、經濟團體トシテ政治團體デアリマセヌカラ、政治團體ニアラザル勞働組合ガ政治團體ノ行為ヲナスコトハ宜シクナイト云フコトカラ此條項ヲ設ケタ次第デアリマス

○松谷委員 然ラバ是ハ色々ナ組合、例ヘバ同業組合、産業組合、工産俱樂部、經濟聯盟、斯ウ云フ經濟團體、組合ガ澤山アルノデアリマスガ、其中ニモ斯ウ云フ規定ハ當然置カレナケレバナラヌノニ拘ラズ、何故置カレナカツタノデアリマスカ、特ニ此法律ノミニ限ツテ置カレタ趣旨ハドウ云フ理由デアリマスカ、其趣旨ヲ承リタイ

○安達國務大臣 勞働組合ニ付キマシテハ特ニ斯ウ云フ條項ヲ設ケマシテ、ソシテ産業團體、經濟團體トシテ進ムコトガ必要デアリマスカラ、指導精神ノ上カラ考ヘマシテモ、特ニ勞働組合法ニハ此條項ヲ設ケル必要ヲ認メタノデアリマス

○松谷委員 一向ハツキリシナイデ困ルノデアリマスガ、然ラバ政治運動ガ出來ナイト御考デアリマスカ、其點ヲ御同致シマス

○添田委員長 政治運動ノ問題ニ付テハ大分質問ガアツタノデスガ……

○松谷委員 分ツテ居リマス、速記録ガアリマスカラ——ソレデアリマスカラ御注意ナクトモ重複シタ質問ハサウシテ居ラヌ積リデス、併シ一言位觸レナケレバナリマセヌカラ、ソレヲ禁ジテ貰ツテハ困リマス、ツイ先達テモ私ノ發言ニ對シテ色々御注文ガアリマスケレドモ、モウ少シ御

手柔カニ願ヒタイ、ソレカラ這入ツテ行カナケレバ這入レナイノデス

○安達國務大臣 一時限リノ行動ハ差支ハナイケレドモ、繼續的デアリマス、政治運動、即チ政治ヲ基本トスル、團體トシテ繼續的ニ政治運動ヲスルコトハ宜シクナイカラ禁ジタノデアリマス

○松谷委員 先達テノ御答辯ノ中ニモ斯ウ云フコトガアリマス、個々ノ政治行動ハ宜シイケレドモ、一般的政治行動ハイケナイト云フヤウナ御答辯ノヤウニ承ツテ居リマスガ、今日デモサウ御考ヘデスカ

○安達國務大臣 組合員ガ個人々々ニ政治的運動ヲ爲スコトハ、是ハ自ラ政黨ノ所屬モアリマセウカラ一向差支アリマセス、併シ組合トシテ連續的ニ行動スルコトハ宜シクナイト思ヒマス

○松谷委員 然ラバ御尋ヲ致シマスガ、先達テ特ニ御尋ヲシタノデアリマスガ、第一條ノ所デ御尋ヲ致シタ場合ニ、組合ハ個々ノ政治運動、即チ吉田長官ノ言葉デ申上ゲルナラバ、斷片的行動ハ差支ナイノデアルト云フ御答辯デアリマシタガ、一般的政治運動ハイケナイ、斷片的行動ハ宜シイノデアルト云フ御答辯ヲ一條ノ場合ニ爲サツタノデアリマスガ、只今組合自身ガ政治運動ヲヤレヌト云フヤウナ御

話デアリマシタガ、其點ハ吉田社會局長官ト大分違フヤウデアリマスカラ、其點ヲモウ一應念ノ爲ニ御同致シマス

○安達國務大臣 同ジコトデアリマス、斷片的ト云フノハ即チ一時的ノコトヲ長官ハ言ツタノデアリマス、ソレカラ前ニ御話ノ工業俱樂部トカ、同業組合トカ云フヤウナモノガ、ヤハリ一時間カ政治問題ノ意見ヲ發表シテモ直グソレヲ政黨の行動トシテ取締ラナイト同様ニ、ヤハリ組合員ガ何カ政治問題ニ付テ一時的意見ヲ發表シタ時ニ、ソレヲ直グ政黨の行動トシテ取締ルヤウナコトハ私ハシナイデアラウト思ヒマス、唯繼續的ナ政黨ト同様ナ行動ヲスルコトガ宜シクナイ、斯ウ云フコトデアリマス

○松谷委員 サウスルト先程御尋シタ時ニ大臣ハ組合員ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナツテ、組合員個々ノ政治的運動ハ宜シイケレドモ、組合トシテハイケナイヤウニ承ツタノデアリマスガ、組合自身モ斷片的政治行動ハ宜シイト承ツテ宜シイノデアリマスカ

○安達國務大臣 組合員ガ個々ニ政黨ニ入ツテ運動スルコトハ差支ナイ

○松谷委員 組合ガ政治運動或ハ組合ノ名ニ於テ請願ヲスルトカ、或ハ政治的行動ヲ執ルヤウナ意見ヲ發表スルヤウナ場合ガアルノデアリマス

○吉田政府委員 内務大臣ガ只今言ハレマシタノハ、組合員ガ個人トシテ政治行動ヲスルト云フコトハ、ソレハ組合ニ屬シテ居ツテモ仕方ナイノデ、ソレハ其人個人ノ自由デアルト、斯ウ云フ意味デ御話ヲサレテ居ルノデアリマス、組合ノ方ハ先般來カラ御説明ヲ申上ゲテ居リマシヤウニ、組合ハ事業ノ目的ガ第一條ニ依ツテ限定ヲセラレテ居ルノデアリマスカラ其目的ヲ達スル爲ニ其目的ヲ達スル手段トシテ個々ノ場合斷片的ニ政治的行動ヲ致シマシテモ、ソレハ組合ノ目的ヲ達スル一ツノ手段トシカ考ヘラレマセヌカラ、ソレハ認メラレマスケレドモ、根本ニ政治目的トシテ活動スルト云フコトハ、ソレハ組合ノ目的トシテ認メラレテ居ル範圍外ノコトデアリ、連續的ニ政治的行動ヲスルト云フコトデアリマシタナラバ、政治自體ヲ目的トシテ居ルモノト見ラレルノデアリマスカラ、連續的ナモノハイケマセヌ、斯様ニ差別ヲシテ申上ゲテ居ルノデアリマス、其組合ニ屬スル人々ト雖モ、政治的活動ヲ何等奪ハレルノデハアリマセヌ、ソレカラ第十二條モ關聯シテ申上ゲテ置イタ方ガ御分リ易イト思ヒマス、十二條モ亦組合ガ費用ヲ徵收スルコトガ出來ナイ、組合ガ費用ヲ支出スルコトガ出來ナイト云フコトヲキメテ居ルノデアリマス

○松谷委員 私ノ先程カラ申上ゲタ組合自體ノ政治運動ハ

連續シテ居ル積リデスカラ、其積リデ……先程カラ政治ハ結局目的デアル一般的目的デアルト頻ニ政治ノ目的々々ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナルノデアリマスガ、私共トシテハ政治ハ手段ダト考ヘテ居リマス、例ヘバ財政ノ問題ニ付キマシテモ、經濟ノ目的ヲ達スル爲ニ政治行動ヲ執ル、外交モソレハ手段デアル、例ヘバ國際關係ニ對シテ國家ノ利益ヲ圖ル爲ニ行動ヲスル、ソレハ一ツノ外交ト云フ政治手段、軍政ニ付テモ然リ、先程カラ政治ノ目的トスルノト云フ御言葉ガアリマシタガ、少クトモ政治ノ目的トスル團體ナルモノハ私ハナカラウト思フ、ソレハ或ル目的ヲ達スル爲ノ手段デアル、組合ナドニ付テモ他ノ一般的政治運動ヲ爲スニアラズシテ、組合ノ目的ヲ達スル爲ノ詰リ其組合ノ目的ヲ達スル爲ノ手段トシテ政治運動ガ爲シ得ルコト、考ヘテ居ルノデアリマスガ、其點ハ如何御考ヘデアリマスカ

○吉田政府委員 政治ハ目的デアル手段デアルト云フヤウナ點ニ觸レテ御説明申シテ居ルノデハナイノデアリマス、併ナガラ政治ノ目的トスル團體ト云フモノガ有リ得ナイト云フコトハナイト私共考ヘマス、政治ノ目的トスル團體、政治結社ノ如キハ政治ノ目的トシテ大勢ガ團結スルノデアリマスカラ、手段目的ト云フコトヲ色々考ヘルナラバ、ソ

レハ一ツノ手段ダト云フ説明モ言ヘルカモ知レマセヌガ、政治結社ガ政治ノ目的ニシテ團結シテ居ルト云フコトヲ申シテ一向差支ナイト思ヒマス、左様ナ意味ノ政治ト云フモノヲ取扱ツテハナラナイ、勞働組合ニ與ヘラレテ居ル目的ハ、勞働條件ノ維持改善及ビ組合員ノ共濟、修養其他ノ共同利益ノ保護増進ヲスルト云フノガ目的ニナツテ居リマス、其他ニ合セテ又政治ト云フモノヲ目的ニスルト云フコトハ第一條ニ認メラレテ居ラナイノデアリマス、隨テ其他ニ認メラレテ居リマスル目的ト云フモノヲ達スル手段トシテ、政治的行動ヲスルト云フコトハ宜シイ、個々ニ於テ政治的行動ヲスルトハ宜シイ、併ナガラ政治自體ノ目的トスルガ如ク之ニ合セテ、竝ニ政治ノ向上ヲ目的トスルト云フ風ニナツテハイケナイト申シテ居ルノデアリマス、政治目的デアルカ手段デアルカ、サウ云フ議論ニ觸レテ申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス

○守屋委員 議事進行ニ付テ私ハ自分ノ願ニナツテ居リマシタノヲ大臣ガ御見エニナラナイノデ留保シテ居ルノデアリマスガ折角大臣ガ御見エニナリマシテモ又私ノ質問ハ出來ヌカモ知レマセヌカラ、今松谷君ニ發言ヲ許シテ居リマスガ、成ベク速ニ要領ヲ盡シテ戴イテ、私ノ方ハ直グ願ヒマス

○猪野毛委員 松谷君ノ御尋ニ關聯シテ御尋致シタイ、只今突然ニ考付イタノデアリマスルガ、此十二條ニ是々ノ選舉ヲヤル場合ニ當ツテ組合カラ運動費ヲ支出スル、又費用ニ充テル爲ニ組合員カラ金錢ヲ徵收スルコトガ出來ヌト云フヤウナ規定ガアリマスルガ、此金錢ノコトバカリヲ茲ニ規定シテ、努力ノコトノ規定ノナイノハドウ云フ譯デアリマセウカ、苟モ選舉行動ト云フモノハ金錢ト努力ト兩方相俟ツテヤルモノ、ヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、是ハ選舉ニ付テハ安達サンハ其方ノ支人デアルカラ、政府委員ニ御聞キニナラズトモ即座ニアナタハ御答辯ガ出來ルコト、思フノデス、是コソアナタノ一番御手ノモノデシヨウカラ

○安達國務大臣 金錢ダケデ宜シイト考ヘマス

○猪野毛委員 其金錢ダケニ止メテアル理由ガ何處ニアルノデスカ

○安達國務大臣 選舉ニ注意スベキモノハ金錢デス、弊害ノ起ルノモ金錢デス、金錢ヲ除イテ他ニ何ガアリマセウカ、ソレハ何ト云ツテモ選舉運動ノ費用ヲ組合カラ出サナイヤウニスルト云フコトデ、私ハ是デ十分思ヒマス

○猪野毛委員 洵ニ是ハオカシナ話デ、費用ダケデハイカナイ、努力ト云フモノガナクチャイケナイノデス、努力ナ

ルモノハ金ニ依ツテ來ル所ノ努力モアリマスルケレドモ、金ニ依ラズシテ來ル所ノ努力モアル、斯ウ云フ場合ニ於テ金ダケヲ認メテ努力ヲ認メヌト云フノハ、アナタハマルキリ唯物萬能論ノヤウナコトヲ仰シヤルノデスガ、是ハ頗ルオカシイト思フノデスガ、モウ一應御聞キシタイ

○安達國務大臣 決シテオカシイコトモ何ニモナイ、私ハ金錢ダケノ費用ヲ支出シ、選舉ノ費用ニ充テル爲ニ徵收スルコトヲ得ズト云フコトガ、最モ穩當ナコト、考ヘテ居リマス

○猪野毛委員 是ハ即チ政治運動ノ禁止ノ意味ダラウト思フノデスガ、政治運動ノ禁止ニ當ツテ金ノ方ヲ禁止スルト云フコトモ無論禁止ノ重要ナル要綱ニハ違ヒアリマセヌ、ケレドモ努力ヲ禁止シナイノハ是ハ片手落デハアリマセヌカ、金ト努力ト雙方ハ是ハ車ノ兩輪ノ如キモノデス、選舉運動ニ當ツテ政治行動ヲ爲ス上ニ於テ金錢ノミヲ取縮ツテ努力提供等ノ行動ヲ取縮ラヌ、斯ウ云フコトハ非常ナ手落ノヤウニ考ヘマスルガ、如何デアリマセウカ

○安達國務大臣 何等手落トハ考ヘマセヌ

○猪野毛委員 唯手落デナイダケデイケマセヌ、何故ニ手落デナイカラ言ハナクテ、單ニブツキラ棒ニ手落トハ考ヘマセヌト云フダケデハ承服出來マセヌ、モウ少シ説明ヲシ

ナクチャ私ハ承服ハムツカシイノデス
○安達國務大臣 實際ドウ云フ場合デスカ、勞力ヲ繼續的ニサウ云フ組合ガ爲シタラバ、ソレハ第一條ノ精神ニモ反スルカライケナイ、アナタノ言ハルルノハドウ云フ時ニ當嵌リマスカ

○猪野毛委員 繼續的デアラウガ斷片的デアラウガ、兎モ角金錢ノミヲ玆ニ規定シテ勞力ノ規定ノナイノハ如何カ、斯ウ云フノデス、一時的デアラウト、連續的デアラウト、ソレヲ私ハ言ウノデハナイ、金錢ダケニ依ツテ目的ガ達セラル、ノナラ宜イケレドモ、勞力ト金錢ハ兩方トモ必ズ起ツテ來ル所ノ問題ダ、然ルニ勞力ヲ無視シテ金錢ダケヲ見ラレテ、玆ニ規定シタ政府當局ノ立案意思ガ分ラナイ

○安達國務大臣 弊害ハ此金錢ニアリマスカラ、ソレデ金錢ノ支出ヲ取縮ツタ次第デアリマス

○猪野毛委員 サウスルト勞力ノ弊害ハ見ナイノデスカ、金バカリヲ認メテ勞力ノ弊害ヲ見ナイノデスカ

○安達國務大臣 勞力ニドウ云フ弊害ガアリマスカ

○猪野毛委員 ドウ云フ弊害ナドト云フコトハナイデヤアリマセヌカ、選舉運動ナリ政治行動ヲ爲スニ當ツテハ、金錢バカリデハナイ、勞力ガ非常ニ與ツテ力ガアル、然ルニ金ノ方バカリヲ禁ジテ勞力ヲ禁ジナイノハドウ云フ譯カト

云フノデス、コレダケハ即座ニ御分リニナルダラウト思ヒマスガ、アナタノヤウナ選舉通ハ過去何十年間ノ體驗デ能ク御分リニナルデアラウト思フノデス

○安達國務大臣 組合ガ組合トシテ勞力ヲ提供スルト云フコトハドシナコトデアリマスカ、是ハサウ云フコトハ選舉ノ實際ニ於テハナカラウト考ヘマス、金錢ダケヲ取縮ルコトデ十分ト考ヘマス

○猪野毛委員 選舉ニ當ツテ勞力ト云フモノハ非常ナ働キヲ爲スモノデス、組合トシテモヤハリサウデアアル、金ガ足ラナケレバ勞力ヲ以テ提供スルト云フコトハ出來得ルノデス、政治行動ヲ爲スニ於テ斷片的デモ繼續的デモ——繼續的ノ時ニハ勞力ハ之ヲ禁止シマセヌカ、如何デアリマス

○安達國務大臣 個人ノコトデスカ

○猪野毛委員 個人ノコトハ選舉デモ出來ルノダカラ、アナタガ仰シヤルマデモナイ、私ノ論ズルノハ組合トシテデス、選舉運動ニ當ツテ此處ニ書イテアル條文通り私ハ言フノデス、選舉運動ヲ爲スニ當ツテ、金錢ノミヲ禁ジテ其勞力ノ方ヲ禁ジナイノハドウ云フ譯ダ、斯ウ云フノデス組合ガ金錢ヲ使フノガ悪イノナラバ勞力ヲ使フノモ惡イト思ヒマス

○安達國務大臣 當局ハサウ云フ制裁ヲ設ケル必要ハナイト考ヘテ居リマスカラ、金錢ダケニシテアリマス
○猪野毛委員 勞力ハ取締ル必要ガナイトサツキカラ仰シヤルガ、何方故ニ勞力ガナイノカト承リタイ働キノ上ニ於テハ金錢ノ働キト勞力ノ働キト云フモノハ組合等ニ於キマシテハ寧ろ勞力ノ働キガ多ク力ガ勝ツテ居ルカモ分ラヌ、組合ノヤウナ筋肉ノ働キノ方ニ特長ヲ持ツテ居ル者ハ、金ノ方ニ於テハ至ツテ貧弱ト言ツテハ惡イケレドモ金錢ニ於テハ筋肉ノ働キ程ハ力ガナイ、然ルニ最モ力ノナイ方ヲ禁ジテ力ノ有リ餘ツテ居ルモノニ眼ヲ著ケナカツタ意思ハ何處ニアルカト云フノデアリマス

○吉田政府委員 私カラ一寸補足シテ申上ゲテ置キマス、先カラ段々質疑ヲ承ツテ居リマスト斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、此處ニ書イデアリマス組合ノ費用ニ支出竝ニ徵收ト云フコトヲ禁止致シマスノハ、組合自體ノ活動トシテソレガ禁ゼラレテ居ルノデアリマス、御質問ノ勞力ノ關係モヤハリ組合トシテドウダト云フ御尋ダト思ヒマスガ、組合員個人トシテマナク、組合ガ選舉ニ關シテ勞力ヲ提供スルト云フノハ、ソレハヤハリ金錢ヲ要スルダカラ人デモ雇ツテ提供スルト云フ場合ニ多クナルト思フノデアリマス、然ラズシテ組合ヲ構成シテ居ル人々ガ自分ノ意思

デ行ツテ手傳ヲスルト云フヤウナコトハ、組合ガヤツタト云フノデハナクテ、銘々ノ心持ヲ以テ助ケル、斯ウ云フコトニ多クナルト思フノデアリマス、團體トシテノ組合ノ選舉ニ關スル關係ヲ規律致シマスノハ、内務大臣ノ言ハレル如クソレハ金錢ノ收支ト云フモノニ著眼ヲ致シテ居リマスレバ、ソレデ大體ニ於テ足リル、組合ガ何カ勞力ノ提供デモ組合トシテ致シタイト云フコトデアラナラバ、ヤハリ費用ヲ要スルト云フ問題ニナツテ來ルノデアリマスカラ、隨テ費用又ハ勞力ト云フ風ニ竝ベテ書ク必要ハナイ、費用ノコトヲ書イテ置ケバ十分ダト云フ意味ニ於テ先程カラ内務大臣ハ御答ニナツテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 非常ニオカシナ話デス、勞力ヲ提供スルノニ組合ガ強チ金ガ要ルトハ限リハセヌ、組合ノ勞力ハ御手ノモノデアリマス、組合運動ナリ政治行動ニ勞力ヲ提供スルト云フコトハ、必ズ金ヲ出サナクとも御手打ちノ勞力デ即チ手料理デ之ヲ提供スルコトガ出來ルノデアリマス、シテ見レバ此勞力ハ金錢ニ對抗シ得ルノデアアル、然ルニ金錢ダケヲ禁ジテ之ヲ禁ジナイト云フコトハオカシイデアアリマセヌカ、アナタ方ハ人足ヲ雇フト云フヤウナ場合ダケヲ考ヘラレテ、金ヲヤラナケレバ勞力ト云フモノハ得ラレヌモノト御考ノヤウデアリマスケレドモ、斯ウ云フ組合ナド

ノ努力ト云フモノハ選舉トカ政治運動ニ付テハ非常ニ義侠心ヲ發揮シテ、組合モ又組合員モ努力ヲ無代デ以テ提供スルコトガ幾ラデモアリ得ル、ソレハ勞働運動ニ携ツタ人間ハ皆能ク存ジテ居ル、又彼等ノ強イ所モソコナラズ資本團體ガ政治運動ヲヤルニハ金ガナケレバ出來ルモノデハナイ、ケレドモ勞働組合ガ政治運動ヲヤル時ニ於テハ、金ヲ出サズトモ彼等ハ御手料理ノ詰リ努力ヲ持ツテ來テ呉レル所ニ彼等ノ偉大ナ所ガアルノデアリマス、而シテ無産黨ノ代議士ナドハ選舉ヲスルニ當リ、既成政黨ノ或ル代議士等ガ五萬、十萬ノ金ガ要ル時ニ、一萬圓足ラズデ行ケルト云フ所以ハ此處ニアルノデアリマス、是ハ非常ニ重要ナ點ダト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 丁度御話ノヤウナ場合、組合員ガ行ツテ手辯當デ手傳フト云フヤウナコトハ組合ガヤツテ居ルノデハナクテ、其人々ガヤツテ居ルト云フコトニナルノデアリマス、組合ガヤツテ居ルノデハナイカト云フコトデアリマスガ、若シ人々ガ銘々所謂自發的ニ義侠的ニ行ツテ手傳フト云フコトデアリマスレバ、ソレハヤレルコトナノデアリマスカラ、今御話ノヤウナ趣旨ヲ達スル爲ニハ組合員ハ選舉運動ニ關與シテハナラヌト云フ規定ヲ置キマセスト、御話ノヤウナ場合ニ十分ニ取締ヲスルト云フ譯ニ行キマセ

ヌ、ソレハ行過ギデアル、組合ガ組合トシテ金錢ヲ徵收スル、又組合ガ組合トシテ金錢ヲ支出スルト云フ場合ニナツテ置キマスレバ、必要ナダケノ取締ヲスルコトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ考ナノデアリマス

○松谷委員 關聯シテ一寸伺ヒマス、只今大臣及ビ政府委員ノ御話ニ依ルト、組合トシテ選舉運動ハヤレナイ、ソレハ個人デヤル、斯ウ云フ御答辯デアリマスケレドモ、ソレハ組合ノ實際ヲ御承知ノナイ御議論デアリマス、組合デ決議ヲシテ個人ニ召集狀ヲ發シテ、サウシテ選舉運動ヲヤル、個人個人デハ縁モ由縁モナイ者ガ組合ガ命令ヲシテ、サウシテ誰某ヲ應援セヨト指令ヲ發スルノガ、今日ノ實情デアリマス、ソレデアリマスカラシテ斯ノ如キ場合ニ於テ選舉ノ費用ニ付テ禁止ヲシテ、組合自身ノ選舉運動ニ付テ禁ゼラレナイト云フ片手落、跋ナコトヲ爲サレルノハドウ云フ譯カ、斯ウ云フコトヲ御尋スルノデアリマス、其點ヲ御答辯ヲ願ヒマス

○吉田政府委員 松谷君ノ御尋デゴザイマスガ、ソレハ前ニモ申上ゲマシタ通りニ、十二條ニ關係スル以外ハ第一條デ判斷ヲスルノデアリマス、第十二條ハ今ノ御尋ノ通りニ費用ダケニ限定シタ條文ナノデアリマス、費用以外選舉ニ關係ノアリマスコトハ、ヤハリ第一條ノ目的ノ範圍内デア

ルカドウカト云フコトニ依ツテ判斷セラレルノデアリマス、組合ノ目的ヲ達スル爲ニ或ル候補者ニ一時的ニ應援ヲスルト云フヤウナコトハ、此法ノ禁止スル所デハナイノデアリマス、選舉運動ニ費用ヲ出シマスコトハ、ソレハ一時的デアリマシテモ、繼續的デアリマシテモ、十二條ニ依ツテ明カニ禁止セラレテ居ルノデアリマスケレドモ、全般ノ政治運動或ハ選舉運動ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、一條ノ目的ノ範圍内デアアルカ範圍外デアアルカト云フコトニ依リマシテ辨別スルノデアリマス、是ハ先般來カラ御説明申上ゲテ居ル通りノ次第デアリマス

○松谷委員 此選舉運動ニ關シ費用ヲ支出シ云々トアリマスガ、先ヅソレヲ御尋致シマス

○吉田政府委員 選舉運動デアリマシテモ第十二條ノ規定ニ觸レザル限りハ第一條ノ事項ノ目的ニ達スル範圍内ニ於テ出來ルノデアリマス

○松谷委員 分リマシタ、ソレダカラ御尋シテ居ルノデアリマス、私共ハ選舉ノ費用ハ支出シテ宜イト云フ意見ヲ持ツテ居ル、隨テ選舉運動自身ガ出來ルニ拘ラズ、費用ダケヲ何故禁止スルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○吉田政府委員 選舉運動ニ關スル費用ヲ徵收スル、又選舉運動ニ關スル費用ヲ支出スルト云フコトハ、是ハ組合ト

致シマシテ選舉ニ關シテ金ヲ徵收シ選舉ニ關シテノ金ヲ支出スルト云フコトハ組合ノ目的カラ考ヘマシテ遠イ事項デアルト云フノデ、費用ノ點ニ關シマシテハ一時的タルト繼續的タルトヲ問ハズ、茲ニ禁止規定ヲ置イタノデアリマス、其動機ト申シマスカ趣意ト申シマスカ、遡ツテ言ヒマスレバ、ヤハリ内務大臣モ言ハレマシタ通りニ、組合ハ政治團體ニアラズシテ經濟團體デアルト云フ點ニ基イテ是ハ出來テ居ルノデアリマス、併ナガラ一時的ノ場合ハ費用ヲ使ツテモ宜イ、繼續的ノ場合ハ使ツテハナラヌト云フ區別ヲ致スコトハ頗ル困難デゴザイマス、選舉運動ニ關スル費用ニ限りマシテハ、一時的タルト、繼續的タルトヲ問ハズ、十二條ニ依リマシテソレハ組合トシテハ出來ナイト云フコトニ致シタノデアリマス

○松谷委員 ソレダカラ御尋シテ居ルノデアリマス、選舉運動ガ出來ル——個々ノ選舉運動ガ出來ルニ拘ラズ、金ダケ出シテ惡イ、ソレハ一條ノ目的ニ反スト云フガ、一條デ選舉運動ガ出來ル以上ハ、ソレニ要スル費用ヲ出スノハ當然デハゴザイマセヌカ、選舉運動等ニ費用ヲ出スノハ、内務大臣ノ仰シヤツタヤウニ弊害ガアルカラシテ、是ハ禁止シタ方宜イト云フ御議論ナラバ、其ノ方ノ御議論ヲ承リタイノデス、一條ノ目的ノ範圍外ノ金ヲ出スノハ一條ノ

目的ノ範圍外デアルト云フヤウナ矛盾ノ答辯ヲサヌト思ヒマスガ、其點ニ付テ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 組合ノ金ヲ、先ニ組合ニハ金ガナイト云フ御話ガアリマシタガ、將來組合ガ發達シテ此組合ニ基金、積金ガ出來タ時、ソレヲ選舉費用ニ使フヤウナコトハ全ク宜シクナイ、ソレデ組合ノ基金ナリ積金ナリヲ支出スルト云フヤウナコトハ、是ハ堅ク今日カラ取締ル必要ガアルカラ、金錢ノ支出ハ茲ニ禁止シタ次第デアリマス

○松谷委員 ソレガ甚ダ私共ノ意ニ解セヌ所デ、結局是ハ無産黨墮落ノ規定デアリマス、キツカリ私ハ言ツテ置ク、恐ラクサウ云フコトヲ言フナラバ、總テノ産業團體カラシテ隨分選舉費用ガ出テ居ル無産黨ノ如キハ組合カラ金ヲ出シテモ一々組合ノ帳簿ニ何千圓出シタ、何百圓出シタト書イテアル、私共モ組合カラ相當寄附ヲ貰ツテ運動ヲ致シマシタガ、キチント明確ニシテ居ル、私共ノ選舉ノ費用ニ付テモ寄附金ハ明確ニシテ居ル、ソコデ始メテ美シイ選舉ガ行ハレルデハナイカ、既成政黨ノヤウナ經濟團體カラ金ヲ取ツテ、幾ラ取ツタカサツパリ分ラズニヤツテ居ル、サウ云フ團體、是コソ本當ニ無産政黨ヲ彈壓スルモノデアル、無産政黨ニ對シテ本當ニ綺麗ナ金、ソレヲ勞働組合ノミニ之ヲ禁ジテ、何故ニ産業組合、同業組合、或ハ工業俱

樂部、經濟聯盟トカ或ハ三井、三菱、サウ云フ所カラ金ヲ取ルヲ一向御構ナシニスルカ、然ルニモ拘ラズ吾々ノ本當ノ淨財ニ對シテ何故ニ之ヲ禁ゼラレルカ、如何ナル弊害ガ今マデ曾デアリマシタカ、其弊害ノ實例ヲ御示シ願ヒタイ

○安達國務大臣 ソレハ無産黨ノ運動資金ヲ御調達ニナルノニ、淨財ヲ御集メニナルト云フコトハ頗ル結構ナコトデアリマスガ、此勞働組合員ノ個人ガアナタ方ニ淨財ヲ提供スルト云フコトハ極ク結構デアリマスガ、併シ勞働組合トシテ今後基金ガアツテ、其基金ヲ組合ガ消費シナケレバナラヌノニ、ソレヲ選舉ノ爲ニ使ツタラ、組合ノ會計ト云フモノハ極端ニ紊亂スル、ソレハ宜シクナイ、ソレデ組合員個人ガ淨財ヲアナタ方ニ出シテ、サウシテ綺麗ナ選舉ヲセラレルコトハ大變宜シイコトデアル、決ツテ無産黨ノ墮落ナント云フコトデナイ、無産黨ハ益々其淨財ヲ使ツテ、正シイ明ルイ選舉ヲサレルコトハ希望シテ居リマス、只今組合ハ金ハナイガ、將來勞働組合ガ發達シテ基金、積金ガ出來タ時、選舉運動ニ使ツテシマフト云フコトハ宜シクナイノデ此制裁ヲ設シタノデアリマス

○松谷委員 是ハ實例ヲ申上ケテモ宜シイ、大阪ノ大屋君デアリマシタカ、二千圓カ三千圓現ニ組合ノ基金ト云フモ

ノヲ組合ノ會計カラ出シテ、茲ニ基金ト書イテアリマセヌガ、組合カラ出シテ居ル、組合ガ個人トシテノ場合ヲ私ハ聞イテ居ルノデナイ、個人々々カラ寄附金ヲ集メル、ソレハ當然ノ話デアリマス、私ハ其事ヲ聞イテ居ルノデハアリマセヌ、組合トシテ何故出セヌカ、自分等ヲ支持シテ呉レテ、自分等ノ本當ノ味方デアアル支持シテ呉ル此美シイ味方ニ對シテ、美シイ同情ヲ禁ズル必要ハ何處ニアルカ、弊害ガアルト言ハレルガ、過去ニ於テ弊害ガアルナラバ承リタイ、何處ニ弊害ガアツテ其組合ガ不純ナ金ヲ出シタカト云フ實例ヲ承リタイ、決シテ組合トシテ金ヲ出シテ悪イコトハナイ、英國ニ於テハ組合ノ中カラ現ニ全部支出シテ居ルデハアリマセヌカ、現ニ之ヲ認メテ居ルデハアリマセヌカ、ソレデアリマスカラ私ハ當然是ハ善イコトダト考ヘテ居リマス、サウシテ先ヅ現在ニ於ケル所ノ日本ノヤウニ、無産黨ガ一番困難ナノハ金デアリマス、此無産黨ノ選舉ヲ彈壓スルガ如キハ、私ハ餘程御注意ニナラナケレバイケヌ、ソレガ何處カラ出タ金カ、出所ノ不明ナ金デアリマセヌ、組合ハ組合ノ決議ニ依ツテドンドンヤツテ居リマス、斯ノ如ク皆ヤツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテサウ云フコトハ大ニ寧ろ獎勵スベキコトデアツテ禁ズベキ性質ノモノデナイト心得テ居リマス、若シ禁ズベ

キ性質ノモノデアラナラバ、何故ニ外ノ産業組合或ハ同業組合、其他工業俱樂部トカ經濟聯盟ト云フモノ、中ノモノニ對シテ、何故ニ今日之ヲ禁ゼラレナイノデアルカ、何故ニ勞働組合ノミヲ禁ゼラレタカ、其片手落ノ點ニ付テ御尋致シマス、是ガ外ノ經濟團體ニ禁止セラレテ居ルナラバ、私ハ異存ハ申シマセヌ

○吉田政府委員 外ノ目的團體デアリマシテモ、色々産業組合デアリマストカ、或ハ商工會議所デアリマストカ、是等ハ一定ノ目的ヲ持ツテ居ル團體デアリマス、ソレ等ノ團體ハソレ等ノ目的ノ範圍内デ金ヲ出スコトハ無論適法デアリマセウガ、其目的ノ範圍外ニ亙ツテ費用ヲ支出スルト云フコトハ、其目的ノ範圍ノ取決メニ反スルノデアリマスカラ、場合ニ依ツテ法令ニ違反シタモノト致シマシテ、例ヘバ産業組合ノ如キ法令ニ違反シタモノト致シマシテ、地方長官カラ相當ノ監督制限ヲ受ケルコトニナルノデアリマス、唯法令ニ左様ナ目的ヲ限ツテ居ナイ、此勞働組合ノ如キモノデナク、或ハ産業組合ノ如キモノデナク、任意ニ出來テ居ル團體デアリマスレバ、ソレ等ノモノハ色々ノ目的ニ金ヲ使ヒ得ルデアリマセウ、ソレトテモ其團體ノ自ら取決メタ目的ノ範圍外ニ金ヲ勝手ニ一存デ出スト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、場合ニ依ツテヤハリ背任デアアル

トカ、サウ云フヤウナ問題ハ起ツテ來ルノデアリマス、此
労働組合ニ於キマシテハ、御承知ノ通り第一條ニ目的ヲ定
メテ居ルノデアリマスカラ、其目的ニ反スルコトハ十二條
ガナクテモ出來ナイノデアリマス、併ナガラ十二條ハ政治
ニ關係致シマシテ、政治團體ト産業團體ヲハツキリ區別ス
ル趣意ヲ以チマシテ特ニ明文ヲ設ケタノデアリマス、外ノ
選舉ニ關シテ金ヲ使ツテハナラナイト云フ取決メガナイカ
ラ許シテナイト云フコトニハナラナイノデアリマス、現ニ
商工會議所ニ於キマシテモ、御例示ニナリマシタ産業組合
ニ於キマシテモ、法律ノ目的ヲ限定セラレテ居リマス、カ
ラ、ソレ以外ニハ金ヲ使ヒ得ナイモノト考ヘマス

○松谷委員 然ラバ労働組合ニ對シテモヤハリ目的外ニハ
金ヲ使ツテ惡イナラバ、斯ウ云フ規定ハ蛇足デナクテハイ
カスト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 ソレハ再三申上ゲル通り、選舉ト云フモ
ノハ、政治行動ノ中ノ最モ大事ナモノデアリマス、隨テ選
舉ニ付テ選舉行動ヲ労働組合ガ致ス爲ニ、政治團體ニ紛ラ
ハシクナルト云フコトハ、金ヲ其爲ニ取ルトカ、或ハ支出
スルト云フコトガ其中ノ最モ代表的ノ行動デアリマス、ソ
レデ其點ハ最モ取締ヲ要スル譯デアリマス、其趣旨ヲ明カ
ニスル爲ニ第十二條ヲ拵ヘテアルノデアリマス、決シテ無

産政黨ヲ取締ラウト云フ趣意デ出來テ居ルノデハナイノデ
アリマス、無産政黨ノ出來マスコトモ、極メテ自然ノコト
デアリマスシ、無産政黨ガ發達シ労働組合ハ第一條ニ目的
ヲ掲ゲテアリマス如クニ是ハ産業ニ關スル又經濟ニ關スル
労働者ノ團體トシテ其健全ヲ發達ヲ其領域ニ於テスルト云
フ趣旨ヲ明カニシマス爲ニ、第十二條ノ規定ガ出來テ居ル
ノデアリマス

○松谷委員 左様ナ胡麻化シノ答辯デハイケマセヌ、何故
カト云フト、商工會議所或ハ經濟聯盟、工業俱樂部、或ハ
産業組合等ニ於テ選舉ノ費用ヲ支出シタ實例ハ澤山アルト
私ハ考ヘル、若シサウ云フコトハ斷然ナイト仰シヤルナラ
バ、私ハ實例ヲ拾ツテ來テモ宜イト思フ、現ニ出シテ居
ル、然ルニ拘ラズ労働組合ノミニ之ヲ禁ズル、禁止スルナ
ラバ是等ノモノニ對シマシテモ當然禁止シナケレバナラ
ヌ、一方ダケニ禁止シナイデ、一方ダケニ禁止スル理由ハ
立チマセヌ、只今ノ答辯ダケデハハツキリ致シマセヌ、モ
ウ一遍其點ヲ御明快ニ御答辯ヲ願ヒマス

○吉田政府委員 御舉ゲニナリマシタ所ノモノハ法令ニ規
定ノナイ團體モアリマス、恰モ只今マデノ労働組合ノ如ク
ニ法令ニ規定ノナイ目的ヲ法令デ限ラレテ居ラナイ團體モ
御舉ゲニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレ等ノモノニ付

キマシテハ、ソレハ法令ノ規定上選舉ノ金ヲ出スナト云フ
コトガアリマセヌ、ソレデ私設ノ團體、任意ニ出來テ居ル
團體デ、目的ノ範圍内トスレバ、サウ云フモノガ選舉ニ關
スル金ヲ出シテ居ルモノハアルカ分リマセヌガ、法令ニ目
的ヲ限ラレ、其費用ヲ法令ニ定メラレテ居リマスモノハ、
其目的ノ範圍ニ於テ活動スベキデアルト云フコトヲ先程ハ
申上ゲタノデアリマス、同業組合ノ中ニハ色々モノガア
ルデアリマセウガ、法令デ目的ヲ限定サレテ居ルモノハ、
其法令ノ目的ノ範圍内ニ於テシカ活動出來ナイト云フノ
ハ是ハ當リ前ノコトデ、違背シテ居ルモノガアルナラバソ
レハ法令ノ違反ト云フコトニナル、ソレニ對シテ地方長官
或ハ其他ノ監督官廳ニ於テ發動シテ居ル居ラヌト云フコト
ハ第二ノ問題デアリマスガ、斯ウ斯ウ云フ仕事ヲスルノダ
ト云フコトヲ法令ノ規定デスカニサレテ居ルモノハ、其仕
事シカ出來ナイノデアリマス

○松谷委員 然ラバ私ハ御尋スルガ、此第一條ニ是ダケノ
目的ニシカ出來ヌト限定シテアリマス、其中ニ個々ノ政治
行動ヲ許ス、斯ウ云フ御意見デアアル、個々ノ政治運動ヲ
——行動ヲ許サレル以上ハ選舉ニ關シテモ——選舉ハ個々
ノ政治行動デアリマス、普通一般ノ政治行動デアリマセ
ヌ、選舉ト云フ特別ノ行動デアアルソレニ對シテ金ヲ出スナ

トアナタハ仰シヤルノデアリマスガ、此答辯ハ少シ矛盾シ
テ居リマスガ、其點ハ後トデ指摘シテモ宜シイガ、少ク
モ選舉ト云フコトハ議員ノ政治行動トハ違フ、議員ノ政治
行動ハ一般ノデアリマス、選舉ト云フ限ラレタ個々ノ政治
行動ニ對シテ金ヲ出スノハ當然デハナカラウカ、ソレデア
ルカラ私共ハ第一條ノ目的ト少シモ反シナイ、寧ロ個々ノ
行動ニ付テハ第一條ハ運動ガ出來ルト仰シヤツテ居ル以上
ハ、私ハ十二條ノ規定ハ抹殺スベキモノデアルト思フ、ソ
レカラ又別個ノ解釋デ、是ハ一般的ノ政治行動デアリ、隨
テ一條ノ中ニ選舉運動ガ出來ヌト云フ御意見ヲ採ラレルナ
ラバ、私ハ此規定ハ寧ロ要ラヌ規定デヤナイカ出來ルコト
ノ爲ニ費用ヲ出シテハイケヌ、何レニナルカ分リマセヌ、
アナタガ第一條デ選舉運動ハ出來ル、斯ウ仰シヤツテ居ル
以上ハ、運動ニ金ヲ出スノハ當然ナコトデアアリマセヌ
カ、ソレカラ又選舉運動ガ出來ヌノデアアル、隨テ金ヲ出シ
テハイケナイト云フナラバ、此規定ガナクテモ當然他ノ組
合ト同一ニナリハセヌカ、政治行動ガ出來ルガ金ダケハ使
ツチヤイカヌ、ソレモ他ニ理由ガアリマシテ、弊害ガ多イ
カライカヌト云フナラ別デアリマスケレドモ、斯ウ云フ弊
害ガアルカライケナイト云フノデ禁止セラレルナラバ別デ
デアリマスガ、然ラザル以上ハ斯ウ云フ規定ハ何レノ點カラ

言ツテモ政治運動が出来ヌト云フ御見解ヲ執ラレラバ、當然費用ヲ出シ得ベカラザルモノデア、隨テ此規定ハ要ラス、政治行動が出来ルナラバ費用ヲ出スノハ當然デア、斯ウナリハセヌカ、矛盾シタ答辯ハ成ベク避ケラレテ論理ノ一貫シタル御答辯ヲ今一應伺ヒタイ

○吉田政府委員 十二條ヲ置イテアリマス理由ハ度々申シマス通り、組合ガ此處ニ書イテアリマス議員ノ選舉ニ關シマシテ金ヲ出スコトヲ、労働組合ノ弊害トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、組合ハ選舉ニ金ヲ費フト云フ團體デナクシテ、労働條件ノ維持改善及ビ組合員ノ共済、修養其ノ他共同利益ノ保護増進ト云フコトガ組合ノ目的ナノデアリマスカラ、選舉ニ金ヲ使フノハ組合トシテ面白クナイ、斯ウ云フ理由デ出来テ居ルノデアリマス、他ニ弊害ガアルナラバト言ヒマシタガ、選舉ニ金ヲ使フコト自體ガ組合トシテノ弊害ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ汚ナイ奇麗ト云フコトニ基イテヤツテ居ルノデアリマセヌ

○松谷委員 ドウモ甚ダオカシイ話デ組合ガ金ヲ出スコト自身弊害ガアルト仰シヤルガ、何故弊害ガアルカ、労働組合ガヤハリ無産議員ト俱ニ兩翼ノ如クニ進ンデ行カナケレバナラス、一方ニ於テハ經濟的團體ヲ以テ進ンデ行ク、一方ハ政治行動ヲ執ツテ兩翼ノ如クニ進ンデ行カナケレバナ

依ツテ車ノ兩輪ノ如キ作用ヲスルカモ知レマセヌガ兩輪ハ飽マデ兩輪デアリマス、之ヲ減茶々々ニ致スト云フコトハ、一ツツノ働キノ其本來ノ使命ト云フモノヲソレダケ逸脱スルコトニナルノデアリマスカラ、組合運動ト致シマシテハ政治ニ關係セズニ、サウシテ組合員ノ福利ヲ増進スル、労働條件ノ維持改善、其ノ他ノコトヲ目的トシテ進ンデ行クト云フノガ常道デアルト考ヘテ居ル、ソレヲ政治運動トゴチャ／＼ニ致シマスコト自體ガ弊害デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、政治運動ハ政治運動トシテ發達シ、組合運動ハ組合運動トシテ發達スルコトガ是ガ双方ノ目的ガ明瞭ニナルコトデアリマシテ、其方ガ宜イト考ヘテ居リマス

○松谷委員 私ハ組合ノ目的ト無産政黨ノ目的トハ同一ダトハ必ズシモ申シタシヤアリマセヌ、全然違ヒマス、組合運動ハ所謂經濟闘争デアリ、無産政黨ハ政治闘争デアリマス、其點ハ少シモ私ハ混淆シテ居リマセヌ、隨テ何モゴチャ／＼ニスルト云フノデナイ、經濟運動「イコール」政治運動トハ考ヘテ居リマセヌ、政治運動「イコール」組合運動トハ考ヘテ居リマセヌ、此間ニ截然タル區別ノアルコトハ詰リ吉田政府委員ノ御話ノ通りデアリマスガ、ゴチャ／＼ニ決シテスルノデナイ、シツカリシタ數字ヲ示シ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十四回

ラヌ、其一方ノ爲ニ金ヲ出スノガ何處ニ弊害ガアルカ、寧ロ是ハ喜ンデ出サナケレバナラヌ、組合ノ向上ヲ圖ル爲ニモドウシテモ私ハ費用ヲ出サナケレバナラヌ、吾々ノ要求ハ現在ノ資本家階級ニ對シテ挑戦スル若クハ之ヲ倒サナケレバナラヌ、少クトモ現在ノ資本ノ構成ハイケナイト云フ説ヲ執ツテ居ル、サウ云フ爲ニ運動ヲシテ居ル、労働組合モ亦然リ、共同目的ノ爲ニ歩調ヲ揃ヘテ行ク爲ニ他ノ一方ニ費用ヲ出スコト云フコトハ、労働組合カラ言フナラバ少シモ弊害ガナイ、當然ノ話デア、資本家ノ方カラ見ルナラバ或ハ弊害デセウ、無産政黨ノ代議士ガドン／＼出テハ困ルカラ金ノ用途ヲ塞イデシマウ、是ガ所謂無産運動ノ彈壓トナル、無産運動ノ進出ト云フコトハアナタ方ハ弊害ダト言ハレル、ソレ以外ニ弊害ガアルナラバ今一應御示ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 労働組合ト無産政黨トハ全然同ジ目的ノ下ニ同ジ行動ヲスルモノダト云フ建前デ此法案ヲ立テ、ハ居リマセヌ、労働組合ハ經濟團體トシテ、政治目的トセズシテ組合員ノ福利ヲ増進スル施設デアルト考ヘテ居リマセヌガ故ニ、政治目的ト致シマスル無産政黨ト云フモノトノ間ニ混淆ヲ避ケルコトガ此労働組合ノ健全ナル發達ヲ期待スル所以デア、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレハ見様ニテ、サウシテ其中カラシテ幾分ナリヲ政治運動ノ爲ニ金ヲ出ズ、ソレハ經濟運動ヲ促進シ、助長セシメル爲ニ出スノデア、所謂モウ少シ目的ノ範圍ヲ擴メタナラバ、第一條ノ労働條件ノ維持改善及ビ組合員ノ共済修養、其他共同利益保護ノ爲ニ出スノデアリマス、兎ニ角何レニシマシテモ此目的達成ノ爲ニ出スノデアツテ決シテ、ゴチャ／＼ニスル譯デモ何デアリマセヌ、アナタハ私共ノ政治運動ト組合運動、經濟運動ト政治運動ヲゴツチャニシテ居ルヤウニ考ヘマスケレドモ、少シモゴツチャニシテ居リマセヌ、何故ニ金ヲ出シテ悪イノデア、ゴチャ／＼ニナルカト言ハレルガ、ゴチャ／＼ニシテ居ルノデアリマセヌ、ゴチャ／＼ニシナイデ何故金ガ出セナイカト云フコトヲ御尋シマス

○安達國務大臣 御質問ノ御意見ヲ聞イテ居リマス、吾々ハ産業團體、經濟團體ガ飽マデ産業團體、經濟團體トシテ發達ヲ圖ツテ行キタイ、ソレデ其所持スル所ノ積立金ナリ、基金ヲ選舉ニ使フヤウニナツタラ、ソレコソ基金ヲ使ヒ果シテシマツテ組合ノ基礎ヲ危クスルコトニナリマス、其弊害ヲ防ギタイソレデ組合ガ金ヲ出ス方ガ宜シイト云フヤウナ御話デアツタラ、ソレハ根本カラ意見ガ間違ツテ、質問ノ範圍ヲ超エテシマツテ意見ノ衝突ニナリマスカラ、

其點ハ如何トモスベカラザルコトデアアル、吾々ハ労働組合ヲ經濟團體タラシメ、産業團體タラシムルニハ、選舉ノ時ニ運動費ヲ使ツテサウシテ其組合ノ基礎ヲ薄弱ナラシメルヤウナコトヲシテハイケナイト云フコトカラシテ、ソレガ宜シト云フ御話ハ全ク根ガ違フカラ、是ハ一ツ此程度ニ於テ他ノ御方ニ御代リニナツテハ如何カト思ヒマスガ、既ニ意見ハ盡キテ居ルヤウデアリマスガ

○松谷委員 一體私共ハ斯ウ云フ法律ハ實ニ遺憾千萬デアアル、何モ斯ウ云フ法律ヲ作ツテ特ニ禁止スル必要ハナイ、政治運動ガ出来ヌト云フナラバソレデ宜シイ政治運動ニ金ヲ出シテ惡イト云フヤウナコトハ甚ダ怪シカラヌ、サウシテ外國ニ於テハドント、此費用ニ依ツテ無産政黨ガ大キクナリ、労働組合ガ大キクナツテ行ツテ居ル、此實狀ヲ見レバ結局此法律ハ無産政黨彈壓ノ私ハ最モ惡法デアアル、斯ウ云フコトガ私共ハ此組合法全部ヲ通ジテ反對セザルヲ得ナイ、又組合モ熱烈ニ反對セザルヲ得ナイ、アナタノ御話ハ組合員ノ爲ニ是ハ設ケテアルト言ハレマスケレドモ、全國組合ガ津々浦々ニ幾ツアルカ知レマセヌガ、全國ノ組合員ハ絕對ニ此規定ヲ自分ノ利益トハ考ヘテ居リマセヌ、彈壓ノ規定ダト考ヘテ居ル、政府ハ見解ノ相違ダト言ハレルガ、組合員自身ガサウ言ツテ居ル、ソレガ分ラヌデ組合員

ノ爲ダト云フガ、決シテ組合員ノ爲デナイ、是ハ無産政黨彈壓ノ法律デアルト云フコトヲ特ニ申上ゲテ置キマス、十分此點ハ再考セラレンコトヲ希望シテ此質問ダケハ打切りマス

○猪野毛委員 モウ少シデ済ム所デアリマシタガ、一寸横槍ガ入りマシテ——サウシマス、此十二條ノ規定ニ於キマシテ金錢ナラバ宜シクナイガ、是々ノ選舉ニ勞力及ビ物資ノ提供ヲ致シテモ宜イト云フコトデアリマセウカ、内務大臣ハ……

○吉田政府委員 勞力以外ノ利益ノ提供ニ付キマシテハ、是ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲ニ茲ニ斷片的ニヤリマス行爲ハ認メラレマスガ、勞力ノ提供、其外ノ利益ノ提供デアリマシテモ、政治自體ヲ目的トスルト云フ風ニ繼續ニヤツテハ行ケナイノデアリマス、ソコニナルト第一條ニ戻ツテ來ルノデアリマス

○猪野毛委員 サウシマス、勞力ノ提供ナラバ組合トシテ構ハヌト云フコトデアリマスガ

○吉田政府委員 構フ場合モアリ、構ハヌ場合モアルノデアリマス、ソレハ第一條ノ目的ノ範圍内デアルカ、ドウカト云フコトデ判斷スルモノデアリマスカラ、目的ノ範圍内デアレバ構ハナイシ、ソレ自體ヲ目的トスル場合ハ構フ

○猪野毛委員 私ガ之ヲ執拗ク問ハナケレバナラヌト云フコトハ、此労働組合ノ金錢ト労働組合ノ勞力ト云フモノハ、水ト氷ノヤウナ關係ノモノデアツテ労働組合ノ勞力ハ即座ニ變化スルノデアリマス、資本家ノ有セル資本ノ勞力トハ違フ、自ら御手盛りデ即座ニ此勞力ヲ以テ金ニ換ヘルコトガ出来ル、金ヲヤル代リニ勞力ヲヤルト云フナラバ、是ハ即座ニ間ニ合フ、間ニ合フカラ此點ハドウシテモ費用ノ禁止ヲスラバ勞力ノ禁止モ規定シナケレバナラヌ、非常ニ危険性ヲ持ツテ居ル、金錢ヲ使フコトガ危険ナラヌ、錢ニ即座ニ換ヘ得ル所ノ勞力モ御手ノモノデアリマスカラ此規定ハドウシテ必要デアラウト思ヒマス、組合即チ勞力ニナル、勞力即チ金ニナル、間髪ヲ入レズ直チニ變化出來ルモノデアリマス、然ルニ茲ニ何等ノ規定ガナイノハドウ云フ譯デス、先ノ御答辯デハマダ腑ニ落ちナイ、第一條ハ斯ウ積極的ニ斯ウ——ト云フコトヲシテハナラヌト云フコトハ書イテナイ、唯範圍ノ上ニ於テ政治行動ノ連續デハイカヌ、一時的ハ宜イト云フコトヲアナタ等ガ説明シテオイデニナルダケデアツテ、一條ノ中ニサウ云フコトハハツキリ規定シテナイ、是ハ政府ノ解釋デアリマス、然ルニ第十二條ニ行クト金錢ヲ使フコトハナラヌト云フコトヲ決メテアル、サウシタナラバ勞力モ從ツテ之ニ對立シテ、

斯ウ云フコトニ使ツテハナラヌト云フコトヲ規定シナケレバナラヌト思ヒマス、何トナレバ先ニ申シタヤウニ労働組合ニ於ケル勞力ト云フモノハモウ即座ニ金錢ニ換ヘ得ルモノデアリマス、金ノ代リニ勞力デ即座ニヤリ得ル、他ノ團體トカ、外ノ場合トハ非常ニ違フモノデアリマス、洵ニ私ハ是ハ危険ナルモノデアラウト思ヒマス、龍ヲ畫イテ目玉ガナイト云フヤウナコトハ此法文デハナイカト思ヒマス

○吉田政府委員 第一條ノハ是ハ目的ヲハツキリ限ツテアルノデアリマスカラ、目的以外ノ行爲ガ出来ナイト云フノハ解釋トシテハ明瞭ナ解釋ト思ヒマス、労働組合ハ斯ウ云フ目的團體ナノデアリマス、目的以外ノコトハ出来ナイ、ソレハ解釋デハアリマスケレドモ極メテ明カナ解釋デアルト思ヒマス、誰モソレニ對シテ異論ハナイト思ヒマス、此第十二條ニ於キマシテハ其目的ノ範圍内デアルト否トヲ問ハズ、選舉ニ關シマシテ金ヲ出シテナラヌト云フコトガ書イテアルノデアリマシテ、是ハ選舉ト云フモノヲ重ク見テ居ルト云フコトハ、ソレハ御説ノ通りデアリマス、選舉ニ金ヲ出スト云フコトナラバ目的ノ範圍ヲ逸脱スルコトニナル、選舉ヲ重ク見ルコトニナル、選舉ヲ重ク見テ限定致シマス上ニ付テハ先程内務大臣ガ言ハレル通り、其費用ヲ支出スル費用ヲ徵收スルト云フコトガ組合自體トシテノ行

動、組合員ノ團體トシテノ行動ノ上ニ付キマシテハ最モ主要ナ働キデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ代表サセテ決シテ不都合デナイ、御話ノ如ク組合員ガ全然手辨當デ何等ノ金ヲ組合カラ貰ハズニ行キマス場合ニ、ソレハ組合ノ指揮命令ト云フコトモ起リ得ルト思ヒマスガ、組合ノ指揮命令ニ基ク此場合ニハ先ヅ第一條ノ原則ニ戻ツテソレヲ判斷スレバ宜シイ、併ナガラ全然何等ノ金ヲ使ハズニ行クノハ、組合員ノ資格ト云フヨリモ行ク人自身ノ心持デ働クノデアリマス、行ク人自身ハ組合員デアリマシテモアリマセヌデモ、選舉運動ニ從事スルト云フコトニ付キマシテハソレハ、選舉法關係ノ取締ノ規定ハアリマスケレドモ、ソレ以外ニハ個人トシテ働イテナラヌト云フコトハナイノデアリマスルカラ、努力ヲ提供スルコトヲ得ズト云フヤウナ規定ヲ此處ニ置キマシテモ、此金錢ヲ支出スルコトヲ得ズト云フ規定程ノ實用ハナイノデアリマス、全然實用ガナイトハ申シマセヌケレドモ、殆ド實用ガナイノデアリマス、御話ノ點ハ議論ダケ申シマスルト御尤デアリマスルガ實際ニ效力ガナイ、選舉ニ使ハレルト云フ場合ヲ具體的ニ想像シテ御考ニナツテ見ルト、左様ナ規定ハナクテモ、此費用ヲ出シテハナラヌト云フ規定デ十分取締ノ目的ヲ達シ得ルシ、又左様ナ規定デ置イテモ中ニ其規定通りニ實行

スルト云フ上ニ於テハ、實際問題ノ上カラハ殆ド實益ヲ爲サヌノデアルト云フコトガ、能ク御分リニナルト思フノデアリマス

○猪野毛委員 ソレガ分ラナイノデス、何トナラバ金ハ出セヌケレドモ努力ハ出セルト云フコトガ出來ル、何故トナレバ、組合員ノ努力ト云フモノハ直グ金ニナル、金ヲ出シテ呉レヌカト云フ時ニ、組合デ金ヲ出スコトハ十二條ニ於テ禁ジテ居ルケレドモ、努力ヲ提供シテハナラヌト云フ規定ハナイカラ、組合トシテ努力ヲ提供スルコトハ出來ル、サウスルト金ト同一デアルマセヌカ、此場合ニ於ケル働キ價值ト云フモノハ同一デアル、即チ努力ガ金ニ變化スルト云フコトヲアナタ方ハ御考ニナツテノ話デスカ、是ハ労働組合ノ努力ト金ト云フモノハ飽クマデモ米ト水ノヤウナモノデ、即チ形ハ水デアツテモ熱ヲ加ヘバ直グ水ニナル、サウスルト金ヲ提供スルノデハナイ、多數者ノ努力ヲ提供スルノダト云フコトニナレバ金ヲ與ヘタト同様ノ働ガ出來ルノデアアル、ダカラ此法案ガ不備ナラバ此點ハ不備ダトハツキリ仰シヤツテ免脱ガレバ私ハ追及致マシセヌ

○吉田政府委員 決シテ不備デアルトハ考ヘナイノデアリマス

○守屋委員 漸ク私ノ順番ニ廻ツテ來マシタカラ、内務大臣マスカ固クナツテ之ヲ考ヘナクテモ、此意味デ明白デアリマセヌカ、之ヲ更ニ緩カニ解釋スルトカ、嚴重ニ解釋スルトカ云フヤウナコトヲ考慮シナクテモ宜カラウト思ヒマス

臣ハ暫クドウゾ其處ニ御止リヲ願ヒマシテ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、本法第一條ニ組合ノ目的ヲ限定サレマシタコトハ、是ハ今迄アリマスル労働組合ガ、或ルモノハ政治團體デアアルカノ如ク或ルモノハ思想團體デアアルカノ如ク、或ルモノハ經濟團體デアアルカノ如ク見ラレル方面ガアリマスノニ對シテ、労働組合ノ團體タル本質ヲ定メル、内務大臣カラ仰セラレル言葉ヲ伺ヒマスルト云フト、先ヅ大體經濟團體トシテ其本質ヲ決定スルカラ、此目的ヲハツキリ茲ニ限定サレタモノト承知シテ居ルノデアリマスガ、其通り承知シテ宜シウゴザイマスカ

○守屋委員 ソレハ餘程違フデアラウト考ヘマス、労働者ト云フモノニ對スル意義ノ解釋ニシテモ其通りデアリマスシ、労働條件ノ維持改善ト云フヤウナ言葉ハ如何ニモ分リ切ツテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ事實之ヲ適用致シマスル時ニ、果シテ労働條件ノ維持改善デアルカ、或ハ其以外ニナルカト云フコトハ、餘程ムズカシイ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、デスカラ私ハ其コトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、抽象論ヲ申シマシテモ如何カト存ジマスルカラ、今度ハ具體問題ニ這入ツテ申シマスガ、労働條件ノ維持改善ト云フ言葉ノ中ノ労働條件ト云フモノハ、雇傭關係ニ於ケル條件、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○安達國務大臣 宜シウゴザイマス

○安達國務大臣 雇傭關係バカリデナイト考ヘマス、其以外ニモ色々アリマセウ

○守屋委員 ソコデ此處ニ書イテアリマスル労働條件ノ維持改善ト云フコト、其他共同利益ノ保護増進ト云フ、此二大目的ガ出來タノデアリマスガ、此第一條ノ目的ト云フモノヲ大臣ハ嚴格ナ意味ニ御解釋ニナルト云フ御積リデア

○守屋委員 雇傭關係バカリデハナイ、外ニアルト云フコトハドウ云フ場合デスカ

ルカ、或ハ之ヲ緩カナ意味デ御解釋ニナラウト云フノデア

○安達國務大臣 サウ緩カトカ嚴格トカ云フヤウニ何ト申

ルカ、其適用ノ仕方ニ依リマス、此第一條ノ目的ト云フモノハ頗ル明瞭デアアルカノ如クデアツテ、實ハ不明瞭ニナル虞ガアルノデアリマス、先ヅ第一ニ其解釋ノ方針ヲ承ツテ置キタイト考ヘマス

○守屋委員 雇傭關係バカリデハナイ、外ニアルト云フコトハドウ云フ場合デスカ

○安達國務大臣 先ヅ第一ニ其解釋ノ方針ヲ承ツ

○守屋委員 雇傭關係バカリデハナイ、外ニアルト云フコトハドウ云フ場合デスカ

アリマスカラ、雇傭關係ニ於ケル労働條件デアツテ、ソレ以外ノコトハ含マレナイト、斯ウ云フヤウニナツテ來ナケレバ意味ガ分ラナクナルノデアリマス、雇傭條件以外ニ労働條件ガアルト斯ウ云フ風ニ内務大臣ガ御考ヘニナツテ居ルヤウデアリマスガ、其點カラ間違ツテ居ルヤウニ考ヘラレマスガ

○安達國務大臣 吉田政府委員カラ申上ゲマス

○吉田政府委員 茲ニ用キテ居リマスル労働條件ト云フモノ、中、一番重要ナコトハ是ハ雇傭條件デアルト考ヘマスガ、併ナガラ雇傭條件ノミガ労働條件デアルト云フ風ニ當局ハ考ヘテ立案シテ居ルノデアリナイノデ、例ヘバ就業ニ付テノ危険防止ノ設備、是ハ雇傭條件トハ申サレマス、マ、雇傭ニ關係ノアルコトデアリマスケレドモ、雇傭條件トハ明確ニハ申セマスマイ、又衛生設備デアルトカ、或ハ工場ニ於ケル福利施設、是等ノコトモ廣ク此労働ヲスルニ付テ労働者カラ考ヘテ、自分ノ條件ノ善シ惡シト云フコトデアツテ、雇傭契約ニ直接關係ノナイコトモアリ得ル積リデアリマス

○守屋委員 今申サレタノハ共同利益ノ保護ト云フ方面カラ見タ上ガ宜イノデアリナイカ、労働條件ノ維持改善ト申シマスルト吾々ガ今マデ研究シタ範圍内ニ於テ所謂雇傭關係

ツテ居ルノデアリマス

○守屋委員 サウ云フ雇傭關係ニ於ケル條件ト云フノハ雇主ト労働者ノ間ニ起ル條件デナイカ、斯ウ云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ左様ニ承知シテ宜シイナラバ、サウ云フ風ニシテ質問ヲ進メテ行キマスルガ、茲ニ申シマスル雇傭條件ハ民法上ノ雇傭條件ト考ヘマスガ如何デアリマスカ、内務大臣如何デアリマスカ

○吉田政府委員 民法上ノサウ云フ服務ノ關係ヲ對照シテ申シマスルナラバ民法的、私法的ノ關係ニ限ツテ居ル積リデアリマス

○守屋委員 隨テ公法上ノ契約、公法ニ於ケル雇傭關係ハ、茲ニ於ケル労働條件ノ意味ノ中ニ含マナイト承知シテ宜シウゴザイマスネ

○吉田政府委員 公法上ノ雇傭關係ト申シマス、官吏ノ服務、特別ノ命令服從ノ關係ヲ國法ヲ以テ律シテ居ルモノデスネ、ソレ等ハ這入りマセヌ

○守屋委員 サウスルト、官吏服務規律ニ服從スル關係ニ於テ、労働條件ガ決メラレルモノハ、目的ノ中ニ含マナイト承知シテ宜シウゴザイマスネ

○吉田政府委員 ソレハ含ミマセヌ

○守屋委員 ソコデ現在ノ労働條件ノ通義ニ於テ、内務省

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十四回

ニ於ケル労働條件ト云フコトデアアル現在ノ労働者ガ労働條件トシテ其改善維持ヲ主張シテ居ル通念ニ依ツテキメルデアツテ、今アナタノ仰シヤツタ事項ナドモ或ル意味ニ於テハ這入ル、併ナガラ今日茲ニ共同利益ノ保護増進モ入レル、修養モ入レル、共済モ入レルコトニナリマスルト労働條件ト云フモノ、本義ヲ雇傭關係ニ於ケル労働者ノ要求條件、斯ウ解釋スルノガ至當ダト考ヘルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 斯ウ云フコトハ外ノ關係ト違フノデアリマス、此労働條件ト申シマスルノハ、雇主トソレカラ雇ハレテ居ル者トノ間ノ労働ニ關スル色々ナキ條件デアリマス、ソレガ雇傭ニ直接關係ノアルモノモアリマス、只今例示致シマシタモノ、中ニ雇傭ノ條件ト看做シ難イモノモアリマス、斯ウ云フモノヲヤツテ貫ヒタイ、斯ウ云フ設備ヲシテ貫ヒタイト云フノガ、労働條件ノ維持改善、事業主ト雇ハレ人トノ間ノ關係ヲ規律スル一切ノモノヲ労働條件ト斯様ニ考ヘテ居リマス、組合員ノ共済ト申シマスルト、組合員内ノ共済デアリマシテ、ソレモ亦場合ニ依ツテ事業主ガ關與スルコトデアリマスガ、組合員ノ共済ヲ見テ修養モサウデアリマス、ソレヲ労働條件トキメルコトモアルノデアリマス、労働條件ト申セバ専ラ雇主ト雇ハレ人トノ關係ヲ云

ガ執ラレル考トシテ、現ニ労働條件ノ維持改善トシテ、労働者ト雇主トノ間ニ常ニ問題ニナツテ居ル事項トシテ二三ノ例ヲ御擧ゲニナリマシタ、例ヘバ八時間労働制ノ如キ、其ノ他ノモノヲ具體的ニ列擧シテ載キマシテハ、大體労働條件ノ通念ノ中ニ出テ來ルモノハ何物デアアルカト云フコトヲ記録ニ殘シテ置キタイ

○吉田政府委員 重要ナルモノト致シマシテハ、所謂狭イ意味ノ雇傭條件トシテ賃銀ノ問題、労働時間ノ問題、其他解雇ニ關スル豫告期間或ハ解雇ニ關シテ、日本デ多ク行ハレテ居ル手當或ハ休業手當或ハ賃銀カラ積當テ貯金デアルトカ、其他服務上ノ色々ノ制限規則デアアルガ、其他ニ雇傭主ノ施ス安全施設、衛生施設、福利施設ト云フガ如キモノガ代表的ニ數ヘラレルト思ヒマス、尙ホ其他ニモアリマセウガ、是ガ主ナルモノデアリマス

○守屋委員 大體諒承致シマシタ、其他婦人兒童ノ労働制限ノ問題、夜業禁止ノ問題、有毒作業禁止ノ問題、ソレ等モ含ムト見テ宜シウゴザイマスカ

○吉田政府委員 其通りデアリマス

○守屋委員 其他解雇手當、恩給制、年金制モ、ヤハリ同様ニ見テ宜シウゴザイマスカ

○吉田政府委員 其通りデアリマス

○守屋委員 其他健康保險ニ關スル問題、社會保險ニ關スル問題、サウ云フコトニ付テモ、雇傭條件ト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○吉田政府委員 左様デアリマス

○守屋委員 ソレ以外ニアリマスカ

○吉田政府委員 マダ他ニモ數ヘレバアルカモ知レマセヌガ、私モ數多ク申上ゲマシタケレドモ、其上ニ更ニ附ケ足シテ色々仰セニナリマシタカラ、大抵網羅シテ居ルト思ヒマス

○守屋委員 サウスルト大體雇傭條件ノ通念ガ之ニ依ツテ分ツテ居リマスガ、是ハ國際労働會議ニ於キマシテモ常ニ論議サレテ居ル問題デアリマシテ、所謂労働條件ノ内容ハドウナルカト云フコトハ、社會情勢ニ依ツテ違ツテ來ルト思ヒマスガ、現在ニ於テハサウ云フモノヲ包含スルト思ヒマス、隨テ第一條ノ適用ヲ爲ス時ニ於キマシテハ或ル團體ガ労働條件ノ維持改善ヲ目的トシテ居ル團體デアルト云フコトヲ決定サレル場合、此間内務大臣ハ、附則ノ規定ヲ適用スル場合ニ於キマシテモ、第一條ノ條規ニ當嵌メルト言ハレマシタ、此第一條ノ條規ニ當嵌メルト云フコトハ、労働條件ノ維持改善ト云フコトガ目的デアアルカドウカト云フコトニ當嵌メラレルモノト思ヒマス、隨テ其團體ガ労働條

件ノ維持改善ヲ目的トシテ居ルカヲ判定スルニ方ツテハ、今茲ニ私ガ申上ゲ、又社會局長官カラ補充サレタ各種ノ要素ヲ參酌シテ御決メニナルモノデアラウト考ヘマヌルガ、サウ承知シテ宜シウゴザイマセウカ

○吉田政府委員 宜シウゴザイマス

○守屋委員 労働組合ノ組織運動ヲ擴張スルト云フコトヲ組合ガ其目的ノ中ニ掲ゲテアル場合ハ、之ヲ以テ労働條件ノ維持改善デアルトナサimasカ

○吉田政府委員 労働組合ナルモノガ只今ノ労働條件維持改善ヲ目的トスル組合デアリマス以上ハ、其組合ノ組織ヲ擴張スルト云フコトハ、取りモ直サズ労働條件ノ維持改善ノ擴張ニナリマスルノデ、是ハ組合ノ目的ノ範圍内デアルト考ヘマス

○守屋委員 如何ナル手段方法デヤツテモ構ハナイノデスカ

○吉田政府委員 手段方法ガ不法デアリマスレバ、ソレハ又他ニ國法ノ取締ヲ受ケネバナリマセヌ、是ハ單ニ組合擴張ノ場合ノミナラズ、一ツノ労働條件ノ維持改善、只今御列舉ニナリマシタルガ如キ場合ニ於テモ、其獲得ノ手段ガ不法不當デアルト云フコトデアレバ、ソレハ許スベカラザルコトデアルト考ヘル

○守屋委員「メーデー」ニ於ケル全國的休業ト云フコトヲ組合ノ目的ニ掲ゲル場合ハ……

○吉田政府委員 ソレハ時トシテハ不法トナリ得ルカモ知レマセヌガ、「メーデー」ニ於テハ休ミニシテ貰ヒタイト云フ希望ヲ現スダケノ意味デアリマシタナラバ、不法トハ言ヒ難イノデアリマス、祭日ニ休ムト同意意味デアアル、ソレヲ一ツノ所謂労働條件ノ維持改善、一ツノ休日ノ問題トシテ論ズルナラバ、ソレガ故ニ不法ト云フコトハ出來ナイト思ヒマスガ、唯實行ノ手段等ニ於キマシテ公益ヲ害スルトカ、安寧秩序ニ害ガアルト云フヤウナ働キノ上カラ申シマシタナラバ、ソレヲ實行スル上ニ於テ不法デアリ不當デアルト云フコトモ有リ得ルト思ヒマス

○守屋委員 不法不當ノコトヲ私ハ承ツテ居ルノデアアリマセヌ、先程組合組織運動ト云フモノガ目的トシテ是認サレルト云フコトヲ申シマシタカラ、其際ニハ其目的ヲ達スル手段方法ノ不適法デアツタ場合ニモ御認ニナルカト云フコトヲ承ツテ居ツタノデアリマスガ、「メーデー」ノ場合全國的ニ労働者ガ休業スルト云フ運動、ソレヲ第一條ノ労働條件ノ維持改善ト云フコトニ御認ニナル、サウ云フコトヲ目的トスルモノハ第一條ニ合致スルカト云フコトヲ承ツタノデアリマスガ、是ハ合致スルト云フヤウニ廣義ニ解釋ス

ル意味ダト認メテ宜シウゴザイマスカ

○吉田政府委員 宜シウゴザイマス

○守屋委員 次ニハ労働組合ノ全國的協力、各種ノ労働組合ガ經濟行動ヲスル場合、全國的ニ協同スルト云フコトヲ組合ノ目的ニ掲ゲタ時、ソレハヤハリ労働條件ノ維持改善トシテ御認ニナリマスカ

○吉田政府委員 其事自體トシテハ差支ナイヤウニ考ヘマス

○守屋委員 ソレカラ更ニ進ンデ參リマシテ、無産階級運動防遏法令ノ撤廢ト云フコトヲ組合ノ目的ノ中ニ掲ゲテ居ル場合ハ如何デスカ

○吉田政府委員 ソレハ労働條件ノ維持改善ト云フコトデアリマスマイカモ知レマセヌケレドモ、其他ノ共同利益ノ保護増進ト云フモノ、中ニハ這入ラウト思フノデアリマス

○守屋委員 労働條件ノ維持改善ヲ目的トスルモノデナイト云フヤウニ御答ノヤウデアリマスガ、其點ハ大體ニ於テサウデス、サウスルト例ヘバ治安維持法ノ撤廢治安警察法ノ撤廢、労働爭議調停法ノ撤廢、暴力行爲取締令ノ撤廢、行政執行法ノ撤廢、警察犯處罰令ノ撤廢、刑法其他労働運動關係法規ノ撤廢、盜犯防止法ノ撤廢、違警罪即決令ノ撤

廢ト云フモノモ勞働條件ノ維持改善デハナイガ、共同利益ノ増進ニ關スルモノトシテ、組合法第一條ノ目的ノ中ニ這入ツテ來ルト考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○吉田政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス

○守屋委員 是ハ能ク御調ベニナツタ方宜カラウト思ヒマス、私ハ進ンデ政府委員ニ伺ツテ後デ結論ヲ申上ゲマスカ、ソレナラバ勞働者ノ政黨加入ノ自由並ニ選舉權行使ノ絶對自由獲得、是ハ共同利益ノ保護増進ト御認ニナリマスカ

○吉田政府委員 ソレ等ハ勞働者ノ共同利益ノ保護増進ト云フ範圍カラ外ニ出ルヤウニ考ヘマス

○守屋委員 勞働組合戰線ノ統一、斯ウ云フ目的ハ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 戰線ト云フ意味デアリマスカ、多クノ場合經濟上ノ利益ヲ擁護スルト云フ意味ニ用ヒラレテ居ルヤウデアリマスカ、サウ云フコトナラバ共同利益ノ保護増進、勞働條件ノ維持改善ト云フ範圍内ニ屬スルコト、考ヘマス、唯其取扱方ノ違法不當ト云フコトハ又問題ガ別ニ伴ツテ居ルト思ヒマス

○守屋委員 無産階級政治戰線ノ統一ト云フコトハドウデスカ

ネルト思ヒマス

○守屋委員 是ハ此間内務大臣ガ第一條ノ規準ニ依ツテ附則ノ項ニ關スル組合ヲ律スルト仰シヤイマシタ、ソレデ内務大臣ハドウ云フ組合ヲ御入レニナツタ、ドウ云フ組合ヲ許可サレルノカソレガ私共第三者カラ考ヘマスト少シモ分ラナイ、一體ドンナモノヲ入レラレルノカ不明デアリマスカ、ソコデ私ハ一ツノ例トシテ此問題ヲ出シタノデアリマス、ソレハ前ニモ本法案ノ提案ヲナサレル場合ニ餘程慎重ニ考慮サレタコトデアラウト考ヘマス、今政府委員ガ仰シヤルヤウニ慎重ニ考慮サレナケレバナラヌモノデアアル、私ハ政府ニ御注意申上ゲマスケレドモ、今申上ゲタ大部分ハ、大體ニ於テ政治行動デアアル政治結社トシテ其目的ヲ達スルノガ至當ナモノデアアル、ソレハ無産政黨ガ全力ヲ盡シテヤレバ宜シイコトデアアル、サウ云フヤウナモノガ所謂勞働條件ノ維持改善、或ハ共同利益ノ保護増進トシテ、是ヲ組合ノ目的トシテ認メルト云フコトニナレバ、所謂勞働組合ノ本質ヲ明確ニシテ、是ハ修養團體デアアル、是ハ共同利益ノ保護團體デアアル、是ハ經濟團體デアアルト云フ、其基礎的精神ガ曖昧ニナルコトヲ恐レルノデアリマス、ソレデ能ク調べルト云フコトデアリマスカ、ソレ等ハ私ハ是レ以上御追及ヲ申上ゲマセヌガ、是ハ是非慎重ニ御考ニナリマ

○吉田政府委員 政治戰線統一ト云フコトニナルト、ソレハ經濟行爲ト云フヨリハ、政治行爲自體ヲ目的トスルモノニ這入ルト思ヒマス

○守屋委員 植民地勞働者ノ差別待遇撤廢ト云フコトヲ目的トシテアツタラドウデスカ

○吉田政府委員 ソレ等ノ一々ニ付テ私ガ此處デ一々御即答申上ゲルト云フコトハ、例トシテ御聽キニナツタノデスカ、カラ構ハナイヤウナモノデアリマスカ、ソレヲ速記ニ留メテ政府ノ確定的ノ解釋ダト言ハレマスト、一々御即答申上ゲテ是ハ這入ル這入ラヌト云フコトヲ決メテ置クノハ輕率ナヤウニモ考ヘマス、例トシテ例ヘバト云フコトデ御聽キ始メニナリマシタカラ、御答ヲ始メタノデアリマスケレドモサウ色々追及シテ來ラレマスト、ソレハヤハリ法律ヲ現在ノ組合ニ對シテ適用スル場合ニ、又現在ノ組合ニ於テ只今御例示ナリマシタ項目ヲ掲ゲテ居ルモノモアルノデアリマスカ、ソレニ對シテ良イ惡イト云フ確定的ノ政府ノ見解ヲ申述ルト云フコト、只今此處デ一々御即答致シマシテ其點ヲ明カニシテ置クト云フコトハ、少シク差控ヘテ置キタイト存ジマス、觀念ヲ申上ゲル分ニハ差支アリマセヌガ、具體的ニサウ云フ字句ヲ御擧ゲニナリマシテ、是ハ這入ルカ這入ラヌカト仰シヤラレルト、一々ハ御即答ナリ兼

シテ、目的ニ入ルカ入ラヌカ御考ヲ願ヒタイ、内務大臣ハ緩ヤカニモシナイシ、嚴重ニモシナイト言ハレタガ、斯ウ云フ具體的ノ例ヲ出シテ參ルト、緩ヤカニスルト總テノモノガ這入ル、嚴重ニスルト總テガ這入ツテ來ナイ、其點ニ非常ナ誤解ヲ生ジテ大キナ問題ニナルト思ヒマスカ、ドウゾ今政府委員ガ仰セラレタコトニ對シテモ、寧ろ御再考ヲ願ツタ方宜イノデハナイカト考ヘマス、ソレハ其位ニシテ置イテ、ソレデハ他ノ方ニ參リマス、勞働條件ノ維持改善ノ他ニ、共濟、修養、其他共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ御加ヘニナリマシタ、之ニ依ツテ免モスルト誤解ヲ受ケケル所ノ勞働組合ノ戰鬪的精神ハ緩和サレル、ソレハ内務大臣ノ仰セラレタ通りデアリマス、併シ折角勞働組合ニ他ノ目的ヲ加ヘラレ、殊ニ共同利益ノ保護増進ト云フヤウナ重大ナル事項ヲ加ヘラレル、ソレヲ從來ノ組合ノ主ナル目的ト致シマシタ勞働條件ノ維持改善ト並行シテ御獎勵ナサルト、ヤハリ之ニ對シテ政府ハ責任ヲ御持チニナラナクテハナラヌ、政府ハ相當ニ組合ノサウシタ目的ヲ遂行スル手段方法ニ付テ熱心ニ之ヲ援助スル、當局ガ出來ルダケ之ヲ指導シテ行クト云フヤウナ御決心ヲ持タレナイト、此條項ヲ此處ニ附加ヘル本當ノ精神ガ不明ニナツテ來ルノデアリマスカ、其點ニ對スル内務大臣ノ御方針ヲ承ツテ置キ

○安達國務大臣 先刻來ノ御質問ヲ承ツテ居リマシタ、大體ニ於テ御尤ナコトガアルヤウニ思ヒマス、曩ノ御例示ニナツタヤウナコトヲ此處デ長官モ申シマシタガ、一々是ハ之ニ當嵌ルトカ當嵌ラヌトカ云フコトヲ檢討シテ行クト云フコトハ無理ナコトデゴザイマスカラ、サウ云フ所ハ此法案ガ法律トナツテ發布ノ時ハ能ク研究シテ、サウシテ御話ノヤウナコトニ取計ヒタイト考ヘテ居リマス、ソレハ今御話ノヤウナ意味ニ於キマシテ、此勞働條件ノ維持改善ト共濟、修養、共同利益ノ保護増進ト云フヤウニ、此處デ唯闘争ヲ是レ事トスルト云フヤウナ勞働組合ニアラズシテ、穩健ナル勞働組合トシテ行キタイ、サウ云フコトニ指導ヲスル積リデ此第一條ヲ書イタ次第デアリマスカラ、熱心ニ此趣旨ノ徹底スルヤウニ努ムル積リデ居リマス

○守屋委員 御精神ハ分リマシタガ、併シ其御精神ノアル所ガ何等事實デ以テ現レテ來マセスト云フト、私共ハ其御精神ヲ直チニ受取ル譯ニハ行カナイノデアリマス、資本家ノ諸君ニ對シ勞働組合ノ戰鬪的氣分ト云フモノヲ、「カムフラージュ」サレルト云フヤウナ考デ、唯一時通レノ御考デ以テ此第一條ノ共同利益ノ保護増進ト云フモノヲ御入レニナツタノデヤナイノデスカ

○安達國務大臣 決シテ一時通レト云フヤウナサウ云フ輕薄ナ薄ツペラナ考ハ持チマセヌ、私ハ此第一條ノヤウニシテ始メテ日本ノ勞働運動ヲ經濟運動タラシメテ、サウシテ度々申スヤウニ、穩健中正ノ勞働組合法ノ發達ガ圖ラレルト云フ風ニ考ヘテ、第一條ヲ斯ウ云フ風ニシタ次第デアリマス

○守屋委員 サウナツテ來マスルト、濱口内閣ガ果シテ此處ニ書イテアル共濟、修養、共同利益ノ保護増進ト云フコトニ付テ、現ニ出來ルダケノ力ヲ盡シテ居ラレルカドウカト云フコトヲ檢討シテ來ナクチャ其精神ガ分ラナイト云フコトニナルノデアリマス、先ヅ第一ノ共濟ノ方面ニ付テ承リマスルガ、現ニ共濟組合ト云フモノガ相當ノ數ニ上ツテ居ル、殊ニ失業救済ノ問題トシテ日傭勞働者ノ共濟組合ト云フモノモ出來テ居ルノデアリマス、サウ云フモノニ對シテ從來政府ハドウ云フ態度ヲ執ツタノデアリマス、又將來ドウ云フ態度ヲ御執リニナル御方針ノカ、併ナガラソレハ共濟組合ダカラ、第一條ノ前段ニアルヤハリ勞働條件ノ維持改善ト云フモノガ附加ヘラレナイ以上ハ、本法ノ組合ニ這入ラナイノデアルト云フヤウナ風ニ御逃ゲニナルカモ知レマセヌガ、併ナガラソレハ條文ノ解釋問題デアツテ、實際現ニ勞働者ノ共濟ヲ目的トシテ存在シテ居ル團體

ハアル、サウ云フ事業ハ本法ニ於テ之ヲ認メテ保護シテ行クト云フ考デアラナラ、之ニ對シテ適當ナル處置ヲ講ゼラレルト云フコトガ當然デアアル、之ニ對シテ内務大臣ハ親切ニ御考ニナツテ居ラレルノデセウカ

○吉田政府委員 共濟組織ノ一番大キナモノハ、御承知ノ通りニ官業勞働ニ付キマシテ可ナリノ完全ナル共濟施設ガアルノデアリマス、此處ニ書イテアリマスルノハ勞働組合トシテ、共濟施設ヲ行フト云フコトヲ豫想致シマシテ、ソレヲ最モ共同利益ノ保護増進ノ中ノ重要ナルコトト考ヘテヤツテ居ルノデアリマス、純粹ニ共濟施設ダケヲヤリマサルモノハ、共濟施設トシテ官業ニ於テハ、隨分政府ハ年來助長シテ居ルデアリマスガ、今日ノ如キ際ニ於キマシテハ益々其必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、其外純粹ノ共濟トシテハ只今御話ノ出マシタ日傭勞働者ノ共濟施設ハ最モ中々勞働者ノ性質ガサウ云フ組織的ノ仕事ヲスルノニ餘リ適當デナイ爲デアリマスルカ、政府ノ豫期スル程ノ效果ヲマダ得テ居リマセヌケレドモ、是等モ失業防止委員會等ニ於テ之ヲ助長發達セシメテ行キタイト云フコトデアリマシテ、段々ニ普及サレル情勢デアリマス、現在計畫ヲシツ、アル都市モアルヤウナ譯デアリマス、總テ此共濟方面ノ仕事ハ最モ重イモノト考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、單純

ナ共濟施設ダケデナシニ、茲ニ勞働組合ニ於テモ、各々ノ共同利益ノ保護増進ト云フコトカラシテ、勞働條件ノ維持改善ト併セテ共濟ヲ重要ナル目的ノ一ツニシ得ルト云フコトニ致シマシタコトニ依リマシテ、政府ハ共濟施設ト云フモノニ重キヲ置イテ居ルシ、又御諒解ヲ得ルニ難クナイト思ヒマス、又共濟施設ノミナラズ、他ノ方面ニ於テモ共濟施設ト云フコトニ對シテハ盡力致ス積リデアリマス

○守屋委員 共濟ト云フモノヲ本當ニ御獎勵ニナルナラバ、共濟ノ資金ト云フモノヲ如何ニシテ御集メニナルカト云フコトヲ御考慮ニナツテ居リマス、共濟ハ資金ガナケレバ、出來ナイ而シテ凡ユル勞働者ハ自分等ヲ共濟スル資ニ乏シイ、ダカラ或場合ニ於テハ資本家カラ寄附ヲ受ケル、公共團體カラ補助ヲ受ケル、或場合ニハ政府カラ補助ヲ受ケルト云フコトニ依ツテ共濟事業ト云フモノハ完成サレルノデアリマス、外國ニ於ケル勞働組合ノ共濟事業ナド云フモノヲ觀テ見マシテモ、サウ云フ政府ノ援助、公共團體ノ援助ト云フモノガナケレバ、共濟施設ト云フモノハ發展シテ行カナイ、政府ガ唯單純ニ組合法ノ第一條ニ共濟ト云フモノヲ組合ノ目的トシタト云フコトダケデ組合員ノ共濟ノ目的ト云フモノハ達セラレルモノデハナイ、從來ノ内務大臣ノ管下ニ於ケル共濟組合ノ狀況ヲ觀テ見マスト云

フト、例へば神戸、大阪、東京ニアル日傭労働者ノ共済組合、是ハ相當ニ失業問題ノ解決ノ爲ニ骨ヲ折ツテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテモ政府ハマダ援助ノ方策ヲ立テラレナイ、市トカ或ハ縣トカガ若干ノ補助ヲ與ヘテ居リマスケレドモ、政府ノ方デ是等ノ共済施設ニ對シテハ何等ノ御處置ヲモ講ジテ居ラナイ、失業問題ノヤカマシイ今日、此解決ニ本當ニ力ヲ盡スベキ筈ノ共済組合ト云フモノニ付テハ、政府ハ之ヲ援助セラレト云フ方針ヲ確立セラレテ居ルノヲ見ナイ、失業防止委員會デサウ云フコトヲヤラウト云フ御意思デアルヤウデアアルガ、資自家ノ反對ニ依ツテ、之ヲ撤回サレテ居ルヤウデアアル、サウ云フヤウナコトデアリマスト云フト、金ノ掛ラナイ法文ダケハ御作りニナル、政府ノ腹ノ痛マナイ法文ダケハ御作りニナルガ、金ノ掛ルコトニ付テハ政府ハ少シモ御援助ヲナサラナイト云フヤウニシカ考ヘラレナイノデアリマスガ、其點ハ如何デアリマスカ、内務大臣カラ御答辯ヲ願ヒマス

○安達國務大臣 御尤ナ御尋デアリマスガ、金ノ掛ル方ハ今日ノ財政状態トシテ中々實行困難デアリマス、ソレダカラ金ノ掛ル方面ニ付キマシテハ、内務大臣トシテ考ヘタダケノ全部ハ中々行ハレマセヌ、出來得ルダケノコトヲ今日致シテ居ル次第デアリマス、其點ハ往々遺憾ナコトガアリ

マス

○守屋委員 共済組合ノ範圍ニドウ云フ程度ノモノヲ含メテ御考ヘニナリ、又將來日本ノ労働組合ニ於テ必ず共済事業トシテ起ツテ來ベキモノデアリ、又政府ノ御考ニ依ツテ將來スベキモノデアルト御考ニナツテ居ル所ハドレ程デアリマスカ

○吉田政府委員 只今ノ内務大臣ノ御答ヲ私カラ更ニ補足シテ置キタイト思ヒマスガ、失業労働者ノ救済施設——東京其他ニ於テ行ツテ居リマスガ、是ハ甚ダ少額ノ金額デアリマスガ社會事業獎勵費ノ中カラ若干ハ獎勵金ヲ交付致シテ居ルノデアリマス、ソレデハ不足デアルト云フコトヲ十分政府モ自覺シテ居リマス、増額致シマスコトニ隨分骨ヲ折ツタノデアリマスケレドモ、不幸ニシテ財政ノ都合上認メラレマセヌデシタノハ甚ダ遺憾ト考ヘルノデアリマス、尙ホ將來ニ於キマシテ出來得ル限りソレ等ノモノニ對シテ援助ノ實ヲ擧ゲ得ルヤウニ政府ノ方ニ心配ヲシテ貰ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ第五ノ御尋ノ救済ト云フノハドウ云フ……

○守屋委員 共済ノ中ニ含まレテ居ル事項ハドシナモノデスカ

○吉田政府委員 是ハ豫メ限定ヲスル意思ハ持つツテ居リマ

セヌノデアリマスガ、労働者ノ各種ノ方面、例へば疾病ニ關シ健康保險ニ入ツテ居ラナイモノニ付キマシテモ、疾病ニ對スル手當、或ハ現在三大都市デヤツテ居リトスヤウナ失業救済、或ハ共済費ノコトデアリマスルナラバ、労働者カラ掛金ヲ徴スル場合ハ、場合ニ依ツタラ拂戻スト云フヤウナコトヲ考ヘテモ宜シイノデハナイカト考ヘテ居リマス、其他家族ノ手當デアリマスルトカ、或ハ労働者ノ利益等ノ爲ニ、銘々ガ掛金ヲ爲シ、尙ホソレニ付キマシテハ、或ハ御示ノ如ク公共團體ナリ政府ナリガ援助致シマシテ、此生活上非常ニ不安ナ地位ニアリマス人々ニ、出來ル限り援助ヲ與ヘルト云フ方面カラ、廣イ方面ニ互リマシテ共済事項ト云フモノハ考ヘテ宜カラウト思ヒマス、是レノノ範圍ニ限定スルト云フ必要ハ餘リナイノデハナイカ、主ナルモノヲ擧ゲマスルト只今申上ゲマシタヤウナモノデアリマスガ、所謂失業救済ト云フモノダケヲ以テ満足スルコトノ出來ナイコトハ御承知ノ通りデアリマス

○守屋委員 政府ノ方デ相當ノ考慮ヲシテ居ルガ、金ガ無イカラ已ムヲ得ズ、此程度ニ止メルノダト云フヤウナ御考デアリマスガ、サウ云フ點モ勿論ゴザイマセウガ、唯私共ハ現内閣ノ諸公ノヤラレコトニ付テ若干不服ニ考ヘルコトガアル、現内閣ノ諸公ガ社會政策ノ立法ニ忠實デアラ

レ、又社會政策的ナ事ヲ爲サラウトナサリ、而シテ十大政策トシテ掲ゲラレマシテ、御聖聞ニモ達シマシタモノ、中ニ、社會政策ノ確立ト云フ事ガゴザイマス、サウシテ其事ニ付テハ内閣ヲ御造リニナル當初ニ於キマシテハ、非常ニ努力スルト云フ風ニ仰シヤツタ、ニモ拘ハリマセズ、緊縮方針ヲ御執リニナツテ、財政ヲ緊縮セラレト云フ状態ニナツテ來マスルト云フト、重大ナ政策トシテ立テラレタ所ノ社會的政策ノ確立ト云フヤウナ事ニ付テモ、何等遠慮會釋モナク斧鉞ヲ揮ハレテ居ルノデアアル、例へば只今社會事業ノ獎勵費カラ若干ノ金ヲ補助シテ、洵ニ少イ金デテ致方ガナイト仰セラレマスケレドモ、現内閣ガ出來上ル前ノ社會事業獎勵費ト、現在ノ社會事業獎勵費ト云フモノハ格段ナル相違ガアルノデアリマス費用ガ半減ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フコトハ總テノ經費ヲ減ラスノダカラ、已ムヲ得ズ減ラスノダト云フコトニナルノカモ知レマセヌガ、金持カラ一枚ノ著物ヲ減ラスノト、貧民カラ煎餅蒲團一枚取ルノトハ影響ガ非常ニ違フノデアリマス、殊ニ不景氣ノ爲ニ斯ウ云フヤウナ状態ニアル人々ヲ救フト云フ社會事業獎勵費ト云フヤウナ經費ヲ減ラスト云フノハ如何デアアルカ、弱者ノ味方ト云フコトヲ標榜シテ居ラル、濱口内閣ノ内務大臣トシテ、現ニ其地位ヲ辱クシテ居ラレ

安達内相トシテハ、其點ニ付テハ餘程考ヘナケレバナラヌ、金ノ掛ラヌ、社會政策ナラヤルケレドモ、金ノ掛ルモノハ總テ之ヲ減ラス、他ニ例ヲ舉ゲテ申セト云フノナラ、幾ラデモ例ヲ舉ゲテ申シマス、例ヘバ少數同胞ノ保護獎勵ニ關スル經費ノ如キモ現内閣ニナツテカラ十二萬圓モ減ツテ居リマス、六十四萬圓ノ金ノ中カラ十二萬圓減ツテ居リマス、社會事業獎勵費ハ半減サレテ居リマス、サウ云フコトデハ弱者ノ味方、弱者ニ對シテ適當ノ處置ヲ講ズル、斯ウ仰シヤツテ居ラレル内閣ニ相應ハシクナイデハナイカ、其内閣ニ居ラレル内務大臣トシテ相應ハシクナイ所ノ御考デアリマス、サウ云フ御考ノ内務大臣ガ労働組合ヲ作ルニ當リマシテ、労働者ノ共同ノ利益保護ノ條件ヲ加ヘテサウシテソレヲ獎勵シテ行クト云フコトヲ仰シヤナマシテモドウモ其點ハ世人ノ誤解ヲ解クコトハ出來ナイ、是ガ施行サレテ後ニ世人ノ疑ヲ解クダケノ手段ヲ執リ、出來ルダケ弱者ノ味方デアルト云フ事實ヲ示サウニ、労働組合ノ統制其他保護獎勵ノ方策ヲ立ツル必要ガアルノデアリマス、其點ニ付テモウ一度内務大臣ノ御決心ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○安達國務大臣 國ノ財政ヲ變理スル場合ニ當ツテ、社會事業ノ金ダケハ増額シロ、現在ノ額ヲ減ラシテハナラナイ

ト云フコトハ、アナタモ多少御經驗モアルガ、財政整理ノ場合ニ此費用ダケハ手ヲ著ケテハナラナイト云フコトハ殆ド出來ナイ、何時ノ内閣デモソコハ同ジデアル社會事業ノ金ダケハ減ジテハイケナイ、斯ウ云フ事ハ内務大臣カラハ言ヒタイケレドモ、國全體ノ財政ヲ料理スル場合ニ於テハサウ云フ譯ニハドウシテモイカナイ、各方面カラ色々ノ注文ガアルコトハ御承知デアリマセウガ内務省ノ豫算ニシテモ、貴族院デハ、神社費ダケハモウ少シ増額シナケレバナラヌト云フヤウナ御話モアリマスガ、之モ御尤ナ注文デアル、ソコハ全ク、責メル方ハ易イケレドモ當局トシテハ此費用ダケハ減ゼヌト云フコトハドウシテモ出來ナイ、遂ニハ一割引トカ五分引ト云フヤウナ均一ニヤツテ行クコトニナル、ソレハ政友會モ考ヘタコトガアルデアリマセウガ、吾々モ度々考ヘタコトデアリマスガ、實際局ニ當ルト何時モ均一主義ニナツテシマフ、ソレハ此問題ニ付テモヤハリサウ云フコトニナツテ居ル、ソレデ財政ヲ整理スル場合ニ當ツテハ社會立法ダケニ十分ノ金ヲ取ルト云フコトハ頗ル困難デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、併ナガラ吾々ハ努力シテ、此財政窮迫ノ場合ニ際シテモ出來ルダケノ事ヲシタイト云フ希望ハ十分持ツテ居ルト云フ事ヲ此處ニ申上ゲテ置キマス

○守屋委員 サウ云フ御話デアリマスレバ、私ハ此内閣モ社會政策立法ニ付テハサウ熱心ナ内閣デヤナイト云フコトヲ申上ゲルニ止メナクチヤナラスノデアリマス、熱心ナ内閣デアラバ外ノ内閣ノ出來ナカツタ事、政友會内閣ガ出來ナイト仰シヤイマシタケレドモ、私ハ政友會内閣ガ社會政策ニ非常ニ熱心ダト云フヤウニ考ヘル譯ニモ參リマセヌカラ申スノデアリマスガ、同時ニ此内閣モアレ程社會政策ノ確立ト云フコトヲ仰シヤツタニモ拘ラズ、ヤラナイ所ヲ見ルト、看板ノ上ニ偽リガアツタト云フヤウニ私結論シナクチヤナラヌコトヲ残念ニ思フノデアリマス

共済施設ト云フコトノ中ニ承リマスルガ、將來ハ労働組合法ニ職業紹介ノ事業モオヤラセニナルト云フ御考デアリマスカ

○吉田政府委員 職業紹介ハ御承知ノ通りニ特別法制ガ立ツテ居ルノデアリマスガ、個人ト致シマシテ職業紹介ヲ致シマスル場合ニ於キマシテハ、營利紹介ニハ營利紹介ノ手續、公益紹介ニハ公益紹介ノ手續ガアルノデアリマス、現在ニ於キマシテモ海員等ニ於キマシテハ労働者ノ手デ相當ナル職業紹介ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點モ考慮致シマシテ、私共現在持ツテ居リマスル考ト致シマシテハ、職業紹介所ノ仕事ヲ労働組合ニ主ニヤツテ貰ハウト云

フマデノ考ハ持ツテ居リマセヌノデ、職業紹介所ノ仕事ハヤハリ法令ノ定ムル表向ノ手續、此原則ニ從ヒマシテ公共團體ヲ主トシテヤツテ貰ヒタイト思ヒマス、併ナガラ此失業問題或ハ職業紹介デアリマスルガ、職業紹介ノ目的ヲ問題トシマスル爲ニハ、労働組合方面ガラモ大ニ國家ニ協力シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ考ハ持ツテ居リマス、紹介所ノ經營ト云フコトニナリマスレバ、只今ノ紹介法ヲ運用シテ十分デアリマス

○守屋委員 是ハモウ少シ御考ニナル方宜クハナイカ、労働組合ト云フモノハ法人ナリ、サウシテ資産モ持ツヤウニナルシ、經費モ支辨シ得ルヤウナ状態ニナルシ、又全國的ニ活動ヲ始メルト云フヤウナコトニナリマスルト、職業紹介法ノ規則ヲ改正シテデモ法人タル所ノ労働組合ト云フモノハ希望ニ應ジテ職業紹介ノ仕事モヤラセルト云フ途ヲ開クト云フコトガ、適當デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付テハ如何デスカ

○吉田政府委員 只今デモ免許ハ要リマスガ、相當ノ資格ヲ持ツテ居ルモノハ職業紹介所ヲ開設シ得ルノデアリマスサウシテ職業紹介ト云フヤウナ方面ニ積極的ニ労働組合ガ活動シテ參リマスコトハ、非常ニ望マシイコト、思ヒマス、ソレデ労働組合ガ職業紹介事業ヲ圓滑ニ行フコトガ出

來ルト云フコトデアリマスナラバ、我國ノ職業紹介事業ニ於ケル一ツノ進歩ト云フコトガ出來ルト思ヒマス

○守屋委員 ソレハ現在ノ規定ノ上ニ於テモ私ハ政府ノ方針サヘ確立致シマスレバ出來ルト思フノデアリマスルガ、更ニソレヲモツト容易ニスルト云フヤウナコトニ付テ、立法上ニ付テモ、或ハ補助ノ規定ナドニ付テモ考ヘラレル現在ニ於テハ補助ノコトハ困難ノヤウデアリマスガ、サウ云フコトニ付テモ考ヘラレルコトガ、共濟制度ヲ認メラレタ精神ニ合致スルト思ヒマスカラ、是モ御考ヘ置キテ願ツテ置キマスガ、此際私ハ唯内務大臣ニ一寸御注意シテ置キタイコトガアリマス、内務大臣ハ此職業紹介所ノ成績ハ非常ニ好イト云フコトヲ本會議ニ於テモ仰セラレテ居リマス、内務大臣ガサウ御考ニナツテ居ラレルコトハ結構デアリマスガ、職業紹介所ノ成績ガ好イコトヲ判斷サレル材料ノ見方ニ誤リガアリハシナイカト云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマス、此間本會議ニ於テ、安藤君カラ失業問題ノ質問ヲサレマシタ時ノ答辯ニ、斯ウ云フコトヲ仰セラレテ居ルノデアリマス「所デ一般ノ労働者ヲ一年ニ幾人はガ紹介シテ居ルカ、是ハ日傭労働者デアリマセヌヨ、其労働者ヲ紹介シテ居ル中ニハ、小僧モ、女中ナドモ含シテ居リマス、ソレガ全國ニ於キマシテ約五十七萬人ハ紹介シテ居リマ

ス、其他ニ日傭労働者ハドレダケ紹介シテ居ルカト云フト、日傭労働者ハ四百五十萬人紹介シテ居ル、是ハ延人員デハナイ〔發言スル者多シ〕斯様ニ大臣ガ仰セラレテ居リマス、此御答辯ニ私ハ誤リガアルト考ヘル、此本會議ノ速記録ハ世ノ中ノ人ガ讀ミマス、サウシテ之ガ本當ダト考ヘラレ勝チノモノデアリマスガ、是ハモウ一度御考ヘ直シニナツテ、御訂正ニナル方ガ適當デアルト考ヘマスカラ、其點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○安達國務大臣 私職業紹介所ノ働キハ非常ニ好イト大體ニ於テ認メテ居リマス、併シ満足ハ致シテ居リマセヌ、モウ少シ國家トシテ此紹介所ニ補助ヲ増シテヤリタイト考ヘテ居リマス、御承知ノヤウニ補助ノ規定ガアツテ、僅カニ分ノ一カニナツテ居リマスガ、他ノ方面トノ關係モアルノデ中々私ノ意見通りニナラザリシコトヲ遺憾ト致シテ居リマス、併シ補助ノ少ナイ割合ニ、各地ノ紹介所ハ擔當者ガ幸ニモ適任者多クテ、中々働イテ呉レテ居リマスカラ、世人ノ想像ヨリモ效果ヲ擧ゲテ居リマス、ソレデ延人員ノコトモ一職業紹介所、六人何分ニナツテ居リマス、ソレハ延人員デアリマセヌ、一箇所六人平均ニシマス、全國デ五十何萬人ニナリマス、ソレカラ一般ノ日傭労働者ノ方ハサウヂヤアリマセヌ、三百六箇所ノ職業紹介所デ世話シテ

居ル所ノ者ハ非常ニ殖エテ居リマス、是ハ餘程失業者救済ニナツテ、失業ガ緩和サレタト云フコトヲ私耳ニ致シマシタカラ、安藤サンニ御答スル時分ニ職業紹介所ノ働キニ付テ、サウ云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス

○守屋委員 マダ大臣ハ私ノ質問ヲ了解シテ居ラヌヤウデアリマスカラ申上ゲマスガ、日傭労働者ヲ四百五十萬人紹介シテ、是ハ延人員デナイト仰セラレテ居ルノデアリマス、是ハ確ニ延人員デナイト云フ風ニ内務大臣ハ仰セラレマシタガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○安達國務大臣 ソレハ少シ間違ツテ居リマシタ、一職業紹介所ガ六人餘ニナツテ居ル、ソレデ約五十七萬人、是ハ延人員デハナイノデアリマス、ソレヲ若シ括メテ申シマスカラバ日傭労働者ノ方ハ間違ツテ居リマス

○守屋委員 五十七萬人ノ一般労働者ノ方デモハツキリ延人員デナイト云フ言葉ヲ御用ヒニナルコトハ、私ハドウカト思ヒマス、何故カト云フト、同一ノ人ガ數ヶ所ノ紹介所ヘ來ナイトモ限リマセヌカラ、今ノ状態ニ於テハ此點ニ付テ疑問ヲ持ツテ考ヘナケレバナラヌモノデアアル、全然延人員デナイト云フ言葉ハ御慎ミニナツタガ宜シイ、殊ニ最後ノ日傭労働者ニ付テ延人員デナイト云フコトハ是ハ内務大臣ガ全然間違ツテ居ル、若シソレガ假ニ間違デナイニスル

トト、ドウ云フコトニナルカト云ヘバ、恐ロシイ事ニナツテ來ルノデアリマス、内務大臣ハ失業者ノ數ガ非常ニ少クナツタ、サウシテ是レ以上ハ決シテ失業者ハ殖エナイト云フヤウナ事ヲ仰セラレテ居リマスガ、職業紹介事業ノ成績カラ見テ所謂失業者ト云フモノヲ考ヘテ見ルト、先程アナタノ擧ゲラレタ一般労働者ノ職業紹介所ノ就職狀況ヲ見ルト、昭和五年度ノ一年間ニ於テ求人九十萬四千七百三十八人、求職者百十六萬八千四百十四人、紹介六十二萬七百八十八人、而シテ就職者ヲアナタハ五十七萬人ト仰セラレテ居ルガ、僅カニ三十三萬六千七十七人デアアル、即チ求職者ノ百十六萬人ニ對シテ就職者ハ三十三萬餘人シカアリマセヌカラ、一般労働者トシテ八十三萬人ト云フモノハ所謂失職シテ居ルト云フコトニナルノデアリマス、自由労働者ハドウカト云フト、求人五百十二萬八千三百四十五人、求職者六百十七萬四千九百七十三人ニ對シテ紹介件數ハ五百十二萬二千六百二十人、是ハ大體就職シテ居リマスカラ之ヲ差引キマシテ所謂自由労働者ノ未就職者ハ百五萬人ニナル、之ヲ延人員デナイトスルナラバ、百五萬人ノ自由労働者ガ失職シテ居ルコトニナル、更ニ職業紹介所ノ事業成績カラ見ルト、一般労働者ニ於テハ百十六萬人人間ガ就職ヲ希望シテ、サウシテ紹介所デ就職シタモノハ、僅ニ三十三萬六千

百九十七人デアリマスカラ、八十三萬ト云フモノハ失職デアルト云フコトニナルデアリマス、サウシマスト失業者ノ數ガ三十五萬人シカナイト言ハレルコトハ、非常ナ喰違ヒヲ生ズル、デスカラ職業紹介所ノ數字ガ多ク出テ來タノヲ見テ、自分ノ行政ノ成績ガ學ツタヤウニ誤解サレテ、ソレヲ堂々本會議ノ席上ニ於テモ御示ニナルト云フヤウナコトニ付テハ、モツテ深甚ノ御考慮ヲ拂ハレル必要ガナイカ、此點ニ付テハモツト失禮デアリマスガ内務大臣ノ御勉強ヲ私ハ御願シタイ、ソレガ我國ノ失業問題ノ解決ノ爲ニ社會問題ノ解決ノ爲ニモ非常ニ意義ガアル、職業紹介所ノ事務局二箇ヲ造ラレル、或ハ職業紹介所ヲ少シ増サレルコトニ依ツテ、何百萬ノ失業問題ガ解決サレル、サウ云フヤウナ頭ヲ以テ我國ノ失業問題ノ解決ニ當ラレルト云フコトハ、私ハ危險至極ト思ヒマス、サウ云フコトデ失業問題ヲ解決サル、ガ爲ニ職業紹介事務局ヲ二箇所ヲ置クコトニシタト云ツテ鬼ノ首ヲ取ツカノヤウニ言ハレルガ、是ハ一ツノ假想シタ所ノモノデ、斯ウシタ數字ノ實態ヲ本當ニ御擱ミニナルコトガ出來ナカツタ、其過チカラ來テ居ラレル、私ハ職業紹介所ノ機關ガ殖エルコトニハ反對スルモノデハナイ、賛成デアアル、又金ノナイトキニ能クヤツタモノト考ヘル、併ナガラモノハ餘リ値打ヲ誇大ニ取り過ギマス

ト、其爲ニ却テ政策上ニ於ケル誤謬ガ生ジテ來ルノデアリマス、其點ニ付テ内務大臣ノ御考ヘ直シテ願ヒマス、其點ニ付テ内務大臣カラ何カ御一言デモアリマスナラバ承リマス、ソレカラ私ハ繼續シテヤルコトハ少シモ差支アリマセヌ、丁度私ノ質問ガ智イ所ニ來タノデアリマシテ、是カラ共同利益ノ保護増進ト云フ問題ニ付キマシテ、尙ホ内務大臣ニ質問スル考デアリマスルカラ、委員長ノ都合ニ依リマシテ、質問ヲ繼續スルコトハ私トシテ異議アリマセヌガ、委員長ハドウ御考ヘデアリマスカ

○安達國務大臣 私職業紹介所ヲ唯一ノ失業救濟機關トハ思ツテハ居リマセヌ、其五十幾萬人ト云フコトハ、茲ニ書類ヲ持チマセヌガ、紹介件數ヲ私御話ヲシタト考ヘテ居リマス、ソレカラ職業紹介所ヲ二箇所造ツタノヲ、大變誇張シテ云々ト言ハレマシタガ、サウ云フコトハ考ヘテモ居リマセヌ、私ハ二箇所ヤ三箇所デ満足スル者デアアリマセヌガ、其數字ノ間違ツタコトハ能ク注意ヲ致シマス

○添田委員長 大變有益ナ質問應答ガアツタト思ヒマス、繼續シテヤリタイノデアリマスケレドモ、速記者ノ諸君ハ連日非常ニ疲勞ノヤウデアリマス、今日ハ遺憾ナガラ之デ散會致シマス、明日午前十時カラ開會致シマス

午後六時二十四分散會

一五

第五十九回帝國議會

勞働組合法案外一件

(勞働組合法案(政府提出) 委員會會議錄(速)第十五回)

會議

昭和六年三月十三日(金曜日)午後一時十五分開議

出席委員左ノ如シ

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------|-----------|----------|--------|---------|---------|----------|--------|---------|--------|--------|---------|
| 委員長 添田 敬一郎君 | 理事 三宅 馨君 | 理事 多田 滿長君 | 理事 宮澤 裕君 | 榊谷 寅吉君 | 櫻内 辰郎君 | 栗原 彦三郎君 | 長尾 半平君 | 田中 貢君 | 仲井間宗一君 | 安藤 正純君 | 守屋 榮夫君 | 松谷 與二郎君 |
| 理事 山谷 義治君 | 理事 猪野 毛利榮君 | 濱野 徹太郎君 | 飯塚 春太郎君 | 久留 義郷君 | 清水 徳太郎君 | 堀内 良平君 | 加藤 久米四郎君 | 田子 一民君 | 西岡 竹次郎君 | | | |

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十五回

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 安達 謙 藏君

出席政府委員左ノ如シ

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| 內務政務次官 齋 藤 隆 夫君 | 社會局長官 吉 田 茂君 | 文部政務次官 野 村 嘉 六君 |
|-----------------|--------------|-----------------|

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)

勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、質問ニ入ルニ先ツテ私カラ一寸御斷リ申シテ置キマス、昨日散會ノ當時本日前十時ヨリ開會スルコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、其後速記者ノ關係デドウシテモ午前カラ開カレナイト云フコトデ、午後一時ト云フコトニナツタノデアリマス、ソレヲ聞キマシタカラ私ハ各委員諸君ニ公報ニモ出ルケレドモ、念ノ爲ニ一時ニ變更サレタト云フコトヲ通知スルベク注意

ヲ致シテ置イタノデアリマシタガ、開イテ見ルト大分通知
洩レモアツタヤウデアリマス、現ニ西岡君カラ電話デ態
々御交渉ニナツタヤウナコトデ、甚ダ其點ハ手落ガアツ
タト思ヒマスガ、其點ハドウゾ悪シカラズ御諒承願ヒマ
ス——西岡君——組合法ニ關係ノナイ事柄デアラナラバド
ウゾ成ベク簡單ニ御願ヲ致シマス、政府委員ニモ其事ヲ御
願致シテ置キマス

○西岡委員 承知致シマシタ、極ク簡單ニ、政府カラ只今
御答辯ヲナサルコトニナツテ居リマスカラ、其ノ御答辯ノ
前ニ私ハ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス

ソレハ吾々ガ此議會ニ於テ色々法律ヲ作り、又種々ナ
ル法律ノ議案ヲ審議スルト云フコトハ、要スルニ國民大多
數ノヨリ良キ幸福増進ノ爲デアリマス、例ヘバ此委員會ノ
議題トナツテ居リマスル労働組合法案ノ如キモ要スルニ大
多數ノ労働者諸君ノ幸福増進ノ爲ニ審議シテ居ルノデアリ
マス、併ナガラ幾ラ立派ナル法律ヲドンナニ澤山作ツテ、
又ハ立派ナ憲法ヲ持ツテ居ツテモ、國民自ラノ毎日ノ實際
ノ生活ガ、幸福ニ愉快ニ過スコトガ出来ナイト云フコトデ
アリマスルナラバ、ドンナ立派ナル法律ガアツテモ、ソレ
ハ國民ノ實生活ニ關係ノナイ、三文ノ値打モノナイト云フコ
トニナリマス、又其作ラレタル法律ヲ實際ニ實行スル爲政

政治家ハ同情ヲ以テ親切ニ取扱ツテヤラナケレバナラヌト
思ツテ居ルノデアリマス

其意味ニ於キマシテドウゾ政府當局ニ於カレマシテハ、
此警察官ト云フ「サーベル」ノ力デ警察ノ威力ヲ以テ、ソ
レデナクテモ不景氣ノド底ニ苦ンデ居リマスル所ノ長崎
縣市民ノ多數ヲ苦シメマシタ所ノ其責任者ニ對シマシテ、
責任ノ歸スル所ヲ明ニ致シテ戴キタイト云フコトヲ私ハ御
願致スノデアリマス、而シテ此度ノ事ニ付テハ消防組員諸
君ヤ下級ノ警官諸君ニハソノ責任ハナイ、其人々ヲ責メル
ノデハ私ハ斷ジテナイ、ソレ等ノ人々ニハ私ハ寧ろ氣ノ毎
ニ感ジテ居ルノデアリマス、私ノ責メル責任者トハ、長崎
縣ノ警察部長及知事ヲ謂フノデアリマス

○齋藤政府委員 西岡君ノ御尋ニ對シテ前回御答致シマシ
タ所ガ、何か議事妨害ヲヤルトカ云フ攻撃ヲ受ケマシタ
ガ、強ヒテ議事妨害ヲヤツタ譯デモアリマセヌ、今回御答
スルノモサウ云フ譯デアリマシテ、議事妨害ニアラザルコ
トヲ御斷リ致シテ置キマス、長崎縣ニ於ケル消防協會支部
ノ寄附金云々ノコトニ付テ御答致シマス、前回ニ御答致シ
マシタヤウニ、アノ相撲興行ノ件ニ付キマシテハ、警察官
吏ハ入場券ノ販賣ニ從事シタルコトノ事實ハ全然ゴザイマ
セヌ、入場券ノ販賣ハ専ラ消防組合ニ於テ之ニ當リマシ

家、地方デ謂フナラバ知事トカ、内務部長、警察部長、或
ハ市長、村長ト云フ連中ガ、勝手、氣儘ナコトヲヤラレタ
ノデハ、其地方ノ縣民、市民、村民ハ實ニ氣ノ毒千萬デア
ルト言ハナケレバナラヌ、帝國議會デハ何デモ大キナ問題
ヲ捉ヘテ論ジナケレバ、大政治家デナイカノヤウニ思ツテ
居ルガ、中以下ノ大多數ノ國民ニ取リマシテハ、天下ノ大
問題必ズシモ必要デナイトハ言ハナイガ、ドチラカト云ヘ
バ、大キナ天下國家ノ大問題ヨリモ、其日ノ生活、即チ食
フ事ノ問題ガ大事件デアリマス、大キナ天下國家ノ大問題
ハ金持階級ノ極ク少數ノ人々ニハ大イニ關係ガアルカモ知
レナイケレドモ、我々一般貧乏人階級ニ取ツテハ、即チ國
民ノ大多數ハ其土地ノ警察官カラ苛メラレタリ、高イ税金
ヲ取立テラレタリ、例ヘテ申シマスレバ、私ガ今御答辯ヲ
期待致シテ居リマス所ノ長崎ニ於ケル切符ノ押賣ヲ警官ノ
權力ヲ以テシタリ、或ハ病院デ死ンデモ犬猫同様ノ取扱ヲ
スルト云フコトガ大問題デアアル、犬猫デモ金持ノ家ニ飼ハ
レテ居ル、犬ヤ猫デアラナラバ、私ノ質問致シテ居ル長崎
市ノ泉甚太郎ノヤウナヒドイ目ニハ遭ハナイ、私ハ國民ノ
實際ノ生活ニ直接關係ノアル事柄、即チ事實ノ出來事ニ付
テ、假令ソレガ小サナ問題デアツテモ、ドンナ身分ノナイ
人ノ事デアツテモ、身分ノナイ人々デアラナラ、尙更吾々

テ、組合員ハ強制的ノ言辭ヲ弄シタト云フヤウナ御話モア
リマシタケレドモ、政府ノ調べマシタ所ニ依リマスルト云
フト、強制的ノ言辭ヲ用ヒタコトハナイ、常ニ同情ヲ求メル
態度ニ出マシタケレドモ、期日ノ切迫ニ伴ヒマシテ、熱心
ノ餘リ數回ニ涉ツテ各戸ヲ訪問シタ事實ガアリマスルカラ
シテ、押賣等ヲシタト云フガ如キ誤解ヲ招イタカモ知レマ
セヌ、是ハ甚ダ遺憾千萬ナ次第デアリマス、消防組員ガ寄
附ノ強制ヲスルト云フガ如キコトハ甚ダ宜シクナイコトデ
アリマスカラ、將來ニ於キマシテモ此點ハ固ク注意スル積
リデアリマス、ソレカラシテ泉甚太郎ノコトデアリマスル
ガ、是ハ前回ニモ御答致シマシタヤウニ、松澤病院ニ收容
後十二月二十七日ニ重症ニ陥リマシタカラシテ、病院ハ其
旨大森警察署ニ通知シタ、又二十九日ニ死亡シマシタ、
同様大森警察署ニ通知シタノデアリマス、精神病院ノ收容
者ガ重症トナリ、又死亡スル場合ニハ、通例ハ、看護義務者
ニ之ヲ通知スルノガ通例デアリマスルケレドモ、泉ニ付キ
マシテハ看護義務者ガ分ラナカツタノデアリマス、ソレ故
ニ病院ハ警察署ニ通知シ、警察署ガ本人ノ主人デアリマシ
タ辻弘ノ所在ヲ探索致シマシタケレドモ、不明デアリマシ
タ爲ニ、結局死亡ノ通知ガ本人ノ親族ニ到達スルコトガ出
來ナカツタノデアリマス、尙ホ遺骨ノ引渡ニ付キマシテ、手

續上ノ點ニ付テ或ハ意思ノ疏通ヲ缺キマシテ、引渡ガ大分
遅延スルニ至ツタコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、此
事ヲ病院ニモ注意致シマシテ、將來斯ノ如キ過ノナカラン
コトヲ期シタイ次第デアリマス、以上ヲ以テ御答ト致シマ
ス

○西岡委員 切符ノ押賣問題ニ付キ政務次官カラ強制ハシ
ナカツタガ、數回ニ涉ツテ訪問シタコトハアル、販賣ニ付
テ警察ハ直接ヤラナカツタト云フ御答デアリマスガ、數回
ニ涉ツテ各戸ヲ訪問シタコトハ認メラレル私ハ茲ニ的確ナ
ル事實ヲ簡單ニ申上ゲテ、更ニ政府ノ御考慮ヲ願ヒタイト
思ヒマスコトハ、外國ト違ヒマシテ、我國ニ於キマシテ
ハ、殊ニ地方農村等ニ於キマシテハ、警官ニ對スル感シハ
一種ノ恐レト言ヒマスカ、何ト言ヒマスカ、威力ヲ感シテ
居ルノデアリマス、子供ガ泣ク場合ニモソナニ泣クト、
今ニオ巡リサンガ來ルゾト言ヘバ、子供サヘモ田舎デハ泣
キヤム斯ウ云フ状態ガ農村ナドニ特ニ強イノデアリマス
ソレデ縱令強制デナクテモ同ジ家ヲ數回ニ涉ツテ訪問
シ、切符ヲ買ヘト警官カラ言ハレマス、相手方ハ強制的
ニソレヲ感シテ、警官ガ訪問ヲ致シテ切符ヲ買ヘト言ヘバ
買フノデアリマス、其位ノコトハ常識デ分ルコトデアアリ
マセヌカ、警官ニ對シテ一般國民ノ間ニ其氣持ガアリマス

リデアリマス、尙ホ其當時長崎市デハ三百年來毎年十月ニ
催サレテ居リマスル諏訪神社ノ非常ナ盛ナ、上海邊リカラ
モ見物ニ來ル程ノ大キナ祭ガアルノデ、此祭禮ノ前後ハ長
崎市民ハ非常ナ負擔ヲ毎年致シテ居ル、其困難ナ祭禮前後
ニ相撲興行ヲサレタ、即チ斯クノ如ク總テノ事情ノ惡イ時
期ニ於テ長崎縣警察部長柳井君ガ東京大相撲ノ勤進元デ相
撲興行ヲヤツタ、其結果長崎縣民ノ非難ガ甚々ト起ツタト
云フ次第デアリマス

又茲ニ實例ノ一、二ヲ申シマスルガ各都市ニ於テ警察官
ガ切符ヲ強要シテ賣ツテ廻ツタ事實ハ到ル處ニアリマス、
最モ甚シイノハ料理屋、宿屋、飲食店或ハ藝者屋理髮店ト
云フヤウナ警察ニ對シテ特ニ弱キ立場ニアル營業者ノ所ニ
行ツテ押賣ヲシタト云フ事實ニ付テ、明カナ證據ガアル、
警察カラ言ツテ來タノダカラ仕方ガナイト云フ意味デ買ツ
タノデアリマス、ケレド、或家デハ今日ノ不景氣デ現金ガ
ナイカラ、品物ヲ質屋ニ置イテマデモ警察ノ要求ニ應ジタ
ト云フ事實モアルノデアリマス、又長崎市内ニアル比較的
金持ノ所ニ警察官ト消防組員ノ方ガ行ツテ、五圓ノ入場券
ヲ十枚買ヘト要求シタ、十枚買ヘナイカラ五枚ノ二十五圓
デ勘辨シテ呉レト言ツテモ押付ケテ十枚買ハセタ、サウシ
テ又翌日ハ某警察署カラ電話デ、昨日十枚ト云フコトデア

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十五回

七七六

カラ、長崎ニ於ケル今度ノ計畫ガ警察部長ガ豫期シタ以上
ノ二十五萬二千圓モ切符ノ賣上ガ出來タノデアリマス、其
時ノ状態ハ昭和五年長崎縣通常議會ノ會議錄ノ百八十八頁
ニ警察部長ガ斯ウ言ツテ居ル、「消防協會ガ主催トナツテ
相撲協會ト提携致シテ、本縣消防ノ支部ノ基本金造成ノ事
業ヲヤルト云フコトニ我々小範圍ノ間ニ決メタノデアリマ
スガ、何分ニモ今日財界不況ノ時デアリマスカラ、此問題
ガ巧ク行クカ行カナイカ、事業計畫ガ豫定ノ通り遂行シ得
ルカ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ心配ヲシタノ
デアリマシテ、ドウナルコトカト考ヘテ居ツタ次第ナンデ
アリマス、ソレデ四月ニ評議員會ヲ召集イタシマシテ、我
々ノ計畫ヲ評議員各位ニ御諮リヲシマシタ所、今日ノ財界
ノ模様デハ至難ノ事業デアルト云フコトノ意見ガ相當ニ出
タノデアリマス」斯ウ言ツテ居ルノデアリマス

更ニ長崎縣ハ此前モ申シマシタ通り、他所ノ縣ト比較シマ
シテ非常ナ不景氣デアリマス、ソレニハ政府モ御承知デ
アリマスガ、昨年ノ七月ニ非常ナル大暴風雨ガアツタ、其
結果一般農作物ハ荒サレ、家屋ハ毀レ一般ニ非常ナ損害ヲ
與ヘタノデアリマス、畏クモ皇室カラ御下賜金モ賜ツタ、
政府ニ於カレマシテモ其大風水害ノ復舊工事ニ付キマシテ
ハ補助金並ニ低利資金ノ御便宜ヲ賜ツタコトハ御承知ノ通

ツタケレドモ、モウアト十枚分ダケ寄附シロト言ツテ、都
合百圓ノ寄附ヲ要求シタ事實モアル、名前ヲ言ヘト云フナ
ラバ名前モハツキリ分ツテ居ル、併ナガラ名前ハ憚ルカラ
言ハナイ方ガ宜イト思ヒマス、前ニ例ニ申シタ縣會ノ會議
錄ノ百八十九頁ニ警察部長ハ斯ウ言ツテ居ル、「十五萬圓
ト云フ洵ニ豫期以上ノ基本金ヲ造成スルコトガ出來マシタ
ノデ、是ハ全ク縣民各位ノ御同情ノ賜物デアリマスルノ
デ」私共事業ヲ計畫イタシマシタ理事者ト致シマシテハ感
謝措ク能ハザル所デアリマス」此十五萬圓ト云フ基本金ガ
出來タ、總テノ賣上ハ御報告ニナツタ通りニ二十五萬二千
圓、ソレヲ相撲協會ニヤツタ残りガ十五萬圓、是ハヤハリ
會議錄ノ百九十五頁ニ警察部長ハ斯ウ言ツテ居ル、「私共
ハ理事者ト致シマシテ色々非難ノアツタコトハ無論我々ノ
責任ト致シマシテ、其ノ點ハ今後ニ於キマシテモ十分考ヘ
ナケレバナラヌコト、存ジテ居ル次第デアリマス」警察部
長自身ガ斯ウハツキリ自分ノ責任ヲ感シテ、今後モ其責任
ニ付テハ考ヘナケレバナラヌト斯ウ言ツテ居リマス、其警
察部長ニ對シマシテ政府ハ其責任ヲドウ云フ風ニシナケレ
バナラヌト御考デゴザイマスカ、之ヲハツキリ承ツテ置キ
マス、

○齋藤政府委員 四五回訪問シタト云フコトデアリマス

七七七

ガ、警察官が訪問シタノデハナクシテ、消防夫が訪問シタノデアリマスカラ、是ハ誤解ノナイヤウニ願ヒマス、ソレカラ只今御讀ミニナリマシタ縣會ノ速記録デアリマスガ、其中ニモ警察部長ハ別ニ強要ガマシイコトヲシタト云ツテ居ラヌ、縣民ノ同情ニ依ツテ是ダケノモノガ集ツタト申シテ居リマス、詰リ消防組ハ警察官ガ監督シテ居ルカラ、消防組ガ斯ウ云フ寄附ヲ集メル場合ニ、警察部長ガ幾ラカ世話ヲスルコトハ當然デアアル、唯其世話ノ仕方ニ付テ、權力ヲ濫用シタト云フ事實ガアルナラバ、監督官廳ニ於テモ默過スルコトガ出来マセヌガ、政府ノ調ベラレタ所ニ依リマスト、西岡君ガ言ハレルヤウナ寄附ヲ強要シタト云フヤウナ事實ハ全然認メルコトガ出来ナイノデアリマス、西岡君ガ申サレマシタ事實ハ、西岡君ノ御調ベニナリマシタ所ノ御話トシテ承ツテ置キマス、併シ其全部ガ眞實デアルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、私ハ今日明言致シマセヌ、隨テ警察部長ノ責任ニ付テ彼此レ言ハレマシタガ、警察部長ノ責任ニ付テハ今日茲ニ言明スベキ限リデナイト思ヒマス

○西岡委員 ソレデハモウ一ツ、縣會議録ノ百八十八頁ニ、柳井警察部長ハ斯ウ言ツテ居リマス、「私共ノ身分ト致シマシテハ警察職員デアリマシテ、警察職員ガ直接ニ斯ウ云フ事業ニ携ハツテ、サウシテ縣民各位ニ對シテ御迷惑

ヲ掛ケルト云フコトニ付キマシテハ、重々相濟マヌコト、思ウデ居ルノデアリマス」又百八十九頁ニ斯ウ言ツテ居ル「唯消防組合ハ御承知ノ如ク警察官ノ指揮監督ニ服シテ居リマスノデ、警察官ガ後ロニ居ツテ、適當ニ指導ヲシ、監督ヲシナケレバナラヌ次第デゴザイマスカラ、警察官モ場合ニ依リマシテハ、各方面ニ御願ニ廻リマシタ次第デゴザイマスルガ、斷ジテ警察官ヲシテ金錢ノ授受ハナサシメナカツタノデアリマス、實際募集ニ當ツテ居ル運動者カラ申シマスルト、責任額ヲ受持サレテ居リマスノデ、ドウニカシテ此責任額ヲ果シタイ、又自分一己ノ爲デハナイ、公共ノ爲ニ働クト云フ考カラ縣民各位ニ對シマシテオ絀リヲ致シ、少カラズ御迷惑ヲ掛ケタコト、信ズル次第デアリマスルガ、併ナガラ寄附募集ト云フヤウナ事業ガ到底通り一遍ノオ願ヒデハ十分成績ヲ舉ゲルト云フコトハ出来ナイノデアリマス、此ノ邊ノ事情ハ賢明ナル議員各位ニ（縣會議員ノ意）於カレマシテ十分御了解ノ願ヘルコト、信ジマス」斯ウ言ツテ居ル、唯通り一遍ノ御願デハ斯ウ云フ寄附ノ募集ガ出来ナイト云フコトハ、常識デモ御分リニナルデアリマセヌカト云フコトハ、會議録ノ警察部長ノ説明ガ認メテ居ル、更ニ知事モ會議録ノ四十頁ニ於テ斯ウ言ツテ居ル、「吾々ノ方ニ於テハ強制的ニサウ云フモノヲ取ルト

云フ意思ハ毛頭ナイノデアリマス、唯消防組員ガ參リマシテ、消防協會ノ趣旨、又ハ基本金造成ノ趣旨ヲ一々御話申上ゲタコトデアラウト存ジマス、其際熱心ノ餘リ、或ハ人ニ依ツテハ、強制的ニ聞エタヤウナ場合ガ無イトモ限ラナイト云フコトヲ虞レテ居リマス、時期ガ悪カツタデハナイカト云フ御話モアリマスガ、今日ノ斯ウ云フ不景氣ノ場合ニヤツタト云フコトハ適當ノ時期デナカツタト思ヒマス」知事自身モハツキリ言ツテ居ラレル、更ニ知事ハ會議録ノ九十九頁ニ於テ「又誤解ニ依ツテ色々ノ恐怖、心配ガアツタヤウニ伺フノデアリマスガ、是ハ洵ニ遺憾デアリマス、將來斯ノ如キ誤解ヲ來スヤウナコトハ篤ト慎ミタイト考ヘテ居リマス」斯ウ知事ハハツキリ答ヘテ居リマス、是等ハ強要シタト云フコトヲ認識シテ居ルモノデアアル、又恐怖心ヲ與ヘタト云フコトヲ知事自身ガ會議録ニハツキリ申シテ居ル、之ニ對シテ政府ハヤハリ責任ヲ明カニスルコトガ出来ナイト仰シヤルガ、綱紀肅正ヲ十大政綱ノ一トシテ現内閣ニ於テ、寄附ヲ強要シタ、而モ此不景氣ノ時代ニ二十五萬餘圓ノ寄附ヲ募集スルニハ普通ノ手段デハ困難デアルト云フコトヲ認メテ居リマス、此點ニ付テ言明ノ限リデナイト仰シヤイマシタケレドモ、明カニ是ハ現内閣ノ御方針ニ反スル、綱紀肅正、消費節約、緊縮政策ヲ看板ニシテ大切

ナル事業マデ繰延ベラレテ居ル場合ニ、一警察部長ガ獨斷ノ考デ斯ノ如キ行爲ヲシテ、縣民ノ怨ノ的ニナツテ居ル、斯ウ云フ行爲ヲ爲シタ者ニ對シテ此儘默ツテ居ラレルハオカシイ、現内閣ノ方針ト反シテ居ルナラバ、反シテ居ルト云フコトヲ明カニ致シマセヌト、民政黨及ビ現内閣ノ方針ニ依ツテヤツタモノト長崎縣民ガ認メテモ構ヒマセヌカ

○齋藤政府委員 御説ノ如ク現内閣ハ成立當初十大政綱ヲ發表致シマシテ、其中ノ綱紀官紀ノ肅正ト云フコトニ付キマシテハ、其聲明ヲ忠實ニ履行セントシ、又忠實ニ履行シテ居ル積リデアリマス、而シテ今回長崎縣下ニ起リマシタ、消防組ガ寄附金ヲ募集シタコトニ付キマシテノ事實ノ真相ハ、前回ニ於テモ、亦本日モ私カラ申述ベタ通りデアリマシテ、是ダケノ事實ヲ以テシテハ、別ニ綱紀官紀ノ紊亂トハ思ハレマセヌ、西岡君ノ言ハレマシタ知事及ビ警察部長ノ言ヲ見マシテモ、或ハ寄附ヲ募ルニ付テ熱心ノ餘リ、長崎市民ニ對シテ、幾ラカ知事ハ恐怖ノ念ヲ與ヘタト言ツテ居ルカモ知レマセヌガ、又消防夫等ノ言語態度ニ於テサウ云フ念ヲ起サセルコトガアルカモ知レマセヌガ——アルトハ申シマセヌガ、西岡君ノ言ツタヤウナ事實ガアツタカハ知りマセヌガ、ソレハ唯熱心ノ餘リサウ云フ

コトガ起ツタト云フダケノコトデアツテ、故意ニ多數ノ民衆ヲ恐レシメ、脅迫セシメテ、切符ヲ買ハセタト云フコトハナイノデアリマス、熱心ノ餘リ偶然起ツタコト、思ヒマス、別ニ悪意ガアツタ譯デモアリマセヌシ、又知事モサウハ言ツテ居リマセヌ、併シサウ云フコトハ宜シクアリマセヌカラ將來ハ注意致シマス、又監督官廳ニ於テモ、消防組ニ限リマセヌ、何事ニ付テモ、今日ノ時代ニ於テ民衆ニ對シテ恐レヲ懷カシメテ以テ金ヲ募ルト云フコトハ、甚ダ宜シクアリマセヌカラ、長崎ノ事件ニ付テモ將來注意スルト云フコトヲ御答シテ置イタノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ、繰返シテ申上ゲマスガ、政府ノ調ベマシタ所ニ依ルト、寄附ヲ強要シタト云フヤウナ事實ハアリマセヌ

○西岡委員 ソレカラ前ニモ申シタ通り會議録ノ百九十五頁ニ、柳井警察部長ハ斯ウ言ツテ居ル、「私共ハ理事者ト致シマシテ色々非難ノアツタコトハ無論我々ノ責任ト致シマシテ、其ノ點ハ今後ニ於キマシテモ十分考ヘナケレバナラヌコト、存ジテ居ル次第デアリマス」自分デ責任ヲ感ジテ今後十分考ヘナケレバナラヌト言ツテ居ル、況ヤ現内閣ノ十大政綱ニ掲ゲテ居ル綱紀肅正ト反シテ居ルコトヲ爲シタノデアリマスカラ、注意ヲスルト云フノデアアルナラバ、

ドウ云フ注意ヲスルノデアルカ、是ハ責任ヲ明ガニスル必要ガアルト思ヒマス、政府ガ幾ラ詭辯ヲ以テ胡麻化サレテモ、長崎縣民ガ非常ニ迷惑ヲシタ、苦シメラレタト云フコトハ明カナル事實デアアル、責任ヲ明カニナサレナケレバナナイト思ヒマス

先日内務大臣モ、政務次官モ少シモ御存ジナカツタ言ハレタガ、ソレデハ一警察部長及ビ知事ノ獨斷的行爲トシテ許スベカラザル不都合ナル行爲デアアルマイカ、政府ノ言ヲ信ジマスレバ警察部長ノ責任ハ重大デアアル、然ルニ其責任者ニ對シテ嚴重ナル處置ヲ政府ガ御執リニナラナケレバ、私共長崎縣人トシテハ警察部長ハ民政黨及ビ政府ノ御了解ノ下ニ、長崎縣民ヲ苦シメラレタノデアルト信ジナケレバナラナクナリマス、即チ表面ニハ國民ニ對シテ、儉約ヲセヨトカ、消費節約ヲセヨト強ヒナガラ、裏面ニ於テハ斯ノ如キ弱イ者苛メノ、國民ヲ苦シメルヤウナ行爲ヲ、知ツテ知ラヌ振リヲシテナサセラレルト云フコトハ、是コソ眞ノ欺瞞政治デアアルト謂ハザルヲ得マセヌ、若シ私ノ申シマス通りデナイト云フコトデアリマスナラバ、民政黨内閣ハ絶對ニ斯ウ云フコトヲスベキデハナイ、シナイ、而シテ此度ノ事ハ出先ノ所謂警察部長ガ獨斷デ以テ斯ウ云フ不埒ノ事ヲヤツタ、怪シカラヌ事ヲヤツタト云フコトヲ明カニ

爲サル必要ガアルト思ヒマスガ、ソレデモヤハリ注意ヲスル程度デアアルト仰シヤルノデスカ

○齋藤政府委員 監督官廳ガ監督ヲ受ケテ居ル所ノ官吏、公吏ノヤツタ事ニ付キマシテ、ドウ云フヤウナ態度ヲ執ルカト云フコトハ、サウ輕々ニ口外ニスルベキコトデハナイ、其ヤツタ事柄ノ善惡邪正並ニ程度ヲ能ク考ヘマシテ、ソレニ適應スル所ノ監督權ヲ行使スルノデアリマス、其監督權ヲ具體化シテドウナルカト云フコトハ先程申シマシタ通り今日此處ニ於テ明言スルコトハ出來マセヌト、此處デ御答申上ゲタノデアリマス

○西岡委員 能ク分リマシタガ、ソレデハ適當ナル方法ヲ以テ現内閣ノ方針ニ反スル、反對シテ居ル所ノ行爲ヲ執ツテ長崎縣民ニ迷惑ヲ掛ケテ居ル者ニ對シテハ、適當ノ方法ヲ執ル、其方法ノ内容ハドウスル斯ウスルト云フコトハ明言スルコトハ出來ナイト云フ意味ニ取リマシテ、此問題ハ是デ打切りマス

ソレカラモウ一言伺ヒタイガ、泉甚太郎ノ事柄ニ付キマシテハ、是ハ總テ警察當局ニ其責任ガアルノカ、ソレトモ府立松澤病院ニ其責任ガアルノデゴザイマスカ、何レニアルノカ之ヲ承リタイ、ソレカラ警察ハ勿論、府立松澤精神病院モ内務省ノ御監督ノ下ニアルト思フノデアリマスガ、

ソノ兩者ノ中ノ何レニ責任ガアルト致シマシテモ、其責任ハ明カニシテ貰ハナケレバナラナイト思フノデアリマス、誰ガ惡カツタノデアルトカ、其場限りノ問題デハナイ、前ニ申上ゲマス通り苟モ人間ヲ檢舉シテ監獄ニ入レルト云フ以上ハ先ヅ其者ハドウ云フ性質來歴ノ者デ、前科ハナイカ、家族ハドウカ友人關係ハドウ云フ風カト云フ色々ナ事ヲ調べナケレバナラヌ、サウシテ嚴トシタ處置ヲ執ツテ其責任ヲ明カニシナケレバ、警察ノ威信ニ關係スル、其責任ハ警察デアアルカ、病院デアアルカ、是ガドチラニ在ツテモ、其責任ヲ隱サウトシタ、隱蔽シヨウトシタ、若シ私ガ知ラナカツタナラバ、是ハ闇カラ闇ニ葬ラレタモノデアアル、ソコデ、調べタラモツトアルト思ヒマス、是ハ内務省デハナク、司法省ニ御尋シナケレバナラナイカモ知レヌガ、ドウチニアルカ知ラヌガ今責任者ヲドウスルト言フコトハ出來ナイカモ知ラヌガ、十分責任ノ在ル所ヲ明カニシテ裁カナケレバナラヌ、泉甚太郎ハ一人デアアルガ、斯ウ云フ中産階級以下ノ貧乏人ハ金持ノ家ニ飼ツテアル犬ヤ猫ヨリモ酷イ事ヲサレテ居ルト云フコトモ、之ヲ以テ推定スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、是モ簡單デアリマスカラ、御言明ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○齋藤政府委員 何處ニ責任ガアルカト云フコトデアリマ

スガ、兎ニ角警察官トシテ處スベキ仕事ハ十分ニヤツテ居ルノデアリマス、繰返シテ御答申シマシタヤウニ、此泉某ガ病院デ死ンダト云フコトハ、是ハドウモ何人ノ責任デモナイ、病氣ニナツテ刑務所カラ出サレテ、病院ニ收容セラレテ病院デ治療ヲ加ヘタケレドモ遂ニ死ンデシマツタト云フノデアリマスカラ、此者ノ死亡ニ付テハ別ニ責任者ガアル譯デハアリマセヌ、唯是ガ死ンダ場合ニ於テ本人ノ住所ガ分ラナカツタモノデアルカラシテ、死ンダト云フ事ヲ通知スルコトガ出来ナカツタ、住所ガ分ラヌト云フ譯ハナイト云フノデアリマスケレドモ、併シ警察デハ實際分ラナカツタノデアリマス、本人ニハ辯護人ガ附イテ居ツタ、辯護人ガ附イテ居ツタト云フ場合ニ於テ、住所ガ分ラヌト云フ譯ハナイデヤナイカト云フ御話デアリマシタガ、本人ニ辯護人ガ附イテ居ツタ所ガ、ソレハ警察官ノ知ル所デナイ、是ハ裁判所ニ事件ガ繫屬シテ居ツタノデアリマスカラ、裁判所ノ檢事ヤ判事ニハ分ツテ居ツタカモ知レナイガ、警察署ニ於テ是ガ分ルモノデナイ、死ンダ場合ニ於テハ看護義務者ニ通知スルノガ例デアリマスカラ、其看護義務者ガ何處ニ居ルカト云フコトヲ探シタケレドモ分ラヌ、本人ノ義務者ノ辻弘ト云フ者モ分ラナカツタカラ通知スルコトガ出来ナカツタト云フノデアリマスカラシテ、警察署トシテハ盡ス

ベキ手續ハ盡シテ居ツタノデアリマス
 ○西岡委員 私ハ先程御尋シナイト申シマシタガ、今ノ御答辯ニ付テモウ一度簡單ニ伺ヒタイ、今ノ御答辯デハ、辯護人ハ附イテ居ツタカモ知ラヌガ、警察デハソノ事ハ知ラヌト仰シヤルケレドモ、警察ハ犯人ガアツタ場合ニ其現行犯ダケニ付テ考ヘルノデスカ、犯人ガ擧ツタ場合ニ、其犯人ハ過去ニ前科ガナカツタカ、ドウ云フ系統デアるかト云フ事ハ御調べニナラナカツタノデスカ、若シ御調べニナラナカツタトスレバ、是ハ警察官ノ怠慢デアル、私ハ御調べニナツタト思フ、辯護人ノ所デ調べテモ遺族ノ住所ハ分ツテ居ツタ答ダト思フ、辯護人ハ家族ニ向ツテ何回モ手紙ヲ往復シテ辯護料ノ請求ヲシテ居ル、ダカラ辯護人ニ分ツテ居ツタモノガ警察ニ今日ノ組織、制度ヲ以テ分ラナイ筈ハナイ、分ラナイ筈ハナイト云フヨリモ、警察ノ職務ト致シマシテハ、ドウ云フ系統ノ人間デアるか、前ニ前科ガアツタカドウカ、況ヤ精神病者ニナツタナラバ、是ハ斯ウ云フ系統ガアツタノダラウト云フヤウナ意味カラシマシテモ御調べニナラナケレバナラナイノデ、御調べニナラナカツタト云フコトハオカシイト思フ、ソレカラ私ガ今申シマシタノハ、警察ガ内務省ノ御管轄デアルト同様ニ、松澤病院ハ東京府ノ管轄デアル、東京府ハ内務省ノ御管轄ノ下

ニアルノデアルガラ、若モ松澤病院ニ責任ガアルナラバ、其松澤病院ノ當局ニ對シテ内務省ハドウ云フ御責任ヲ御執リニナルカト云フコトヲ御尋シタ譯デアリマス

○齋藤政府委員 是ハ放火犯ノ嫌疑ガアツテ一應調べテ檢事局ニ移ツタノデアリマシテ、放火犯ノ嫌疑ニ依ツテ調べルノニハ、ソレハ本人ノ原籍住所ハ調べタコトモアリマセウガ、兎ニ角是ハ辻弘ト云フ者ノ家ニ雇ハレテ居ツタ者デアリマスカラシテ、其程度ニ於テ調べタと思ツテ居リマス、無論警察署ニ於テ住所ヤ或ハ看護義務者、サウ云フ者ガ分ツテ居ツタナラバ、ソレヲ通知スルコトハ何デモナイ事デアリマスカラシテ、通知ヲシタニ相違ナイト思ヒマスケレドモ、併シ先程モ申シマシタヤウニ分ラナカツタノデアリマス、ソレカラ病院ノ監督ハ無論東京府ガヤルデアリマセウ、ソレデアリマスカラシテ、何カ此病院トノ間ニ於テ意思ノ疏通ヲ缺イテ居ツタヤウニ思ハレマス、ソコデ病院モ注意ヲシテ將來サウ云フ過チヲシテハイカヌト云フコトヲ注意ヲスル積リデアリマスガ、其事モ併セテ御答シテ置キマス、是ハ最前御答ヲシタノデアラウト思ヒマスケレドモ、松澤病院ト云フノハ氣狂ヒ病院デアリマシテ、此事バカリデナクシテ、外ニモ斯ノ事例ガアツタラシイ、氣狂ヒデ死ンダ者ガ引取人ガナクテ後カラ引取人ガ分ツテ來

タト云フ事例ガアツタラシイノデス、ソレデスカラ將來斯ウ云フ事ヲヤツテハイカヌト云ツテ、更ニ病院ニ注意ヲシタ答デアリマス

○西岡委員 私ハ今ノ松澤病院ニ對スル御答モ、ドウモ満足ガ出来マセヌ、満足出来マセヌケレドモ此勞働組合法案ノ審議ヲ妨ゲテハナラヌト思ヒマスカラ適當ナル機會ヲ待ツテ質問スルトシテ今日ハ、此御尋ハ是デ一應止ママス、私此機會ニ議事進行デ極ク簡單ニ申上ゲタイ、今日ノ新聞ヲ見マスト、此勞働組合法案ノ審議ハ明日ヲ以テ、質問討論ヲ打切ラレルト云フ風ニ書イテアリマスガ、サウデアリマスカ、サウ云フ御決心ヲ委員長ハナサツタノデアリマスカ
 ○添田委員長 アナタ方ノ方ト先ヅ大體ノサウ云フ協定ガ出来タ積リデアリマス
 ○西岡委員 是ハ一番最初カラ此委員會ノ問題トナツテ居タノデアリマスルガ、現内閣ガ此勞働組合法案ヲ御提出ニナツテ、此法案ハ現内閣成立ト同時ニ十大政綱ノ一トシテ社會政策ノ問題ノ重大ナル一トシテ掲ゲテ居ラレタル所ノ此勞働組合法案ハ、濱口總理大臣ガ會長デアル、社會政策審議會ノ答申ニ基イテ作ツタ所ノ社會局案原案ノ骨子ヲ變更シテ議會ニ提出サレタ、是等ニ付テハ安達内務大臣カラ

御話モアツタノデアリマスガ、此案ノ決定ノ當時濱口氏ハ御病氣中ニテ根本的變更ノ事ハ御存ジナカッタと思フ、然ルニ御全快ニナリマシテ濱口總理大臣ガ御出席ニナツテ、委員會ナリ本會議ニ於テ答辯ニ當ラル、コトデアルト云フコトデアツタノデアリマスガ、此労働組合法案ノ委員會ニ出席ヲ求メテ、總理大臣ノ御意向ヲ承リタイト私ハ思フノデアリマスガ、本委員會ハ明日デ打切ラレルト云フコトデアリマスガ、明日デモ御出席ニナル御考デアリマスカ

○添田委員長 昨日猪野毛君カラモ同様ノ御要求ガアリマシタ、其事ヲ書記官長ニ通ジテ置キマシタ所ガ、先刻、此開會前ニ書記官長ヨリドウモ本日ハ何分都合ガ付キ兼ネル、其點ヲ惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトデアリマシタ、其點ヲ一寸申上ゲマス

○西岡委員 ソレデハ明日ハ御出席ニナリマスカ……

○添田委員長 明日ノ事ハ又明日御相談ヲシテ見マセウ

○吉田政府委員 昨日守屋サンカラ御尋ニナリマシタ點ニ付テ一言サシテ戴キタイと思ヒマス、守屋サンカラ第一條ノ労働組合ノ目的ニ關聯致シマシテ、例ヘバ治安維持法ノ撤廢、治安警察法ノ撤廢、労働争議調停法ノ改廢、暴力行為取締令ノ撤廢、行政執行法ノ改廢、警察犯處罰令ノ改廢、刑法其他労働運動關係法規ノ改廢、盜犯防止法ノ撤廢、違警罪即決例ノ撤廢ト云フヤウナ事ハ、本案ノ第一條ニ既定スル目的ノ範圍ニ入ルカドウカ、又労働者ノ政黨加入ノ自由、或ハ選舉權行使ノ絕對自由、或ハ労働組合戰線統一、或ハ無産階級戰線ノ統一、或ハ殖民地労働者ノ差別待遇撤廢、是等ノ事柄ハ労働組合ノ目的ノ範圍内ニ屬スルカドウカト云フコトヲ、一々事例ヲ擧ゲテ御述ニナリマシタガ、其中ノ大部分ノモノニ付テ私ノ考ヘテ居ル所ヲ御答申シタノデアリマスガ、速記録ニ依ツテ詳シク其問答ノ内容ヲ拜見シテ見マスルト、是等ノ事項ニ付キマシテハ、具體的ニソレガ労働組合ノ目的ノ範圍ニ含マレルカ否カト云フコトニ付キマシテハ、簡單ニ斷定出來ズ、慎重ナル考慮ヲ要スルモノガ多クアルト考ヘマスノデ、昨日御答ヲ致シマシテ、或ハ入ル或ハ入ラズト御答シタモノニ付キマシテ、尙ホ慎重ニ考究スル餘地ガ殘サレテ居ルコトヲ氣付キマシタノデ、此段申上ゲテ御諒解ヲ得テ置キタイト存ジマス

○守屋委員 文部省ノ政府委員カラ御話ガアルドラウト思ヒマスカラ、ソレヲ承リマシテカラ……

○野村政府委員 先日此労働者教育ニ付テ今日マデヤツテ居ル其實際ノ統計ヲ示セト云フコトデアリマシテ此處ニ統計書ヲ拵ヘマシテ之ヲ皆様ニ御上ゲスルコトニ致シマス、其中デ先達テ守屋君ニ一部上ゲテ置キマシタガ、アレハ稍

々簡略ナモノデアリマシテ、更ニ精シイノヲ其後作成致シマシタノデ、其分ヲ今日差上ゲルコトニ致シマス

○守屋委員 只今文部ノ政府委員カラ頂戴致シマシタ材料ヲ私ハマダ拜見シマセヌノデ、果シテドウ云フ事ガ書イテアルカ具體的ノ内容ヲ存ジマセヌカラ、斷定ヲスルノハ聊カ早計デアルカト思ヒマス、併シ此間頂戴シタモノハ骨子デアラウト考ヘマスカラ、ソレヲ基本トシテ私ノ意見ヲ申上ゲテ見ヨウト考ヘマスガ、御出シニナツタ書類ニ付テ考ヘテ見マスルト、昭和四年度ニ於テ労働者教育トシテ實施ヲサレマシタ成績ハ、労働者四百六十三人ニ對シテ六箇所ニ於テ講習會ヲ開イタ、多イモノハ大阪ノ百五人、少ナイモノハ五十人ト云フ有様デ、之ニ要シタル金額ハ七千五百圓、ソレカラ昭和五年度ニ於テハ講習生五百五十人シカナイ、斯ウ云フ狀況ノデアリマス、此間文部省ノ政府委員カラ承リマスルト云フト、労働者教育ハ非常ニ良好ナル效果ヲ擧ゲテ居ルト云フヤウナ御説明デアリマス、其御説明ト之トヲ照シ合セマスルト、マルデ天地宵壤ノ差ガアルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、此間ノ御説明ヲ御取消ニナツテ是ダケシカヤラナカツタノダ、斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○野村政府委員 守屋君ノ議論ノ根據トシテ先達テ差上ゲ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十五回

テ置キマシタ統計ヲ基本トシテノ御意見デアリマスガ、ソレハ其通りデアリマス、新シク追加シタノモノ、要スルニ其内譯ニ過ギマセヌカラ、ヤハリ先達テ差上ゲタノヲ基本トシテ御意見ヲ御述ベニナルコトハソレハ私ハ適當と思ヒマス、總數ハ僅カ六百八人足ラズデ、前ニ私カラ成績良好デアルト云フ結果ヲ報告シタノハ、ソレハ事實ト相違スルデヤナイカ、隨テ取消スベキモノデアアル、其取消ヲ爲スカドウカト云フ御質問デアリマス、私ハ前回ニ成績良好ダト申シマシタ、其申シマシタ根據ハ何處ニ在ルカ、斯ウ申シマスルト、或ハ言葉ガ足りナカツタカモ知レマセヌガ、先ヅ此五百餘人六百八人ニ足ラナイ講習生デアリマスガ、單ニ是ダケヲ見マスルト確ニ少數デアリマス、日本全國ノ何十萬人ノ労働者ノ中デ五百人ヤ六百人ノ労働者ハ少數デアリマス、併シナガラ其労働者ト云フモノガ、或ハ五十人、或ハ百人、或ハ五百人、或ハ千人ヲ使ツテ居ル工場ニ歸ツテ、其他ノ労働者ノ教育ヲ「リーダー」ニナルト云フ意味合カラ、六百餘ノ人ヲ指導シ教育シタ次第デアリマス、隨テ講習生ソレ自體カラ見マスト御説ノ通り極ク少イガ、是ガ工場ニ歸リ、或ハ組合ニ歸リマシテ、更ニ善イ所ノ模範ヲ示シタノデ、其效果成績方良カツタト、斯ウ申上ゲタノデアリマス、ドウシテサウ云フコトヲ申スカト云ヘバ、現ニ

講習生トシテ、教育ヲ受ケタ人ハ、確ニ労働者ノ本分ヲ辨ヘテ居ル、工場主其他ノ報告ニ依リマス、此講習ノ結果ガ一般労働者ニモ好イ影響ヲ與ヘテ居ルト云フコトデアリマスカラ、ソレデ私ハ成績ガ良カッタト斯ウ申シタノデアリマス、而シテ費用ガ僅ニ七千六百圓、兎モ角一萬圓以内ノモノデアアル、此教育ガ良イト認メタ結果工場主ノ方ニ於テモ相當ノ補助ヲスル、兩々相俟ツテ教育ヲ加ヘタ結果ガ相當效果ガアリマシタカラ、ソレデ成績ガ良カッタト申シタノデアリマス、何分規模ガ極ク小サイ、何十萬人ノ労働者ニ對シテ、僅カ七千五百圓ヤソコラノ補助デ、サウシテ講習ヲ試ミタノハ僅カ二年、極ク初步デアリマス、初步ニシテ試ミタ程度ニ於キマシテハ成績ガ良カッタト申上ゲタノデアリマス、併ナガラ眞ニ日本ノ労働者全部ニ對シテ良好ナル結果ヲ齎スコトハ、是ハ其範圍ヲ擴張致シマシテ、費用モ相當ニ支出シ、サウシテ一面ニハ講習者モ殖シテ行キマシタナラバ、其結果ハ労働組合法ノ教育カ、修養カ、其ノ邊ノ目的ヲ達スルニ至ラデアラウ、斯ウ申シタノデアリマス、小ナル規模ト僅ナ補助費トノ範圍ニ於ケル效果ガ良好デアツタ、斯ウ申上ゲタノデアリマシテ、私ノ申上ゲ方ガ悪カツタカモ知レマセヌガ、之ニ依ツテ總テノ労働者ノ教育ガ改善サレタト云フ意味デナイノデアリマス、隨テ

只今申上ゲタノハ先日良好デアツタト云フコトノ事實ヲ詳細ニ申上ゲタ次第デアリマス

○守屋委員 其點ハ了承致シマシタガ、ソレナラバ昭和五年度ニ於テハ四百六十三名ノ講習生ガ集ツタノデアリマスガ、其内終了シタ者ハ僅ニ四百十四人デスカラ、申込ヲ許可致シマシタ數ニ比ベマスト終了シタ者ガ五十人モ減ツテ居ル状態デアアル、然ルニ之ニ參加シテ居リマスル講師、指導員、事務取扱ト云フ者ガドレ程アルカト云フト百人アルノデス、講習生ハ僅ニ四百十四人デ、講師ヤ其他ノ者ガ百人モアル、斯ウ云ツタヤウナ講習ハ餘程變ナ講習ダと思フノデアリマス、隨テ此七千五百圓ノ經費ト云フモノハドウ云フ風ニ御使ヒニナツタノデアルカ、講習生ニドレ程ノ金ヲ御出シニナツテ、講師ヤ其他ノ者ニドレ程ノ金ヲ御出シニナツタカ、其點ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒマス

○野村委員 七千五百圓ノ内譯デアリマスガ、此處ニ書イテアリマス通り開僅シタ場所ハ九場所デアリマス、サウシテ此方ニ主ニ使ツタノデアリマス、ソレカラ地方ノ團體ニ於テモ補助シテ居リマス、然ラバ一ツノ場所ニ對シテ幾ラ補助ヲシテ、講師ニ幾ラヤツテ、聽講者ノ方ニドウ云フ風ナコトヲヤツタカト云フ、一々此間ノ振割ノコトニナルト甚ダ困難デ、一ツノ場所ニ對シテ大體適當ダと思フダケノ

補助ヲシテ其縣ニ於キマシテ、其係ニ於テ其地方ノ民間カラト相合シテ或ハ三十日トカ二十日トカ講習スル、其講習期間ノ費用ヲ賄ウテ居ル次第デアリマス、然ラバ其賄方ヲ幾ラ出シテ幾ラドウシタト云フコトハ、一ツノ會場ニ大體ノ目安トシテハ渡シテ居リマスケレドモ、其計算ハチヨツト困難デアリマス

○守屋委員 要スルニ講習生ノ方ニ使ツタ金ガ多イカ、講師ノ方ニ使ツタ金ガ多イカドチラデスカ

○野村政府委員 講習生ニ對シテハ此補助金ノ中カラ一回出レバ幾ラヤルト云フヤウナコトハシテナイノダサウデアリマス、講習生ノ方ハ貰ツタ者ガアルトスレバ、ソレハ工場主ノ方カラ或ハ辨當代位貰ツタカモ知レヌ、ソレカラ又所謂自分ノ修養ニナルコトデアルカラ、別ニ貰ハズニ進ンデ出テ居ル人モアルサウデス、此七千何百圓ト云フモノヲ今申上ゲマス通りニ會場ニ割當テ、サウシテ、之ヲ使ツタノハ主ニ講師ノ御禮デアルサウデアリマス、ソレカラ會場ニ關スル費用、ソレカラ色々又之ヲ開催スルニ至ル雜費、是等ノ方ニ使ツタノデアリマス、ソレデ此統計ニモ書イテアリマス通りニ、延時間ニシマスルト總體デ四百八十七時間トカ、ソレカラ又延回数ガ百五十四回トカ兎ニ角相當ノ回数講演シテ教ヘテ居リマスカラ、講師ニ對シテ相當ナル

御禮ヲスルト云フノモ是モ餘儀ナイ次第デアリマシテ、サウ云フ次第ヤツタ譯デアリマス

○守屋委員 私ハ只今ノ政府委員ノ御答辯ヲ承リマシテ、此労働教育費ノ使方ガ頗ル不徹底ノモノダと思フノデアリマス、アナタノ方ニハ元來社會教育費トシテ他ニモ金ヲ取ツテ居ラレル、又教化團體ノ方ニモ補助費トシテ相當ノ金額ヲ取ツテ居ラレル、ソレ等ノ外ニ労働教育費ヲ取ツタノハ、サウ云フモノトハ違ツテ、最モ社會政策的ノ意味ヲ加味シテヤルコトガ精神デアアル、労働者ヲ本當ニ能ク導イテ行カウト云フノニハ、ソレ等ノ人々ニ對シテモ相當ノ經費ヲ掛ケテヤルノガ本當デ、多數ノ講師ニ向ツテ多額ノ費用ヲ拂ツテ、學校ノ先生達ノ小使錢ヲ稼ガセルト云フヤウナ意味ニ使フコトハ、文部省ガ此労働教育費ヲ置イタ根本ノ精神ニ反シテ居ルデアリマセヌカ、サウ云フ意味ニ使フノハ間違ツテ居ル、學校ノ先生方ヲ講師ニ雇フト云フコトハ悪クハナイガ、要スルニ此經費ハ労働者本位ニ使フコトガ本當デ、成ベク回数ヲ多クシ、モツト労働者教育ガ徹底サレルヤウニスルコトガ私ハ宜カラウト思フ、併ナガラ過去ノ事ハソレヲ攻撃シテモ何ニモナリマセヌカラ、將來ノ労働教育費ヲ使フニ付テハ十分此點ニ付テ御再考ヲ煩シタイ、箇所數ヲ少クシテ、サウシテ多クノ金ヲ講師ニ與ヘテ

居ル、而モアナタノ方ノ監督下ニ在ル學校講師ガ多イノデアル、大學ノ先生デアルトカ、専門學校ノ先生デアルトカ、アナタノ方ノ監督下ニ在ル先生ヲ引張り出シテ金ヲ呉レテヤル、其金ヲ支拂フコトガ本體ニナツテ、労働者ノ方ニ其經費ヲ少シモ支拂ハヌト云フコトデハ、社會教育カラ分別シテ特ニ労働者教育ノ爲ニ金ヲ出スト云フ政府ノ方針ガ徹底シテ居ナイ、此點ハ私ハ御再考ヲ切ニ希望スルガ、同時ニ此講習科目ナドニ付テ考ヘテ見ルト、労働教育ノ方針トシテ一體ドシテ科目ヲ採ルノカ、ドノヤウナ方針デテ之ヲ徹底シテ行クカト云フコトニ付テ、文部省ハ纏ツタ意見ガナイヤウデアアル、デアリマスカラ、此講習會ノ講師ト、ソレカラ、科目ト云フモノヲ見テ御覽ナサイ、マルデ支離滅裂デアリマス、ドウ云フ風ニ一體労働者ト云フモノヲ教育シテ行クノカ、根本精神ヲ掴ムコトガ出来ナイ、單純ニ社會教育トカ、精神教育トカ、道德教育トカ、倫理教育トカサウ云フ生温イコトヲ學校ノ先生ニヤツテ貰フノナラ、社會教育ノ施設、所謂成人講座ト云フ施設デヤツテ少シモ差支ナイノデアツテ、特ニ労働教育ト云フ銘ヲ打ツテ取ツタ所ノ金ヲ使フト云フ、必要ハナイト考ヘル、労働教育ト云フモノヲオヤリニナルナレバ、今ノ労働爭議トカ、労働運動ト云フモノヲ中正穩健ニシテ行クト云フ考ヲ基礎

ニシテヤルベキデアアル、随ツテ何處ニ目安ヲ置イテ、ドウ云フ方針デ行クカ、少クトモ講習ニハ此科目ハ必ズ加ヘルトカ加ヘナイトカ、其内容ハドウスルカト云フコトハ、サウ云フ方針ニ基イテキメテ臨マレルト云フコトガ至當デアラ、所ガ二年モ労働教育ト云フモノヲオヤリニナツテ居ナガラ、殆ド統一シタ觀念ヲ茲ニ見出サヌト云フコトハ、私ハ頗ル残念ニ思フノデアリマスガ、果シテ労働教育ニ付テ文部省ハドノヤウナ社會教育ヲヤラウトスルノカ、一般社會教育ト分別シテ労働教育ト云フモノ、費用ヲ特ニ取ツテ居ルト云フ御精神ヲ、モウ一度ハツキリ仰シヤツテ戴キタイト思フノデアリマス

○野村政府委員 今ノ御質問ノ中デ初メノ點カラ申シマスガ、労働者ニ對シテ相當ナル補助ヲシテ、サウシテ範圍ヲ擴張シテ、廣ク普及サシタラ宜イデハナイカ、今マデノハ餘リ少クアルシ、又労働者ニ對シテノ使方宜クナイト云フコトデアリマシタガ、成程今マデノ所ハ工場主等カラ辨當料位ヲ貰フ、又辨當料モ貰ハズニ自分カラ講習生ニナツテ居ルト云フ人モアルノデアリマス、ソレハ將來教育ガ進ムト同時ニ御説ノ通りニ其労働者ノ便宜ヲ圖ツテ、或ハ補助費カラ労働者ノ辨當料等ヲ拂ツテ、サウシテ之ヲ廣ク圖ルト云フノガ宜シイノデアリマス、其點ハ將來ノ爲ニ考

ヘ、サウシテソレヲ參考トシテ進メル積リデ居リマス、ソレカラ學校ノ先生デスガ、教師タル者ハ、言ウテ見ルト云フト、手間賃稼、内職仕事、之ヲ主ニシテヤツテ居ルカノ如キ御意見ガアリマシタガ、是ハサウ云フ譯デアリマセヌ、決シテ教師ガ内職稼ヲ目的トスルヤウナ人々デアリマセヌ

○守屋委員 目的トスルトハ申シマセヌヨ

○野村政府委員 目的デナイニシテモサウ云フ風ナ言葉ガアツタ、是ハ此處ニ書イテアル通りニ皆人格高キ學者デアリマス、權威者デアリマス、隨テ是ハドチラカト云ヘバヤハリ労働教育ト云フモノハ必要ナリト云フ其立場カラト、又労働教育ニ興味ヲ持ツト云フ點カラト相應ジテ、サウシテ此教育ニ從事シテ居ラレル方々デアリマシテ、相當ナルヤハリ犠牲ヲ拂ツテ居ラレル譯デアリマス、決シテ小遣取ト云フヤウナコトハ目的デナイト云フコトヲ、此教師諸君ノ爲ニモ茲ニ申上ゲテ置キマス、或ハ言葉ガ過ギタカモ知レマセヌガ、眞面目ニ労働教育ノ必要ト云フ立場カラヤツテ居ル先生方デアリマス、ソレカラ科目ガ洵ニ不揃デアラ、一體何處ヲ目安ニシテ教育シテ居ルノデアアルカ、是デハ労働教育ノ目的ヲ達スルコトガ出来ヌデハナイカト云フ御意見デアリマシタガ、文部省ト致シマシテハ、此處ニ受持

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第十五回

科目モ皆書イテアリマス通りニ、此受持科目ノ學科ヲ労働者ニ教ヘレバ、茲ニ知識ノ普及モ出来ルシ、人格ノ修養モ出来モ出来ルシ、労働者トシテ立派ナ人格ヲ仕立テルト云フ考カラ、此處ニ書イテアル各種ノ科目ヲ教授シテ居ル次第デアリマス

○守屋委員 文部省ノ政府委員ハ私ノ言葉ヲ誤解サレテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ小遣取ヲ目的トシテ居ル人ヲ此處ニ連レテ來タト云フ、ソシテ言葉ヲ申シタコトハ決シテナイノデアリマス、私ハサウ考ヘナイノデアリマス、皆名譽アル學校ノ先生方デアアル、併ナガラ經費ノ使方カラ見ルト云フト、講習生ノ爲ニ金ヲ使ハズニ、是等ノ人々ニ對スル手當ヲ多ク出シテ居ルカラシテ、ソレガ是等ノ人々ノ小遣ニナルヤウナコトニナツタ、所謂労働教育費ト云フモノハ労働者ノ爲ニ使ハレズシテ、サウ云フアナタノ方デ御選定ニナツテ御偉イ學者方ノ「ボケツト・マネー」ニナツタトサウ云フコトヲ申上ゲタ、サウ云フ人達ガ小遣ヲ得ル爲ニ此講習會ニ雇ハレテ來タノダト云フコトハ私ハ小シモ申上ゲテ居ナイ、金ノ使方ニ於テ、労働者ノ手ニ這入ツテ居ルノデアアルカ、這入ツテ居ナイノデアアルカ、此點ヲ申上ゲテ居ル、労働者ノ手ニ這入ラズシテ講師ノ方々ノ「ボケツト・マネー」ニナツテシマツタト云フコトヲ申上ゲテ居